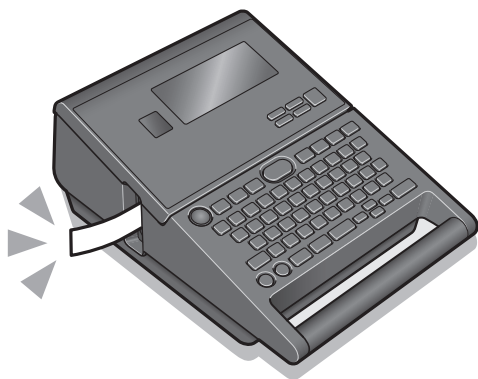


TEPRA

PRO



SR-R980 取扱説明書

保証書付

- ・保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。
- ・保証書と保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

※ご使用の際は本体ソフトウェアを常に最新にしてください。

「テブラ」本体のソフトウェア情報は当社ホームページで
ご確認ください。

<https://kingjim.jp/tepra-update/>



「TEPRA Label Editor SPC10」は「テブラ クリエイター」に名称変更しました。

本書における文中の「TEPRA Label Editor SPC10」は「テブラクリエイター」を指します。

はじめに

このたびは、ラベルライター「テブラ」PRO SR-R980 をお買い上げいただき、ありがとうございます。
本書は「テブラ」PRO SR-R980 の使いかたを、「準備編」「使いかた編 1・2」「機能編」に分けて説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。

取扱説明書には操作方法以外にも、使用上の注意や、上手に使うためのちょっとしたヒントなど、役立つ情報がいっぱいです。いつもお手元においてご利用ください。

「テブラ」PRO SR-R980 を本書とともに末永くご愛用いただきますよう、心からお願ひ申し上げます。
なお、本製品には保証書が同梱されています。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

!! 注意 !!

- 本機で保存する文章や外字などのデータは、基本的に一過性のもので、長時間・永久的な記憶・保存はできません。故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。
- 本体のソフトウェアのバージョンは常に最新にしてください。
「テブラ」本体のソフトウェア情報は当社ホームページ (<https://kingjim.jp/tepra-update/>) でご確認ください。

MEMO

- 本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2014 The FreeType Project (<https://www.freetype.org/>) に帰属します。
- この製品を、テレビ・ラジオ等の電波受信機に近づけて使用すると、雑音などが発生することがありますのでご了承ください。
- 本製品は、日本国内専用です。FOR USE ONLY IN JAPAN.
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

キングジム、KING JIM、テブラ、TEPRA、P テープマーク、R テープマーク、EX ロングマークは株式会社キングジムの商標または登録商標です。

ATOK は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Mac、macOS は Apple Inc. の商標です。

QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

PANDUIT、回転ラベルは Panduit Corporation の登録商標です。

その他記載の会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。

●安全上のご注意…必ずお守りください!

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

●表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合を、次のように説明しています。

 危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
 警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
 注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

	⚠ 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	⊘ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	❗ 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

危険

電池の取り扱いについて



電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。



警告

AC アダプタについて



同梱の専用 AC アダプタ本体・電源コード（AS1527J）以外は使用しないでください。

また、同梱の電源コードは他の製品に使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



AC アダプタは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



AC アダプタのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせないでください。火災・感電の原因となります。



⚠ 警告

電池の取り扱いについて



電池の⊕と⊖を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。



電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに水道水などの多量のきれいな水で洗い流してください。



新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



使い切った電池はすぐに本機から取り出してください。使い切った電池を本機に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本機を破損させるおそれがあります。



長期間本機を使用しない場合には、本機から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、本機を破損させるおそれがあります。



電池の使いかたを誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。



充電式ニッケル水素電池を使用する場合には、お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。



その他



本機を踏んだり、落したり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切り AC アダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ぬれた手で本機や AC アダプタ、プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。



本機や取扱説明書が入っていた袋は、お子様がかぶらないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。



⚠ 警告



本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切り AC アダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。

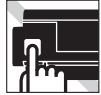


⚠ 注意

オートトリマーのお手入れについて



「トリマーカバー」をはずすときは、必ず電源を切ってください。「トリマーカバー」をはずしたまま作動させると、刃で指を切ったりするなど大変危険です。また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。



オートカッターについて



印刷中もしくはカッター作動中にテープ取出し口付近を指で触れないでください。指を切るおそれがあります。



その他



本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをするおそれがあります。



電源が入っている状態で AC アダプタを抜かないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



「テプラ」で得られるラベルについて



塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

確認



テープカートリッジ取り扱いについてのご注意

■ テープカートリッジを落としたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。



■ テープ取出し口から出ているテープを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。故障の原因となります。



■ テープカートリッジは直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。



MEMO

使用済みのカートリッジには、印刷済みのインクリボンが入っています。
印刷済みのインクリボンには必要に応じてお手元で廃棄してから回収に出してください。

テープカートリッジの回収およびリユース（再利用）について

当社では使用済み「テブラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。
使用済みの「テブラ」テープカートリッジは、当社にてリユース（再利用）をおこないますので、テープカートリッジを分解せず、当社までお送りください。
回収方法については、当社ホームページをご確認ください。
https://kingjim.jp/tepra_recycle

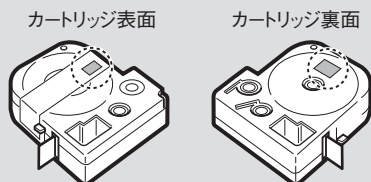


テープカートリッジをセットするときの注意

!! 注意 !!

本機では、マークのついたテープカートリッジを使用してください。

その他のテープカートリッジを使用すると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。



カートリッジ表面、裏面の記載を確認してください。



○ 使用できます



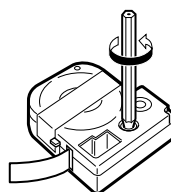
× 使用できません

テープカートリッジをセットするときは、以下の注意をお守りください。

■ セット前に、必ずインクリボンのたるみを取る

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いてたるみを取ってください。

インクリボンにたるみがあると、本機にセットする際、インクリボンが印刷ヘッドに接触し、インクリボンが折れ曲がったり、破れたりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



■ 正しく本機にセットする

テープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして、右上の穴に本体のガイドピンを通し、しっかりと押し込みます。

正しくセットすると、本機の固定フックにテープカートリッジが固定されます。

新品のテープカートリッジやテープの先端が長めに出ているテープカートリッジを本機にセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミソに通します。

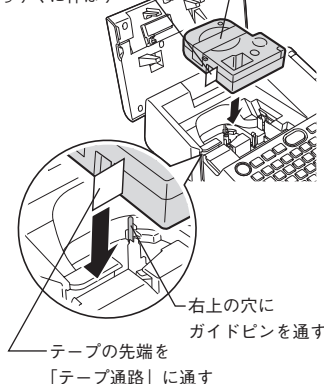
テープカートリッジを本機に正しくセットせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照  P.16 「各部の名前とはたらき」

参照  P.26 「3. テープカートリッジをセットする」

テープの先端をまっすぐに伸ばす

ラベル面を上にする



右上の穴にガイドピンを通す

テープの先端を「テープ通路」に通す

■ セットした直後は必ず「テープ送り」をする (シフト + 印刷)

テープカートリッジを本機にセットした直後は、テープやインクリボンにたるみが発生します。そのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

「テープ送り」または「送りカット」をせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照  P.29 「5. テープ送りをする」

その他のご注意

- 本機の使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。
- AC アダプタは、使い終わったらコンセントから抜き、本機からも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故を防げます。
- 直射日光の当たる場所、車内など熱がこもる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所等のご使用、保管はおやめください。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
- AC アダプタ差込み口、USB コネクタ、テープ取出し口などに物をつめたり、ふさいだりしないでください。
- 印刷ヘッドには、絶対に手を触れないでください。
- 本機の性能を十分に発揮するため、キングジム純正「テブラ」PRO テープカートリッジ（4、6、9、12、18、24、36mm 幅、カットラベル）をお使いください。キングジム純正テープカートリッジ以外を使用した場合の不具合については、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 使い終わったテープカートリッジのご使用や、テープカートリッジをセットせずに  を押ししたりすることはおやめください。印刷ヘッドが過熱し故障の原因となります。
- テープ送りは、必ず  + （＝テープ送り）でおこなってください。無理に手で引っ張ったりすることは、絶対におやめください。テープ取出し口から出ているテープを引っ張ると、正常に印刷がおこなえず、そのテープカートリッジが使用不能になることがあります。
- テープカートリッジはていねいに扱い、衝撃を与えないでください。
- キーボードの操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでのキー操作は絶対におやめください。
- ハーフカットをするときやテープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 幅の狭いテープや短いラベルを排出するときに、カットされたラベルが飛び出す場合があります。
- テープをハサミで切るときに指をはさまないように注意してください。
- オートトリマーには「テブラ」PRO テープカートリッジ（9、12、18、24、36mm 幅）以外のラベルを差し込まないでください。
- ハーフカットのスリットが入っているラベルは、スリット部分を折り曲げてオートトリマーに差し込んでください。
- オート・パワーオフ機能に頼らず、ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、AC アダプタを抜かないでください。
- 長期間使わないときは、電池、AC アダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、AC アダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。
- 長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
- 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。
- 取扱説明書に記載された内容・仕様・デザインなどは予告なく変更されることがあります。

●本書の使いかた

本書の構成

本書は次のような構成になっています。

準備編

本機を使用する前の準備作業について説明しています。

使いかた編

使いかた編には1・2があります。「使いかた編1」では、文字の入力からラベルの貼り付けまでの基本操作を説明しています。

「使いかた編2」では、段落の追加などテキスト画面での操作と、オートトリマーなどについて説明しています。初めて「テブラ」PRO シリーズをお使いになる方は、「使いかた編1」から順を追って読まれることをお勧めします。

機能編

ラベルの見栄えをよくする編集機能や、ファイル、あて名といった各種登録機能など、「テブラ」をさらに使いこなしていただくための情報を操作ボタンごとにまとめて説明しています。「使いかた編」の内容を十分に理解されたうえで読みくださるようお願いいたします。

本書の見かた

本書は次の表記で記述しています。

【 表 記 】	【 説 明 】
①、②	操作の手順を示しています。
M、O ²	文字ボタンを示しています。
ファイル、編集	機能ボタンを示しています。
◀ ▶ ▲ ▼	カーソルを移動したり、メニューを選ぶボタンを示しています。
参照 	関連する事項の参照ページを案内します。
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
!! 注意 !!	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

ラベル見本について： 本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

●目次

はじめに

- 安全上のご注意…必ずお守りください！ 1
 - テーブルカートリッジ取り扱いについての
ご注意 4
 - テーブルカートリッジをセットするときの
ご注意 5
 - その他のご注意 6
- 本書の使いかた 7
 - 本書の構成 7
 - 本書の見かた 7
- 目次 8
- 同梱品の確認 11
- 別売品のご案内 12
- まず、使ってみよう
すぐ使いたい人のために 13

準備編

- 各部の名前とはたらき 16
 - 本機各部の名前（表） 16
 - 本機各部の名前（内部） 16
 - 本機各部の名前（裏） 17
 - 本機各部の名前（背面） 17
 - 操作パネルの名前とはたらき 18
- ディスプレイの見かたとはたらき 20
 - ディスプレイ（画面）の見かた 20
- 使う前の準備 23
 - 1. ACアダプタを接続する 23
 - 2. 電池（別売）を入れて使用するとき 23
 - 3. テーブルカートリッジをセットする 26
 - 4. 電源を入れる 28
 - 5. テーブル送りを 29

使いかた編 1

- 文字を入力する 32
 - 文字入力をはじめる前に 32
 - 入力状態の切り換え 35
 - 文字を入力する 36
 - 長い文章を変換する 39
 - 変換する「読み」の長さを変える 39
 - 英字を入力する 40
 - スペースを入力する 41
 - 記号（絵文字）を入力する 42
 - 印刷イメージを確認する（プレビュー） 45
 - 印刷する 46
 - ラベルを貼る 48
- 使い終わったら〈電源を切る〉 49

使いかた編 2

- 文章を作る 52
 - カーソルボタンの使いかた 52
 - 文章を入力する 52
 - 文字を削除 / 挿入する 53
 - 削除した文字をもとに戻す（復活） 53
 - 文字をコピーする 54
 - 文字を貼り付ける 54
 - すべての文章を消去する 54
- 行を増やす（改行） 55
 - 新しい行を作る 55
 - 文字を次行に移動する 56
 - 改行を取り消す 56
- 段落を増やす（改段落） 57
 - 新しい段落を作る 58
 - 段落を分割する 58
- カドを丸く仕上げる 59
 - オートリマーのお手入れ 60

機能編

- ダイレクトキーで書体を変更する 62
 - を使う 62
- ダイレクトキーで文字サイズを変更する 63
 - を使う 63
- ダイレクトキーで文章全体の向きを変更する
（縦・横） 64
 - を使う 64
- ダイレクトキーで外枠を指定する 66
 - を使う 66
- ラベルの見栄えをよくする（編集） 67
 - 編集を指定する 68
- 編集メニュー一覧 70
 - 機能の説明（文字モード） 76
 - 機能の説明（段落スタイル） 80
 - 機能の説明（文章書式） 87
- 文章を呼び出す・登録する 94
 - を使う 94
 - ファイルとは 95
 - ファイルを登録する 96
 - ファイルを呼び出す 98
 - ファイルを消去する 99
 - ファイルを複写する 100
 - グループの名前を変える 101
 - ファイルをまとめて印刷する 102
- 名前や語句を登録する
（あて名 / 名前 / 辞書） 103

あて名ラベルを作る	103	● カットラベルに印刷する	145
あて名を登録する	104	カットラベルフォームメニュー一覧	146
あて名を修正する	105	丸型・楕円のラベルを印刷する	149
あて名を複写する	105	角丸のラベルを印刷する	150
あて名を消去する	106	カットラベルを編集する	151
あて名ラベルを印刷する	107	カットラベル編集メニュー一覧	151
あて名のグループ名修正	108	機能の説明（スタイル）	155
カスタマバーコードについて	109	よく作るカットラベルフォームを	
名前を登録する	111	ファイル登録する	159
名前を修正する	112	登録したカットラベルフォームを	
名前を消去する	112	呼び出す	160
名前のグループ名修正	112	登録したカットラベルフォームを	
名前ラベルを印刷する	112	消去する	161
変換できない語句を登録する		● カットラベル・バンドウイットに印刷する...	162
（辞書の登録）	114	ラベルを印刷する	162
登録した語句を呼び出す	115	よく作るカットラベル・バンドウイット	
登録した辞書を修正する	115	フォームをファイル登録する	164
登録した辞書を消去する	116	登録したカットラベル・バンドウイット	
● 外字を使う	117	フォームを呼び出す	165
外字を作成し、登録する	119	登録したカットラベル・バンドウイット	
外字を修正する	120	フォームを消去する	166
外字を呼び出す	121	● 転写テープを印刷する	167
外字を複写する	121	鏡文字印刷を指定する	167
外字を消去する	122	転写テープの文字を転写する	167
外字を参照作成し、登録する	123	● 最近印刷した文章を呼び出す	168
● デザインされたラベルを呼び出す		印刷履歴メニュー一覧	168
（デザインフォーム）	124	印刷履歴を呼び出す	168
デザインフォームメニュー一覧	124	印刷履歴を消去する	169
ラベルの作りかた（デザインフォーム）...	127	● 連番やバーコードを印刷する	170
● 特殊なデザインのラベルを作成する		連番・バーコードメニュー一覧	170
（ビジネスフォーム）	128	連番を印刷する	171
ビジネスフォームメニュー一覧	128	バーコードを印刷する	174
ビジネスフォーム見本	131	QR コードを印刷する	176
ラベルの作りかた（ビジネスフォーム）...	134	● 特殊な印刷	178
よく作るビジネスフォームを		特殊印刷メニュー一覧	178
ファイル登録する	136	同じラベルを連続して印刷する	
登録したビジネスフォームを		（連続印刷）	179
呼び出す	137	テープ幅より大きなラベルを作る	
登録したビジネスフォームを		（拡大印刷）	181
消去する	138	鏡文字を印刷する	183
● 各種ケーブル専用のラベルを作成する		ピットコード印刷をする	184
（ケーブルフォーム）	139	● りぼん印刷をする	185
ケーブルフォーム見本	139	りぼん印刷メニュー一覧	185
ラベルの作りかた（ケーブルフォーム）...	141	指定したラベルの長さに、同じ文章を	
よく作るケーブルフォームを		繰り返し印刷する（りぼん連続印刷）...	186
ファイル登録する	142	お名前タグ印刷をする	188
登録したケーブルフォームを		● 読みわからない漢字を入力する	190
呼び出す	143	漢字検索メニュー一覧	190
登録したケーブルフォームを		コードで入力する	191
消去する	144	部首による漢字検索	192

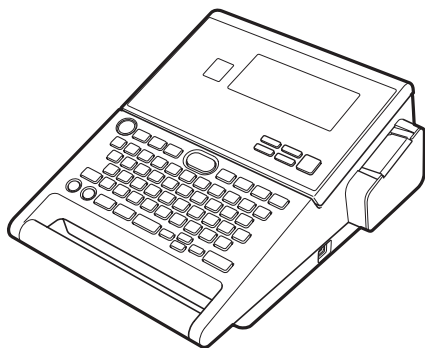
● 印刷設定 / 編集設定 / 環境設定	193	● 漢字変換表	240
設定メニュー一覧	193	JIS 第 1 水準	240
● 印刷設定を変更する	196	JIS 第 2 水準	244
印刷時の自動カット / ハーフカットを		その他	248
設定する	196	● 記号・外枠一覧表	249
ハーフカット連続を設定する	198	記号一覧表	249
ビック&プリントを設定する	199	外枠・表組み一覧表	254
カットラベル位置を調整する	200	カットラベルフォーム	
印刷濃度を調整する	201	外枠・表組み一覧表	255
● 編集設定を変更する	202	● デザインフォーム見本	256
編集機能の保存値を設定する	202	● ローマ字変換表	265
保存値を変更する	203	● おもな仕様	266
保存値を初期設定値に戻す	203	● 索引	270
● 環境設定を変更する	204	● アフターサービスについて	276
おすすめ印刷を設定する	204		
おすすめフォームを設定する	204		
ディスプレイの濃度を調整する	205		
バックライトの切換	205		
学習内容を初期化する	206		
電池種類を設定する	207		
本体ソフトウェアのバージョンを			
確認する	208		
● 本機を初期化する	209		
初期化する	210		
● 表示の切り換え (みえ ²)	211		
● デモ印刷をする	212		

付録

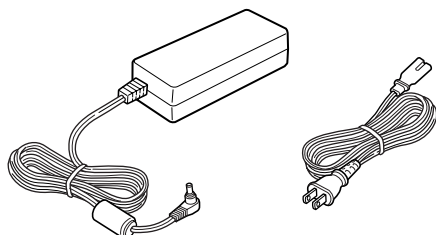
● メニュー一覧	214
記号メニュー一覧	215
フォームメニュー一覧	216
テープ送りメニュー一覧	216
印刷再開メニュー一覧	216
● テープカートリッジを使いわける	217
● パソコンに接続して使う	219
アプリケーション、プリンタドライバを	
インストールする	219
パソコンと「テブラ」本体を接続する	224
アプリケーション、プリンタドライバを	
アンインストールする	225
● こんな表示が出たときは	228
エラーメッセージが表示されたときは	228
● 故障かな?と思ったら	232
● お手入れについて	236
ヘッド・クリーニングテープ (別売) を	
使う	236
● 入力文字一覧表	238
文字ボタン配列	238
入力文字表	238
入力文字表 (かなめぐり入力)	239

●同梱品の確認

同梱品がすべてそろっているか、確認してください。



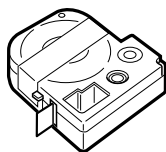
「テブラ」PRO SR-R980 本体



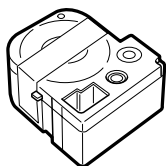
(AC アダプタ本体)

(電源コード)

AC アダプタ (AS1527J)



試用 PRO テープ
カートリッジ



ヘッド・クリーニング
テープ (SR36C)



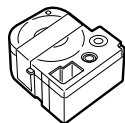
SR-R980 取扱説明書
保証書付 (本書)

MEMO

- 本機には、電池は同梱しておりません。電池でお使いになる場合は、アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）をお買い求めください。
- CD-ROM、PC ラベルソフト取扱説明書は同梱されていません。当社ホームページ (<https://www.kingjim.co.jp/>) からダウンロードしてください。なお、ダウンロードの際はインターネット環境が必要となります。
- 本機にはパソコン接続用の USB ケーブルは同梱されていません。パソコン接続には市販の USB ケーブルをご使用ください（USB2.0/1.1 ケーブル A-B タイプ）。
参照  P.219 「パソコンに接続して使う」

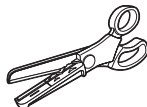
●別売品のご案内

本機には、以下の製品がオプションとして用意されています。本機と合わせてご利用ください。



ヘッド・クリーニングテープ (SR36C)

テブラ本体のヘッドクリーニング用のテープです。



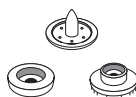
トリマー (RT36W)

ラベルのカドを丸くカットし、ラベルをはがれにくく、見た目にも美しく仕上げるハサミ型トリマーです。4～36mm幅のラベルの「カド丸」加工が可能です。ラベルの前後余白調整にも便利です。



お名前タグメーカー (SRT10)

「テブラ」PRO テープカートリッジリボンに「スナップボタン」を取り付けて、オリジナルのお名前タグが作れます。



スナップボタン (SRTB1)

プラスチック製のボタンが20組入った「お名前タグメーカー」専用のオプション品です。



システムトランク (SR10BT)

耐衝撃性に優れたトランクです。「テブラ」PRO 本体をはじめ、テープカートリッジ、同梱品、別売品などを一括して持ち運び、また保管することができます。



テープカートリッジケース (SR4TH)

A4 ボックスファイルサイズにテープカートリッジ (12mm 幅 40 個分) が収納可能です。4 つのボックスでテープ色・幅・種類ごとに整理できます。

MEMO

詳細については、当社ホームページ (<https://www.kingjim.co.jp/>) をご覧いただくか、またはお買い上げ販売店、「テブラ」取扱店、当社お客様相談室にお問い合わせください。

参照 P.276 「アフターサービスについて」

●まず、使ってみよう…すぐ使いたい人のために

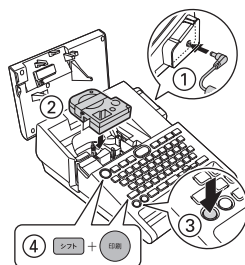
準備

ラベル作成の準備をします。参照 P.23「使う前の準備」

- 1 ACアダプタを本機に接続する
- 2 テープカートリッジをセットする
- 3 電源を入れる
- 4 テープ送りをする

本機ではテープ種類によって表示される画面が異なります。

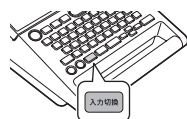
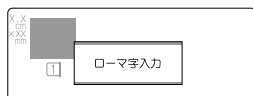
テープカートリッジをセットした直後は必ず
テープ送りをしてください。



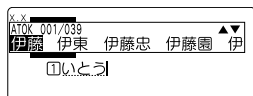
文字を入力する（例・伊藤）

印刷する文字を入力します。参照 P.32「文字を入力する」

- 1 入力切替を押して、「ローマ字入力」または「かなめくり入力」を選ぶ



- 2 文字を入力する→仮確定文字で入力されます



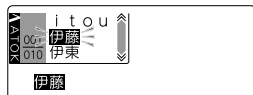
ローマ字入力 : I^ロ、T^ロ、O^ロ、U^ロ

かなめくり入力 : あ × 2回、た × 5回、お × 3回

※ 入力直後は ▲ ▼ で予測入力の候補から単語を選択できます。

参照 P.38「■ 予測入力を使う」

- 3 「伊藤」が表示されるまで 変換スペースを押す



候補が表示されます。

変換スペースを押すたびに候補が変わります。

- 4 選択/改行を押す→「伊藤」が確定します



行頭マークが 1 になります。

ラベルの見栄えを変更するには…。

書体 …押すたびに書体を切り換えます。

文字サイズ …押すたびに文字サイズを切り換えます。

縦・横 …押すたびにラベルの向きを切り換えます。

外枠 …押すと直接外枠メニューに移動します。

その他の機能については「ラベルの見栄えをよくする（編集）」を確認してください。

参照  P.67

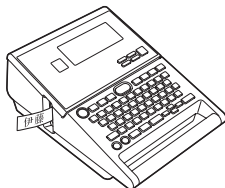
印刷する

1 **（印刷）を押す→ラベルが印刷されます**

印刷終了後、テープは自動カットされます（一部テープを除く）。

テープは絶対に手で引っ張らないでください。

参照  P.46「印刷する」



ラベルを貼る

1 裏紙をはがし、しっかりとこすって貼り付ける

参照  P.48「ラベルを貼る」

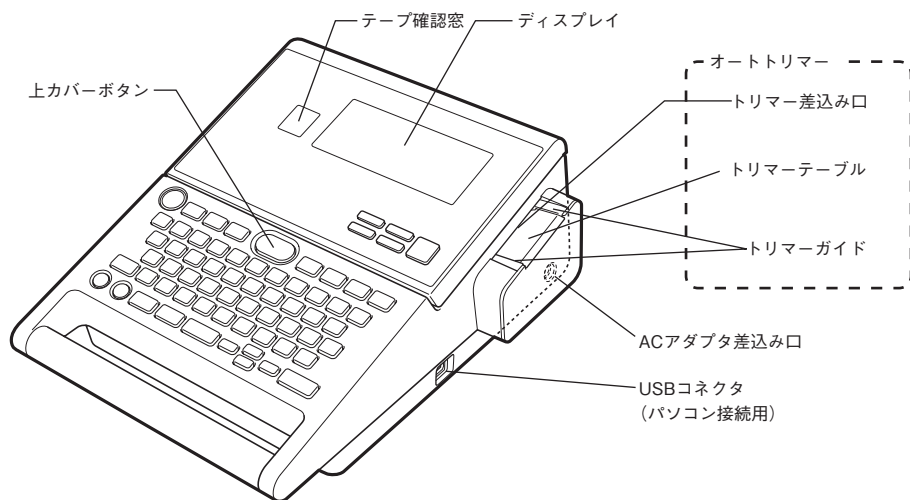


準備編

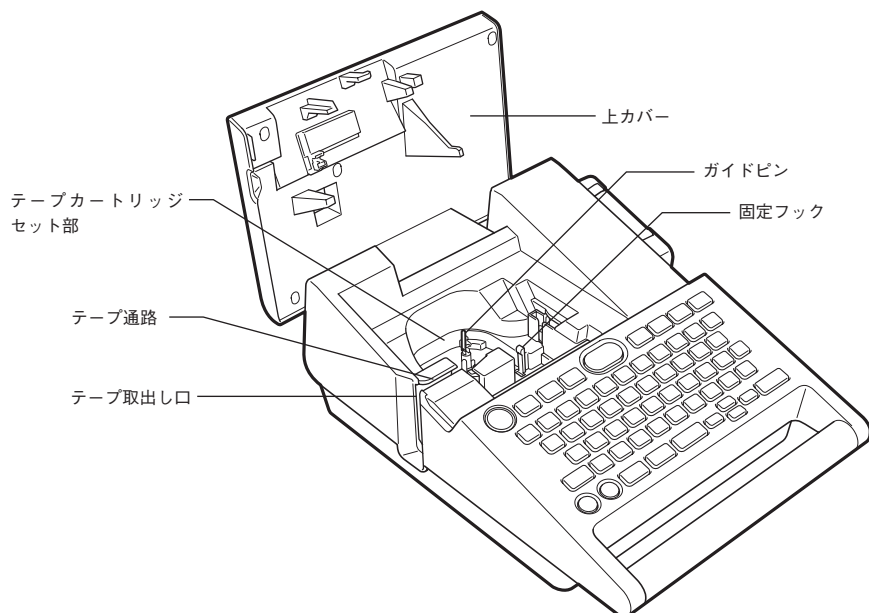
本機に AC アダプタを接続し、電源を入れます。
本機をはじめてお使いの方は、ここからお読みください。

●各部の名前とはたらき

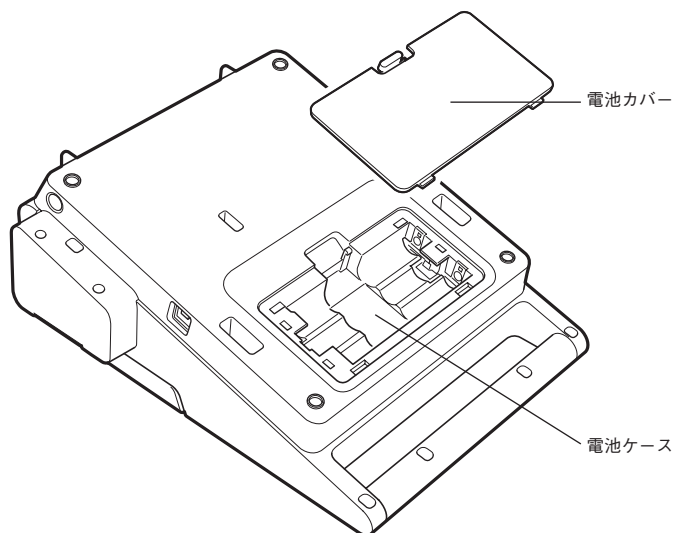
本機各部の名前（表）



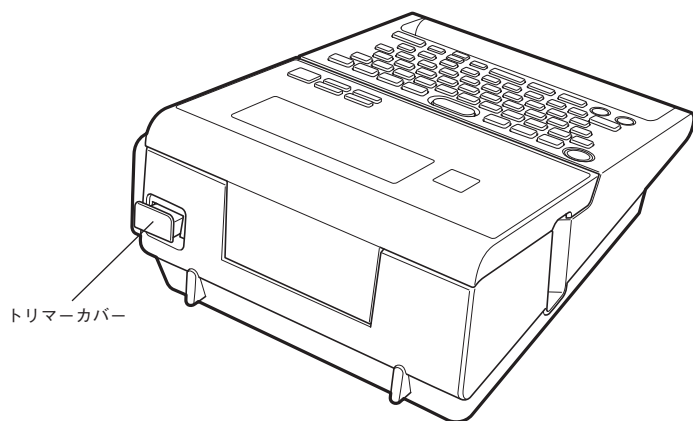
本機各部の名前（内部）



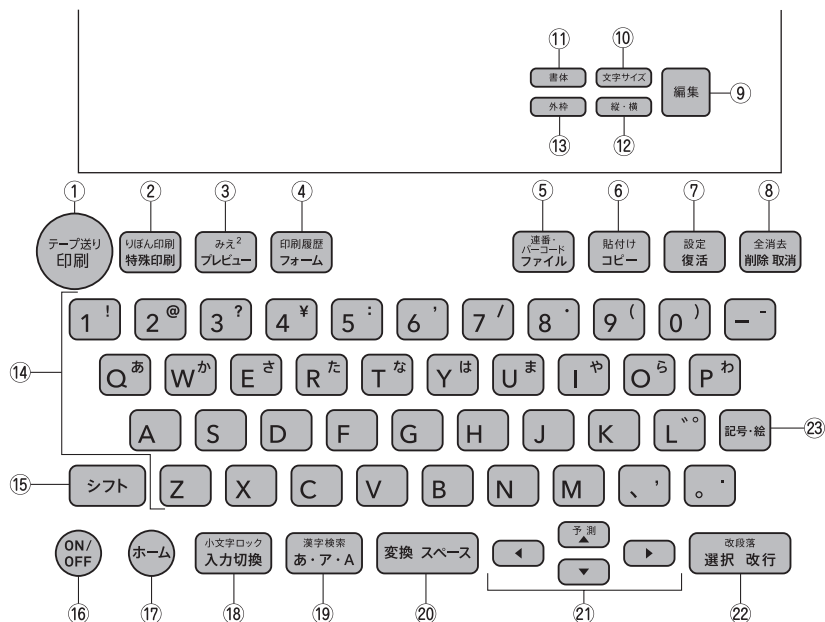
本機各部の名前（裏）



本機各部の名前（背面）



操作パネルの名前とはたらき



各ボタンの機能を説明します。[シフト] + [] となっている表記は、[シフト] を押しながらそのボタンを押したときの機能です。

① [印刷] (印刷)

入力内容をテープに印刷します。

参照 P.46

[シフト] + [印刷] (=テープ送り)

テープを約 19mm 空送り、またはカットします。送り長さを指定して空送りすることもできます。カットラベルの場合は 1 枚空送りします。

参照 P.29

② [特殊印刷] (特殊印刷)

連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷、ピットコード印刷をします。

参照 P.178

[シフト] + [特殊印刷] (=りぼん印刷)

りぼん連続印刷、お名前タグ印刷をします。

参照 P.185

③ [プレビュー] (プレビュー)

印刷イメージを確認します。

参照 P.45

[シフト] + [プレビュー] (=みえ²)

テキスト画面の表示を切り換えます。

参照 P.211

④ [フォーム] (フォーム)

デザインフォーム、ビジネスフォーム、ケーブルフォーム、カットラベルフォームの呼び出しをおこないます。

[シフト] + [フォーム] (=印刷履歴)

印刷履歴の呼び出しをおこないます。

参照 P.168

⑤ [ファイル] (ファイル)

作成した文章を保存したり、あて名、名前、辞書、外字を登録します。また、ビジネスフォーム、ケーブルフォーム、カットラベルフォーム、カットラベル・バンドウィットフォームの入力画面からファイルの保存や呼び出しをおこないます。

参照 P.94

[シフト] + [ファイル] (=連番・バーコード)

連続番号やQRコード・バーコードの入力をおこないます。参照 P.170

⑥ [コピー] (コピー)

入力済みの文字をコピーします。参照 P.54

[シフト] + [コピー] (=貼付け)

コピーした文字を貼り付けます。参照 P.54

⑦ (復活)

削除した文字や文章をもとに戻します。

参照  P.53

 + (=設定)

カット設定、おすすめ印刷、おすすめフォーム、画面の表示濃度、編集機能の保存値など、各種設定を変更します。参照  P.193

⑧ (削除、取消)

カーソル位置(カーソルの左側)の文字を削除します。各種機能の操作中は操作が取り消されます。参照  P.53

 + (=全消去)

文章を消去します。参照  P.54

⑨ (編集)

文字の装飾や文字サイズ、ラベルのレイアウト、ラベルの長さなどを指定します。

参照  P.67

⑩ (文字サイズ)

文字サイズを指定します。参照  P.63

⑪ (書体)

書体を指定します。参照  P.62

⑫ (縦・横)

たて書き / よこ書きを切り換えます。

参照  P.64

⑬ (外枠)

外枠を指定します。参照  P.66

⑭ 文字ボタン (など)

文字を入力します。参照  P.32

⑮ (シフト)

機能ボタンと一緒に押すと、機能ボタンの上部に書かれた機能が働きます。文字ボタンと一緒に押すと、小文字や英記号などを入力できます。

⑯ (ON/OFF)

電源を ON/OFF します。参照  P.28

⑰ (ホーム)

メニュー画面やフォームの入力画面からテキスト画面に戻ります。

カットラベルのテープカートリッジをセットしているときは、カットラベルフォームメニューまたはテープ種類に合ったテキスト画面に戻ります。

USB ケーブルでパソコンと接続している場合は、パソコンリンク画面に戻ります。

⑱ (入力切換)

入力状態を「ローマ字→かなめくり→ABC」の順で切り換えます。参照  P.35

QR コードの用途「一般」では「ローマ字→かなめくり→ABC(半角)→ABC」の順で切り換えます。参照  P.176

「ABC 入力、ABC(半角)入力」時のみ

 + (=小文字ロック)

小文字入力状態に切り換えます。参照  P.40

⑲ (無変換)

仮確定のひらがな文字を、「ローマ字入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。「かなめくり入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。

参照  P.36

 + (=文字変換 / 漢字検索)

「ローマ字入力」時は、仮確定のひらがな文字を、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。「かなめくり入力」時は、仮確定および点滅表示のひらがな文字を、押すたびに「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。

参照  P.36

仮確定文字、点滅文字がない場合は、読みのわからない漢字を検索します。参照  P.190

⑳ (漢字変換、スペース入力)

仮確定のひらがな文字を漢字に変換します。仮確定文字、点滅文字がないときは、スペースを入力します。ATOK 変換画面では、次の変換候補を表示します。参照  P.39

㉑ (カーソルボタン、文節変更)

カーソルや選択候補を上下左右に移動します。

参照  P.52

ATOK 予測入力画面では   で予測候補を選択します。

ATOK 変換画面では   で変換対象の文節長さを変更し、 で確定します。

参照  P.32、33

 + (カーソルジャンプ、文節切り換え)

カーソルを段落先頭、段落末尾、行頭、行末に移動します。機能選択時は、先頭候補、最終候補を表示します。参照  P.52

ATOK 変換画面では  +   で変換対象の文節を切り換えます。参照  P.33

㉒ (選択、改行)

機能選択時の選択肢や、文字の入力、変換を確定します。仮確定文字、点滅文字がないときは、新しい行を作ります(改行)。参照  P.55

 + (=改段落)

新しい段落を作ります。参照  P.57

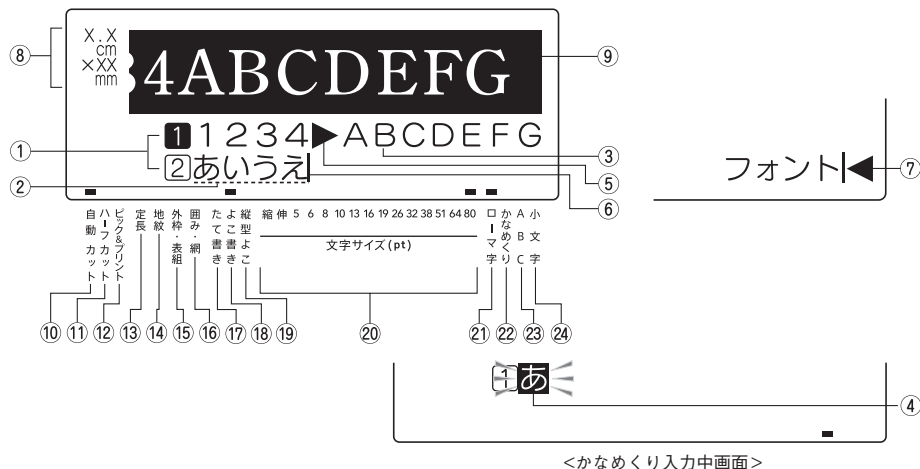
㉓ (記号・絵)

記号の入力や外字の呼び出しなどをおこないます。参照  P.42

●ディスプレイの見かたとはたらき

ディスプレイ（画面）の見かた

〈テキスト画面〉



① 行頭マーク (1 2...☒, 1 2...☒)

行頭に表示され、その行が何行目かを表示します。**1**、**2**はその行に印刷できる文字が入力されていることを表し、**1**、**2**はその行に文字がまだ入力されていない（確定していない）ことを表しています。**☒**、**☒**は印刷できない行を表しています。**☒**が表示されているときは、印刷することはできません。参照 P.55

② 仮確定文字（例：あいうえ）

仮確定の文字で、文字の下に点線が表示されます。**変換スペース**で漢字、カタカナ、英数字などに変換できます。仮確定文字は印刷されません。

③ 確定文字（例：1234ABCDEFG）

入力が確定した文字で、印刷することができます。

④ 点滅文字

「かなめくり入力」途中の未確定の文字で、同じボタンを連続して押すと文字候補が順に表示されます。

点滅表示の文字は、印刷されません。

⑤ 文字モード指定マーク (▶)

文字、行、段落単位で、書体、飾り字などの文字モードを変更すると表示されます。

参照 P.69

⑥ カーソル (|)

操作を実行する場所を示します。カーソル位置を基準に、文字や記号を挿入したり削除することができます。参照 P.52

⑦ フルメモリーマーク (◀)

入力可能文字数（約 500 文字）をオーバーして、これ以上入力できないときに表示されます。

⑧ 印刷情報

セットされているテープ幅と印刷したときの目安の長さを表示します。「みえ²」の設定によっては表示されないこともあります。

参照 P.211

⑨ 印刷イメージ

印刷したときのイメージを表示します。「みえ²」の設定によっては表示されないこともあります。

参照 P.211

⑩ 自動カット

自動カットがおこなわれるときに点灯します。

参照 P.196

⑪ ハーフカットインジケーター

ハーフカットがおこなわれるときに点灯します。

参照 P.196

⑫ ピック&プリントインジケータ

ピック&プリントがおこなわれるときに点灯します。参照  P.199

⑬ 定長インジケータ

定長印刷が指定されているときに点灯します。

⑭ 地紋インジケータ-

地紋印刷が指定されているときに点灯します。

⑮ 外枠・表組インジケータ

外枠や表組みが指定されているときに点灯します。

⑬ 囲み・網インジケータ

囲みや網が指定されているときに点灯します。

⑪ たて書きインジケーター

「たて書き」が指定されているときに点灯します。

⑮ よこ書きインジケーター

「よこ書き」が指定されているときに点灯します。

①⑨ 縦型よこインジケーター

「縦型よこ書」が指定されているときに点灯します。

②⑩ 文字サイズインジケータ

カーソル位置の文字のサイズに対応したインジケーターが点灯します。

数字はポイント数を表しています。

※ pt は約 1/72 インチ (約 0.35mm) です。

②① ローマ字入力インジケータ

「ローマ字入力」状態のときに点灯します。

②② かなめくり入力インジケータ

「かなめくり入力」状態のときに点灯します。

②③ ABC 入力インジケータ

「ABC 入力」状態のときに点灯します。

参照 P.40

「ABC（半角）入力」状態のときに点滅します。

参照  P.176

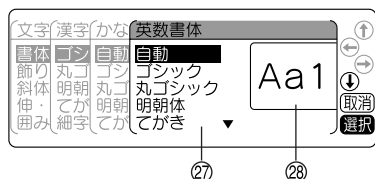
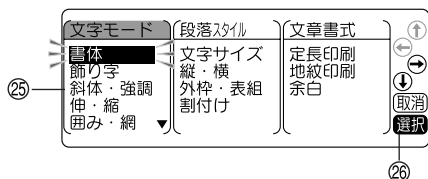
②④ 小文字入力インジケータ

小文字入力状態のときに点灯します。

参照 P.40

〈メニュー画面〉

機能を指定する画面は、テキスト画面と表示が異なります。このような機能や設定値を選択する画面をメニュー画面と呼びます。ここでは、編集メニューの画面を例に説明しています。



②⑤ ×ニユ一 (1 階層目)

編集 や ファイル を押したときに最初に表示されるメニュー一覧です。

◀ ▶ ▲ ▼ で機能を選びます。

②⑥ ボタンナビ

使用できるボタンを案内します。グレー(薄い色)になっているボタンは操作できません。

②⑦ ×ニユ一階層

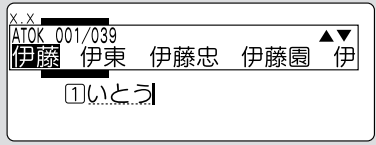
メニューの階層状態を表示します。例では、4階層目の選択候補一覧を表示しています。選択候補は   で選びます。

②⑧ イメージ表示、ガイド表示

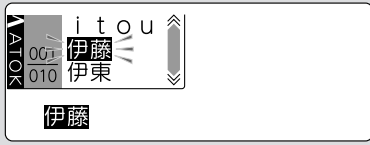
選択候補の指定結果をイメージで表示したり、
操作ガイドを表示します。

MEMO

文字の変換中は以下の画面（ATOK 予測入力画面、ATOK 変換画面）になります。
 詳しい説明については P.32 「文字入力をはじめる前に」を参照してください。



（ATOK予測入力時）



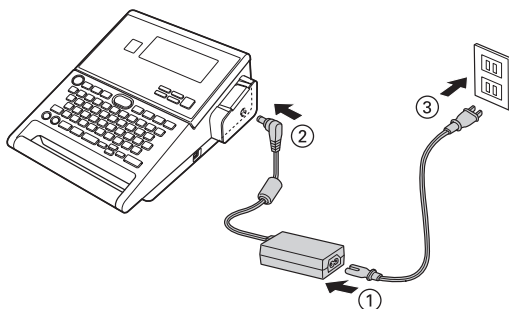
（ATOK変換時）

●使う前の準備

1. AC アダプタを接続する

同梱の AC アダプタ (AS1527J) で、家庭用コンセント (AC100V) から電源を取ります。

- ① AC アダプタのケーブルを接続する
- ② AC アダプタのプラグを本機右側面の AC アダプタ差込み口にしっかりと差し込む
- ③ AC アダプタの電源プラグを家庭用コンセントに差し込む



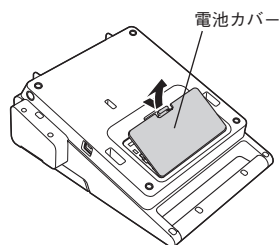
!! 注意 !!

- 使い終わったらすぐに AC アダプタをコンセントから抜き、本機からも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故も防げます。
- AC アダプタのコードは強く引っ張ったり、繰り返し折り曲げたりすると、断線することがあります。
- プラグのショートなどにより、安全機能がはたらき AC アダプタの回路が遮断されることがあります。
- AC アダプタは保証対象外です。

2. 電池（別売）を入れて使用するとき

本機にアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単 3 形× 6 本：別売）をセットします。外出先などで AC アダプタを使えないとき、この電池を電源にして印刷することもできます。

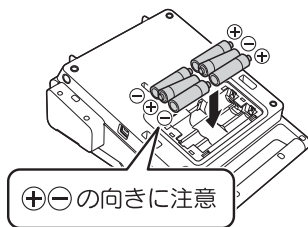
- ① 電池カバーをはずす
レバーを手前に引きながら電池カバーを持ち上げてはずします。



!! 注意 !!

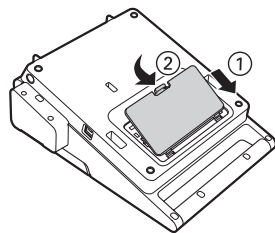
必ず、電源を切ってからおこなってください。

- ② 電池を入れる
電池の向きに注意して、アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単 3 形× 6 本）を入れます。



3 電池カバーをはめる

電池カバーの上の爪を本機のカバーの溝に合わせ、しっかりカバーをはめます。



!! 注意 !!

- 本機には単3形アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池をお使いください。その他の乾電池は使用できません。
 - 電池でも印刷できるだけの電源容量がありますが、電池での印刷は大変不経済です。できるだけACアダプタをお使いください。
 - ACアダプタは、必ず専用のACアダプタ（AS1527J）をお使いください。
 - ニッケル水素電池を使用するときは、環境設定で電池種類を「ニッケル水素電池」に変更してください。設定変更をしないと、電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことがあります。ただし設定を変更しても、電池の状態や使用条件によっては、消耗を知らせるメッセージが表示されないことがありますのでご了承ください。
- 参照 ☞ P.207「電池種類を設定する」
- 本機に充電機能はありません。ニッケル水素電池を使用する際には、必ず専用の充電器を使って、充電してください。

充電式ニッケル水素電池について

ニッケル水素電池は専用の充電器を使って充電すると、使用できるようになります。ニッケル水素電池をお使いの際には、以下のことをお守りください。

- (+) (-) 極に汚れがあると、正常に充電できない場合があります。(+) (-) 極と充電器の端子を乾いた柔らかい布でていねいにふいてください。
- お買い上げ時や、長期間使用していなかったニッケル水素電池は、十分に充電されない場合があります。これは電池の特性によるもので異常ではありません。充電を数回繰り返すことで正常に戻ります。
- 電池容量を使い切ってから充電することをおすすめします。電池容量を使い切らずに充電を繰り返すと、電池容量が持続しにくくなることがあります（メモリー効果といいます）。
- メモリー効果が発生したときは、印刷できない状態まで使い切ってから満充電を数回繰り返してください。電池容量が回復します。
- ニッケル水素電池は使用しないときでも自然放電により電池容量が低下することがあります。
- お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。
- ニッケル水素電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれて電池の容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命とされますので新しい電池をお買い求めください。
- 寿命は保管方法や使用状況、環境によって異なります。
- 不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで最寄の充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

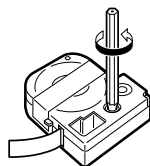
<https://www.jbrc.com/>

MEMO

- 電池での印刷の場合、AC アダプタ使用時より印刷速度が遅くなります。
 - 電池を使用する場合、AC アダプタ使用時よりも、を押してから印刷が始まるまでの時間が長くなることがあります。
 - 広い幅のテープに大きな文字を印刷する場合、一時的に大量の電力が消費されるため、新品の電池でも「電圧が低下しています。新しい電池を正しくセットしてください!」と表示されることがありますが、故障ではありません。
 - 電池が消耗すると、印刷スピードが遅くなります。さらに使い続けるとディスプレイに「電圧が低下しています。新しい電池を正しくセットしてください!」と表示されます。直ちにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）に交換するか、AC アダプタ（AS1527J）をお使いください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。
 - 新品のアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）では、常温で18mm幅のテープカートリッジ（8m）を1本は印刷できます。ただし、温度の低いところで使用したり、広い幅のテープに大きな文字を印刷したりすると、電池が早く消耗します。印刷時は、AC アダプタ（AS1527J）を利用することをおすすめします。
 - ご使用後は必ず電源を切ってください。
 - ディスプレイのバックライトを OFF にすると電池を節約できます。
- 参照  P.205 「バックライトの切換」
- 長期間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため電池を取り出して保存してください。
 - 寿命となったアルカリ乾電池を捨てるときは、定められた条例に従ってください。

3. テープカートリッジをセットする

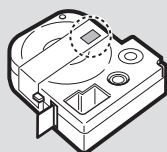
- 1 インクリボンのたるみを取る**
 セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて、たるみをとってください。



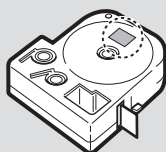
!! 注意 !!

本機では、**PR** マークのついたテープカートリッジを使用してください。
 その他のテープカートリッジを使用すると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。

カートリッジ表面



カートリッジ裏面



カートリッジ表面、裏面の記載を確認してください。



TAPE TAPE



使用できます



TAPE

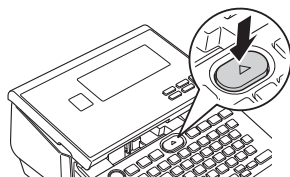


使用できません

- 2 上カバーボタンを押す**
 上カバーボタンを押すと、上カバーが少し開きます。

!! 注意 !!

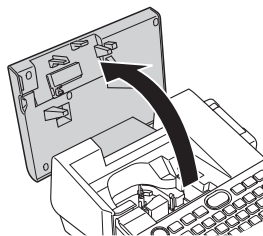
必ず、電源を切ってからおこなってください。



- 3 上カバーを開ける**

!! 注意 !!

- 上カバーはストッパーで止まります。無理に開けないでください。
- 上カバーを持って、本機を持ち上げないでください。

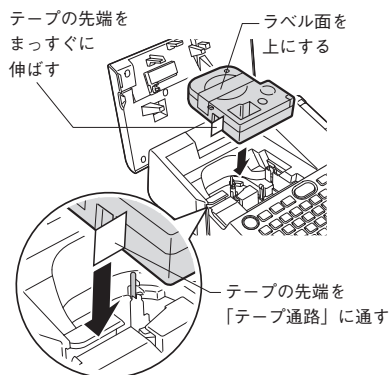


4 テープカートリッジをセットする

セットするテープカートリッジを、ラベルの貼ってある面を上にして、右上の穴に本体のガイドピンを通し、しっかりと押し込みます。

正しくセットすると、本機の固定フックにテープカートリッジが固定されます。

テープの先端が長めに出ているときや新品のテープカートリッジをセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミゾに通します。

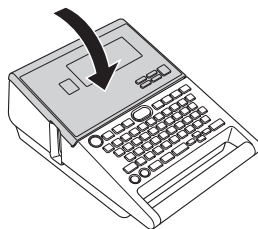


5 上カバーを開じる

上カバーを指で軽く押して閉じます。

!! 注意 !!

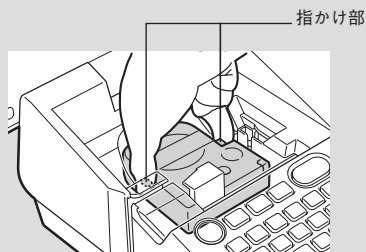
テープカートリッジをしっかりと押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。



MEMO

テープカートリッジの取り出ししかた

美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本機にしっかりと保持されていますが、上カバーを開けると同時にテープカートリッジの保持が解除され、取り出しやすい状態になります。取り出すときは、カートリッジ側面の「指かけ」部に指をかけ、まっすぐ上に持ち上げて取り出します。



!! 注意 !!

- テープカートリッジをしっかりと押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
- 本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mm、24mm、36mm の7種類の幅のテープカートリッジ、カットラベルのテープカートリッジを使用することができます。ただし、テープ幅によって印刷できる行数は異なります。

参照 P.55 「テープ幅と印刷できる行数」

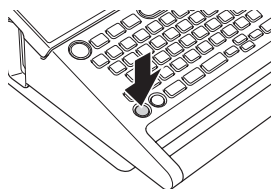
- テープカートリッジは、直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
- テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。
- テープカートリッジは奥までしっかりセットしてください。
- 本機で使用できない幅のテープカートリッジをセットした場合や正しくセットしていない場合は、「非対応テープ」や「テープ無し!」と表示されます。本機で使用可能なテープカートリッジを正しくセットしてください。

4. 電源を入れる

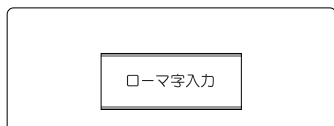
電源を入れる前にもう一度確認してください。

- AC アダプタは、本機とコンセントに正しく接続されていますか？
- 電池は正しくセットされていますか？（電池で使用する場合）

1  を押す



電源が入るとタイトル画面が表示されます。



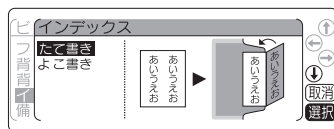
※設定されている入力状態が約 0.5 秒間表示されます。



※行頭マーク (1) とカーソル (I) が表示されます。

すでに文章が入力されているときは、タイトル画面のあとに文章が表示されます。

参照  P.20 「ディスプレイ（画面）の見かた」



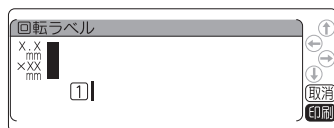
「環境設定」で「おすすめフォーム」を「表示する」に設定している場合は、一部テープで、タイトル画面の後にビジネスフォームのメニューが表示されます。

参照  P.204 「おすすめフォームを設定する」



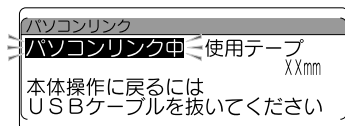
カットラベルのテープカートリッジがセットされている場合は、「カットラベルフォーム」メニューが表示されます。

参照  P.145 「カットラベルに印刷する」



カットラベル・バンドウイットのテープカートリッジがセットされている場合は、テープ種類に合ったフォームまたはテキスト編集画面が表示されます。

参照  P.162 「カットラベル・バンドウイットに印刷する」



USB ケーブルでパソコンと接続している場合は、表示および操作手順が異なります。

参照  P.219 「パソコンに接続して使う」

MEMO

オート・パワーオフ

電源が入ったまま約5分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、オート・パワーオフ機能により自動的に電源が切れます（電源が切れても入力した文章はなくなりません）。をもう一度押すと、オート・パワーオフ直前の状態に戻ります。

外字データや創作地紋データの作成・修正をしているとき、テープが終了して印刷再開が可能な状態、またはACアダプタを使ったパソコンリンクの状態では、オート・パワーオフ機能は働きません。

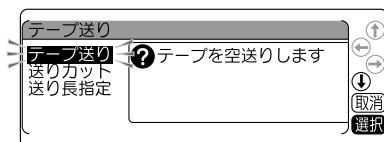
電源を切ると、オート・パワーオフよりさらに電池を節約できます。使わないときはこまめに電源を切るようにしましょう。

5. テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

- ① を押しながら（＝テープ送り）を押す
「テープ送り」メニューが表示されます。

- ②  で「テープ送り」または「送りカット」を選ぶ



- ③ を押す
「テープ送り」の場合は、テープが約19mm空送りされます。
「送りカット」の場合は、空送りされたあと、テープが自動的にカットされます（一部テープを除く）。

!! 注意 !!

- 「テープ送り」または「送りカット」をおこなうと、テープやインクリボンのたるみが取れます。テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。
- 自動カットインジケータが消灯しているときは、「送りカット」はできません。
参照  P.196 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」

MEMO

- 「送り長指定」を使うと、指定した長さ分だけテープ送りすることができます。
参照  P.187 「指定した長さでテープ送りをする（送り長指定）」
- ヘッド・クリーニングテープでは「テープ送り」をおこなったあと、続けて「テープ送り」をおこなうことができます。
参照  P.236 「ヘッド・クリーニングテープ（別売）を使う」
- カットラベルがセットされている場合は、フォーム入力画面で「テープ送り」または「送りカット」をおこないません。
- パソコンリンク状態でも、本体を操作してテープ送りを実施することができます。

つづいて

ラベルを作る準備が整いました。それでは、実際にラベルを作ってみましょう。

参照  P.32 「文字を入力する」

使いかた編 1

～簡単なラベルを作ろう～

最初に簡単なラベルを作ってみましょう。

文字入力、印刷など「テプラ」の基本操作を確認してください。

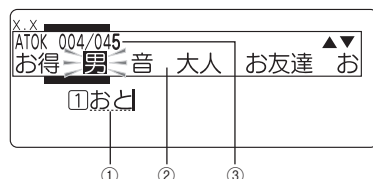
●文字を入力する

文字入力をはじめる前に

本機は、日本語入力システム「ATOK」を採用しており、文字変換のときに予測入力をはたらきます。予測入力は、予測候補を次々に表示して、スムーズな入力を支援します。また、連文節変換により、高度な変換精度を実現しています。

■ATOK 予測入力画面の見かた

本機は、何文字かをを入力した時点で、入力しようとする単語を予測し画面上に候補として表示します。予測候補が表示されている状態で $\blacktriangleleft$ $\blacktriangleright$ を押すと、候補を選択する予測入力画面になります。予測入力画面の見かたと使用できるボタンは以下の通りです。



①入力文字

入力した仮確定文字には点線が表示されます。

$\blacktriangleleft$ $\blacktriangleright$ を押すと、選択している入力候補で確定します。

②予測入力候補一覧

予測される入力候補を表示します。ネガ表示の候補は、現在選択されている候補です。

③予測候補番号 / 予測候補数

選択されている予測候補の順番と予測候補の総数です。

ATOK 予測入力画面で使用するボタン

ボタン名	機能
$\blacktriangleleft$ $\blacktriangleright$	予測入力候補の選択、および次の予測入力候補の選択
$\blacktriangleleft$ $\blacktriangleright$	次の予測入力候補の選択
シフト + $\blacktriangleleft$ シフト + $\blacktriangleleft$	最初の入力候補の選択
シフト + $\blacktriangleright$ シフト + $\blacktriangleright$	最後の入力候補の選択
選択 改行	入力候補の確定
変換 スペース	変換画面への移行 参照 $\angle$ P.33 「■ ATOK 変換画面の見かた」
変換	ひらがな、カタカナ、英字（「ローマ字入力」の場合のみ）への変換
削除 取消	予測入力画面を終了し、テキスト画面に戻る テキスト画面では文字を削除する
文字ボタン	予測入力画面を終了し、テキスト画面で文字を入力する

$\blacktriangleleft$ $\blacktriangleright$ は、予測入力画面になる前のテキスト画面では、カーソルの移動動作になります。

$\blacktriangleleft$ + $\blacktriangleleft$ となっている表記は、 $\blacktriangleleft$ を押しながらそのボタンを押す操作です。

■ ATOK 変換画面の見かた

本機は、文字を入力した状態で **変換スペース** を押すと、変換候補を選択する変換画面になります。変換画面の見かたと使用できるボタンは以下の通りです。



① 仮確定文字

仮確定前の全文字です。 **変換スペース** を押す前は点線が表示されています。

② 変換対象

仮確定文字中、ネガ表示されている部分が現在の変換対象です。 **▼** を押すと確定します。

③ 変換候補一覧

変換対象の変換候補を表示します。ネガ表示の候補は、現在選択されている候補です。

④ 変換候補番号 / 変換候補数

選択されている変換候補の順番と仮確定文字の変換候補数です。

文字の変換中に使用するボタン

ボタン名	機能
変換スペース	変換候補の表示、および次の変換候補の選択
▲	前の変換候補の選択
シフト + ▲	変換候補番号 001 の候補の選択
▼	変換対象を確定し、次の文節を変換対象とする
◀	変換対象の文節長さを短くする
▶	変換対象の文節長さを長くする
シフト + ◀	左の文節を変換対象とする（確定されていない場合のみ）
シフト + ▶	右の文節を変換対象とする
あ・ア・A、 シフト + あ・ア・A	ひらがな、カタカナ、英字（「ローマ字入力」の場合のみ）への変換
選択 改行	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面へ戻る
削除 取消	確定されていない文節を「読み」にし、テキスト画面へ戻る
復活	直前に確定した文節を「読み」に戻す
文字ボタン	仮確定文字を表示されている状態で確定し、テキスト画面に文字を入力する

シフト + [] となっている表記は、 **シフト** を押しながらそのボタンを押す操作です。

MEMO

- 変換候補には、漢字など通常の日本語の他に、カタカナ語を正しいスペルに変換する「カタカナ語英語」や「記号」「絵文字」も含まれます。
- 本機には、変換で簡単に呼び出せるように、業務向け用途で活用できる補助辞書の語彙があらかじめ登録されています。登録されている補助辞書は以下の通りです。

<搭載辞書一覧>

首都圏ランドマーク辞書、京阪神ランドマーク辞書、小学校用語辞書、出産育児用語辞書、健康・ダイエット辞書、家庭の看護・介護辞書、貿易用語辞書、営業・マーケティング用語辞書、経理・財務用語辞書、企業法務用語辞書、株式取引用語辞書、不動産取引用語辞書、品質管理用語辞書、電子部品用語辞書、プリント配線板用語辞書、液晶・ディスプレイ用語辞書、半導体用語辞書、自動車用語辞書、和英辞書（初級編）、和英辞書（中級編）

入力状態の切り換え

文字入力をする前に、入力状態を確認してください。

■ 入力状態の切り換え

を押すたびに「ローマ字入力」→「かなめくり入力」→「ABC 入力」の順で文字入力状態が切り換わります。

入力状態はインジケーターで確認できます。

参照  P.20 「ディスプレイの見かたとはたらき」

■ 文字入力のしかた

ローマ字入力

文字ボタンの 、、 でローマ字読みを入力します。

参照  P.265 「ローマ字変換表」

かなめくり入力

文字ボタンの 、、 でかなを入力します。

1 つの文字ボタンには、複数の文字が割り当てられています。文字ボタンを繰り返し押して、目的の文字を表示させます。

例：

押す回数 文字ボタン	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	……
	た	ち	つ	て	と	っ	た	……

- 目的の文字を通り過ぎたときは  を押しながら文字ボタンを押すことで前の文字に戻すことができます（リバース機能）。
- 「た」と「て」など、同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力する場合は、1 文字目を入力したあとに、 または  を押してカーソルを移動します。

ABC 入力

文字ボタンを押す、または  を押しながら文字ボタンを押すことで直接入力します。

参照  P.40 「英字を入力する」

MEMO

各文字ボタンに割り当てられている文字は、入力文字一覧表を参照してください。

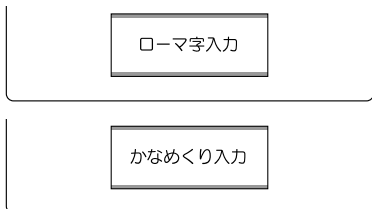
参照  P.238 「入力文字一覧表」

文字を入力する

ひらがなは文字ボタンで入力し、漢字やカタカナは、「読み」をひらがなで入力してから変換します。

■入力例：セット

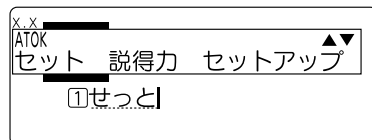
- 1 **入力切替** を数回押して「ローマ字入力」または「かなめくり入力」を選ぶ



- 2 「せっと」を入力する

ローマ字入力: **S**、**E**、**T**、**T**、**O**

かなめくり入力: **E** × 4 回、**T** × 6 回、
▶ (または **選択 改行**) × 1 回
(=カーソル移動)、
E × 5 回、
▶ (または **選択 改行**) × 1 回
(=カーソル移動)



仮確定文字で入力されます。

- 3 **変換 スペース** を押す



変換対象の 1 番目の候補が表示されます。
さらに **変換 スペース** を押すと、変換候補一覧が表示され、次の候補が選択されます。

- 4 「セット」になっている状態で **選択 改行** を押す



「セット」が確定します。
行頭マークが①から①に変わります。

MEMO

- **選択 改行** で確定した直後なら、**復活** で変換前の状態に戻すことができます。
- 文字を間違えたときは、**削除 取消** で文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
- 一度選択した語句は、次回から優先して表示されます (学習機能)。
- 「読み」を入力した直後に **選択 改行** を押すと、ひらがなのまま確定します。
- 「かなめくり入力」のとき、「っ」「と」のように、同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは **▶** または **選択 改行** を押してから、次の文字を入力してください。
- 入力した直後に **英・ア・A** を押すと、「ローマ字入力」時は押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に、「かなめくり入力」時は「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。また、**シフト** を押しながら **英・ア・A** を押すと、「ローマ字入力」時は「英字→ひらがな→カタカナ」の順に、「かなめくり入力」時は「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。変換後は、**選択 改行** を押して確定します。
- 2 文節目以降の語句を変換しなおす操作や変換対象の文節の長さを変える操作については、下記ページを参照してください。
参照 [P.39](#) 「長い文章を変換する」
参照 [P.39](#) 「変換する「読み」の長さをえる」
- ローマ字入力のスペルは、ローマ字変換表を参考にしてください。
参照 [P.265](#) 「ローマ字変換表」
- 一度に入力できる「読み」は 30 文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、末尾 14 文字だけとなります。また、長い「読み」を入力するとうまく変換できないことがあります。
- 数字ボタンに表記された記号「!」「¥」などは、**シフト** を押しながら該当する文字ボタンを押して入力します。
- 2 行目を作成するときは、**選択 改行** を押して改行します。
参照 [P.55](#) 「行を増やす (改行)」

濁音や拗音の入力について

濁音や拗音は、入力方法によって異なります。

	濁音 (「ざ」「ば」) 半濁音 (「ば」「べ」)	拗音 (「ゃ」「ゅ」「ょ」) 促音 (「っ」)
ローマ字入力	濁音、半濁音用のスペルで入力します。 参照  P.265 「ローマ字変換表」	次のいずれかの方法で入力します。 「きゃ」(, , ) などのように前の文字と組み合わせたスペルで入力する。 参照  P.265 「ローマ字変換表」 - 促音「っ」は、直後の文字の子音を2つ重ねる。 例: , , , ,  …「さっか」  または  を押してから通常の文字ボタンを押す。 例: , ,  …「っ」 ,  …「う」
かなめくり入力	清音のあとに、「  」や「  」を入力します。 () 直前の文字が、濁音・半濁音の両方がつく文字の場合(は行)には、濁音・半濁音が入力できます。 直前の文字が、濁音のみがつく文字の場合(か行、さ行、た行)には、濁音のみ入力できます。	該当する文字ボタンを数回押します。 例:  × 6回…「っ」  × 4回…「ゃ」

■ 予測入力を使う（入力例：大きな）

① **入力切替** を数回押して「ローマ字入力」または「かなめくり入力」を選ぶ

② 「おお」を入力する

ローマ字入力： **o**、**o**

かなめくり入力： **あ** × 5 回、

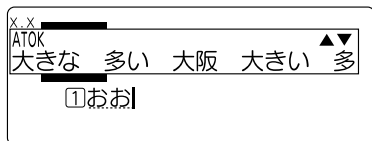
→（または **選択 改行**） × 1 回

（＝カーソル移動）、

あ × 5 回、

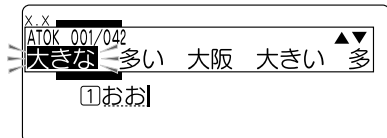
→（または **選択 改行**） ×

1 回（＝カーソル移動）



仮確定文字で入力され、予測入力の候補が上半分に表示されます。

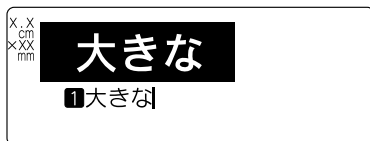
③ **↑**、**↓** を押す



予測入力画面になり、1 番目の候補が選択されます。

さらに **↑**、**↓** を押すと次の候補を選択します。

④ 「大きな」が選択されている状態で **選択 改行** を押す



「大きな」が確定します。

MEMO

- 一度選択した予測入力候補は、次回から優先して表示されます（学習機能）。予測入力の学習内容は「学習初期化」で初期化できます。
- 参照 [P.206](#) 「学習内容を初期化する」
- 予測候補のないテキストの場合は候補が表示されません。

長い文章を変換する

入力した文章が長く、ATOK 変換画面で表示されている仮確定文字の状態では正しくない場合は、を押して文節ごとに変換します。

例：「あすははれますか」を「明日は晴れますか」に変換する

- 1 「あすははれますか」を入力して を押す

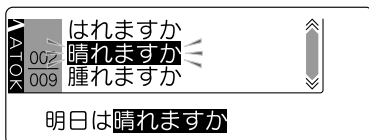
ATOK 変換画面になります。

- 2 1 文節目が正しく変換されている状態で を押す



1 文節目が確定し、次に 2 文節目が変換対象になります。

- 3 を押す



2 文節目の変換候補が表示されます。

- 4 正しく変換されている状態で を押す
2 文節目が確定します。
さらに長い文章の場合も、同様の操作を繰り返すことにより、文節ごとに変換することができます。

変換する「読み」の長さを変える

変換する「読み」の長さが違い、目的の漢字に変換できない場合は  を押して変換対象となる「読み」の長さを変えます。

例：「きのうえをかった」を「昨日絵を買った」に変換する

- 1 「きのうえをかった」を入力して を押す

ATOK 変換画面になります。

- 2 変換する変換対象の長さが適当でないときは  を押す



変換対象（ネガ表示部分）は で短く で長くなります。

 を押して「きのう」を文節にする



- 3 を押す



長さを変えた 1 文節目の変換候補が表示されます。

正しく変換されたら で確定し、2 文節目以降を変換します。

MEMO

- ATOK 変換画面で文字ボタンを押すと、仮確定文字は表示されている状態で確定し、続けて次の文字が入力されます。
- 一度に入力できる「読み」は 30 文字までです。ただし、ディスプレイに表示されるのは、末尾 14 文字だけとなります。また、長い「読み」を入力するとうまく変換できないことがあります。
- で確定した直後なら、で変換前の状態に戻すことができます。

英字を入力する

英字は、「ローマ字入力」または「ABC 入力」で、文字ボタンを押して入力します。小文字の入力には **シフト** を使います。

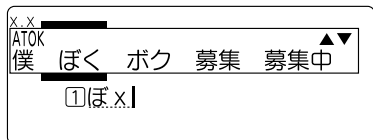
例：Box

■ ローマ字入力の場合

綴りを入力してから変換します。

1 「Box」を入力する

入力： **B**、**シフト** + **O**、**シフト** + **X**



「ぼ x」と表示されます。

2 **変換スペース**を押す



ATOK 変換画面になります。

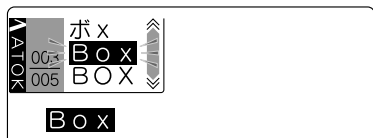
3 変換する文節の長さが適当でないときは **変換**を押す



「ぼ x」が変換対象（ネガ表示）になります。

4 **変換スペース**を押して「Box」を選択する

5 **決定**を押す



「Box」が確定します。

■ ABC 入力の場合

英字を入力するときに「ABC 入力」にすると、文字ボタンを押して、直接英字を入力できます。

1 **入力切替**を数回押して「ABC 入力」を選ぶ

2 「Box」を入力する

入力： **B**、**シフト** + **O**、**シフト** + **X**

(小文字ロックをしている場合)

入力： **シフト** + **B**、**O**、**X**)



「Box」が表示されます。

MEMO

小文字ロック

「ABC 入力」時に、**シフト**を押しながら **入力切替**を押すと、小文字入力状態に切り換わり、**シフト**を押していないときに小文字入力インジケータが点灯します。もとに戻す場合には、もう一度 **シフト**を押しながら **入力切替**を押します。

!! 注意 !!

半角英数字は QR コード作成時のみ入力できます。

参照 P.176 「QR コードを印刷する」

MEMO

- 文字ボタンに表記された英字を直接入力する場合は「ローマ字入力」または「ABC 入力」にしてください。「かなめくり入力」では入力できません。
- 「ローマ字入力」で文字を入力した直後に **あ・ア・A** を押すと、押すたびに、「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。また、**シフト** を押しながら **あ・ア・A** を押すと「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。
- 文字を間違えたときは、**削除** で文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
- 英語の「カタカナ読み」を入力して **変換 スペース** を押しても英字にできます（カタカナ語英語変換）。例えば、「ローマ字入力」または「かなめくり入力」で「ぼっくす」と入力して **変換 スペース** を押すと、正しいスペルの「box」が変換候補に表示されます。
- 変換対象の文節の長さを変える操作については、下記ページを参照してください。
参照  P.39「変換する「読み」の長さを変える」

スペースを入力する

スペースを入力すると、テキスト画面上に「**□**」（半角スペース）が表示され、印刷すると約半文字分の空白になります。

1 仮確定文字、点滅文字がないことを確認する

2 **変換 スペース** を押す



半角スペースが入力されます。

MEMO

- 仮確定文字、点滅文字があるときに **変換 スペース** を押すと、ATOK 変換画面になります。
- スペースには、半角スペース（**□**）のほか、1 文字分の全角スペース（**□**）があり、記号メニューで入力します。
参照  P.42「記号（絵文字）を入力する」
- 「ローマ字入力」「かなめくり入力」「ABC 入力」のいずれでも半角スペースが入力できます。

記号（絵文字）を入力する

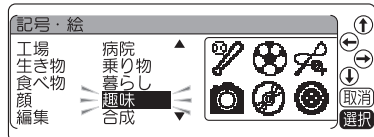
操作パネルに表記されていない記号や絵文字は、記号メニューから指定します。

1 記号 を押す

「記号」メニューが表示されます。

2 上 下 で分類を選ぶ

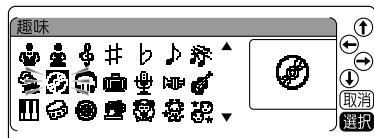
ここでは、例として「趣味」を選びます。



3 選択 実行 を押す

「趣味」の記号が表示されます。

4 左 右 で「絵」を選ぶ



5 選択 実行 を押す



「絵」が入力されます。

MEMO

- 仮確定文字、点滅文字があるときは、**記号**で記号を入力することはできません。
- 入力できる記号や絵文字は、付録を参考にしてください。
- 参照 P.249 「記号・外枠一覧表」
- 操作を途中でやめるときは、**キャンセル**を押してテキスト画面に戻ります。
- 一度選択した記号や絵文字は、次回から優先して表示されます（学習機能）。
- 記号メニューの「編集」内の記号はそれぞれ以下のはたらきをします。
 - 罫**（罫入力記号）：縦罫線を入力します。
 - ┐**（全角スペース）：全角スペースを入力します。
- 一部の記号は、記号名称の「読み」を入力して **変換スペース**を押すと、記号が変換候補に表示されます（記号変換）。
- 半角スペースは、**変換スペース**で入力できます。

田中 慶介	半角スペース
田中 慶介	全角スペース

ただし、「文字間」で「プロポーショナル」が「オフ」に指定されているときは、半角スペースでも約1文字分の空白として印刷されます。

参照 P.78 「●文字間」

- 記号メニューの「イラスト」内の記号は、通常の記号3文字分の大きなサイズのもです。
- 参照 P.43 「イラストを入力する」
- 記号メニューの「合成」内の記号は、文字やその他の記号と合成することができます。
- 参照 P.44 「丸つき文字などを入力する（合成）」

イラストを入力する

「記号」メニューから「イラスト」を選ぶと、3文字分の大きな絵文字を入力することができます。改段落で他の文章を組み合わせたり、つなげて使用することで、表現できるラベルの幅が広がります。



「診察中」のラベル
(デザインフォーム)



「立ち入り禁止」のラベル
(デザインフォーム)

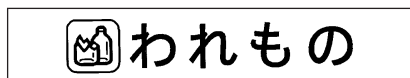
MEMO

- イラストは、絵文字3文字分の大きな絵文字です。イラスト内に文字カーソルを移動すると点線表示の状態で移動できますが、イラストは1つのブロックになっており、削除する場合、イラスト全体が削除されます。
 - コピーする場合も、イラスト全体をコピーします。
 - 合成はできません。
 - イラストをつなげて使用する場合は、該当箇所の文字間を「密着」に指定してください。
- 参照 P.78 「●文字間」

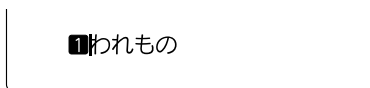
丸つき文字などを入力する（合成）

文字や記号を、○や□などの「合成記号」と合成してオリジナルの文字を作ることができます。「合成記号」には○×□□があります。文字や記号のほか、2桁数字、外字なども合成することができます。

例：



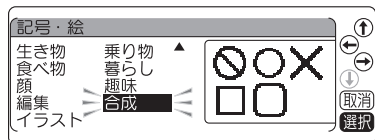
- ① 合成文字を入力する位置にカーソルを合わせる



- ② 記号を押す

「記号」メニューが表示されます。

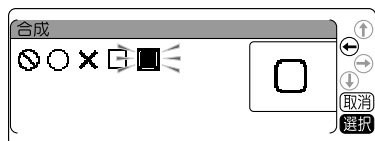
- ③ 「合成」を選び、選択 改行 を押す



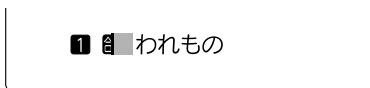
「合成記号」が表示されます。

- ④ 記号を選び、選択 改行 を押す

例の場合は、「□」を選び、選択 改行 を押します。

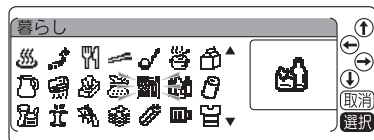


合成マークと入力エリアが表示されます。

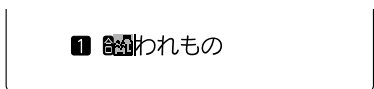


- ⑤ カーソルが合成マークの右にあることを確認し、合成する文字や記号を入力する

例の場合は、記号を押して「暮らし」メニューから「🏠」を選び、選択 改行 を押します。



入力エリアに合成する文字や記号が表示されます。



MEMO

- 操作を途中でやめるときは(←)を押してテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字、点滅文字があるときは、記号で合成文字を入力することはできません。
- 文字によっては、「合成記号」から文字や記号などがはみ出すことがあります。
- 文字サイズによっては、「合成記号」○×□□の一部が欠けることがあります。
- 合成文字を2文字以上続けて入力することはできません。続けて「合成記号」を入力すると、最初の合成文字の内容が置き換わってしまいます。続けて入力せずに、間にスペースなどを入れて入力し、そのあとにスペースを削除してください。
- イラストおよび連番、バーコードは合成できません。
- 記号メニューの「数字」内には、1～20の丸つき数字があります。

印刷イメージを確認する（プレビュー）

文字の入力が終わったら印刷します。印刷前に、印刷するイメージをディスプレイに表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

1 テープカートリッジを正しくセットしているか確認する

実際に印刷するテープカートリッジを正しくセットしてください。テープ幅が異なっていると、印刷イメージを正しく表示できません。

2 プレビューを押す

印刷イメージが流れるように表示されます。

お得なセット！
初回限定版Box

MEMO

- イメージの表示中に「あ・ア・A」「定長スペース」「◀」「▶」「▼」「▶」のいずれかのボタンを押すと、押している間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。
- プレビューを途中でやめるときは「印刷取消」または「選択 改行」を押してください。
- 定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長オーバー」と表示されます。このまま「選択 改行」を押すと、定長を解除してプレビューを強行します。

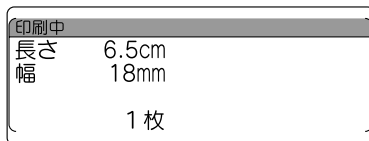
!! 注意 !!

- プレビューが表示されるのは、テキスト画面・フォーム入力時です。
- テープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープがありません!」と表示されプレビューは表示されません。
- 本機では、16m以上のラベルは印刷できません。印刷結果が16mを超える文章を入力した場合、プレビューは表示されず、ディスプレイに「入力した文章が長すぎます」のメッセージが表示されます。この場合は、いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻ってから、文字数を減らすか文字サイズの調整などをおこなってください。
- 行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバー!」が表示され、プレビューは表示されません。
- QRコードが大きい場合、「QRコードが大きすぎます!」が表示され、プレビューは表示されません。
参照 P.176「QRコードを印刷する」
- プレビューは印刷の目安です。実際の印刷結果と完全には一致しないことがあります。

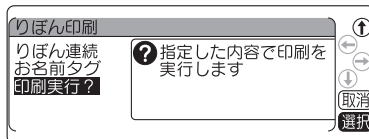
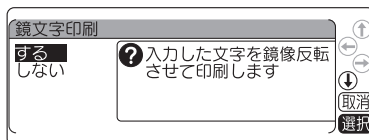
印刷する

印刷する前に、テープカートリッジを正しくセットしているか、AC アダプタ (AS1527J) を正しく接続しているかを確認してください。

- 1** **印刷** を押す
「準備中」と表示されたあと、できあがるラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷が始まります。
印刷が終わるとテープは自動的にカットされます (一部テープを除く)。印刷を途中でやめるときは **印刷取消** を押してください。



「環境設定」で「おすすめ印刷」を「表示する」に設定している場合は、一部テープで、「鏡文字印刷」または「りぼん」専用のメニューが表示されます。
参照 P.204 「おすすめ印刷を設定する」



MEMO

- 印刷を途中でやめるときは **印刷取消** を押してください。
- テープが終了するなど印刷が中断されたときは、印刷再開メニューが表示されます。
参照 P.180 「印刷中にテープが終了したら (印刷再開機能)」
- 印刷中に **印刷** を押すと印刷を中止し、テープをカットしたあとに電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと、ディスプレイに印刷枚数が表示されます。
- 印刷枚数表示は、印刷内容 (文字や書式など) を変えたり電源を切ると、自動的に「1 枚」に戻ります。また、印刷枚数 99 枚の次は「100 枚」その次は「1 枚」と表示されます。
- 地紋印刷時、または余白が以下の条件のときにハーフカットが無効になっていると、印刷前にテープが約 19mm カットされます。
 - 余白が「極少」、「少なめ」の場合 (全テープ幅)
 - 余白が「自動少なめ」の場合 (36mm 幅テープ以外)
 - 余白が「自動多め」の場合 (4mm、6mm 幅テープ)
- 特殊印刷 (連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷、ピットコード印刷) をおこなう場合は、**特殊印刷** を押します。
参照 P.178 「特殊な印刷」
- りぼん印刷 (りぼん連続印刷、お名前タグ印刷) をおこなう場合は、**シフト** を押しながら **特殊印刷** (= りぼん印刷) を押します。
参照 P.185 「りぼん印刷をする」
- ハーフカットをするときやテープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 幅の狭いテープや短いラベルを排出するときに、カットされたラベルが飛び出す場合があります。

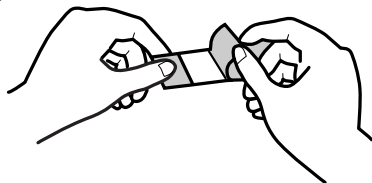
!! 注意 !!

- 耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・りぼんなどは印刷後に自動カットがおこなわれません。印刷が終わった後、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm（りぼんの場合は10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
参照 ☞ P.196 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」
参照 ☞ P.217 「テープカートリッジを使いわける」
- 耐熱ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・熱収縮チューブ・ロングテープ・上質紙ラベル・転写テープ・りぼん・カットラベルなどはハーフカットがおこなわれません。
参照 ☞ P.196 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」
参照 ☞ P.217 「テープカートリッジを使いわける」
- カットラベルは自動でハーフカットが無効になります。
- ラベルの内容が複雑な場合、印刷を開始するまでの処理時間が長いことがあります。
- テープ取出し口には指を入れないでください。
- 印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。
- 仮確定文字、点滅文字は印刷されません。
- テープが終了したままでは印刷できません。新しいテープに交換したあとで、印刷再開メニューから印刷を再開してください。
参照 ☞ P.180 「印刷中にテープが終了したら（印刷再開機能）」
- 印刷中には上カバーを開けないでください。印刷中に上カバーを開けると印刷が中断し、カバーを閉じたあとに印刷再開メニューが表示されます。
参照 ☞ P.180 「印刷中にテープが終了したら（印刷再開機能）」
- テープ取出し口付近に印刷したラベルがたまらないように注意してください。
- テープカートリッジをセットしていないとき、または正しい位置にセットしていないときには、「テープがありません！」が表示されます。
- 行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバー！」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、より広い幅のテープをセットしてください。
- QRコードが大きい場合、「QRコードが大きすぎます！」が表示され、印刷できません。
参照 ☞ P.176 「QRコードを印刷する」
- 印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じることがあります。
- 16mを超える印刷はできません。

ラベルを貼る

印刷されたラベルの裏紙をはがして貼ります。

1 裏紙をはがす



ハーフカットが有効の場合、ラベル部分のみをカットするので、裏紙をはがしやすくなります。

参照 P.196 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」

2 しっかりとこすって貼り付ける



MEMO

印刷したラベルのカドを丸くすることができます。参照 P.59 「カドを丸く仕上げる」

!! 注意 !!

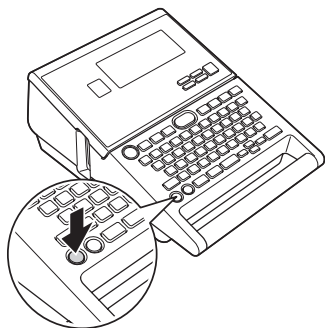
- ラベルの種類によっては、裏紙をはがれにくいものがあります。
- ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
- 白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒くなりますが、消しゴムなどで軽くこするとともに戻ります。
- 凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
- ぬれていたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかったりはがれやすくなったりすることがあります。
- ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわれることがあります。
- 雨、日光が直接あたる場所など、使用環境によってはラベルの劣化を早めるおそれがあります。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ちものなどにむやみにラベルを貼るのはやめましょう。
- 「テブラ」で得られるラベルについて

塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

●使い終わったら〈電源を切る〉

1 ●を押す

電源が入っている状態で●を押すと、終了のメッセージが表示されたあと、電源が切れます。電源を切っても、入力した文章やファイル、外字などのデータは保存されています。再度電源を入れると、入力した文章が表示されます。



2 AC アダプタ (AS1527J) をはずす

AC アダプタをコンセントから抜き、本機からプラグを抜いてください。コードは巻いておいてください。

!! 注意 !!

- 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、AC アダプタを抜かないでください。
- 長期間使わないときは、電池、AC アダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。
- 本機、電池、AC アダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。電池を取りはずしても、入力した文章やファイル、外字などのデータは保存されています。長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
- 電源は必ず●を押して切ってください。入力されているデータが正しく保持されない可能性があります。

つづいて

以上で基本的な操作は終了です。続いて「使いかた編2」で複数行、複数段落のラベルを作りましょう。また、「機能編」では、さらにいろいろな機能が利用できるようになるので、楽しいラベルが作れます。

使いかた編 2

～目的にあったラベルを作ろう～

複数行のラベルにしたり、文章を段落に分けるなど、文章を仕上げる機能を確認しましょう。

また、「カド丸仕上げ」にするなど用途に合わせたラベルを作りましょう。

●文章を作る

入力した文章に文字を挿入したり、入力した文章を消去するなどの変更ができます。

カーソルボタンの使いかた

画面に表示される縦線「**|**」をカーソルと呼びます。カーソルは文字を挿入・削除する位置を表します。



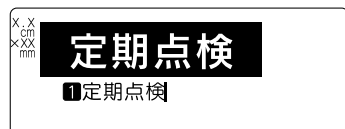
カーソルの移動にはカーソルボタン(◀ ▶ ▲ ▼)を使います。

本機のディスプレイには最大15文字×5行まで表示できます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した行や文字は隠れて見えなくなりますが、カーソルを移動すれば確認できます。

カーソルボタン	カーソルの移動方向
▶	右方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
◀	左方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
▲	前(上)の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
▼	次(下)の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
シフト + ◀	行頭へ移動します。 繰り返すと、前の行の行頭、さらに前の行頭……と移動します。
シフト + ▶	行末へ移動します。 繰り返すと、次の行の行末、さらに次の行末……と移動します。
シフト + ▲	段落の先頭へ移動します。 繰り返すと、前の段落の先頭、さらに前の段落の先頭……と移動します。
シフト + ▼	段落の終わりへ移動します。 繰り返すと、次の段落の終わり、さらに次の段落の終わり……と移動します。

シフト + [カーソルボタン] となっている表記は、シフトを押しながらそのボタンを押す操作です。

文章を入力する



文字はキーボードの文字ボタンで入力し、[変換スペース]を押して漢字などに変換します。

参照 P.32「文字を入力する」

文字を削除 / 挿入する

文字の後ろ（右側）にカーソルを合わせ  を押すと文字が削除されます。

文字を挿入するときは、挿入したいところにカーソルを合わせます。

例：「定期点検実施中」の「定期」を削除し、「特別」を入れて「特別点検実施中」にする

1   で「期」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

1 定期点検実施中

2  を押して「定期」を削除する

1 定期点検実施中



 x2 回

1 点検実施中

カーソル位置は行頭になります。

3 「特別」を入力する

1 特別点検実施中

!! 注意 !!

挿入によって文字数が入力可能文字数（約 500 文字）をオーバーしたときは、文末にフルメモリーマーク（◀）が表示され、文末の文字からオーバーした分だけ自動的に削除されます。

MEMO

間違って文字を削除した場合は、削除した直後なら  で復活できます。

削除した文字をもとに戻す（復活）

削除した文字や文章は、削除した直後なら  で復活できます。

例：「定期点検実施中」の「定期」を削除してから復活する

1 「定期点検実施中」を入力する

1 定期点検実施中

2   で「期」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

3  を 2 回押して「定期」を消す

1 定期点検実施中



 x2 回

1 点検実施中

4  を押す

削除した文字が復活します。

1 定期点検実施中

MEMO

- 仮確定の状態では削除した文字は、復活できません。
- 削除直後に       以外のボタンを押した場合は、次に  を押しても復活できません。
-  で削除した文字を 30 文字まで記憶できます。
- 全文消去も復活できます。
- 文字の貼り付けをやめることもできます。

文字をコピーする

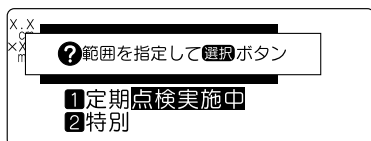
すでに入力した文字をコピーすることができます。

例：「定期点検実施中、特別点検実施中」で
2回目の「点検実施中」をコピーで挿入する

- 1 行目に「定期点検実施中」、
2 行目に「特別」を入力する
- 2     で「点」の前（左側）にカーソルを合わせる

1 定期点検実施中
2 特別

- 3  を押す
コピー範囲を指定する画面になります。
- 4   で範囲を指定し、 を押す



指定した範囲がネガ表示になり、 を押すと一時的に記憶されます。このあとの貼り付け操作で文字を貼り付けます。

MEMO

- 一度にコピーできる文字は 30 文字までです。
- バーコードの数値入力時や、あて名の郵便番号、カスタムバーコード入力時には、コピーや貼り付けはできません。

文字を貼り付ける

コピーした文字は、あらたにコピーするまで何度でも貼り付けることができます。

- 1     で貼り付け先にカーソルを合わせる

2 特別

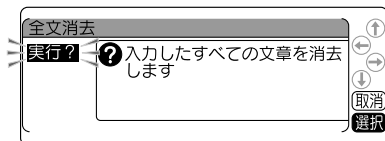
- 2  を押しながら  （＝貼付け）を押す
コピーされた文字が挿入されます。

2 特別点検実施中

すべての文章を消去する

入力した文章は電源を切っても消去されません。
入力した文章をすべて消去したいときは「全文消去」をおこないます。

- 1  を押しながら  （＝全文消去）を押す
「全文消去」メニューが表示されます。



- 2  を押す
全文消去され、テキスト画面に戻ります。

1

!! 注意 !!

全文消去は、入力したすべての文章が消去されます。文章の書体や外枠など各機能の指定内容も消去されます。消去をおこなう前に、充分に確認してください。

MEMO

- 削除した直後なら  で復活できます。
- 全文消去では、以下の内容は消去されません。
ファイル・あて名・名前・辞書・外字データ、文字地紋データ、創作地紋データ、編集の保存値、漢字や記号などの学習内容、文字の入力状態、「みえ²」の状態
- すべてを購入時の設定に戻りたいときは、本機の初期化をおこなってください。
参照  P.209 「本機を初期化する」

●行を増やす（改行）

2 行以上の文章を入力するときは「改行」をおこないます（**選択 改行**を押します）。

テープ幅と印刷できる行数

本機では4mm から36mm までの幅のテープおよびカットラベルを使うことができます。
セットされたテープカートリッジ幅によって、印刷できる文章の行数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm	36mm
印刷可能な行数	1 行まで	2 行まで	3 行まで	5 行まで	7 行まで	10 行まで	14 行まで

MEMO

- 表示されている文章が何行目にあるかは行頭マークで確認できます。行頭マークには空白行頭マーク**1 2**……**☒**、**1 2**……**☒**と、実質行頭マーク**1 2**……**☒**、**1 2**……**☒**の2種類があります。空白行頭マークは文字が何も入力されていないことを表し、その行は印刷されません。
- ☒ ☒**はこれ以上行数を増やせないことを表示しています。**☒**の表示があるときに**印刷**を押しても「行数オーバー！」が表示されます。不要な行を削除し、**☒**の表示がなくなったことを確認してから印刷をおこなってください。

参照 P.228 「こんな表示が出たときは」

新しい行を作る

行の終わりで**選択 改行**を押すと、新しい行に入力することができます（改行）。

例：3 行の文章を入力する

営業1課
営業2課
営業3課

1 「営業1課」を入力し、**選択 改行**を押す

1 営業1課



選択 改行

2 行目に行頭マークが表示されます。

1 営業1課
2

2 「営業2課」を入力し、**選択 改行**を押す

1 営業1課
2 営業2課



選択 改行

3 行目に行頭マークが表示されます。3 行目を
を入力します。

2 営業2課
3

MEMO

仮確定文字があるときは、**選択 改行**を押しても改行できず、文字が確定します。点滅文字があるときは、文字が仮確定状態になります。

文字を次行に移動する

行の途中で改行すると、カーソルより後ろ（右側）の文字は次の行に移ります。

例：「営業 1 課田中慶介」を 2 行にする

営業 1 課田中慶介



途中で改行すると

営業 1 課
田中慶介

- ① ◀ ▶ で「課」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

① 営業 1 課田中慶介

- ② 選択改行を押す
2 行目に行頭マークが表示され、「田中慶介」は 2 行目に移動します。

① 営業 1 課
② 田中慶介

MEMO

仮確定文字があるときは、[選択改行]を押しても改行はできず、文字が確定します。点滅文字があるときは、文字が仮確定状態になります。

改行を取り消す

行頭マークにカーソルを合わせて[削除改行]を押すと、その行の文章は前の行に移動し、連結されます。

例：2 行目での改行を取り消す

株式会社 ○×商事
営業部
営業 1 課
田中慶介



途中の改行を取り消すと

株式会社 ○×商事
営業部 営業 1 課
田中慶介

- ① 3 行目の行頭マーク③の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

② 営業部
③ 営業 1 課
④ 田中慶介

- ② [削除改行]を押す

3 行目の「営業 1 課」が 2 行目に連結されます。

4 行目の「田中慶介」が 3 行目になります。

② 営業部 営業 1 課
③ 田中慶介

MEMO

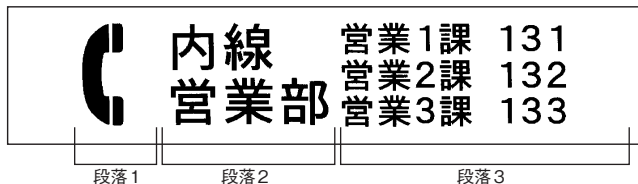
- 最終行の先頭にカーソルを合わせ、[削除改行]を押すと 4 行目の文章が 3 行目に連結され、4 行目は自動的に削除されます。
- 第 1 段落の 1 行目の行頭マーク①①は削除できません。

●段落を増やす（改段落）

下のラベルは3つのブロックからできています。本機ではこのブロックを「段落」と呼んでいます。段落とはテープ幅に積み重ねて印刷される「行の集まり（または1行）」のことです。1つのラベルの中にいくつかの段落を設けることで、いろいろな行数を混在させたり、デザインを段落ごとに変えたりすることができます。

段落は1つのラベル（文章）の中に最大32段落まで作ることができます。

段落が3つのラベル



印刷すると各段落は横につながって印刷されますが、画面上では下記のように各段落が縦にならんだ形になります。

【画面上では】

- | | |
|-----|--|
| 段落1 | 1 ☎ |
| 段落2 | 1 内線
2 営業部 |
| 段落3 | 1 営業1課 131
2 営業2課 132
3 営業3課 133 |

新しい段落を作る

段落の終わりで **シフト** を押しながら **選択 改行** (=改段落) を押すと、新しい段落ができます。

例：2 段落の文章を入力する

☎ 内線	営業1課	131
営業部	営業2課	132
	営業3課	133

段落1 段落2

① 段落 1 を入力する

1 行目に「☎内線」、2 行目「営業部」と入力します。

☎ 内線
営業部

② 文末にカーソルを合わせ、**シフト** を押しながら **選択 改行** (=改段落) を押す

新しい段落が発生し、その 1 行目の行頭マーク①が表示されます。

☎ 内線
① 営業部

③ 段落 2 を入力する

1 行目「営業 1 課 131」

2 行目「営業 2 課 132」

3 行目「営業 3 課 133」

と入力します。

改行のときは、行の終わりで **選択 改行** を押してください。

☎ 営業2課	132
☎ 営業3課	133

段落を分割する

段落の途中で改段落すると、カーソル位置より後ろ(右側)の文字は新しい段落に移ります。

例：新しい段落を増やす

☎ 内線	営業1課	131
営業部	営業2課	132
	営業3課	133

段落1 段落2

↓ 段落1の「☎」の後ろ
(右側)で改段落すると

☎ 内線	営業1課	131
営業部	営業2課	132
	営業3課	133

段落1 段落2 段落3

① 段落 1 の1行目「☎」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

☎ 内線
営業部

② **シフト** を押しながら **選択 改行** (=改段落) を押す

改段落され、カーソルより後ろ(右側)の文字は新しくできた段落に移ります。カーソルは新しい段落の1行目にあります。段落2はそのまま段落3に移ります。

☎ 内線

MEMO

- 仮確定文字があるときは、**シフト** を押しながら **選択 改行** を押しても改段落はできず、文字が確定します。点滅文字があるときは、文字が仮確定状態になります。
- 段落分割によって新しくできた段落の段落スタイルの内容は、もとの段落と同じです。
参照 P.80「機能の説明(段落スタイル)」
- もとの段落スタイルの文字サイズに行数が指定されていると、段落分割によって各段落の行数が変わり、指定した行数と一致しくなくなります。このとき、文字サイズは「均等」で印刷されます。
参照 P.80「●文字サイズ」

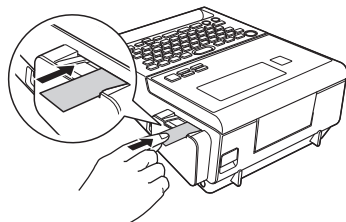
●カドを丸く仕上げる

ラベルをトリマー差込み口に挿入すると、ラベルのカドを丸く仕上げるができます。「カド丸仕上げ」にすると、見栄えがよいばかりでなく、ラベルがカドからはがれにくくなります。

9mm、12mm、18mm、24mm 幅テープのとき

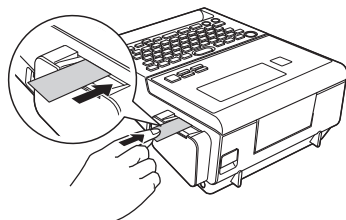
ラベルのカドを片側ずつ仕上げます。

- 1 ラベルの片側をトリマー差込み口の左右どちらかのガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む



- 2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く
カドが丸くカットされているか確認します。

- 3 ラベルの反対側をガイドに沿わせ、同様にカットする



36mm 幅テープのとき

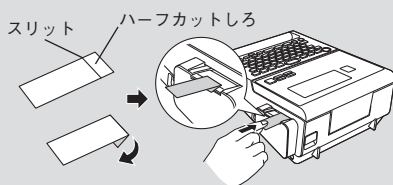
左右のカドが同時にカットされます。

- 1 ラベルの左右をトリマー差込み口のガイドに沿わせ、つき当たるまで差し込む
- 2 数回カット音がしたら、ラベルを抜く

お得なセット！
初回限定版Box 

MEMO

- ハーフカットのスリットが入っているラベルは、スリット部分を折り曲げ、トリマー差込み口に差し込んでください。



- ご購入時、「トリマーカバー」に製造工程での切断検査の切りクズが残っていることがあります。

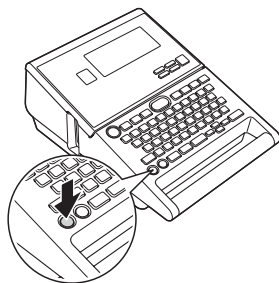
!! 注意 !!

- 印刷中および上カバーが開いているときはオートトリマーが作動しません。
- ラベルはトリマーガイドに沿わせてまっすぐ差し込んでください。
- ラベルはつき当たるまでしっかりと差し込んでください。
- オートトリマーにラベルを差し込んだままラベルを左右に動かさないでください。途中で引っかかり、うまくカドが丸くカットされることがあります。
- トリマー差込み口には、シャープペンシルやクリップなどラベル以外のものを入れないでください。オートトリマーが故障する原因となります。
- 4mm 幅、6mm 幅ラベルには、オートトリマーを使用できません。別売のトリマー(RT36W)を使ってカットしてください。
参照  P.12 「別売品のご案内」
- 耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・熱収縮チューブ・上質紙ラベル・マスキングテープ [mt] ラベル・りぼん・カットラベルはカットできませんので、オートトリマーに差し込まないでください。
参照  P.217 「テープカートリッジを使いわける」

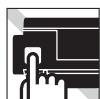
オートトリマーのお手入れ

「トリマーカバー」にはオートトリマーの切りクズがたまります。ときどき「トリマーカバー」をはずして掃除してください。

① 電源を押して電源を切る



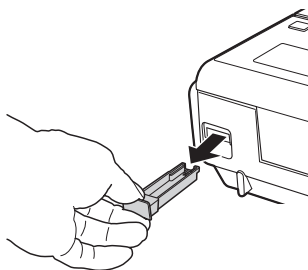
⚠ 警告



「トリマーカバー」をはずすときは、必ず電源を切ってください。「トリマーカバー」をはずしたまま作動させると刃で指を切ったりするなど、大変危険です。また、オートトリマーを掃除するときにはオートトリマー内部に絶対、指を入れないでください。指を切るおそれがあります。

② 「トリマーカバー」をはずす

「トリマーカバー」の下側に指を入れ手前に引きます。



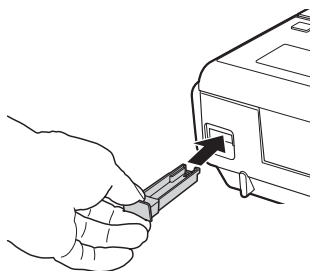
③ 切りクズを取り除く

「トリマーカバー」内にたまった切りクズを市販の綿棒などで取り除きます。



④ 「トリマーカバー」をはめる

「トリマーカバー」をもとのように取り付けます。



MEMO

- オートトリマーは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。
 - オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
- 参照 P.276 「アフターサービスについて」

機能編

～「テプラ」の機能を使いこなそう～

「文章全体の向きを変えたい」

「ラベルを見栄えよくしたい」

「入力した文章を保存しておきたい」

こんなときは各機能のボタンでレイアウトの変更や各種指定をおこないます。

●ダイレクトキーで書体を変更する

書体を使う

書体を使うと、ラベル全体の書体を以下の順で切り換えられます。

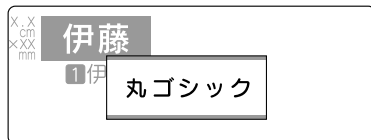
ゴシック→丸ゴシック→明朝体→てがき→細字てがき→行書体→波ゴ体→太型ゴシック→太丸ゴシック→太型明朝体→太型行書体



1 目的の書体になるまで書体を押す

書体を押すたびに、選択された書体が表示され、選択肢が切り換わります。

シフトを押しながら書体を押すと、選択肢が逆順で切り換わります。



MEMO

- 仮確定文字、点滅文字があるときは、書体を変更できません。
- 「書体」は編集機能の「書体」でも指定できます。
参照 P.79 「●書体」
- 段落ごとや文字ごとに「書体」を指定する場合や、かな専用書体、英数専用書体を指定する場合、編集機能の「書体」で指定します。
- 書体は文章全体の書体を変えます。「編集」機能で段落ごとや文字ごとに書体を指定している場合は、「▶（文字モード指定マーク）」前までの書体を変更します。また、漢字、かな、英数書体を別々の書体を指定していても、文章全体が同じ書体になります。

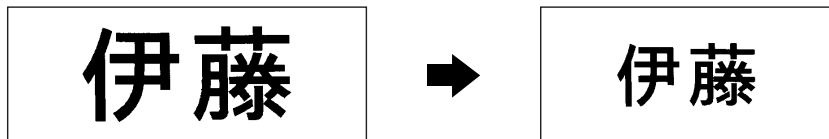
●ダイレクトキーで文字サイズを変更する

文字サイズを使う

文字サイズを使うと、カーソルのある段落の文字サイズを一段階ずつ切り換えられます。各行の文字サイズを「おかせフォーマット」の組み合わせから選択できます。

均等

中



選択できる文字サイズは、ラベルの行数によって次のようになります（文字サイズを押したときに表示される画面イメージとは若干異なります）。

ラベルの行数	文字サイズ
1 行	特大、大、中、小、細
2 行	大大、中中、大小、小小
3 行	均等、1 大、2 大、3 大
4 行	均等、1 大、2 大、3 大、4 大
5 行	均等、1 大、2 大、3 大、4 大、5 大
6 行	均等、1 大、6 大
7-14 行	均等

1 目的の設定になるまで文字サイズを押す

文字サイズを押すたびに選択肢が切り換わります。カーソルがある行の文字サイズは、ディスプレイのインジケータで確認できます。

シフトを押しながら文字サイズを押すと、選択肢が逆順で切り換わります。



MEMO

- 仮確定文字、点滅文字があるときは、「文字サイズ」を変更できません。
- 「文字サイズ」は編集機能の「文字サイズ」でも指定できます。
参照 P.80 「●文字サイズ」
- 文字サイズは、カーソルのある段落に対する指定です。
- 初期設定値（均等）に戻すには、編集機能の「文字サイズ」で「均等」を指定します。
- 選択肢を切り換えたあとは、プレビューなどでイメージを確認することをおすすめします。

●ダイレクトキーで文章全体の向きを変更する(縦・横)

縦・横を使う

縦・横を使うと、文章全体の向きを「縦」または「横」で切り換えられます。

よこ書きラベル

千代田区**
石原 大輔

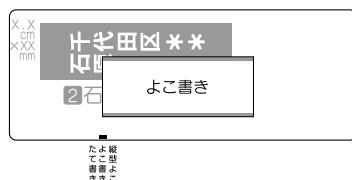
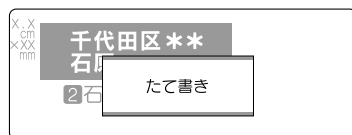
たて書きラベル

千代田区**
石原 大輔



1 縦・横を押す

「たて書き」と表示された場合は、たて書きになります。
「よこ書き」と表示された場合は、よこ書きになります。
たて書き・よこ書きは、ディスプレイのインジケータで確認できます。

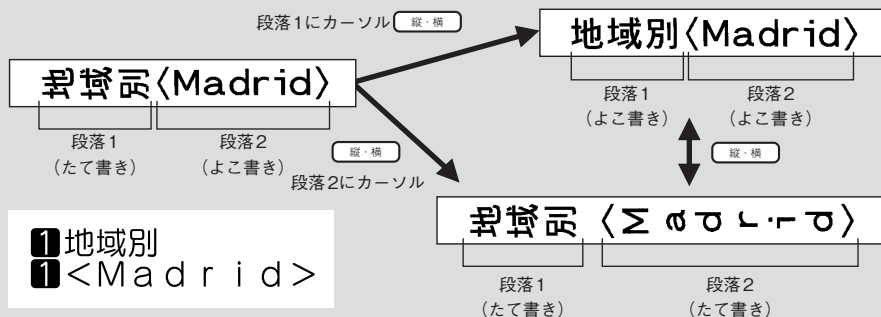


MEMO

- 仮確定文字、点滅文字があるときは、「たて書き」「よこ書き」は変更できません。
- 編集機能の「縦・横」では文章全体または段落単位で指定できます。
参照 P.67 「ラベルの見栄えをよくする(編集)」
- 編集機能の「縦・横」で「縦型よこ書」を指定している段落は、縦・横で変更できません。
参照 P.86 「●縦・横」

!! 注意 !!

縦・横は文章全体の向きを変えます。「たて書き」と「よこ書き」の段落が混在している文章の場合は、カーソルのある段落に対する変更が文章全体に反映されます。



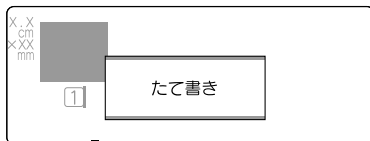
たて書きで 2 桁の数字を印刷する

「2 桁数字」は 2 桁の数字を 1 文字として扱うものです。たて書きのラベルで日付や住所の番地などに「2 桁数字」を使うと、きれいに揃えて印刷できます。

例：「14 回大会記録」を入力する

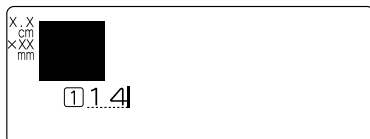
14 回大会記録

① **縦・横** を押して、「たて書き」を指定する

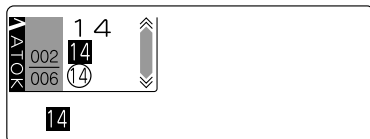


たて書き
でこの型
を印刷する

② **1** **4** と入力して **変換スペース** を押す



③ **変換スペース** を押して 2 桁数字の「14」を選び、**選択/改行** を押す



④ 続けて文章を入力する



MEMO

- 2 桁の数字は、**記号格** を押して「2 桁数字」を選んで入力することもできます。
- 仮確定文字、点滅文字があるときは、**記号格** で 2 桁数字は入力できません。

●ダイレクトキーで外枠を指定する

外枠を使う

外枠を使うと、直接外枠メニューに移動します。
文章全体のまわりにつける外枠を手軽に切り換えてできます。

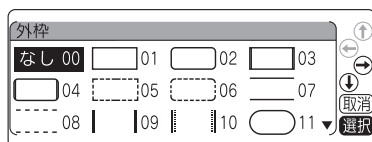
外枠なし

頭上注意

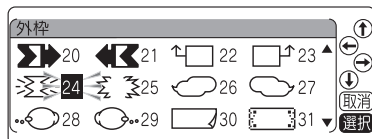
外枠あり

⇒頭上注意⇐

- 1 外枠を押す
外枠メニューが表示されます。



- 2 切り換えたい外枠を選び、選択/改行を押す



!! 注意 !!

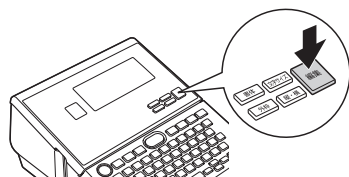
- 仮確定文字、点滅文字があるときは、外枠を変更できません。
- 記号外枠、表組みの指定はできません。
- 編集機能の「外枠」では文章全体または段落単位で指定できます。
参照 P.84 「●外枠・表組」
- 編集機能の「外枠」で、記号外枠、表組みを指定している場合も、外枠で選択した外枠に変更されます。
参照 P.84 「●外枠・表組」

●ラベルの見栄えをよくする（編集）

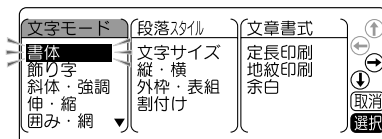
文字の書体や大きさを変えて、見栄えの良いラベルにすることができます。

ラベルの見た目を変えるには、**編集**を押して表示されるメニューから機能を選択します。

機能は、指定可能な範囲の違いによって、文字モード・段落スタイル・文章書式に分類されています。



表示されるメニュー



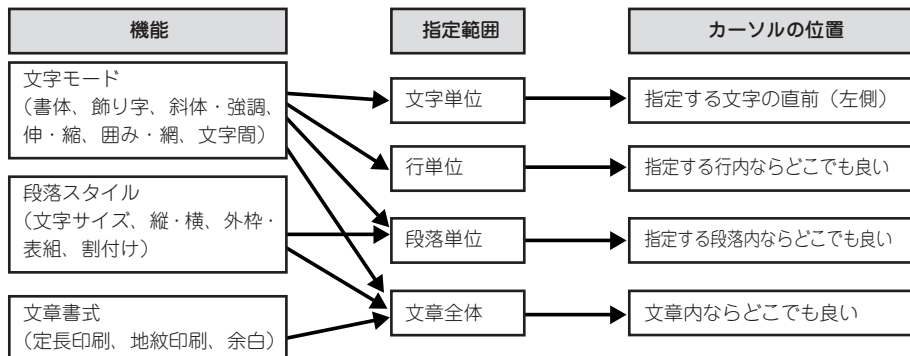
編集ボタンの機能

機能の分類	指定範囲	機能	内容
文字モード	文字単位 行単位 段落単位 文章全体	書体	漢字、かな、英数字の書体を指定します。
		飾り字	淡文字、白文字、影文字、白抜影の装飾をします。
		斜体・強調	斜体、強調、斜強調の装飾をします。
		伸・縮	文字を伸縮して変形します。
		囲み・網	下線、網かけ、囲みの装飾をします。
		文字間	文字の間隔を狭くしたり、広くしたりします。
段落スタイル	段落単位 文章全体	文字サイズ	行ごとの文字サイズを指定します。
		縦・横	たて書きや、よこ書き、縦型よこ書にします。
		外枠・表組	飾り枠、表組みを指定します。
		割付け	各行の割りつけ位置を指定できます。
文章書式	文章全体	定長印刷	できあがるラベルの長さを指定します。
		地紋印刷	背景全体に地紋を入れます。
		余白	ラベル前後の余白の長さを指定します。

編集の指定範囲とカーソルの位置について

機能を選択する場合、**編集**を押す前に、指定範囲に合わせてカーソルの位置を移動しておく必要があります。このカーソル位置を基準にして、メニュー操作の途中で範囲の指定をおこないます。

カーソル位置は、指定する機能や範囲によって異なります。次の図を参考にカーソルの位置を確認してください。



編集を指定する

編集は以下のような流れで指定します。

1 カーソルを合わせる

文字に指定するときは、指定する文字の直前（左側）にカーソルを合わせます。
行全体に指定するときはその行に、段落に指定するときはその段落内にカーソルを合わせます。
文章全体に指定するときは、カーソル位置はどこでもかまいません。
参照 P.67「編集の指定範囲とカーソルの位置について」

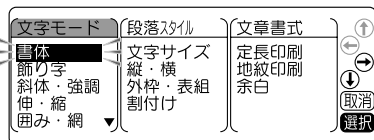
2 [編集] を押す

!! 注意 !!

文章中に仮確定の文字があるときは、編集は指定できません。

3 機能を選ぶ

◀ ▶ ▲ ▼ で目的の機能を選び、[選択 改行] を押します。



4 各機能の選択肢を指定する

◀ ▶ ▲ ▼ で目的の選択肢を選び、[選択 改行] を押します。



5 「終わり？」を選ぶ

1つの機能の指定が終わると、「終わり？」が表示されます。

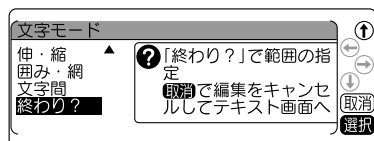
同じ分類の機能（この場合「文字モード」）であれば、続けて指定することができます。◀ ▶ ▲ ▼ で目的の機能を選び、[選択 改行] を押します。

以降の手順は 4 5 と同様です。

指定を終了する場合は、「終わり？」を選び、

[選択 改行] を押します。

手順 6 へ進みます。



MEMO

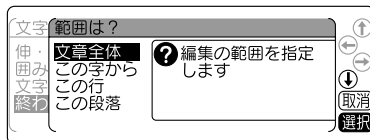
異なる分類の機能（この場合「段落スタイル」「文章書式」）を指定したい場合は、手順 7 の「編集続行？」で「する」を選択してください。

6 指定した機能の範囲を決める

指定した機能の範囲を指定します。

下表を参考に、  で指定する範囲を選び、 を押します。

〔「文章書式」の機能を選択した場合は、範囲の画面は表示されませんので手順⑦へ進みます。〕



●「文字モード」の機能を指定した場合

文章全体	文章全体に、指定した文字モードを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この字から	カーソルを合わせた位置に「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末（または、次の「▶」）まで、指定した文字モードを反映します。
この行	カーソルを合わせた行の行頭に「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。
この段落	カーソルを合わせた段落の行の先頭すべてに「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。

●「段落スタイル」の機能を指定した場合

文章全体	文章全体に、指定した段落スタイルを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この段落	カーソルを合わせた段落に、指定した段落スタイルを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

●「文章書式」の機能を指定した場合

範囲の画面は表示されません。

手順⑤で「終わり？」を選択した時点で、文章全体に指定した文章書式を反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

MEMO

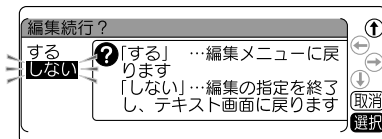
- ▶（文字モード指定マーク）は印刷されません。
- ▶は削除することができます。
- ▶を削除すると、その前にある「▶」の指定を反映します。
▶がない場合は、「文章全体」で指定した内容、または編集の保存値を反映します。
- 編集にある各機能のご購入時の状態（初期設定値）はP.70「編集メニュー一覧」で確認できます。
また、この設定はP.202「編集機能の保存値を設定する」で変更することもできます。
- 編集の指定の途中でまたはを押すと、1つ前の状態に戻ります。
この操作を繰り返すと、編集の指定を解除しテキスト画面に戻ることができます。
編集の指定の途中でを押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 一部の編集の指定内容は、インジケータの点灯で確認できます。
参照  P.20「ディスプレイの見かたとはたらき」
また、を押して、各機能の選択肢を表示させても確認できます。ネガ表示になっている選択肢が現在の指定内容です。
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。
- カットラベルフォームでの編集メニューは、通常テキストの編集メニューと異なります。
参照  P.151「カットラベル編集メニュー一覧」

7 編集を続けるかどうかを決める

  で編集を続行するかどうを選び、 を押します。

「しない」にした場合は編集を終了し、テキスト画面に戻ります。

「する」にした場合は手順③の編集メニューが表示されます。続けて、編集の各機能を指定することができます。



太字

機能編

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
文字モード 伸・縮 ▶ 伸・縮 行中の基本文字サイズに対し、どれだけ大きく（小さく）するかを指定します。基本文字サイズに対して「中並び」はセンター揃え、「下並び」は文字のベースライン揃えとなります。 参照 P.77	A ふつつ A 縮める ▶ A 小さく A 伸ばす A 細かく	（小さく、細かくのみ） A 中並び A 下並び
囲み・網 ▶ 囲み・網 下線や文字囲み、網かけなどを指定します。網は網濃度が選べます。 参照 P.77	A なし A 訂正線 ▶ A 網かけ A 下線 A 角囲み網 A 角囲み A 丸囲み網 A 丸囲み	（網かけ、角囲み網、丸囲み網のみ） 網濃度 ふつつ 濃い ベタ
文字間 ▶ 文字間 文字間隔を調整します。プロポーショナルは英数字に有効で、「オフ」にすると英数字も全角扱いになります。 参照 P.78	密着 ▶ 狭い ふつつ 広い	プロポーショナル オン オフ
終わり？ ▶ 終わり？ 指定後のみ表示され、文字モードの範囲を指定します。 参照 P.68	範囲は？ 文章全体 この字から この行 この段落	編集続行？ する しない

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
段落スタイル		
文字サイズ ▶ 均等 各行を同じ文字サイズにします。 らく² 入力文字数に応じて文字サイズを自動調整します。 おまかせフォーマット 各行の文字サイズを、ピクトグラフで表示される組み合わせのように指定します。 自由のび² 行ごとに文字の大きさを指定します。 参照 P.80、82	自動 ▶	均等 らく ²
	1 行 ▶	(おまかせフォーマット) 特大 1a 小 1d 大 1b 細 1e 中 1c
	2 行 ▶	自由のび² 大大 2a 大小 2c 中中 2b 小大 2d
	3 行 ▶	自由のび² 均等 3a 2大 3c 1大 3b 3大 3d
	4 行 ▶	自由のび² 均等 4a 3大 4d 1大 4b 4大 4e 2大 4c
	5 行 ▶	自由のび² 均等 5a 3大 5d 1大 5b 4大 5e 2大 5c 5大 5f
	6 行 ▶	自由のび² 均等 6a 下大 6c 上大 6b
	7-14 行 ▶	自由のび² 均等

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
段落スタイル 縦・横 ▶ 縦・横 文字の向きを指定します。 参照 P.86	たて書き よこ書き 縦型よこ書	
外枠・表組 ▶ 外枠 ピクトグラフのような飾り 枠がつけられます。 「?二?」（記号外枠）はオリ ジナルの外枠を作ります。 参照 P.84、85	なし 外枠 ▶	
表組み ピクトグラフのような表組 みのラベルを作ります。 参照 P.84	表組み ▶	

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
段落スタイル		
割付け ▶	 前揃え	 均等割
割付け 各行の文字の配置を指定します。 参照  P.83	 中揃え	 後揃え
終わり? ▶	範囲は?	編集続行?
終わり? 指定後のみ表示され、段落スタイルの範囲を指定します。 参照  P.68	文章全体 この段落	する しない

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
文章書式 定長印刷 ▶	しない		
定長印刷 決まった長さのラベルを作ります。 参照🔗 P.87	数値指定 ▶	(数値指定のみ) ▶ 1.4cm ~ 95cm	前寄せ 均等割 中寄せ 後寄せ
地紋印刷 ▶	なし		
地紋印刷 定型地紋の入ったラベルを作ります。ピクトグラフを参考に地紋の柄を選びます。 参照🔗 P.89	菱形 雪 星 唐草 点網	海波 菱網 桜 カド* 切抜	
文字地紋 文字地紋の入ったラベルを作ります。 参照🔗 P.90		(点網のみ) 網濃度 ふつう 濃い	
創作地紋 創作地紋の入ったラベルを作ります。 参照🔗 P.91	文字地紋 ▶	(文字地紋のみ) 地紋の文入力画面	
	創作 1 ~ 4 ▶	(創作 1 ~ 4 のみ) ▶ 創作地紋作成画面	創作地紋柄 小柄 大柄
余白 ▶	極少 1mm 少なめ 3mm おすすめ 4mm ふつう 10mm 多め 18mm 自動少なめ (テープ幅の 1/3) 自動多め (テープ幅と同じ)		
余白 ラベルの前後の余白を調整します。 参照🔗 P.92			
終わり? ▶	編集続行?		
終わり? 指定後のみ表示されます。 参照🔗 P.68	する しない		

機能の説明（文字モード）

●飾り字

文字の装飾を選択します。

ふつう

飾り字

淡文字

飾り字

白文字

飾り字

影文字

飾り字

白抜影

飾り字

MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。

●斜体・強調

文字の斜体、強調を選択します。

正体

斜体・強調

斜体

斜体・強調

強調

斜体・強調

斜強調

斜体・強調

MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。

●伸・縮

各行の基本文字サイズ（行の大小）は、テープ幅・入力行数・文字サイズの段落スタイル指定によって決まります。伸・縮はこの基本文字サイズに対して相対的な大きさを指定します。

ふつう (ご購入時の初期設定値)	これを選ぶと、基本文字サイズになります。
小さく - 中並び / 下並び	基本サイズより、1 段階小さい文字になります。これを選んでから、次に文字の位置を中並び / 下並びから選びます。
細かく - 中並び / 下並び	基本サイズより、2 段階小さい文字になります。これを選んでから、次に文字の位置を中並び / 下並びから選びます。
縮める	横の長さを基本サイズの約 0.75 倍にします。
伸ばす	横の長さを基本サイズの約 1.5 倍にします。

MEMO

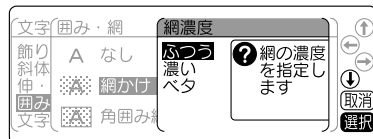
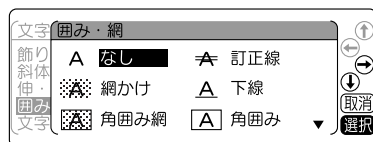
- 基本文字に対して、「中並び」はセンター揃え、「下並び」は文字のベースライン揃えとなります。
- てがき書体および英数専用書体（HV 体・BR 体・PL 体・ST 体）はベースラインが他の漢字書体やかな書体と異なるため、「下並び」を指定しても、他の漢字書体やかな書体とベースラインが揃いません。
- 基本文字サイズがすでに小さい場合は、「小さく」「細かく」を指定しても、文字の大きさが変わらない場合があります。
- 各行の基本文字サイズは段落スタイルの指定で変えることができます。
参照 P.80 「●文字サイズ」
- 装飾、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がつぶれることがあります。
- 細いテープを使っている場合など大きな文字サイズを使えないときに「伸ばす」を指定すると、文字の大きさが少し大きく見え、より目立つラベルを作ることができます。

●囲み・網

文字につける囲みや下線、網などを選びます。表示されるピクトグラフで囲み・網の種類を確認できます。網かけ、角囲み網、丸囲み網を選択した場合は、さらに網濃度を選べます。

!! 注意 !!

- 網濃度で「ベタ」を選ぶと、自動的に印刷速度が遅くなります。
- 網濃度で「ベタ」を選ぶと、自動的に飾り字が「白文字」に指定されます。
- 網濃度の指定を変更しても、テキスト画面の印刷イメージには反映されません。
- 網濃度で「濃い」または「ベタ」を選ぶと、印刷結果にムラが生じることがあります。



●文字間

文字の間隔を選びます。

密着

狭い

□□密着

□□狭い

ふつう（購入時の初期設定値）

□□ふつう

広い

□□広い

さらに文字間「プロポーショナル」の「オン／オフ」を選びます。

プロポーショナル「オン」

世界選抜 1-1 キングFC
UEHA選抜 0-2 キングFC

「プロポーショナル」を「オン」にすると、英数字にプロポーショナルがかかり、文字間を美しく調整して並べます。プロポーショナルとは英数字が美しく見えるように文字間を自動的に調整する機能です。

プロポーショナル「オフ」

世界選抜 1 - 1 キング F C
U E H A 選 抜 0 - 2 キング F C

「プロポーショナル」を「オフ」にすると、プロポーショナル機能が解除され、英数字（半角スペースを含む）をすべて全角文字として扱います。複数行で上下の文字の並びをきちんと揃えたいときは、「プロポーショナル」を「オフ」にしてください。

MEMO

文字間の指定について

- あらかじめ小さくデザインされている文字に「密着」を指定しても、密着しているように見えなことがあります。
- 複数の外字をつなげたロゴを作るときは、「密着」を指定すると完全につながったロゴが印刷できます。
参照  P.117 「外字を使う」
- イラストをつなげて使用する場合は、該当箇所の文字間を「密着」に指定してください。
参照  P.43 「イラストを入力する」
- 大きい文字では文字間を狭く、小さい文字では文字間を広くとると、美しいラベルが作れます。

●書体

文字の書体を選びます。かな書体と英数書体で「自動」を選ぶと、漢字書体と同じ書体が選択されます。

書体イメージは、指定中のガイドで確認できます。

書体の変更は **書体** でも指定できます。

参照  P.62 「ダイレクトキーで書体を変更する」



書体イメージ

MEMO

太型書体やてがき書体など、文字の大きさ等によってつぶれることがありますのでご了承ください。

機能の説明（段落スタイル）

●文字サイズ

文字サイズの指定は「均等」「らく²」「おまかせフォーマット」「自由のび²」で指定してください。
文字サイズの変更は「文字サイズ」でも指定できます。

参照 P.63「ダイレクトキーで文字サイズを変更する」

均等 (ご購入時の 初期設定値)	各行を同じ文字サイズにします。 12mm 幅テープ 2ndアルバム 発売中! 18mm 幅テープ 封入特典 サインストアイベント招待券 日時:6月10日 19:30~ 詳しくは店員まで
らく ²	入力文字数に応じて、文字サイズを自動調整します（フルオート）。 1行のとき：文字数が多くなると自動的に文字サイズを小さくします。 「テプラ」PRO 簡単・綺麗なラベルが作れる「テプラ」PRO 2行以上のとき：各行の長さがバランスよくなるように文字サイズを自動調整します。 堀之内 ◇0X0-20XX-20XX HORINOUCHI ◇0X0-20XX-20XX テープ幅や行数、文字数の割合に応じて、各行のできあがりの長さができるだけ揃うようにします。また、文字数が多くなってもラベル全体が長くなりすぎないように、文字サイズを自動調整します。
おまかせ フォーマット	各行の文字サイズ（行の大小）を、あらかじめ用意された組み合わせの中から選びます（セミオート）。参照 P.81「おまかせフォーマット（1行～14行）」
自由のび ²	行ごとの文字サイズを自由に選びます（マニュアル）。参照 P.82「自由のび ² 」

MEMO

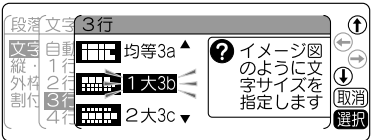
- 各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケーターで確認できます。
- カットラベルフォームで指定できる文字サイズは、上記とは異なります。

参照 P.155「●文字サイズ」

おまかせフォーマット（1行～14行）

選択肢から文字サイズ（行の大小）を選びます。表示されるピクトグラフで各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。

また、「自由のび²」を選ぶと、行ごとの文字の大きさ（行の大小）を自由に指定できます。



おまかせフォーマット 1 行

特大 1a・大 1b・中 1c・小 1d・細 1e と選んだ場合、テープ幅により次のような文字の大きさが印刷されます。

印字 サンプル	美美美美美美					
文字サイズ (pt)	80	64	51	38	32	26
テープ幅						
36mm	特大	大	中	小	細	—
24mm	—	—	特大	大	中	小
18mm	—	—	—	特大	大	中
12mm	—	—	—	—	—	特大
9mm	—	—	—	—	—	—
6mm	—	—	—	—	—	—
4mm	—	—	—	—	—	—

印字 サンプル	美	美	美	美	美	美	美
文字サイズ (pt)	19	16	13	10	8	6	5
テープ幅							
36mm	—	—	—	—	—	—	—
24mm	細	—	—	—	—	—	—
18mm	小	細	—	—	—	—	—
12mm	大	中	小	細	—	—	—
9mm	特大	大	中	小	細	—	—
6mm	—	—	特大	大	中	小	細
4mm	—	—	—	—	特大	大	中、小、細

!! 注意 !!

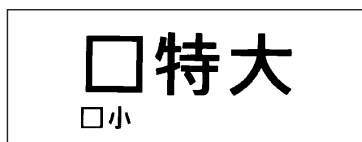
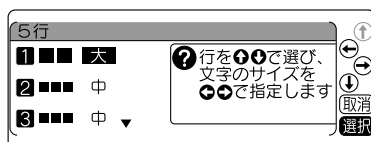
テープに印刷できる文字の大きさに制限があるため、テープ幅や印刷する行数によっては、おまかせフォーマットの一部が機能しない場合があります。各行の文字サイズは、文字サイズインジケータで確認してください。

MEMO

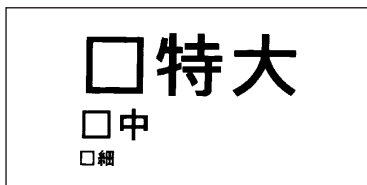
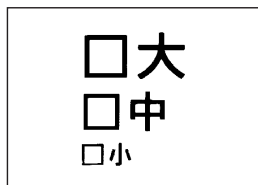
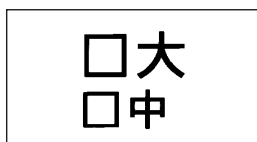
- ・ おまかせフォーマット（2 行以上）は、ピクトグラフで表現しています。
- ・ 各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケータで確認できます。
- ・ 指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。
- ・ カットラベルフォーム使用時の文字サイズ [pt] はカットラベルフォームのページに記載しています。
参照  P.155 「●文字サイズ」

自由のび²

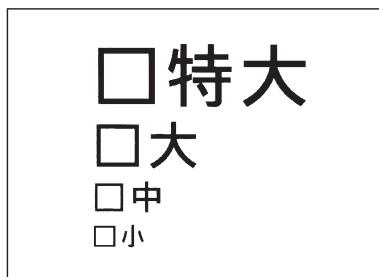
各行ごとに文字の大きさ（行の大小）を「細」「小」「中」「大」「特大」の 5 段階で、自由に指定できます。ただし、テープ幅や行数によっては異なるサイズを指定しても、印刷結果は同じになることがあります。



2 行（18mm 幅テープ）の印刷見本



3 行（24mm 幅テープ）の印刷見本



4 行（36mm 幅テープ）の印刷見本



5行（36mm 幅テープ）の印刷見本

MEMO

- これらの例は、自由のび²の組み合わせのごく一部です。
- 各行の文字サイズは文字サイズインジケータで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。

●割付け

複数行のとき、各行の「揃え」を指定します。

 前揃え（ご購入時の初期設定値）	行頭を揃えます。
 中揃え	各行の中心を揃えます。
 均等割	一番長い行の長さに揃えて他の行を均等に割りつけます。
 後揃え	行末を揃えます。

MEMO

文字間「密着」が指定されている場合、割付け「均等割」を指定しても、文字間「密着」が優先されます。

●外枠・表組

文章（段落）のまわりに外枠や表組みをつけます。

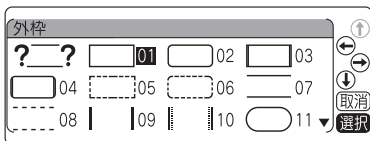
なし（ご購入時の初期設定値）

外枠・表組みをつけません。

外枠

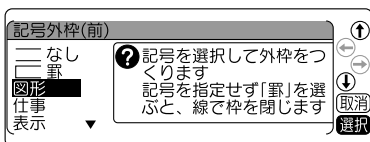
文章（段落）のまわりに外枠をつけます。

表示されるピクトグラフで外枠の種類を確認できます。



「?」を選ぶと、外枠の左右に配置する記号を選択して外枠を作れます。

参照 P.85 「記号外枠を指定する」



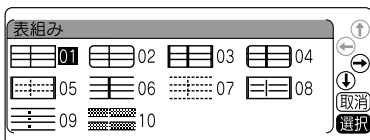
表組み

文章（段落）を枠で囲み、行間に横罫線を引きます。

また、複数の段落に同じ表組みを指定すると、前後に区切られた表ができます。

表示されるピクトグラフで表組の種類を確認できます。

備品名	RDS
管理番号	1103-U



MEMO

表組みのラベルの行中にさらに縦罫線を入れたいときは、**記号**を押して表示される記号メニューから「編集」を選択し、その中の**罫**を入力します。

ラベルの行中に縦罫線が入る

備品名	RDS本館
管理番号	1103-U

段落1 段落2

テキスト画面に**罫**を入力する

1 RDS **罫** 本館
2 1103-U

シフト + **選択 改行** で改段落をして、このように段落2を入力します。

記号外枠を指定する

記号外枠とは、外枠の前後を記号の中から選んでオリジナルの外枠を作る機能です。

例：

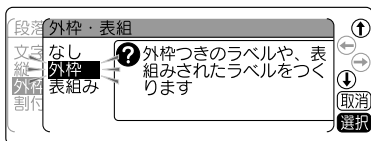


「記号外枠（前）」
で選択した記号

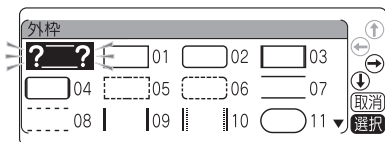
「記号外枠（後）」
で選択した記号

- 1 **編集** を押す
「編集」メニューが表示されます。

- 2 「外枠・表組」の「外枠」を選ぶ

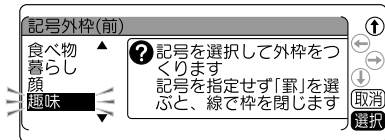


- 3 「?_?」を選び、**選択 改行** を押す



記号選択メニューが表示されるので、記号外枠の前部分を指定します。

- 4 外枠の前部分に配置する記号を選ぶ
例の場合は「趣味」の中から「」を選びます。



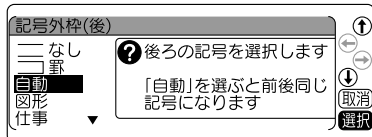
選択 改行



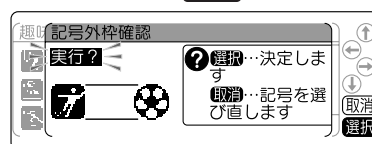
記号外枠の前部分が選択されます。続いて、後ろ部分を指定します。

- 5 外枠の後ろ部分に配置する記号を選ぶ
例の場合は「趣味」の中から「」を選びます。

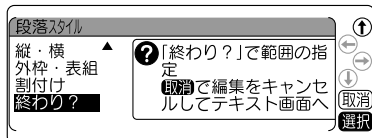
ここで「自動」を選ぶと、前部分と同じ記号が指定されます。



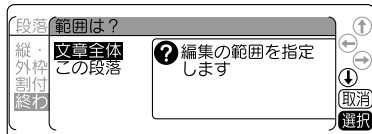
- 6 デザインを確認し、**選択 改行** を押す



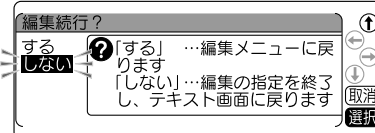
- 7 「終わり？」で **選択 改行** を押し、「範囲」を指定する



選択 改行



- 8 「編集続行？」で「しない」を選択し、**選択 改行** を押す



記号外枠が指定されます。



●縦・横

文字をたて書きにするか、よこ書きにするか、縦型よこ書きにするかを指定します。
たて書き / よこ書きの変更は 縦・横 でも指定できます。

参照  P.64 「ダイレクトキーで文章全体の向きを変更する（縦・横）」

よこ書き（ご購入時の初期設定値）

よこ書き

たて書き

たて書き

縦型よこ書

縦型
よこ書

MEMO

- 「縦型よこ書」を指定すると、段落スタイルの「文字サイズ」と文字モードの「文字間」の指定が反映されません。また、セットされたテーブル幅によって、入力できる文字数に制限があります。

テーブル幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm	36mm
入力可能な文字数	1 文字	2 文字	3 文字	5 文字	7 文字	10 文字	14 文字

- 「横型たて書」のラベルは、ビジネスフォームで作成できます。

参照  P.133 「■ 横型たて書」

機能の説明（文章書式）

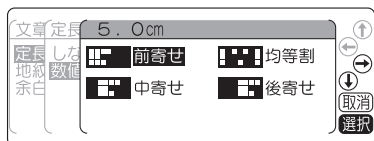
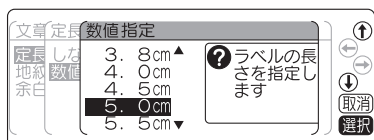
●定長印刷

印刷するラベルの長さを指定します。

長さを指定したあと、ラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。表示されるピクトグラフで位置のイメージを確認できます。



「数値指定」を選んだときは、ラベルの長さを指定してからラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。



MEMO

- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは、「入力した文章が長すぎます」が表示され、指定した長さで印刷することができません。定長印刷を無視して印刷するか、字数を減らしたり、行の大小指定や文字の伸・縮の指定で文字の大きさを小さくしてください。
- 定長印刷で指定するラベルの長さは一応の目安です。実際のできあがりの長さと完全には一致しません。
- ハーフカット無効で印刷する場合は、長さ「1.9cm」未満のラベルは印刷できません。

定長内に文字をおさめる「つめ²」機能

「文字サイズ」で「らく²」を指定すると、入力文字数に応じて自動的に文字サイズを調整します。この「らく²」と「定長」を指定し、定長内に段落をいくつか作って文字を入力した場合、定長で指定した長さに文字がおさまらない場合があります。

そんなとき本機では、定長で指定した長さにおさまるよう文字サイズを自動的に計算し、「らく²」を指定した段落の中で、後ろから順に段落単位で文字サイズを小さくする「つめ²」機能が働きます。

1 一番最後の段落の文字を小さくする

(図 A → B)

定長に入らない場合はまず、「らく²」を指定した段落の中で一番最後の段落(⑤)の文字サイズを1段階小さいサイズに置き換えます。これで定長におさまれば自動計算は終わります。

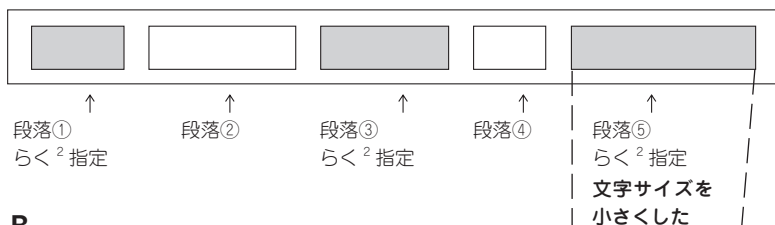
2 最後から2番目の段落の文字を小さくする(図 B → C)

①の方法でも定長に入らない場合は、「らく²」を指定した段落の中で最後から2番目の段落(③)の文字サイズを1段階小さくします。

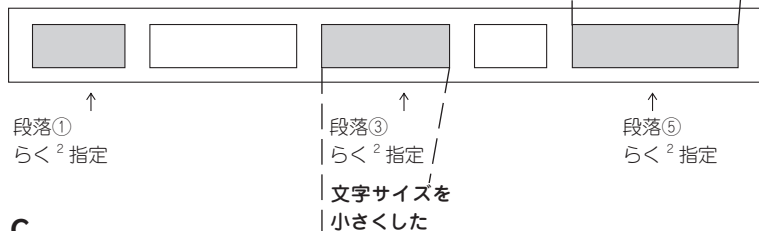
定長で指定した長さにおさまるまで、上記の処理をおこないます。

この処理を繰り返しても定長で指定した長さにおさまらない場合は「入力した文章が長すぎます」と表示されます。定長を指定しなおすが、文字を少なくするなどの操作をおこなってください。

A



B



C



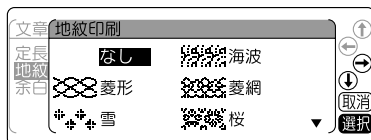
※段落②、④が「らく²」を指定していない段落です。

!! 注意 !!

- 「らく²」を指定していない段落は「つめ²」機能は働きません。
- 「らく²」以外の指定をしても実際の行数が指定と合わず結果的に「均等」になった段落については、「つめ²」機能による処理はおこなわれません。

●地紋印刷

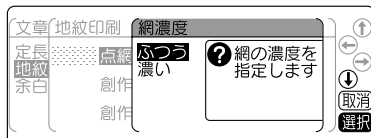
ラベルの背景全体に地紋をつけます。表示されるピクトグラフで地紋の柄を確認できます。



「点網」を選んだときは、さらに濃度指定ができます。

!! 注意 !!

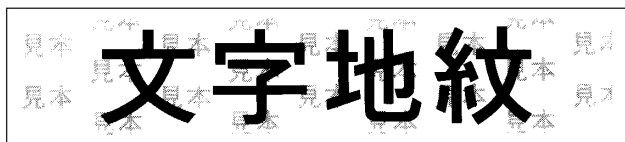
網濃度で「濃い」を選ぶと、印刷結果にムラが生じることがあります。



文字地紋

好きな文字を入力し、地紋として印刷することができます。

参照  P.90 「文字地紋を使う」

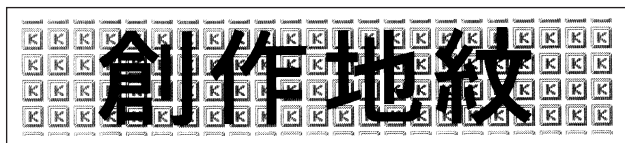


創作地紋

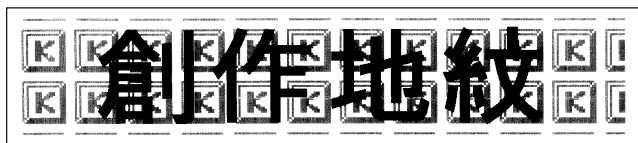
オリジナルの柄の地紋を作成します。

参照  P.91 「創作地紋を作る」

小柄



大柄



MEMO

- ・ 文字地紋は「文字地紋」、創作地紋は「創作 1」～「創作 4」のエリアに登録できます。
- ・ 地紋を指定した場合、テキスト画面の印刷イメージやプレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがあります。印刷に影響はありません。
- ・ 地紋印刷時、ハーフカットを有効にしていると、地紋の一部分に縦の濃いラインが入る場合があります。
- ・ 文字地紋 / 創作地紋の登録データは本機内に保存されます。全文消去をおこなっても、登録したデータは消去されません。消去するには、登録画面でそれぞれを消去していくか、本機の初期化をおこなってください。

参照  P.209 「本機を初期化する」

文字地紋を使う

文字地紋を使えば、ラベルの下地にオリジナルの文字を印刷することができます。企業名を入れたラベルなども作れます。

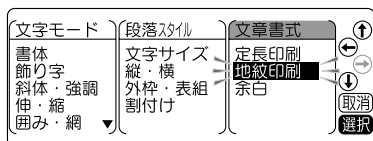
例：「🍰5周年記念」の文字を地紋にして印刷する



1 [編集] を押す

「編集」メニューが表示されます。

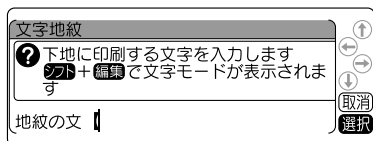
2 「地紋印刷」を選び、[選択 改行] を押す



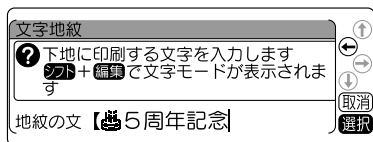
3 「文字地紋」を選び、[選択 改行] を押す



「地紋の文」の入力画面になります。

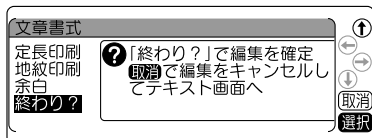


4 地紋の文「🍰5周年記念」を入力し、[選択 改行] を押す

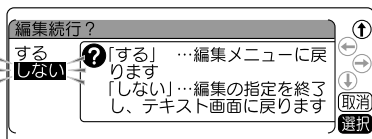


入力できる文字数は16文字までです。
文字だけでなく、記号、外字も入力できます。

5 「終わり？」を選び、[選択 改行] を押す



6 「編集続行？」で「しない」を選び、[選択 改行] を押す



地紋インジケーターが点灯します。

MEMO

- 文字地紋の登録データは本機内に保存されます。全文消去をおこなっても、登録したデータは消去されません。消去するには、登録画面で消去するか、初期化をおこなってください。

参照 P.209 「本機を初期化する」

- 文字地紋に文字モードを指定するときは、[シフト] + [編集] で指定します。なお、文字モードの「囲み・網」の指定はできません。
- 地紋を指定した場合、テキスト画面の印刷イメージやプレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがあります。印刷に影響はありません。

!! 注意 !!

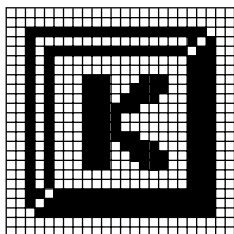
地紋印刷で「文字地紋」を選択した場合、低速で印刷されます。

創作地紋を作る

24 ドット× 24 ドットのオリジナルマークを登録し、地紋として使うことができます。登録できるマークは「創作 1」～「創作 4」の 4 個です。

会社のロゴマークなどを地紋として印刷すれば、本格的な管理用ラベルが作成できます。

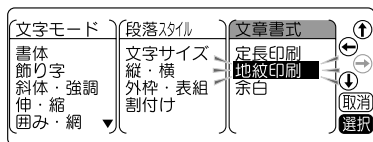
例：次のようなマークを「創作 1」に登録する



1 編集を押す

「編集」メニューが表示されます。

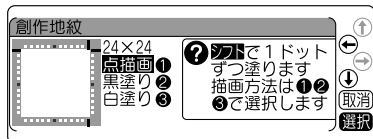
2 「地紋印刷」を選び、選択 改行を押す



3 「創作 1」を選び、選択 改行を押す



創作地紋の描画画面になります。



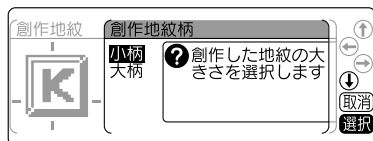
4 創作地紋を描画する

描画方法は、外字を作成する場合と同じです。◀ ▶ ◂ ◃ で描画エリア内をカーソル移動し、シフトで 1 ドットずつ塗りつぶします。

参照 P.118 「画面表示と描画方法」

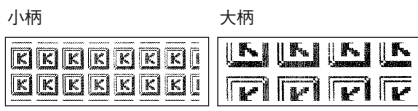
5 創作地紋の描画が終わったら 選択 改行を押す

6 「小柄」または「大柄」を選び、選択 改行を押す

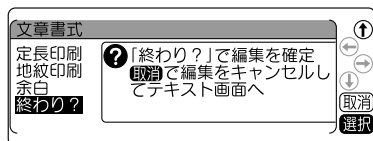


小柄と大柄のちがい

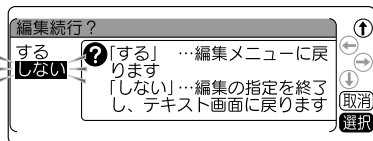
例を「小柄」と「大柄」で印刷すると以下のようになります。



7 「終わり？」を選び、選択 改行を押す



8 「編集続行？」で「しない」を選び、選択 改行を押す



!! 注意 !!

- 全面が黒っぽいパターンの創作地紋は、印刷結果にムラが生じることがあります。
- 創作地紋では 24 ドットのデータを作成します。

●余白

ラベルの前後の余白の長さを指定します。

極少（余白：前後約 1mm）

[極少]

少なめ（余白：前後約 3mm）

[少なめ]

おすすめ（余白：前後約 4mm、購入時の初期設定）

[おすすめ]

ふつう（余白：前後約 10mm）

[ふつう]

多め（余白：前後約 18mm）

[多め]

自動少なめ

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に少なめに調整されます。印刷するテープの幅の約 1/3 が前後の余白になります（12mm 幅テープであれば余白は前後約 4mm）。

[自動少なめ]

自動多め

テープ幅に応じて余白の長さが自動的に多めに調整されます。印刷するテープの幅相当が前後の余白になります（12mm 幅テープであれば余白は前後約 12mm）。

[自動多め]

MEMO

- ハーフカット無効で印刷する場合は、長さ約 19mm 未満のラベルは印刷できません。ラベル長さが約 19mm 以上になるように定長や余白を設定してください。ハーフカットが有効の場合は、長さ約 14mm 以上のラベルを印刷できます。
- 地紋印刷時、または余白が以下の条件のときにハーフカット無効で印刷すると、印刷前にテープが約 19mm カットされます。
 - 余白「極少」、「少なめ」を指定した場合（全テープ幅）
 - 余白「自動少なめ」を指定した場合（4mm、6mm、9mm 幅テープ）
- 転写テープでは余白の指定が無効になります。

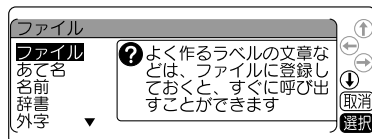
●文章を呼び出す・登録する

本機の **ファイル** では、作成した文章を保存したり、あて名、名前、辞書、外字を登録できます。

ファイル を使う

作成した文章やあて名などのデータを登録するには、**ファイル** を押して表示されるメニューから機能を選択します。

ファイルメニュー画面



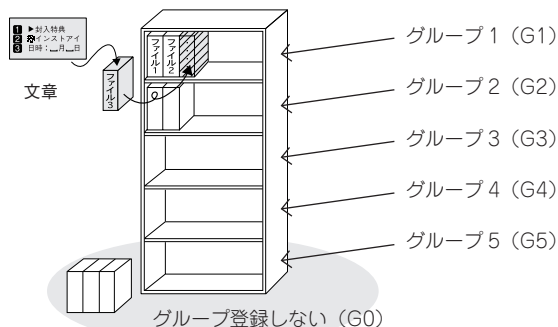
ファイルボタンのメニュー一覧（ **太字** は購入時の初期設定値です。）

メニュー	最初の選択肢	機能	参照ページ
ファイル ▶	登録	作成した文章にファイル名をつけて保存します	P.96
	呼出	登録した文章を呼び出します	P.98
	消去	登録した文章を消去します	P.99
	複写	登録した文章を別のファイルに複写します	P.100
	印刷	5 つまでのファイルを続けて印刷します	P.102
	グループ名修正	ファイルのグループ名を修正します	P.101
	終わり?	テキスト画面に戻ります	
あて名 ▶	登録	あて名を登録します	P.104
	修正	登録したあて名を修正します	P.105
	消去	登録したあて名を消去します	P.106
	複写	登録したあて名を複写します	P.105
	印刷	登録したあて名ラベルを印刷します	P.107
	グループ名修正	あて名のグループ名を修正します	P.108
	終わり?	テキスト画面に戻ります	
名前 ▶	登録	名前とふりがなを登録します	P.111
	修正	登録した名前を修正します	P.112
	消去	登録した名前を消去します	P.112
	印刷	登録した名前ラベルを印刷します	P.107
	グループ名修正	名前のグループ名を修正します	P.112
	終わり?	テキスト画面に戻ります	
辞書 ▶	登録	語句に読みをつけて辞書登録します	P.114
	修正	登録した辞書を修正します	P.115
	消去	登録した辞書を消去します	P.116
	終わり?	テキスト画面に戻ります	
外字 ▶	新規作成	新規に外字を作成し、登録します	P.119
	参照作成	文字や記号を参照して外字を作成し、登録します	P.123
	修正	登録した外字を修正します	P.120
	呼出	登録した外字を文章中に呼び出します	P.121
	消去	登録した外字を消去します	P.122
	複写	登録した外字を複写します	P.121
	終わり?	テキスト画面に戻ります	

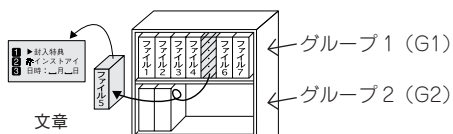
ファイルとは

作成した文章をファイルとして登録しておけば、必要に応じて呼び出し、変更や印刷ができます。ファイルには、文章のほかに編集機能の指定内容などラベルの状態がそのまま登録されます。ファイルは、5つのグループ（G1～G5）に分類して登録できます。それぞれグループ名を変更できるので、仕事用、プライベート用などファイルを分類して整理できます。なお、グループに分類したくないファイルは「G0：グループ登録しない」も選べます。

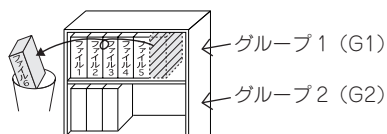
登録…文章を保存します。グループごとに分類できます。



呼出…ファイルを画面上に呼び出します。



消去…ファイルを削除します。



MEMO

- ファイル機能には、このほか、登録した文章を別のファイルに複写する「複写」、5つまでのファイルを続けて印刷できる「印刷」、ファイルのグループ名を修正する「グループ名修正」機能があります。
- ビジネスフォーム、ケーブルフォーム、カットラベルフォームのファイル機能では、複写やグループの分類など、一部のメニューがご利用いただけません。

参照 ☞ P.136 「よく作るビジネスフォームをファイル登録する」

P.142 「よく作るケーブルフォームをファイル登録する」

P.159 「よく作るカットラベルフォームをファイル登録する」

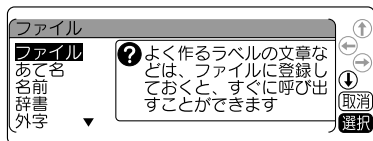
P.164 「よく作るカットラベル・バンドウイットフォームをファイル登録する」

ファイルを登録する

ファイルに文章を登録します。ファイルはファイル番号 00 ～ 99（100 件）の中から番号を選んで登録します。

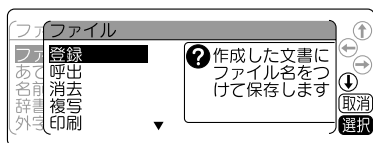
1 **ファイル** を押す

2 「ファイル」を選び、**選択 改行** を押す



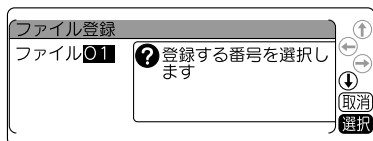
「ファイル」メニューが表示されます。

3 「登録」を選び、**選択 改行** を押す

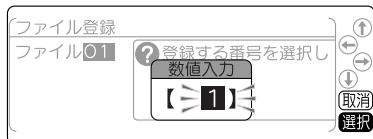


ファイル登録画面が表示されます。

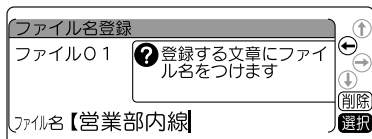
4 **↑** **↓** または **0** ～ **9** で登録するファイル番号を選び、**選択 改行** を押す



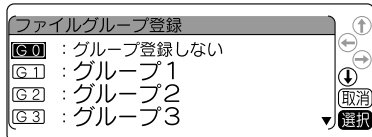
数字入力した場合



5 ファイル名を入力し、**選択 改行** を押す
ファイル名は 15 文字まで自由に付けられます。入力しなくても登録できます。

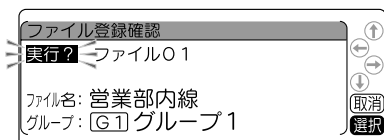


6 登録するグループを選び、**選択 改行** を押す
グループ登録しない場合は **G 0** を選びます。



登録する内容の確認画面になります。

7 内容を確認し、**選択 改行** を押す



「実行中」と表示され、登録後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けてファイルの消去や複写ができます。

「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

- 「実行中」に AC アダプタや電池を抜かないでください。ファイル内容がこわれる可能性があります。
- ファイル登録の際、既存のファイルを対象に上書きすることはできません。

MEMO

- 操作の途中で^{削除}または^{ファイル}を押すと、1つ前の状態に戻ります。⊖を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字、点滅文字があると「ファイル」メニューを表示できません。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なファイル、あて名、名前データを消去してください。
- 本機には、約 10,000 文字（最大で 100 個のファイル）を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、たくさんのあて名や名前を登録していると、登録できるファイルの件数が少なくなります。
- ビジネスフォーム、ケーブルフォーム、カットラベルフォームの内容をファイル登録したい場合は、それぞれのフォームメニューから登録をおこなう必要があります。

参照  P.136 「よく作るビジネスフォームをファイル登録する」

P.142 「よく作るケーブルフォームをファイル登録する」

P.159 「よく作るカットラベルフォームをファイル登録する」

P.164 「よく作るカットラベル・バンドウイットフォームをファイル登録する」

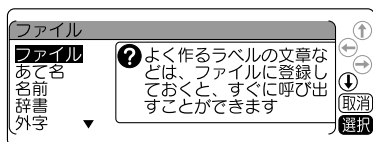
ファイルを呼び出す

ファイルに登録した文章をテキスト画面に呼び出します。「上書き呼出」と「連結呼出」の2つの呼び出しの方法があります。「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面の文章は全部消去され、呼び出したファイルの文章と置き換わります。

「連結呼出」を選ぶと、カーソルのある段落の直後に新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。ただし、カーソルが段落1の1行目の行頭マークにある場合は、カーソルのある段落の前に、新しい段落として呼び出したファイルの文章が挿入されます。

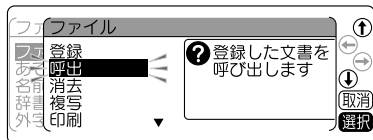
1 ファイルを押す

2 「ファイル」を選び、[選択 改行]を押す



「ファイル」メニューが表示されます。

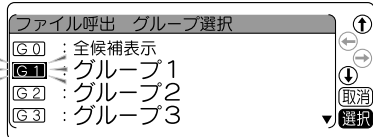
3 「呼出」を選び、[選択 改行]を押す



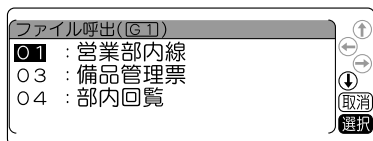
ファイル呼出グループ選択画面が表示されます。

4 呼び出したいファイルが登録されているグループを選び、[選択 改行]を押す

グループがわからないときは[G0]を選びます。



5 [↑]、[↓] または [0] ~ [9] で呼び出したいファイルを選び、[選択 改行]を押す



呼び出す内容の確認画面になります。

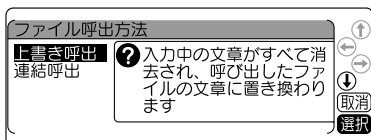
6 内容を確認し、[選択 改行]を押す

[←] [↑] [↓] [→] で文章を確認することができます。



呼出方法を選択する画面になります。

7 「上書き呼出」「連結呼出」のいずれかを選び、[選択 改行]を押す



ファイルの文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

!! 注意 !!

- 「上書き呼出」を選ぶと、テキスト画面で作成していた文章は消え、[復活]を押しても復活させることはできません。「上書き呼出」を選ぶ前に、もう一度確認し、必要な文章はファイルに登録するなどの対処をおこなってください。
- 「連結呼出」で呼び出す場合は、連結によって入力できる文章の制限をオーバーした部分が、自動的に文末から削除されます。

MEMO

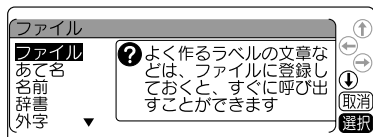
操作の途中で[削除 改行]または[ファイル]を押すと、1つ前の状態に戻ります。[-]を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

ファイルを消去する

ファイルは、1 件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて消去できます。

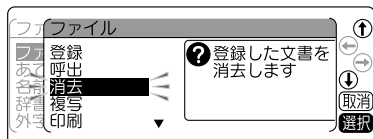
1 **ファイル** を押す

2 「ファイル」を選び、**選択 改行** を押す



「ファイル」メニューが表示されます。

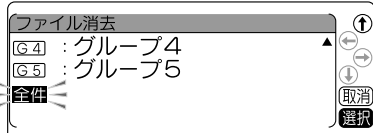
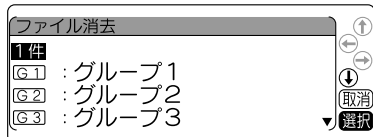
3 「消去」を選び、**選択 改行** を押す



ファイル消去画面が表示されます。

4 消去する範囲を選び、**選択 改行** を押す

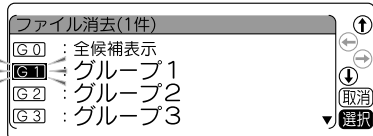
- 1 件 : 1 ファイルのみ消去します。
[G 1] ~ [G 5] : 選択したグループ内のすべてのファイルを消去します。
 全件 : すべてのファイルを消去します。



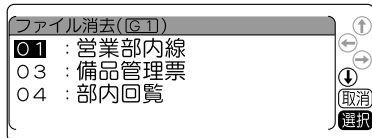
グループまたは全件を選んだ場合は、消去確認の画面に変わります（手順**7**）。
 1 件の場合は次の手順でファイルを選びます。

5 消去したいファイルが登録されているグループを選び、**選択 改行** を押す

グループがわからないときは**[G 0]**を選びます。



6 **[G 0]** または **[0] ~ [9]** で消去したいファイルを選び、**選択 改行** を押す



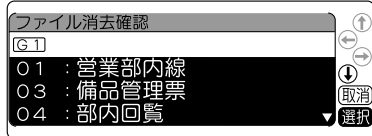
消去する内容の確認画面になります。

7 内容を確認し、**選択 改行** を押す

ファイル 1 件消去の場合はラベルの内容が、グループまたは全件消去の場合は含まれているファイルのファイル名が表示されます。
 1 件消去の場合

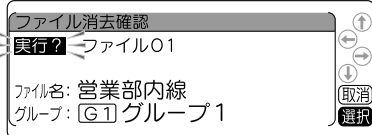


グループ消去の場合



8 内容を確認し、**選択 改行** を押す

1 件消去の場合はファイルの情報が、グループまたは全件消去の場合は「グループ名」「全件」と表示されます。



「実行中」と表示され、消去後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けてファイルの消去や複写ができます。
 「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

MEMO

- 消去したファイルは、**復活** を押しても復活させることはできません。
- 操作の途中で**削除取消** または **ファイル** を押すと、1 つ前の状態に戻ります。**戻る** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 削除件数が多い場合、時間がかかることがあります。

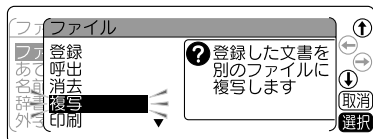
ファイルを複写する

登録したファイルを別の番号のファイルへ複写します。

1 **ファイル**を押す

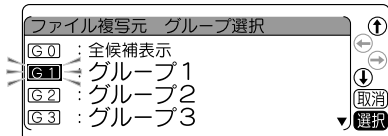
2 「ファイル」を選び、**選択 改行**を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

3 「複写」を選び、**選択 改行**を押す

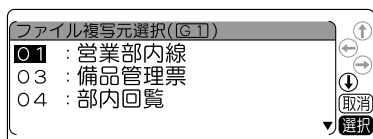


ファイル複写画面が表示されます。

4 複写元のファイルが登録されているグループを選び、**選択 改行**を押す
グループがわからないときは[G 0]を選びます。

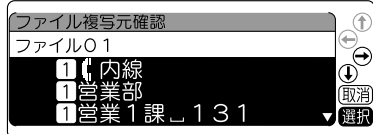


5 **▲ ▼** または **0** ~ **9** で複写元のファイルを選び、**選択 改行**を押す



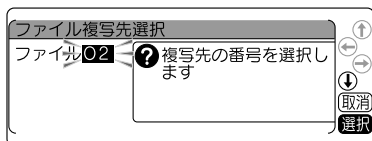
複写する内容の確認画面になります。

6 内容を確認し、**選択 改行**を押す

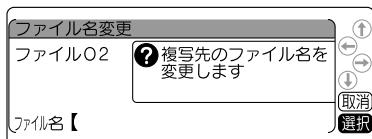


ファイル複写先選択画面が表示されます。

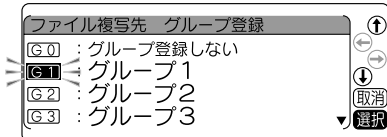
7 **▲ ▼** または **0** ~ **9** で複写先のファイル番号を選び、**選択 改行**を押す



8 ファイル名を入力し、**選択 改行**を押す
ファイル名は15文字まで自由につけられます。入力しなくても登録できます。

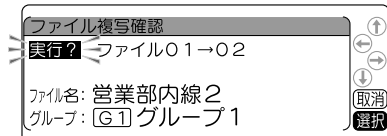


9 登録するグループを選び、**選択 改行**を押す
グループ登録しないときは[G 0]を選びます。



複写する内容の確認画面になります。

10 内容を確認し、**選択 改行**を押す



「実行中」と表示され、登録後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けてファイルの消去や複写ができます。
「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

MEMO

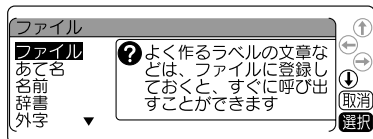
- 操作の途中で**削除 改行** または **ファイル** を押すと、1つ前の状態に戻ります。**←** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- ファイル複写をおこなっても、複写元のファイルは残ります。

グループの名前を変える

ファイルを登録するグループ名を変更できます。
あて名や名前データのグループも同様の操作で変更できます。

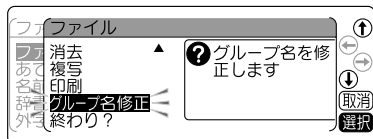
① **ファイル** を押す

② 「ファイル」 を選び、**選択 改行** を押す



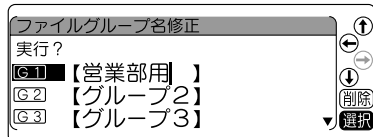
「ファイル」メニューが表示されます。

③ 「グループ名修正」を選び、**選択 改行** を押す



グループ名修正画面が表示されます。

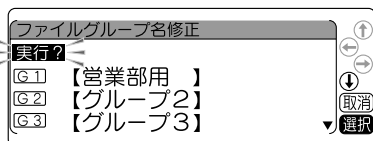
④ **▲ ▼** で名前を変えたいグループを選び、**グループ名を変更する**



⑤ **選択 改行** を押す

「実行？」が選択されます。

⑥ 内容を確認し、**選択 改行** を押す



「実行中」と表示されたあと、グループ名が変更されます。

続けてファイルの消去や複写ができます。

「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

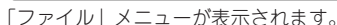
MEMO

- 操作の途中で**削除 改行**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**戻る**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- あて名や名前のグループ名を変えるときは、手順②で「あて名」または「名前」を選んでください。
- グループ名を消去して登録すると、グループ名は空欄になります。
- 手順④で**シフト**を押しながら**削除 改行**(＝全消去)を押すと、全文消去となり、すべてのグループ名が消去されます。

機能編

1 を押す

② 「ファイル」を選び、を押す



③ 「印刷」を選び、を押す



4 印刷したいファイルが登録されているグループを選び、を押す

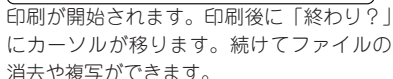
グループがわからないときは **G 0** を選びます。



⑥ 内容を確認し、を押す



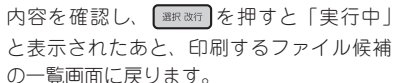
7 「印刷実行？」を選び、を押す



「終わり?」を選ぶとテキスト画面に戻ります。
印刷するファイルを追加するときは、「候補追加」を選び、を押して手順④からの操作を繰り返します。

印刷するファイルを取り消すときは、「候補削除」を選び、を押します。印刷するファイルの候補から削除するファイルを選び、を押します。

「候補削除」をおこなっても、ファイルそのものは削除されません。



- セットされているテープカートリッジのテープ幅がファイルに含まれる文章の行数を印刷できない場合、そのファイルの印刷はおこなわれません。
- 指定したファイル印刷の全長が16mを超える場合は印刷できません。印刷候補を減らしてください。

- 印刷するとき、各ファイルはテキスト画面に呼び出されません。
- 操作の途中で「**削除取消**」または「**ファイル**」を押すと、1つ前の状態に戻ります。「**戻る**」を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは「**削除取消**」を押してください。

●名前や語句を登録する（あて名/名前/辞書）

あて名ラベルを作る

あて名データとして郵便番号や住所・名前などを登録しておくと、あて名ラベルをまとめて印刷することができます。

■登録できる項目とあて名ラベル

101-0031
東京都千代田区東神田二丁目10番18号
株式会社キングジム 開発部
山岸 正樹 様


項目	入力内容	入力可能文字
〒番号（郵便番号）	[101-0031	8 文字
住所 1	[東京都千代田区東神田二丁目 10 番 18 号	20 文字
住所 2	[	20 文字
会社	[株式会社キングジム	20 文字
部署	[開発部	20 文字
氏名	[山岸正樹	20 文字
〒  （カスタマバーコード）	[10100312-10-18	20 文字

バーコードに入力した内容は、カスタマバーコードとして印刷されます。

参照  P.109「カスタマバーコードについて」

本機内に登録できるあて名は約 10,000 文字（最大 100 件のあて名）です。

!! 注意 !!

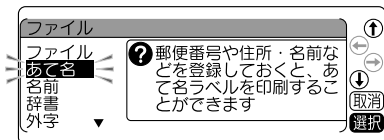
郵便番号に入力した先頭の 5 桁に対応する都道府県名と区町村名を、「住所 1」に自動的に入力することができます。郵便番号変換は、2020 年 9 月末時点のデータをもとにおこなっています。そのため、お客様が入力したい住所、所在地が候補として表示されない場合もありますのであらかじめご了承ください。

あて名を登録する

あて名データを登録します。あて名はあて名番号 00 ～ 99 (100 件) のの中から番号を選んで登録します。

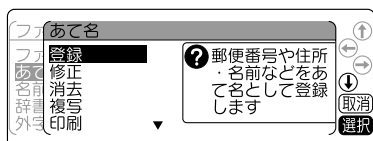
① **ファイル** を押す

② 「あて名」を選び、**選択 改行** を押す



「あて名」メニューが表示されます。

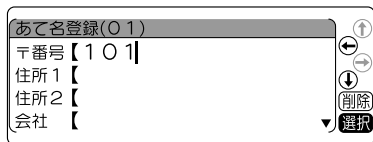
③ 「登録」を選び、**選択 改行** を押す



あて名登録画面が表示されます。

④ **▲ ▼** または **0 ~ 9** で登録するあて名番号を選び、**選択 改行** を押す

⑤ 数字ボタンで郵便番号を入力する



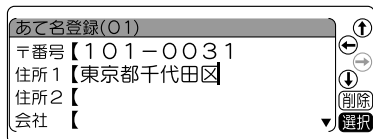
4 桁目を入力すると、自動的にハイフン (ー) が挿入されます。

⑥ **変換スペース** を押す

郵便番号に対応する都道府県名と区町村名の候補が表示されます。

⑦ 地名が正しいときは、**選択 改行** を押す

地名が違うときは、**◀ ▶ ▲ ▼** で適切な地名を選びます。

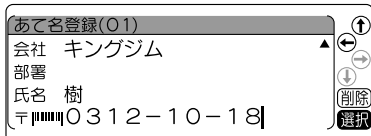


⑧ 住所 1 を入力し、**選択 改行** を押す

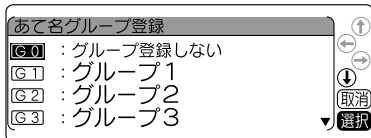
⑨ 住所 2、会社名、部署名、氏名を入力し、**選択 改行** を押す

⑩ 必要に応じてカスタマバーコードを入力し、**選択 改行** を押す

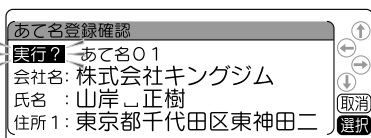
参照 P.109 「カスタマバーコードについて」



⑪ 登録するグループを選び、**選択 改行** を押す
グループ登録しない場合は、**G0** を選びます。



⑫ 内容を確認し、**選択 改行** を押す



「実行中」と表示され、登録後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けてあて名の修正や消去ができます。
「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

「実行中」に AC アダプタや電池を抜かないでください。あて名の内容がこわれる可能性があります。

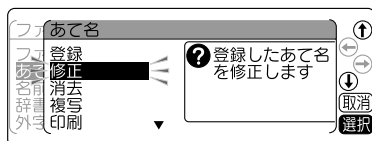
MEMO

- 未入力の項目があっても登録できます。
- 操作の途中で **削除取消** または **ファイル** を押すと、1 つ前の状態に戻ります。◀ を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なファイル・あて名・名前データを消去してください。
- 本機には、約 10,000 文字（最大で 100 件のあて名データ）を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、ファイルや名前が多いと、登録できるあて名の件数が少なくなります。

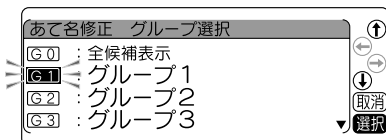
あて名を修正する

登録したあて名を修正します。

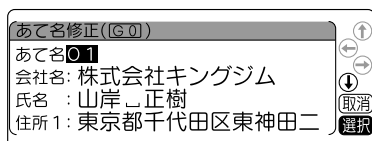
- 1 **ファイル** を押す
- 2 「あて名」を選び、**選択 改行** を押す
「あて名」メニューが表示されます。
- 3 「修正」を選び、**選択 改行** を押す



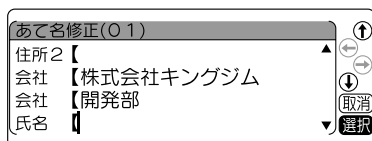
- 4 修正したいあて名が登録されているグループを選び、**選択 改行** を押す
グループがわからないときは[G 0]を選びます。



- 5 **▲ ▼** または **0 ~ 9** で修正したいあて名を選び、**選択 改行** を押す



- 6 内容を修正し、**選択 改行** を押す



以降は、P.104 登録操作（手順⑪以降）と同様にグループを選び登録します。

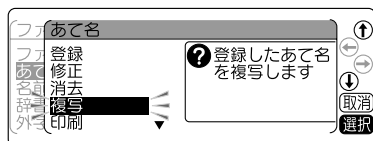
MEMO

操作の途中で**前戻 改行** または **ファイル** を押すと、1 つ前の状態に戻ります。**←** を押すと、どの段階からでもテキスト画面に戻ります。

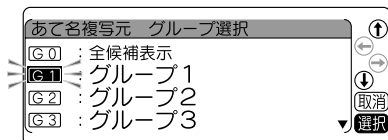
あて名を複写する

登録したあて名を別の番号のあて名へ複写します。

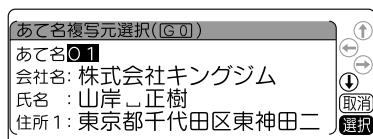
- 1 **ファイル** を押す
- 2 「あて名」を選び、**選択 改行** を押す
「あて名」メニューが表示されます。
- 3 「複写」を選び、**選択 改行** を押す



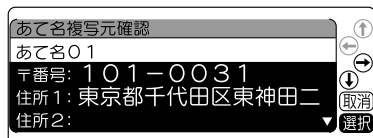
- 4 複写元のあて名が登録されているグループを選び、**選択 改行** を押す
グループがわからないときは[G 0]を選びます。



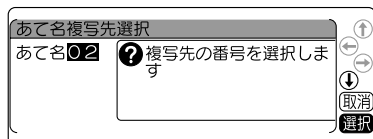
- 5 **▲ ▼** または **0 ~ 9** で複写元のあて名を選び、**選択 改行** を押す



- 6 内容を確認し、**選択 改行** を押す



- 7 **▲ ▼** または **0 ~ 9** で複写先のあて名番号を選び、**選択 改行** を押す



以降は、P.104 登録操作（手順⑪以降）と同様にグループを選び登録します。

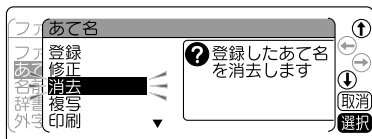
あて名を消去する

あて名は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて消去できます。

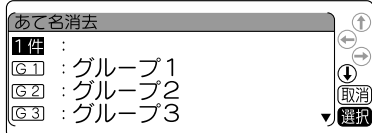
① **ファイル**を押す

② 「あて名」を選び、**選択 改行**を押す
「あて名」メニューが表示されます。

③ 「消去」を選び、**選択 改行**を押す

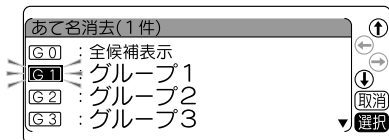


④ 消去する範囲を選び、**選択 改行**を押す
1件 : 1件のみ消去します。
[G1]~[G5] : 選択したグループ内のすべてのあて名を消去します。
全件 : すべてのあて名を消去します。

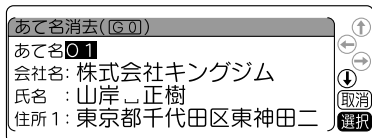


グループまたは全件を選んだ場合は、消去確認の画面に変わります(手順⑦)。
1件の場合は次の手順であて名を選びます。

⑤ 消去したいあて名が登録されているグループを選び、**選択 改行**を押す
グループがわからないときは[G0]を選びます。



⑥ **▲ ▼**または**0 ~ 9**で消去したいあて名を選び、**選択 改行**を押す



消去する内容の確認画面になります。

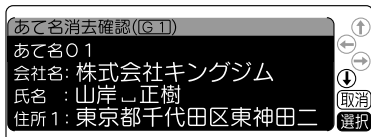
⑦ 内容を確認し、**選択 改行**を押す

1件消去の場合はあて名の内容が、グループまたは全件消去の場合は含まれているあて名の情報が表示されます。

1件消去の場合

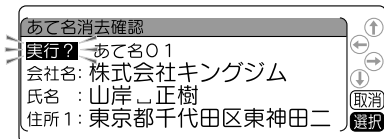


グループ消去の場合



⑧ 内容を確認し、**選択 改行**を押す

1件消去の場合はあて名の情報が、グループまたは全件消去の場合は「グループ名」「全件」と表示されます。



「実行中」と表示され、消去後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けてあて名の修正や消去ができます。
「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

MEMO

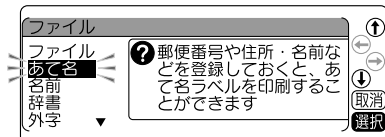
- 消去したあて名は、**復活**を押しても復活させることはできません。
- 操作の途中で**削除取消**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**←**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 削除件数が多い場合、時間がかかることがあります。

あて名ラベルを印刷する

あて名は、1件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。
また、印刷時に書体を指定できます。

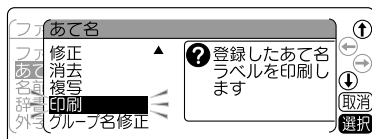
1 [ファイル] を押す

2 「あて名」を選び、[選択 改行] を押す



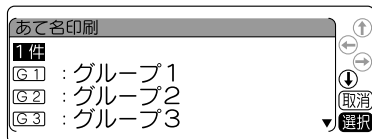
「あて名」メニューが表示されます。

3 「印刷」を選び、[選択 改行] を押す



4 印刷する範囲を選び、[選択 改行] を押す

1件 : 1件のみ印刷します。
[G1]～[G5] : 選択したグループ内のすべてのあて名を印刷します。
全件 : すべてのあて名を印刷します。

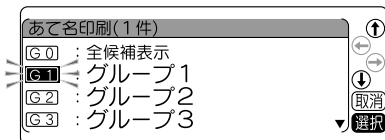


グループまたは全件を選んだ場合は、印刷確認の画面に変わります（手順7）。

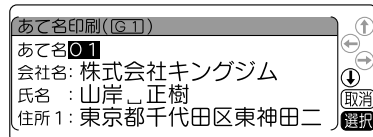
1件の場合は次の手順であて名を選びます。

5 印刷したいあて名が登録されているグループを選び、[選択 改行] を押す

グループがわからないときは[G0]を選びます。



6 [▲] [▼] または [0]～[9] で印刷したいあて名を選び、[選択 改行] を押す

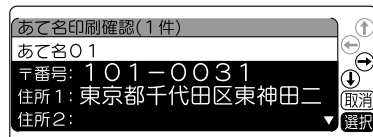


印刷する内容の確認画面になります。

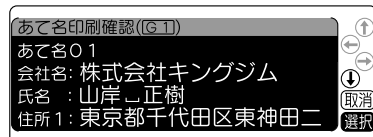
7 内容を確認し、[選択 改行] を押す

あて名の情報が表示されます。

1件印刷の場合



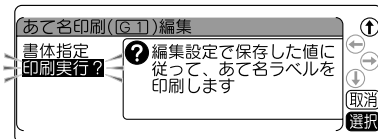
グループ印刷 / 全件印刷の場合



8 内容を確認し、[選択 改行] を押す

あて名印刷の編集画面になります。

9 「印刷実行？」を選び、[選択 改行] を押す



あて名が印刷されます。

印刷後に「終わり？」にカーソルが移ります。

続けてあて名の修正や消去ができます。

「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

MEMO

- 「書体指定」を選ぶと、印刷する書体を指定できます。指定したあとに「印刷実行？」を選んで[選択 改行]を押すと、指定した書体であて名が印刷されます。
- 印刷を途中でやめるときは[印刷取消]を押してください。

!! 注意 !!

カスタマバーコード付きのあて名ラベルを印刷するときは、バーコードリーダーで読み取りやすい白ラベルに黒文字のテープで作成することをお奨めします。

MEMO

- あて名印刷時は、「御中」または「様」が自動的につきます。あて名登録時に氏名を入力しないと、会社名または部署名のあとに「御中」がつきます。氏名まで入力すると、氏名のあとに「様」がつきます。

氏名を入力しない「あて名」

101-0031

東京都千代田区東神田二丁目10番18号

株式会社キングジム

開発部 御中

「御中」がつきます

氏名まで入力した「あて名」

101-0031

東京都千代田区東神田二丁目10番18号

株式会社キングジム

開発部

山岸 正樹 様

「様」がつきます

- 操作を途中でやめるときは(⏮)を押してテキスト画面に戻ります。

あて名のグループ名修正

あて名を登録するグループ名を変更できます。

参照  P.101 「グループの名前を変える」

カスタマバーコードについて

郵便局では、郵便番号とあて名を合わせた情報からバーコードを作成し、処理していますが、差出し側があらかじめバーコードを印刷することもできます。このバーコードをカスタマバーコードといいます。本機では、郵便番号と住所表示番号を入力するだけで、カスタマバーコードを印刷することができます。

MEMO

- 「カスタマバーコード」を印刷する義務はありません。
- 「カスタマバーコード」は 7 桁郵便番号時のみご利用頂けます。
- 「カスタマバーコード」、「カスタマバーコード割り引き制度」などの利用についての詳細は、お客様の配達を受け持つ郵便局におたずねください。

カスタマバーコード指定の基本ルール

カスタマバーコードを印刷する場合、「あて名登録」の「カスタマバーコード (〒)」欄に「郵便番号」+「住所表示番号」を入力します。基本ルールを以下に示します。

例：千葉県鎌ヶ谷市右京塚

東 3 丁目 20-5 鈴木・A&b コーポ B604 号

- 住所データを次の A と B の部分に分割する
住所 A：「郵便番号」で指定される町域名まで
住所 B：町域名以降の住所
- 住所 A を郵便番号に置き換える
「-」（ハイフン）は省略
- 住所 B にあるアルファベットの小文字は大文字に置き換える
- データ内にある以下の文字は取り除き、後ろのデータを詰める
「&」（アンパサンド） 「/」（スラッシュ）
「・」（中黒） 「」（ピリオド）
- ③ および ④ で処理したデータから、算用数字、ハイフンおよび連続していないアルファベットを抜き出す
- 抜き出された文字の前にある下記の文字等は、ハイフン 1 文字に置き換える
「漢字」、「かな文字」、「カナ文字」、「漢数字」、
「ブランク」、「2 文字以上連続したアルファベット文字」
- ⑥ の置き換えで、ハイフンが連続する場合は 1 つにまとめる
- 先頭がハイフンの場合は取り除く
- アルファベットの前後にある（-）を取り除く
- ② で処理したデータに ⑨ で処理したデータをつなげる

	郵便番号	住所 B
	XXX-XXXX	東3丁目-20-5 鈴木・A&bコーポB604号
(2) の処理	XXXXXXX	
(3) の処理		東3丁目-20-5 鈴木・A&bコーポB604号
(4) の処理		東3丁目-20-5 鈴木ABコーポB604号
(5) の処理	3	-20-5 B604
(6) の処理	東 3 丁目	鈴木ABコーポ
	「-」に置き換え	
(6) の処理後	-3-20-5-B604	
(7) の処理	-3-20-5-B604	
(8) の処理	3-20-5-B604	
(9) の処理	3-20-5B604	
(10) の処理	XXXXXXXX3-20-5B604	

カスタマバーコードの記入例

- 漢数字が「丁目」「丁」「番地」「号」「地割」「線」「の」「ノ」の前にある場合は、住所 B とし、算用数字に変換して指定します。

例 : 東京都青梅市河辺町十一丁目六番地一号
永井タワー 601
郵便番号 : XXX-XXXX
住所 B : 十一丁目六番地一号永井タワー
601
バーコード [xxxxxxxx11-6-1-601]

例 : 北海道帯広市稲田町南七線西 28
郵便番号 : XXX-XXXX
住所 B : 七線西 28
バーコード [xxxxxxxx7-28]

- 連続していないアルファベットは指定しますが、算用数字に続くアルファベット 1 文字「F」（ビル等の階数表示の略）については指定しません。

もし、「F」以降に指定対象となるデータがある場合は、「F」はハイフンに置き換えます。

例 : 茨城県日立市宮田町 6 丁目 7-14
ABC ビル 2F
郵便番号 : XXX-XXXX
住所 B : 6 丁目 7-14ABC ビル 2F
バーコード [xxxxxxxx6-7-14-2]

例 : 茨城県日立市宮田町 6 丁目 7-14
ABC ビル 2F201 号室
郵便番号 : XXX-XXXX
住所 B : 6 丁目 7-14ABC ビル 2F201 号室
バーコード [xxxxxxxx6-7-14-2-201]

- アルファベットの前後にあるハイフンは取り除きます。また、アルファベットの前後にあるハイフンを取り除いた結果、アルファベットが 2 文字以上連続してもアルファベットは取り除きません。

例 : 神戸市中央区港島中町 9 丁目 7-6
南シティ A 棟 1F1 号
郵便番号 : XXX-XXXX
住所 B : 9 丁目 7-6 南シティ A 棟 1F1 号
バーコード [xxxxxxxx9-7-6A1-1]

例 : 京都府綾部市青野町綾部 6-7
L ブラザ B106
郵便番号 : XXX-XXXX
住所 B : 6-7 L ブラザ B106
バーコード [xxxxxxxx6-7LB106]

- バーコードの合計桁数が 20 文字を超えた場合、以降の文字については切り捨てます。

例 : 札幌市中央区南四条西 29 丁目 1524-23
第 2 ステージハウス 501
郵便番号 : XXX-XXXX
住所 B : 29 丁目 1524-23 第 2 ステージハウス 501
バーコード [xxxxxxxx29-1524-23-2]

MEMO

本機ではバーコードは 20 文字まで入力できます。

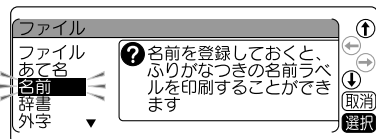
名前を登録する

名前データを登録します。

名前は名前番号 01 ～ 40（40 件）の中から番号を選んで、登録します。

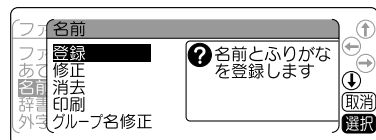
① **ファイル** を押す

② 「名前」を選び、**選択 改行** を押す

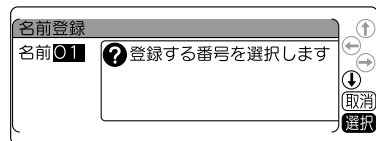


「名前」メニューが表示されます。

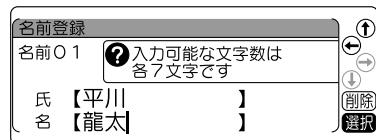
③ 「登録」を選び、**選択 改行** を押す



④ **↑**、**↓** または **0** ～ **9** で登録する名前番号を選び、**選択 改行** を押す

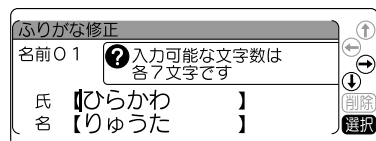


⑤ 名前（氏と名）を入力し、**選択 改行** を押す
各 7 文字まで入力できます。

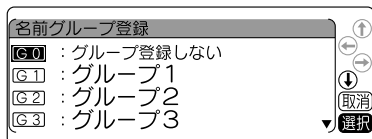


ふりがな修正画面が表示されます。

⑥ ふりがなを確認し、**選択 改行** を押す
必要に応じてふりがなを修正します。

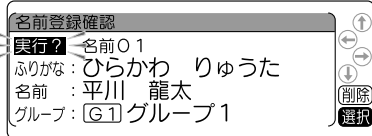


⑦ 登録するグループを選び、**選択 改行** を押す
グループ登録しない場合は **G0** を選びます。



登録する内容の確認画面になります。

⑧ 内容を確認し、**選択 改行** を押す



「実行中」と表示され、登録後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けて名前の修正や消去ができます。
「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

「実行中」に AC アダプタや電池を抜かないでください。名前の内容がこわれる可能性があります。

MEMO

- 操作の途中で **削除 改行** または **ファイル** を押すと、1 つ前の状態に戻ります。**戻る** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- データがいっぱいこれ以上登録できなくなると「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なファイル・あて名・名前データを消去してください。
- 本機には、約 10,000 文字（最大で 40 件の名前データ）を登録することができますが、ファイル、あて名、名前は登録エリアが共有のため、たくさんの文章をファイルしていたり、あて名を登録していると、登録できる名前の件数が少なくなります。

名前を修正する

登録した名前を修正する場合は、P.111 手順③で「修正」を選びます。登録したグループから名前の番号を選ぶと修正画面になり、登録と同様の操作で修正できます。

名前を消去する

名前を消去する場合は、P.111 手順③で「消去」を選びます。消去の範囲（1 件、グループ、全件）を選び、消去します。1 件消去を選択した場合は、さらに名前番号を指定します。

名前のグループ名修正

名前を登録するグループ名を変更できます。

参照 P.101 「グループの名前を変える」

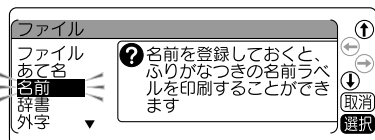
名前ラベルを印刷する

名前は、1 件ごとのほか、グループごとや、全件まとめて印刷できます。

また、印刷時に書体やラベルの長さ（定長）などを指定できます。

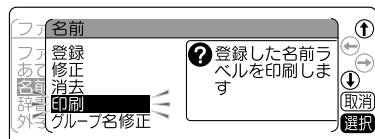
① **ファイル** を押す

② 「名前」を選び、**選択 改行** を押す



「名前」メニューが表示されます。

③ 「印刷」を選び、**選択 改行** を押す

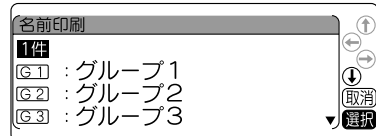


④ 印刷する範囲を選び、**選択 改行** を押す

1 件 : 1 件のみ印刷します。

G 1 ~ **G 5** : 選択したグループ内のすべての名前を印刷します。

全件 : すべての名前を印刷します。

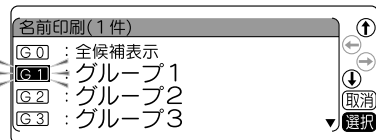


グループまたは全件を選んだ場合は、印刷確認の画面に変わります（手順⑦）。

1 件の場合は次の手順で名前を選びます。

⑤ 印刷したい名前が登録されているグループを選び、**選択 改行** を押す

グループがわからないときは **G 0** を選びます。



次へ進みます

- 6 ▲ ▼ または 0' ~ 9' で印刷したい名前を選び、**選択 改行**を押す

印刷する内容の確認画面になります。

- 7 内容を確認し、**選択 改行**を押す
1 件印刷の場合は内容が、グループまたは全件印刷の場合は名前一覧が表示されます。
1 件印刷の場合

グループ印刷の場合

- 8 内容を確認し、**選択 改行**を押す
名前印刷の編集画面になります。

- 9 そのまま印刷する場合は「おまかせ」を選び、**選択 改行**を押す
ここで「おこのみ」を選べると、定長印刷、飾り字、斜体・強調、書体、ふりがなの有無が指定できます。

- 10 「印刷実行？」を選び、**選択 改行**を押す

名前ラベルが印刷されます。

印刷後に「終わり？」にカーソルが移ります。
続けて名前の修正や消去ができます。
「終わり？」を選べるとテキスト画面に戻ります。

MEMO

- 操作の途中で**削除 改行**または**ファイナル**を押すと、1 つ前の状態に戻ります。**戻る**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは**削除 改行**を押してください。
- 登録した名前をたて書きで印刷する場合は、「編集設定」メニューから「縦・横」を選び、「たて書き」に設定してください。参照 P.203 「保存値を変更する」

!! 注意 !!

4mm 幅テープでは「ふりがな」が入力されていても、名前 1 行のラベルが印刷されます。

9mm 幅テープ (「ふりがな」あり)

9mm 幅テープ (「ふりがな」なし)

4mm 幅テープ

ひらかわりゅうた
平川 龍太

平川 龍太

平川 龍太

変換できない語句を登録する（辞書の登録）

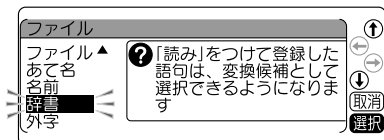
難しい人名や長い熟語など一度に漢字変換することが難しい「語句」に「読み」をつけて辞書登録しておく、通常の漢字変換と同じ操作で、簡単に変換できるようになります。

辞書には漢字だけでなく、記号・外字・英数字・英記号も登録できます。辞書番号 01 ～ 50 に最大 50 個まで登録できます。

例：特許申請手続き代行書類（とつきよしよるい）を登録する

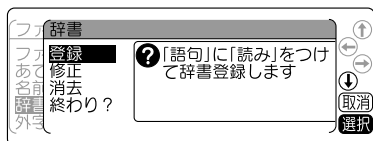
1 **ファイル** を押す

2 「辞書」を選び、**選択 改行** を押す

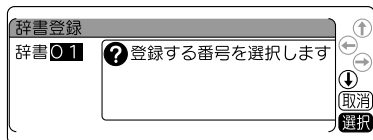


「辞書」メニューが表示されます。

3 「登録」を選び、**選択 改行** を押す

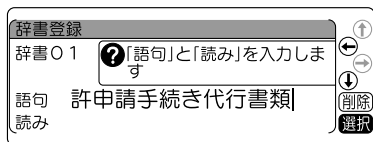


4 **▲ ▼** または **01 ~ 09** で登録する辞書番号を選び、**選択 改行** を押す

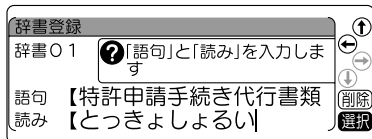


辞書の登録画面になります。

5 「語句」を入力し、**選択 改行** を押す



6 「読み」をひらがなで入力する



7 **選択 改行** を押す

「実行中」と表示され、登録後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けて辞書の修正や消去ができます。

「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

MEMO

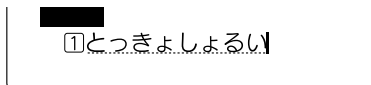
- 登録できる「語句」の文字数は 15 文字以内、「読み」の文字数は 16 文字以内です。ただし、濁音、半濁音は 2 文字と数えます。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
- 入力できる「読み」はひらがなのみです。
- 操作の途中で**削除 取消**または**ファイル**を押すと、1 つ前の状態に戻ります。**戻る**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 登録済みの辞書と同じ「語句・読み」を登録しようとする、「辞書に登録済み」と表示され、登録できません。違う「語句・読み」を入力してください。
- 辞書登録では文章書式、段落スタイル、文字モード、イラスト、連番、バーコードの登録はできません。
- 辞書がいっぱいこれ以上登録できなくなると、「辞書の登録数がいっぱいです」が表示されます。それでも辞書の登録をしたい場合は、辞書消去で不要な辞書データを削除してください。

登録した語句を呼び出す

通常の漢字変換と同じように呼び出すことができます。

例：特許申請手続き代行書類を「とっきょしよるい」で呼び出す

① 「とっきょしよるい」を入力する



①とっきょしよるい

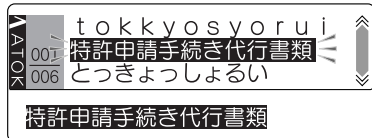
② 変換スペースを押す

辞書登録した「特許申請手続き代行書類」が変換候補として表示されます。



特許申請手続き代行書類

③ 「特許申請手続き代行書類」になっている状態で▼を押す



特許申請手続き代行書類
とっきょしよるい

「特許申請手続き代行書類」が確定されます。

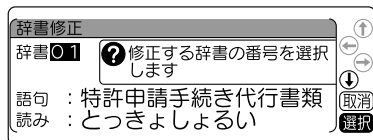
① 特許申請手続き代行書類

登録した辞書を修正する

例：「読み」の「とっきょしよるい」を「とくしん」に変える

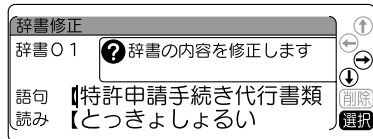
① P.114「変換できない語句を登録する（辞書の登録）」の手順③で「修正」を選び、 選択 改行 を押す

② 修正したい辞書を選び、 選択 改行 を押す



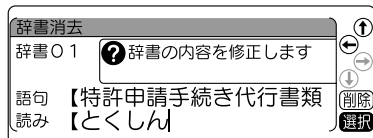
辞書修正
辞書01 ? 修正する辞書の番号を選択します
語句：特許申請手続き代行書類
読み：とっきょしよるい

登録した辞書が表示され、修正できる状態になります。



辞書修正
辞書01 ? 辞書の内容を修正します
語句：特許申請手続き代行書類
読み：【とっきょしよるい】

③ 新しい「読み」を入力する 「とっきょしよるい」を削除し、「とくしん」と入力しなおします。



辞書修正
辞書01 ? 辞書の内容を修正します
語句：特許申請手続き代行書類
読み：【とくしん】

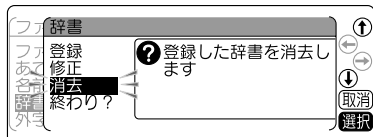
④ 選択 改行 を押す

「読み」を修正した辞書が登録されます。
続けて辞書の修正や消去ができます。
「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

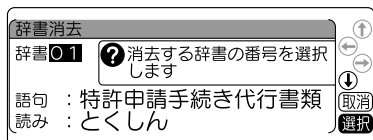
登録した辞書を消去する

登録されている辞書を消去します。

- 1 **ファイル** を押す
- 2 「辞書」を選び、**選択 改行** を押す
「辞書」メニューが表示されます。
- 3 「消去」を選び、**選択 改行** を押す

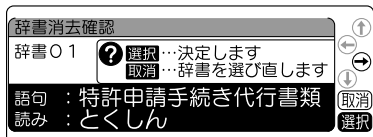


- 4 **↑**、**↓** または **0** ~ **9** で消去したい辞書を選び、**選択 改行** を押す

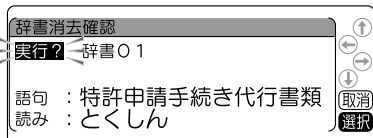


消去する内容の確認画面になります。

- 5 内容を確認し、**選択 改行** を押す



- 6 **選択 改行** を押す



辞書が消去されます。

続けて辞書の修正や消去ができます。

「終わり?」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

消去した辞書は**復活**を押しても復活させることはできません。充分に確認した上で消去の操作をおこなってください。

MEMO

操作の途中で**削除 改行**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**←**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

●外字を使う

自分でデザインしたマークや会社のロゴ、対応していない漢字や内蔵されていない文字・記号は、外字として登録すると、文中に入力し印刷できます。

外字は正方形です。横長のロゴタイプなどは複数の外字に切り分けて登録し、「編集」の文字モードで文字間を「密着」に指定すると、つながったロゴとして印刷できます。

外字2つに分けて登録（文字間「ふつう」）



文字間「密着」



MEMO

- 外字は 10 文字まで登録できます。
- 本機は、美しい印刷を可能にするアウトラインフォントという形式の文字を搭載していますが、外字については作成のしやすさから、ビットマップ形式を採用しています。ビットマップ形式での外字はアウトラインフォントの文字と比べて多少ギザギザが目立ちます。

外字を作る概要

外字を登録するときは、1つの外字について、16・24・32・40・48ドットの5段階の大きさの字形データを作成します。これは、複数の文字サイズを美しく印刷するためです。

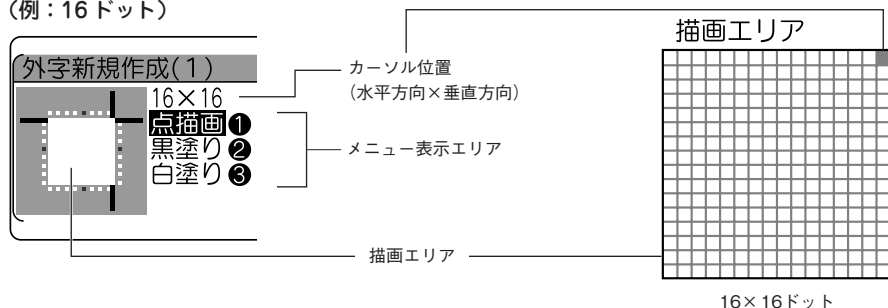
ただし、5段階すべての外字を始めから作る手間をなくすため、最初に16ドットのデータを入力すると、これをもとに自動的に拡大して24・32・40・48ドットの字形データを作り、あとから細部を補正して作るしくみになっています。

画面表示と描画方法

外字の作成は、方眼紙のマスを埋めていくような作業です。画面に表示された描画エリアを方眼紙に見立て、点（ドット）を塗りつぶしていきます。

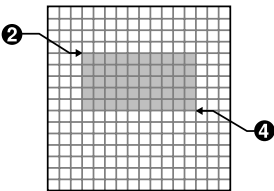
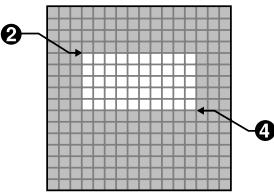
画面表示

（例：16 ドット）



描画方法（メニュー表示エリアで選択）

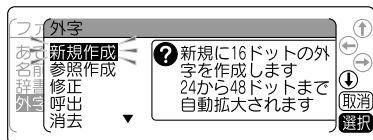
描画方法（メニュー）には、1 ドットずつ塗りつぶす「点描画」のほか、ブロックで黒く塗りつぶす「黒塗り」、ブロックで白く塗りつぶす「白塗り（＝消去）」があり、それぞれ数字ボタン **1** / **2** / **3** で選択します。

メニュー	描 画 方 法	手 順
点描画	1つ1つの点（ドット） ずつ塗りつぶす方法	1 1 を押す。 メニュー「点描画」がネガ表示されます。 - 塗りつぶすドットにカーソルを ◀ ▶ ▲ ▼ で移動する。 シフト を押す。 カーソル位置が黒く塗りつぶされます。 もう一度押すと、白く塗りつぶされます。
黒塗り	広い範囲のブロックを黒く塗りつぶす方法 指定範囲 	2 を押す。 メニュー「黒塗り」がネガ表示されます。 - 塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを ◀ ▶ ▲ ▼ で移動する。 シフト を押す。 対角線上のもう一方の頂点にカーソルを ◀ ▶ ▲ ▼ で移動する。 シフト を押す。手順 2 と 4 で指定した範囲全体が黒く塗りつぶされます。
白塗り	広い範囲のブロックを白くする（消す）方法 指定範囲 	3 を押す。 メニュー「白塗り」がネガ表示されます。 - 塗りつぶす範囲の一方の頂点にカーソルを ◀ ▶ ▲ ▼ で移動する。 シフト を押す。 対角線上のもう一方の頂点にカーソルを ◀ ▶ ▲ ▼ で移動する。 シフト を押す。手順 2 と 4 で指定した範囲全体が白く塗りつぶされます。

外字を作成し、登録する

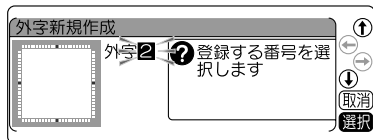
例：外字番号「2」に「」を登録する

- 1 **ファイル**を押す
- 2 「外字」を選び、**選択 改行**を押す
「外字」メニューが表示されます。
- 3 「新規作成」を選び、**選択 改行**を押す

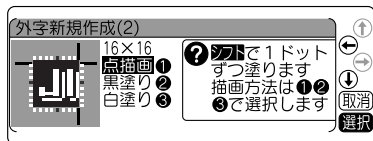


描画エリアと外字番号が表示されます。

- 4 登録する番号に「2」を選び、**選択 改行**を押す

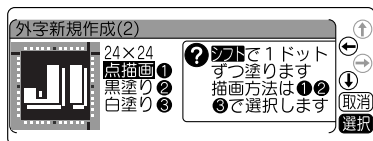


- 5 16 ドットのデータを描画する
シフトと $\leftarrow$ 、 $\rightarrow$ 、 $\uparrow$ 、 $\downarrow$ で描画します。
参照 P.118「画面表示と描画方法」



- 6 16 ドットの描画が終わったら、**選択 改行**を押す

16ドットのデータをもとに、24・32・40・48ドットのデータが自動的に拡大作成されます。



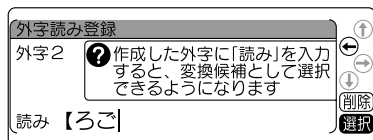
- 7 24・32・40・48ドットのデータを補正する

手順⑤と同様の操作で、拡大されたデータを補正します。**選択 改行**を押すと、次のサイズの描画に移ることができ、48ドットの描画が終わると、「読み」の入力画面が表示されます。

!! 注意 !!

24～48ドットすべてのデータを補正しないと、文字サイズによってはきれいに印刷されません。

- 8 外字の「読み」を入力し、**選択 改行**を押す
「読み」はひらがなで16文字まで入力できます。



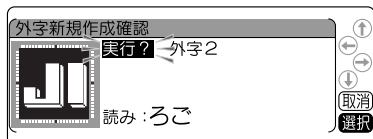
MEMO

- 登録できる「読み」の文字数は16文字以内です。ただし、濁音、半濁音は2文字と数えます。入力できる文字数を超えると、超えた分は自動的に文末から削除されます。
- テキスト入力でこの「読み」を入力し、**改換 スペース**を押すと、外字を呼び出すことができます。

!! 注意 !!

外字作成中にUSBケーブルを挿入したりカッターパールのテープカートリッジをセットすると、作成中の外字は削除され、それぞれパソコンリンク状態または「カッターパフォーム」メニューが表示されます。

9 内容を確認し、**選択 改行**を押す



「実行中」と表示され、登録後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けて外字の消去や複写ができます。
「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

MEMO

- 操作の途中で**削除 取消**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**戻る**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字、点滅文字があるときは、**ファイル**で外字を新規作成できません。

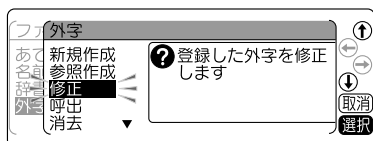
外字を修正する

例：外字番号「4」の48ドットデータを修正する

1 **ファイル**を押す

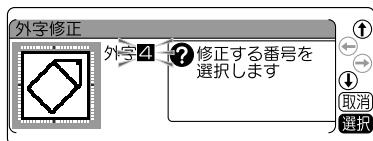
2 「外字」を選び、**選択 改行**を押す 「外字」メニューが表示されます。

3 「修正」を選び、**選択 改行**を押す



登録されている外字番号が表示されます。

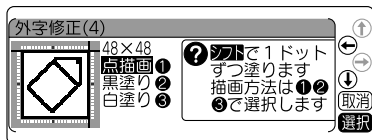
4 修正する外字番号「4」を選び、**選択 改行**を押す



16ドットの描画画面が表示されます。

5 48ドットの描画画面が表示されるまで

選択 改行を押す



6 48ドットのデータを修正する 参照 P.118 「画面表示と描画方法」

7 **選択 改行**を押す

「読み」の入力画面が表示されます。
必要に応じて、「読み」の修正をします。

8 **選択 改行**を押す

修正の確認画面になります。

9 内容を確認して、**選択 改行**を押す

修正した外字が登録されます。続けて外字の消去や複写ができます。
「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

登録時と異なり、修正した内容は自動で拡大されません。

外字を呼び出す

登録した外字を入力します。外字を滑らかに印刷したいときは、「平滑化＝する」を選んでください。

MEMO

簡単に呼び出すには

登録した外字の読みを入力し、登録スペースを押すと、登録した外字が表示されます（この場合には外字の「平滑化」はおこなわれません）。

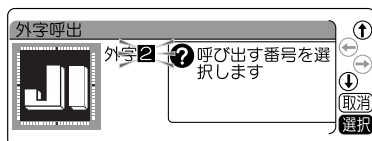
1 外字を入力する部分にカーソルを合わせる

2 ファイルを押す

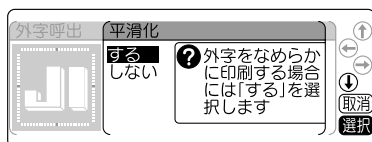
3 「外字」を選び、選択 改行を押す

4 「呼出」を選び、選択 改行を押す

5 呼び出す外字を選び、選択 改行を押す



6 「平滑化」メニューから「する」または「しない」を選び、選択 改行を押す



カーソル位置に外字が入力されます。

MEMO

- 操作の途中で削除 改行またはファイルを押すと、1つ前の状態に戻ります。戻るを押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 記号メニューで「外字呼出」を選択しても手順⑤に進めます。

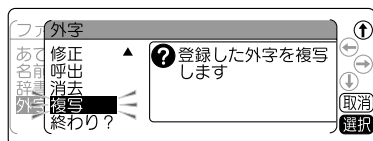
外字を複写する

外字を別の外字番号に複写します。

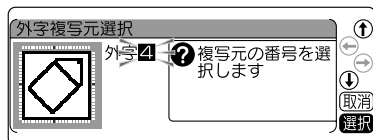
1 ファイルを押す

2 「外字」を選び、選択 改行を押す

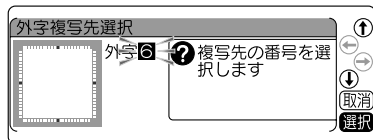
3 「複写」を選び、選択 改行を押す



4 複写元の外字番号を選び、選択 改行を押す

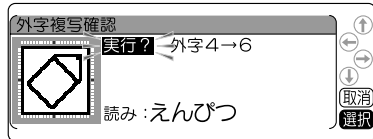


5 複写先の外字番号を選び、選択 改行を押す



6 複写先の「読み」を入力し、選択 改行を押す 複写する内容の確認画面になります。

7 内容を確認し、選択 改行を押す



複写した外字が登録されます。続けて外字の消去や複写ができます。
「終わり?」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

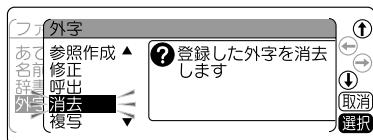
MEMO

- 操作の途中で削除 改行またはファイルを押すと、1つ前の状態に戻ります。戻るを押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字、点滅文字があるときは、ファイルで外字を複写できません。

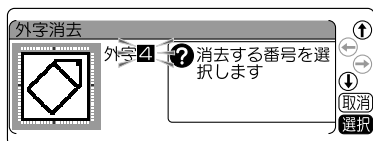
外字を消去する

登録されている外字を消去します。

- 1 **ファイル** を押す
- 2 「外字」を選び、**選択 改行** を押す
- 3 「消去」を選び、**選択 改行** を押す

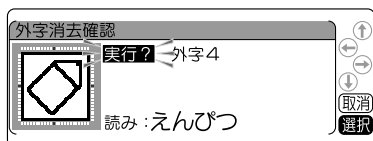


- 4 消去する外字番号を選び、**選択 改行** を押す



消去する内容の確認画面になります。

- 5 内容を確認し、**選択 改行** を押す



外字が消去され、続けて外字の消去や複写ができます。

「終わり?」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

消去した外字は**復活**を押しても復活させることはできません。十分に確認した上で消去の操作をおこなってください。

MEMO

- 操作の途中で**削除取消**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**戻る**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字、点滅文字があるときは、**ファイル**で外字を消去できません。
- 消去された外字が文章などに使われていた場合、その外字は空白として印刷されます。

外字を参照作成し、登録する

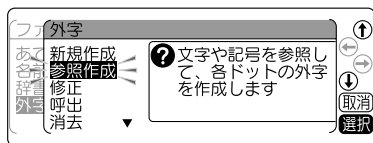
「参照作成」では、本機に内蔵されている文字や記号のデータをもとに修正して外字を作成します。操作は「外字を作成し、登録する」と同じですが、「参照作成」は途中で参照する文字を入力します。

例：「記号」の「生き物」の「」にヒゲをつけて「」にする

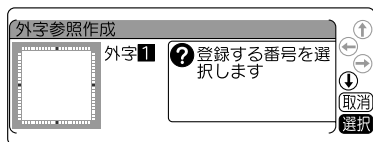
1 を押す

2 「外字」を選び、を押す

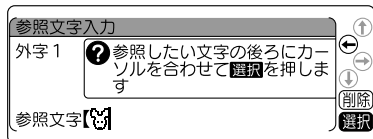
3 「参照作成」を選び、を押す



4 登録する外字番号を選び、を押す



5 参照する文字（記号）を入力し、カーソルをその後ろ（右側）に合わせる



最大5文字まで入力できますが、カーソルの左側の1文字を参照します（入力ガイドにカーソルがあるときは先頭文字を参照します）。

MEMO

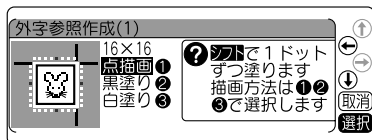
- 最大5文字まで入力できるので、単語や熟語、辞書登録した語句なども利用できます。
- 連番、バーコード、合成記号、編集記号、半角スペース、外字は参照できません。
- 参照する文字には、文字モードの書体を指定できます。

6 データを修正する

参照文字が16ドットで表示されますので、これをもとに修正します。

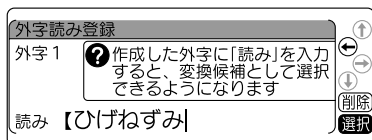
を押すと次のサイズの修正画面に移ります。

参照  P.118 「画面表示と描画方法」



7 48ドットの描画が終わったら を押す

8 外字の「読み」を入力し、を押す



9 内容を確認し、を押す

「実行中」と表示され、登録後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けて外字の消去や複写ができます。
「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

MEMO

- 文章中でこの「読み」を入力し、を押すと外字を呼び出すことができます。
- 操作の途中で  または  を押すと、1つ前の状態に戻ります。 を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字、点滅文字があるときは、 で外字を参照作成できません。
- 参照作成をおこなう場合は、修正した内容は自動で拡大されません。

●デザインされたラベルを呼び出す (デザインフォーム)

本機にはオフィスや店舗、工場向けなどさまざまなシーンで使えるデザインフォームが登録されています。呼び出してそのまま印刷することもできますが、入力内容や装飾を変更して印刷することもできます。

例：「可燃ごみ」のラベル（デザインフォーム）



デザインフォームメニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー		選択肢	
オフィス	▶	紙補充	交換時期
		リサイクル	紙節約
		節電	エアコン
		印刷面を上	開放厳禁
		可燃ごみ	不燃ごみ
		天地無用	ワレモノ注意
		ぼんの気持ち	社外秘
		背見出し（縦）	背見出し（横）
		備品管理票	QR 備品管理票
			PC 電源
			節水
			職場きれいに
施設	▶	案内所	情報コーナー
		救護所	警察
		男子	女子
		車椅子スロープ	ベビールーム
		喫煙所	消火器
		非常電話	非常ボタン
		広域避難場所	禁止
		加熱式たばこ	火気厳禁
		進入禁止	駐車禁止
		立入禁止	かけ込み禁止
		捨てるな	飲めない
		電子機器禁止	撮影禁止
		ドローン禁止	自撮り棒禁止
		障害物注意	上り段差注意
			病院
			お手洗
			身障者用設備
			飲料水
			AED
			非常口
			禁煙
			開放厳禁
			自転車禁止
			さわるな
			携帯禁止
			フラッシュ
			注意
			下り段差注意

メニュー		選択肢		
お店	▶	滑面注意	転落注意	天井に注意
		感電注意	指示	静かに
		立つ（左側）	立つ（右側）	
お店	▶	お会計	カード支払い	現金払い
		伝票をレジに	先に食券を	おつり忘れず
		呼び鈴	食器返却口	店内禁煙
		禁煙席	喫煙席	離席中
		包装無料	配送無料	充電コーナー
		Wi-Fi	携帯電話禁止	飲食禁止
		防犯カメラ	並ぶ	ご覧ください
		両替	レシート不要	触れないで
		ペット禁止	自動照明	トイレ洗浄
		トイレ清潔に	故障中	年中無休
		新商品	店長おすすめ	入荷待ち
		係員	警備員巡回中	パンフレット
建設	▶	保護帽着用	安全帯使用	手袋着用
		安全靴着用	保護メガネ着用	マスク着用
		開口部注意	滑面注意	段差注意
		頭上注意	落下物注意	感電注意
		ドア注意	立ち入り禁止	5S運動
		安全規則	指差呼称	血液型ラベル
		作業中		
工場	▶	安全第一	整理整頓	救急箱
		高温部注意	巻き込み注意	切断注意
		指挟まれ注意	感電注意	回転部注意
		有毒ガス注意	噴射注意	濡れ手禁止
		接触禁止	火気厳禁	アース線接地
		スイッチ禁止	物を置かない	現場を離れる
		安全確認	ミス防止	手順確認
		土足厳禁	責任者ラベル	使用禁止
		点検中		

メニュー		選択肢		
病院	▶	診察中	待合室	保険証提示
		診察券入れ	必要事項記入	会計窓口提出
		荷物はこちら	手指消毒	マスク着用
		緊急ボタン	電子機器禁止	医療廃棄物
お名前	▶	オフィス名札	住所・氏名	学校持ち物
		店舗名札		

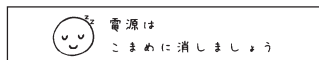
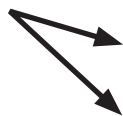
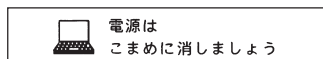
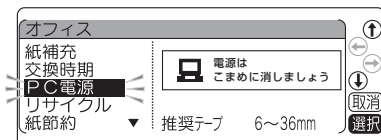
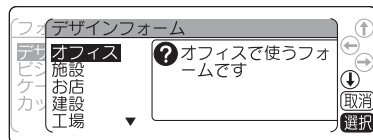
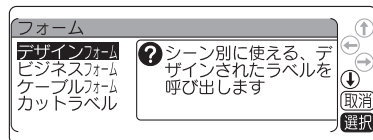
MEMO

- ラベルのデザインは、「デザインフォーム見本」を参照してください。
参照🔗 P.256 「デザインフォーム見本」
- 「回覧の確認」は上質紙ラベル、マットラベルで印刷することをおすすめします。

ラベルの作りかた（デザインフォーム）

デザインフォームを使ったラベルは以下の流れで作成します。

- 1 使用するフォームを決める**
使いたいデザインフォームを選んでください。
参照 P.256 「デザインフォーム見本」
- 2 フォームを押す**
「フォーム」メニューが表示されます。
- 3 「デザインフォーム」を選ぶ**
▲ ▼ でデザインフォームを選び 選択 改行 を押します。
- 4 分類を選ぶ**
▲ ▼ で目的のフォームが含まれる分類を選び 選択 改行 を押します。
- 5 目的のフォーム名を選ぶ**
フォームの内容を確認しながらフォーム名を選び、 選択 改行 を押します。
- 6 入力画面で内容を編集する**
テキスト画面にデザインされたフォームの内容が表示されます。
必要に応じて内容を変更すると、簡単にアレンジしたラベルが作れます。



!! 注意 !!

- デザインフォームを呼び出すと、テキスト画面に入力した文章は消えてしまいます。デザインフォームを呼び出す前に、必要な文章はファイルに登録してください。
参照 P.96 「ファイルを登録する」
- 操作の途中で 削除 改行 または フォーム を押すと、1つ前の状態に戻ります。戻る を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

● 特殊なデザインのラベルを作成する (ビジネスフォーム)

ビジネスフォームを使うと「ファイルの背見出し」や「備品管理」などビジネスでよく使う、決められたレイアウトのラベルを簡単に作成することができます。

フォームの種類によっては、異なる入力のラベルを複数枚まとめて作成できるので大変便利です。

本機では、「環境設定」の「おすすめフォーム」を「表示する」に設定されている場合、インデックスラベル・備品管理ラベルは、電源を入れたときやテープカートリッジを入れ換えたときにテープに合ったフォームを表示します。

例：「インデックス（よこ書）」長さ 3.2cm のラベル（ビジネスフォーム）

⌘ ⌘ ⌘ ⌘ ⌘ ⌘

顧客データ あ行

ビジネスフォームメニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
ファイル	呼出 消去		
背見出し A4 背見出し B5	入力 題名 [] 項目 1 [] 項目 2 []		
インデックス	インデックス たて書き よこ書き	長さ 1.8cm 3.2cm 6.0cm 8.0cm 11.0cm 数値指定 (1.4cm ~ 30cm)	入力 1 枚目 表 [] 1 枚目 裏 [] 2 枚目 表 [] 2 枚目 裏 [] : 12 枚目 表 [] 12 枚目 裏 []

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
備品管理票 ▶	備品管理票 入力 ▶ 項目名変更 ▶	入力 備品名 [管理番号 [購入日 [管理部門 [	
		入力 項目 1 [備品名 項目 2 [管理番号 項目 3 [購入日 項目 4 [管理部門	
定ピッチ ▶	長さ 3.0mm ▶ : 24.0mm ▶ : 60.0mm ▶	区切り 実線 ▶ 点線 ▶ なし ▶	入力 1 列目上 [1 列目下 [2 列目上 [: 16 列目上 [16 列目下 [
複数ラベル ▶	長さ おまかせ ▶ 数値指定 ▶ (1.4cm ~ 30cm)	入力 1 枚目 [2 枚目 [: 16 枚目 [	
値札 (込) ▶	長さ 3.0 cm ▶ 3.8 cm ▶ 6.5cm ▶ 8.5 cm ▶ 11.0 cm ▶	入力 品名 [本体価格 ¥ [税率 % [	
値札 (抜 / 込) ▶	長さ 2.4 cm ▶ 4.0cm ▶ 5.0 cm ▶ 6.0 cm ▶	入力 品名 [本体価格 ¥ [税率 % [	

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
縦型よこ書	▶ 入力 1 行目 [2 行目 [: 32 行目 [	
横型たて書	▶ 入力 1 行目 [2 行目 [: 32 行目 [	

ビジネスフォーム見本

■ 背見出し（A4/B5）

A4 用 /B5 用の背見出しに最適です。

顧客データ 発行

印刷可能文字数：縦書き
横書き：××年××月

12mm幅テープ（背見出しB5）の印刷見本

■ インデックス（たて書き・よこ書き）

ラベルの真ん中を折って使うインデックスラベルを複数枚まとめて作成できます。

顧客データ 発行

顧客データ 発行

顧客データ 発行

顧客データ 発行

24mm幅テープ（長さ3.2cm）の印刷見本

MEMO

- 4mm 幅、6mm 幅のテープには印刷できません。
- 入力できる文字数および印刷できる文字数は、以下の通りです。

	入力可能な文字数	印刷可能な文字数（目安）
インデックス （たて書き・よこ 書き）	各行 60 文字	長さ 1.8cm：各行 4 文字 長さ 8.0cm：各行 23 文字 長さ 3.2cm：各行 8 文字 長さ 11cm：各行 31 文字 長さ 6.0cm：各行 17 文字

- 印刷可能な文字数は、編集機能を指定しない状態での文字数です。編集機能の「飾り字」や「伸・縮」などを指定すると、印刷可能な文字数は変わります。また、英数字のプロポーショナル対応文字を含む場合も印刷可能な文字数は変わります。

■ 備品管理票

「備品名」「管理番号」「購入日」「管理部門」を表組みにした備品管理ラベルを作成できます。項目名は網掛け印刷され、本格的な雰囲気になります。入力時に「項目名変更」を選択すると、項目名を書き換えることもできます。

備品名	デジタルカメラ
管理番号	1 2 3 4 5 6 7
購入日	20XX年7月
管理部門	総務部

18mm幅テープの印刷見本

■ 定ピッチ

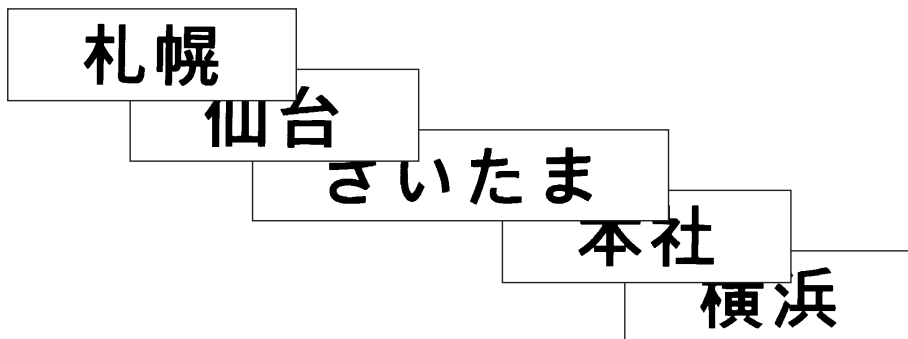
固定ピッチのフォームです。長さを揃えた複数のラベルを作る場合に便利です。

営業部 2F	経理部 3F	管理部 3F	受付	会議室 401	社員食堂 別館2F
内線 2012	内線 3012	内線 3114	内線 1001	内線 0401	内線 9012

12mm幅テープ（20.0mm、点線区切り）の印刷見本

■ 複数ラベル

ラベルを複数枚同時に印刷します。



12mm幅テープの印刷見本

■ 値札（込／抜・込）

値札ラベル用のフォームです。お使いになるテープ幅に合ったラベルの長さを選択したあと、本体価格と税率を入力することで、税込み価格を自動計算して表示します。

「値札（込）」は9～36mm幅、「値札（抜・込）」は12～36mm幅のテープに対応しています。

無糖コーヒー
¥217(税込)

18mm幅テープ（長さ 6.5cm）の印刷見本

無糖コーヒー
¥198
(税込 ¥217)

18mm幅テープ（長さ 4cm）の印刷見本

MEMO

- 「値札（込／抜・込）」で入力できる本体価格は¥1～¥999,999です。また、入力できる税率は、0.00%～99%です。
- 自動計算される税込価格は、小数点以下切り捨てで計算されます。

■ 縦型よこ書

内線表などの縦型表示に最適です。

104	207	217	219	330	423
朝	中	井	谷	堀	藤
野	田	原	野	田	原
山	田	原	野	田	原

24mm幅テープの印刷見本

MEMO

セットされたテープ幅によって、入力できる文字数に制限があります。

参照  P.86 「●縦・横」

■ 横型たて書

メニューなどの横型表示に最適です。

●	●	●	●	●	セ
コ	ウ	紅	コ	コ	ット
ー	ー	茶	ー	ー	ド
ン	コ	ヒ	ー	ー	リ
ス	ロ	ー	ー	ー	ン
ブ	ン	茶	ー	ー	ク

24mm幅テープの印刷見本

MEMO

セットされたテープ幅によって、入力できる文字数に制限があります。

参照  P.86 「●縦・横」

ラベルの作りかた（ビジネスフォーム）

ビジネスフォームを使ったラベルは以下の流れで作成します。

1 使用するフォームを決める

使いたいビジネスフォームを選んでください。

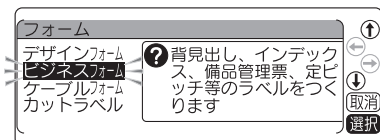
参照 P.131 「ビジネスフォーム見本」

2 フォームを押す

「フォーム」メニューが表示されます。

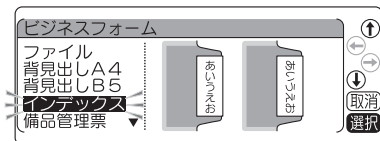
3 「ビジネスフォーム」を選ぶ

▲ ▼ でビジネスフォームを選び、**選択 改行**を押します。



4 目的のフォーム名を選ぶ

フォームの内容を確認しながらフォーム名を選び、**選択 改行**を押します。



5 設定項目が表示された場合は、項目を選ぶ

長さや入力項目の選択画面が表示されたフォームは、項目を選び、**選択 改行**を押します。



6 ガイドに従って文字を入力する

入力ガイドの後ろ（右側）にカーソルを合わせ、通常のテキスト画面と同じように文字を入力します。



!! 注意 !!

入力画面の「1 枚目表」や「1 枚目裏」などの項目名は入力の案内をするためのガイドであり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。

MEMO

- ・ **シフト** を押しながら **削除取消** (=全消去) を押すと、入力した内容の全文消去ができます。背見出しおよび備品管理票の画面では、「初期状態に戻す」も選択できます。
- ・ 入力画面で **編集** を押すと、ラベルを装飾することができます。「値札(税込/抜・込)※」「縦型よこ書」「横型たて書」は書体のみ、その他のフォームは文字モードの全ての機能(書体、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間)が指定可能です。
※カーソルが品名にある場合に限り有効です。
- ・ 入力行が複数あるビジネスフォームは **▼** を押すと次の行にカーソルが移ります。
- ・ インデックスなど表裏があるビジネスフォームは「表」の行で **選択 改行** を押すと、「表」の行に入力した内容が「裏」の行に自動的にコピーされます。
- ・ 備品管理票で連続印刷できるのは20枚までです。
- ・ 操作の途中で **削除取消** または **フォーム** を押すと、1つ前の状態に戻ります。**←** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

7 内容を確認し、**印刷** を押す

ラベルが印刷されます。

MEMO

ビジネスフォームの印刷をしたあとは、ビジネスフォームの続行を確認する画面になります。「する」を選択するとビジネスフォームの画面に戻り、「しない」を選択すると通常のテキスト画面に戻ります。このときテキスト画面には、ビジネスフォームを使用する前の文章が残っています。

!! 注意 !!

- ・ ビジネスフォームの印刷は印刷履歴の対象になりません。
- ・ 長さを指定するビジネスフォームでは、入力できる文字数と印刷できる文字数が異なり、入力した内容が指定した長さにおさまらずに印刷できない場合は、入力画面の文字が網掛け表示になります。また、印刷時に「入力した文章が長すぎます」が表示されます。**削除取消** を押して印刷を中止し、文字数を減らすか「伸・縮」で文字を小さくするなどの指定をしてください。そのまま **選択 改行** または **印刷** を押すと、定長を解除して印刷します。

よく作るビジネスフォームをファイル登録する

よく作るビジネスフォームの入力内容をファイル登録することができます。ファイルはファイル番号 00～99（100 件）の中から番号を選んで登録します。

- 1** 登録したいビジネスフォームの入力画面で内容を入力し、**ファイル**を押す。

- 2** 「ファイル」メニューから、「登録」を選択する

- 3** **▲ ▼** または **0** ～ **9** で登録するファイル番号を選び、**選択 改行**を押す

- 4** ファイル名を入力し、**選択 改行**を押す

- 5** 内容を確認し、**選択 改行**を押す

「実行中」と表示され、登録後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けてファイルの呼出や消去ができます。

「終わり？」を選ぶとビジネスフォーム入力画面に戻ります。

!! 注意 !!

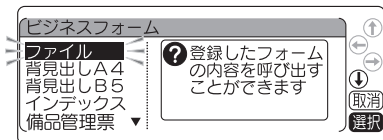
「実行中」に AC アダプタや電池を抜かないでください。ファイル内容がこわれる可能性があります。

MEMO

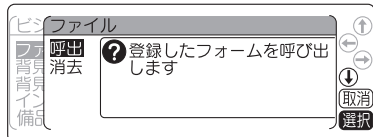
- 操作の途中で**印刷取消**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**戻る**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字、点滅文字があると「ファイル」メニューを表示できません。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると、「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なビジネスフォームをファイルから消去してください。
- 本機には、ビジネスフォームを約 6,000 文字分登録することができます。登録できる個数は、入力時の文字数・行数などによります。

登録したビジネスフォームを呼び出す

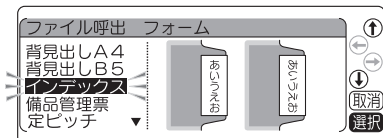
- ① ビジネスフォームのメニュー一覧から、「ファイル」を選び、**選択 改行**を押す



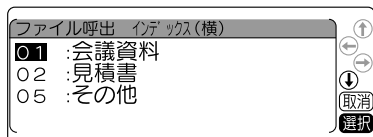
- ② 「呼出」を選び、**選択 改行**を押す



- ③ 呼び出したいファイルの種類を選び、**選択 改行**を押す

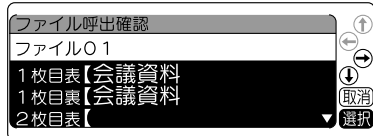


- ④ **▲ ▼** または **01 ~ 09** で呼び出したいファイルを選び、**選択 改行**を押す

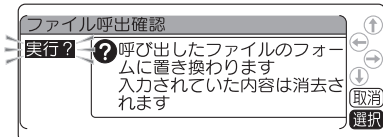


- ⑤ 内容を確認し、**選択 改行**を押す

◀ ▶ ▲ ▼ で文章を確認することができます。



- ⑥ 内容を確認し、問題なければ **選択 改行**を押す



選択したビジネスフォームが呼び出されます。

!! 注意 !!

ファイル登録したビジネスフォームを呼び出すと、前回入力して自動保存されていたフォームは消えます。

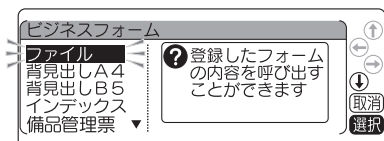
MEMO

- 操作の途中で **戻る取消** または **ファイル** を押すと、1つ前の状態に戻ります。**←** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- ビジネスフォームの入力画面で、**ファイル** を押して表示される「ファイル」メニューからも、ビジネスフォームのファイルを呼び出すことができます。

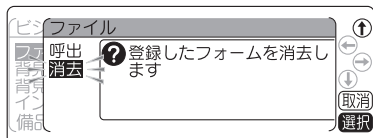
登録したビジネスフォームを消去する

ビジネスフォームのファイルは、1件ごとに消去できます。

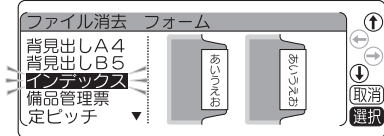
- 1** ビジネスフォームのメニュー一覧から、「ファイル」を選び、**選択 改行**を押す



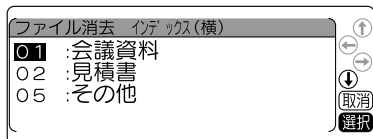
- 2** 消去を選び、**選択 改行**を押す



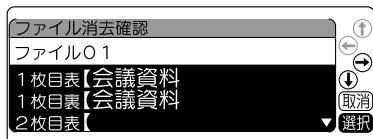
- 3** 消去したいフォームを選び、**選択 改行**を押す



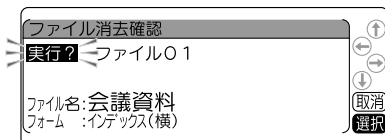
- 4** **▲ ▼** または **01 ~ 09** で呼び出したいファイルを選び、**選択 改行**を押す



- 5** 内容を確認し、**選択 改行**を押す
◀ ▶ ▲ ▼ で文章を確認することができます。



- 6** 内容を確認し、問題なければ **選択 改行**を押す



選択したビジネスフォームが消去されます。
続けてファイルの呼出や消去ができます。
「終わり?」を選ぶとビジネスフォーム入力画面に戻ります。

MEMO

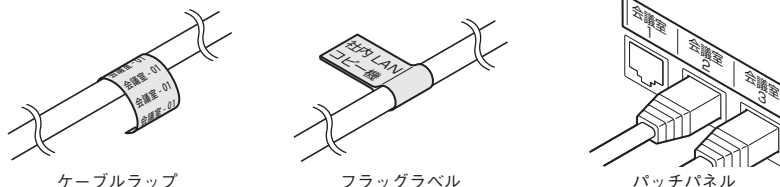
- 消去したビジネスフォームは、**復活**を押しても復活させることはできません。
- 操作の途中で**戻る**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**◀**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- ビジネスフォームのファイルは全件まとめた消去や、フォームの種類ごとにまとめた消去することはできません。
- ビジネスフォームの入力画面で、**ファイル**を押して表示される「ファイル」メニューからも、ビジネスフォームのファイルを消去できます。

●各種ケーブル専用のラベルを作成する (ケーブルフォーム)

ケーブルフォームを使うと、ケーブルやネットワーク配線機器の識別管理ラベルを簡単につくることができます。

本機では、「環境設定」の「おすすめフォーム」を「表示する」に設定されている場合、ケーブル表示ラベルは、電源を入れたときやテープカートリッジを入れ換えたときに専用フォームを表示します。

例：

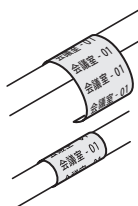


ケーブルフォーム見本

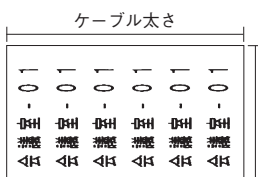
ラベル印刷見本の各種寸法線は設定項目を表しています。

■ ケーブルラップ

幅広いケーブル径に対応可能な、ケーブル識別ラベル用のフォームです。



例：印字見本（18mm 幅テープ）

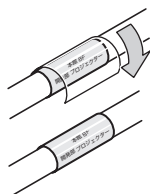


設定項目

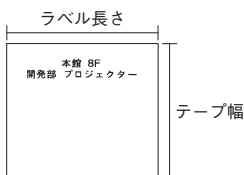
1	ケーブル太さ	直径 1.0cm
2	縦・横	よこ
3	文字複写	する

■ ケーブル表示ラベル専用フォーム

摩擦や汚れなどから印字を保護する、セルフラミネートタイプのケーブル表示ラベル専用フォームです。24mm 幅、36mm 幅テープに対応しています。



例：印字見本（24mm 幅テープ）



設定項目

1	ラベル長さ	2.6cm
---	-------	-------

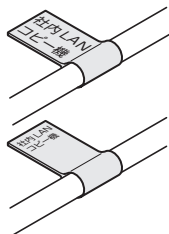
MEMO

ケーブル表示ラベル専用フォームに入力可能な行数は、以下の通りです。

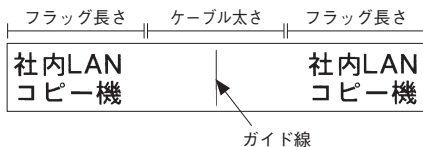
- 24mm 幅テープ：2 行
- 36mm 幅テープ：3 行

■ フラッグラベル

細いケーブルに、広い表示スペースを確保できます。



例：印字見本（12mm 幅テープ）

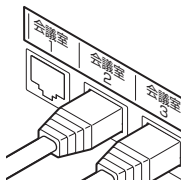


設定項目

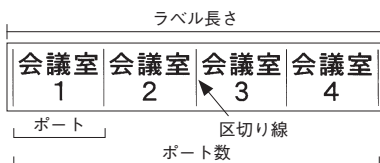
1	ケーブル太さ	直径 0.7cm
2	フラッグ長さ	2.5cm
3	ガイド線	あり①
4	縦・横	よこ①

■ パッチパネル

ラベル長さとポート数を指定し、パッチパネルに最適なラベルを作成できます。



例：印字見本（12mm 幅テープ）

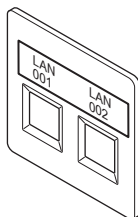


設定項目

1	ラベル長さ	ポート 1.6cm
2	ポート数	4 個
3	区切り線	あり①
4	縦・横	よこ
5	ポート通し番号	しない

■ フェイスプレート

ラベル長さとポート数を指定し、フェイスプレートに最適なラベルを作成できます。



例：印字見本（12mm 幅テープ）



設定項目

1	ラベル長さ	5.0cm
2	ポート数	2 個
3	縦・横	よこ
4	ポート通し番号	しない

MEMO

- パッチパネル、フェイスプレートに搭載されている「ポート通し番号」とは、入力した数字をポート毎に値を増加させながら挿入する機能です。

ポート通し番号「する」で、初期値が 1、繰り返し回数が 1 の場合

1	2	3	4	5	6
---	---	---	---	---	---

ポート通し番号「する」で、初期値が 1、繰り返し回数が 2 の場合

1	1	2	2	3	3
---	---	---	---	---	---

ラベルの作りかた（ケーブルフォーム）

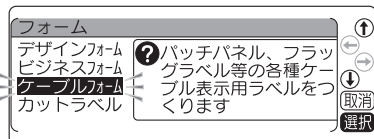
ケーブルフォームを使ったラベルは以下の流れで作成します。

- 1 使用するフォームを決める
使いたいケーブルフォームを選んでください。

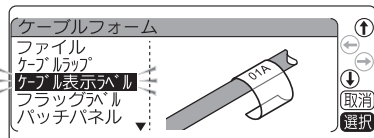
参照 P.139 「ケーブルフォーム見本」

- 2 **フォーム** を押す
「フォーム」メニューが表示されます。

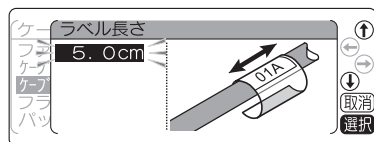
- 3 「ケーブルフォーム」を選ぶ
↑ ↓ でケーブルフォームを選び **選択 改行** を押します。



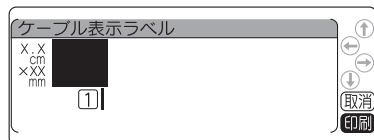
- 4 目的のフォーム名を選ぶ
フォームの内容を確認しながらフォーム名を選び、**選択 改行** を押します。



- 5 設定項目が表示された場合は、項目を選ぶ
長さや入力項目の選択画面が表示されたフォームは、項目を選び **選択 改行** を押します。



- 6 文字を入力する
通常のテキスト画面と同じように文字を入力します。



MEMO

- **シフト** を押しながら **削除 取消** (=全消去) を押すと、入力した内容の全文消去ができます。
- 入力画面で **編集** を押すと、ラベルの装飾をすることができます。「ケーブルラップ」は文字モードの書体のみ、「ケーブル表示ラベル」は文字モードの書体、飾り字、斜体・強調、伸・縮、文字間、その他のフォームは文字モードの全ての機能と、段落スタイルの文字サイズのみ指定可能です。
- 入力行が複数ある場合は **下** を押すと次の行にカーソルが移ります。
- 「フラッグラベル」は、設定した文章の向きによって、入力画面の行頭マークの前に「表」「裏」の入力ガイドが表示されます。
- 「パッチパネル」「フェイスプレート」では、入力画面の行頭マークの前にポートマークが表示されます。入力中の行が何ポート目かを確認できます。空白ポートマーク **01** **02** と、実質ポートマーク **01** **02** の2種類があり、空白ポートマークは文字が何も入力されていないことを表しています。
- 操作の途中で **削除 取消** または **フォーム** を押すと、1つ前の状態に戻ります。**戻る** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

- 7 内容を確認し、**印刷** を押す
ラベルが印刷されます。

MEMO

ケーブルフォームの印刷をしたあとは、ケーブルフォームの続行を確認する画面になります。「する」を選択するとケーブルフォームの画面に戻り、「しない」を選択すると通常のテキスト画面に戻ります。このときテキスト画面には、ケーブルフォームを使用する前の文章が残っています。

!! 注意 !!

ケーブルフォームの印刷は印刷履歴の対象になりません。

よく作るケーブルフォームをファイル登録する

よく作るケーブルフォームの入力内容をファイル登録することができます。ファイルはファイル番号 00～99（100 件）の中から番号を選んで登録します。

- 1** 登録したいケーブルフォームの入力画面で内容を入力し、**ファイル**を押す

- 2** 「ファイル」メニューから、「登録」を選択する

- 3** **▲** **▼** または **0** **1** ～ **9** で登録するファイル番号を選び、**選択 改行**を押す

- 4** ファイル名を入力し、**選択 改行**を押す

- 5** 内容を確認し、**選択 改行**を押す

「実行中」と表示され、登録後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けてファイルの呼出や消去ができます。

「終わり？」を選ぶとケーブルフォーム入力画面に戻ります。

!! 注意 !!

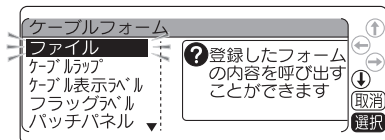
「実行中」に AC アダプタや電池を抜かないでください。ファイル内容がこわれる可能性があります。

MEMO

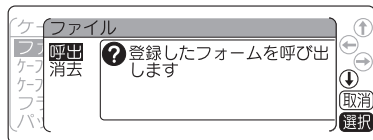
- 操作の途中で**戻る**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**上**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字、点滅文字があると「ファイル」メニューを表示できません。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると、「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なケーブルフォームをファイルから消去してください。
- 本機には、ケーブルフォームを約 6,000 文字分登録することができます。登録できる個数は、入力時の文字数・行数などによります。

登録したケーブルフォームを呼び出す

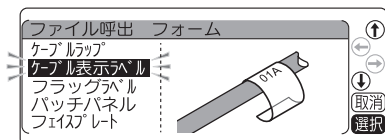
- 1 ケーブルフォームのメニュー一覧から、「ファイル」を選び、**選択 改行**を押す



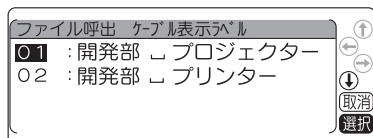
- 2 「呼出」を選び、**選択 改行**を押す



- 3 呼び出したいファイルの種類を選び、**選択 改行**を押す



- 4 **▲ ▼** または **01 ~ 91** で呼び出したいファイル番号を選び、**選択 改行**を押す

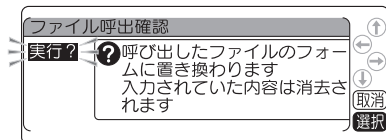


- 5 内容を確認し、**選択 改行**を押す

◀ ▶ ▲ ▼ で文章を確認することができます。



- 6 内容を確認し、問題なければ **選択 改行**を押す



選択したケーブルフォームが呼び出されます。

!! 注意 !!

ファイル登録したケーブルフォームを呼び出すと、前回入力して自動保存されていたフォームは消えます。

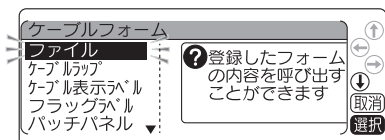
MEMO

- 操作の途中で **解除 取消** または **ファイル** を押すと、1つ前の状態に戻ります。**←** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- ケーブルフォームの入力画面で、**ファイル** を押して表示される「ファイル」メニューからも、ケーブルフォームのファイルを読み出すことができます。

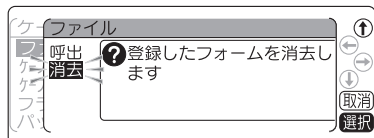
登録したケーブルフォームを消去する

ケーブルフォームのファイルは、1 件ごとに消去できます。

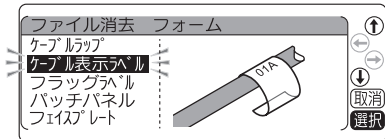
- 1 ケーブルフォームのメニュー一覧から、「ファイル」を選び、**選択 改行**を押す



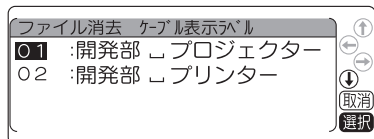
- 2 「消去」を選び、**選択 改行**を押す



- 3 消去したいフォームを選び、**選択 改行**を押す



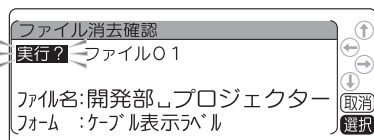
- 4 **↑**、**↓** または **0** ~ **9** で消去するファイル番号を選び、**選択 改行**を押す



- 5 内容を確認し、**選択 改行**を押す



- 6 内容を確認し、問題なければ **選択 改行**を押す



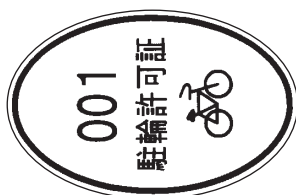
選択したケーブルフォームが消去されます。
続けてファイルの呼出や消去ができます。
「終わり?」を選ぶとケーブルフォーム入力画面に戻ります。

MEMO

- 消去したケーブルフォームは、**復活**を押しても復活させることはできません。
- 操作の途中で **戻る** または **ファイル** を押すと、1 つ前の状態に戻ります。**←** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- ケーブルフォームのファイルは全件まとめての消去や、フォームの種類ごとにまとめて消去することはできません。
- ケーブルフォームの入力画面で、**ファイル** を押して表示される「ファイル」メニューからも、ケーブルフォームのファイルを消去できます。

●カットラベルに印刷する

カットラベルフォームを使うと、あらかじめ定形に型抜きされたラベルを使って、完成度の高い成果物を作成することができます。



品 名	ノート PC
番 号	K J 0 1 2 3

!! 注意 !!

- ・ カットラベルフォームで印刷するには、カットラベルのテープカートリッジを本機にセットする必要があります。
- ・ 本機は「SR970/SR5900P 専用」と書かれているカットラベルもお使いいただけます。

MEMO

カットラベルのテープカートリッジをセットしているときに  を押すと、テキスト画面ではなく、カットラベルフォームメニュー画面に戻ります。

カットラベルをセットすると、自動的にカットラベルフォームメニューが表示されます。



!! 注意 !!

きれいに印刷されない場合は、印字濃度を調整してください。
参照  P.201 「印刷濃度を調整する」

カットラベルフォームメニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
ファイル	ファイル 呼出 消去		
丸型	縦・横 たて書き よこ書き	丸型 1行目 [2行目 [: 10行目 [	
楕円（横）	縦・横 たて書き よこ書き	楕円（横） 1行目 [2行目 [: 10行目 [	
楕円（縦）	縦・横 たて書き よこ書き	楕円（縦） 1行目 [2行目 [: 10行目 [	

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
角丸（横）▶	縦・横 たて書き よこ書き▶	表組み なし▶	角丸（横） 1 行目〔 2 行目〔 : 10 行目〔
		あり▶	角丸（横）よこ書き 1 行目左〔 1 行目右〔 2 行目左〔 2 行目右〔 : 10 行目左〔 10 行目右〔
			角丸（横）たて書き 1 列目上〔 1 列目下〔 2 列目上〔 2 列目下〔 : 10 列目上〔 10 列目下〔

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
角丸（縦）▶	縦・横 たて書き よこ書き▶	表組み なし▶	1 行目 [2 行目 [: 10 行目 [
		あり▶	角丸（縦）よこ書き 1 行目左 [1 行目右 [2 行目左 [2 行目右 [: 10 行目左 [10 行目右 [
			角丸（縦）たて書き 1 列目上 [1 列目下 [2 列目上 [2 列目下 [: 10 列目上 [10 列目下 [

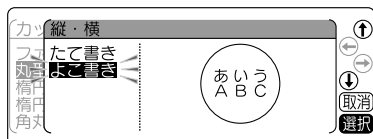
丸型・楕円のラベルを印刷する

- ① カットラベル・丸型または楕円のカートリッジをセットして、電源を入れる
カットラベルフォームが表示されます。

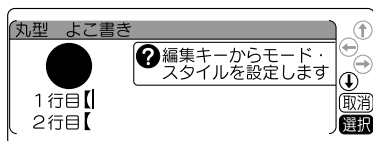
- ② 作りたいラベルの形状・向きを選び、選択 改行を押す



- ③ 「たて書き」または「よこ書き」を選び、選択 改行を押す



- ④ ガイドに従って文字を入力する
入力ガイドの後ろ（右側）にカーソルを合わせ、通常のテキスト画面と同じように文字を入力します。



- ⑤ 内容を確認し、印刷を押す。
カットラベルが印刷されます。

MEMO

- カットラベルの入力可能行数は最大 10 行です。▼を押すと次の行にカーソルが移ります。
- 入力画面にある「1 行目」や「2 行目」などは入力の案内をするためのガイドあり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。
- 操作の途中で削除またはフォームを押すと、1 つ前の状態に戻ります。◀を押すと、どの階層からでも「カットラベルフォーム」メニュー画面に戻ります。
- シフトを押しながら削除（＝全消去）を押すと、入力した内容の全文消去ができます。
- 入力画面で編集を押すと、ラベルを装飾することができます。指定できる機能は P.151 「カットラベルを編集する」を参照してください。
- ラベル内に文字をバランスよく配置するため、割付けの変更はできません。丸型、楕円の割付けは「中揃え」に指定されています。
- カットラベルは自動でハーフカットが無効になります。
- カットラベルにはバーコードを印刷することはできません。
- ⑤の画面で特殊印刷を押すと、連続印刷、鏡文字印刷をおこなうことができます。
参照 P.179 「同じラベルを連続して印刷する（連続印刷）」
- カットラベルフォームから拡大印刷、リボン連続印刷をおこなうことはできません。

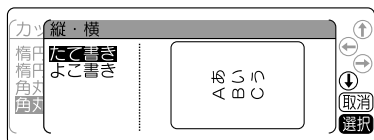
角丸のラベルを印刷する

- ① カットラベル・角丸のカートリッジをセットして、電源を入れる
カットラベルフォームが表示されます。

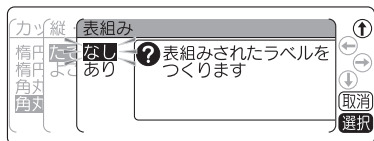
- ② 作りたいラベルの向きを選び、**選択 改行**を押す



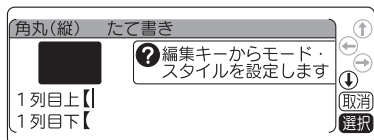
- ③ 「たて書き」または「よこ書き」を選び、**選択 改行**を押す



- ④ 表組みのあり・なしを選び、**選択 改行**を押す



- ⑤ ガイドに従って文字を入力する
入力ガイドの後ろ（右側）にカーソルを合わせ、通常のテキスト画面と同じように文字を入力します。



- ⑥ 内容を確認し、**印刷**を押す
カットラベルが印刷されます。

MEMO

- カットラベルの入力可能行数は最大 10 行です。**▼**を押すと次の行にカーソルが移ります。
 - 入力画面にある「1 行目」や「2 行目」などは入力の案内をするためのガイドあり、画面上に表示されるだけで印刷はされません。
 - 操作の途中で**削除**または**フォーム**を押すと、1 つ前の状態に戻ります。**←**を押すと、どの階層からでも「カットラベルフォーム」メニュー画面に戻ります。
 - **シフト**を押しながら**削除**（＝全消去）を押すと、入力した内容の全文消去ができます。
 - 入力画面で**編集**を押すと、ラベルを装飾することができます。指定できる機能は P.151「カットラベルを編集する」を参照してください。
 - ラベル内に文字をバランスよく配置するため、割付けの変更はできません。角丸の割付けは表組みありの場合「均等割」、表組みなしの場合「中揃え」に指定されています。
 - カットラベルは自動でハーフカットが無効になります。
 - カットラベルにはバーコードを印刷することはできません。
 - ⑤の画面で**連続印刷**を押すと、連続印刷、鏡文字印刷をおこなうことができます。拡大印刷、ビットコード印刷をおこなうことはできません。
- 参照 P.179 「同じラベルを連続して印刷する（連続印刷）」

カットラベルを編集する

「カットラベルフォーム」の入力画面で **編集** を押すことで、モード・スタイルを指定できます。

カットラベル編集メニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
文字モード			
書体 ▶	漢字書体 ▶	かな書体 ▶	英数書体
書体 漢字書体とかな書体、 英数書体をそれぞれ 選択します。 参照  P.79	ゴシック 丸ゴシック 明朝体 てがき 細字てがき 行書体 波ゴ体 太型ゴシック 太丸ゴシック 太型明朝体 太型行書体	自動 ゴシック 丸ゴシック 明朝体 てがき 細字てがき 行書体 波ゴ体 えれん ハッピー 太型ゴシック 太丸ゴシック 太型明朝体 太型行書体 太型えれん 太型ハッピー	自動 ゴシック 丸ゴシック 明朝体 てがき 細字てがき 行書体 波ゴ体 HV 体 BR 体 PL 体 ST 体 太型ゴシック 太丸ゴシック 太型明朝体 太型行書体 太型 HV 体 太型 BR 体 太型 PL 体 太型 ST 体
飾り字 ▶	A ふつう A 白文字 A 白抜影 A 淡文字 A 影文字		
斜体・強調 ▶	A 正体 A 斜体 A 強調 A 斜強調		
斜体・強調 文字を斜体または強 調します。 参照  P.76			

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
文字モード 伸・縮 ▶ 伸・縮 行中の基本文字サイズに対し、どれだけ大きく（小さく）するかを指定します。 基本文字サイズに対して「中並び」はセンター揃え、「下並び」は文字のベースライン揃えとなります。 参照🔗 P.77	A ふつう A 縮める ▶ A 小さく A 伸ばす A 細かく	（小さく、細かくのみ） A ^A 中並び A _A 下並び
囲み・網 ▶ 囲み・網 下線や文字囲み、網かけなどを指定します。 網は網濃度が選べます。 参照🔗 P.77	A なし A 訂正線 ▶ A 網かけ A 下線 A 角囲み網 A 角囲み A 丸囲み網 A 丸囲み	（網かけ、角囲み網、丸囲み網のみ） 網濃度 ふつう 濃い ベタ
文字間 ▶ 文字間 文字間隔を調整します。プロポーショナルは英数字に有効で、「オフ」にすると英数字も全角扱いになります。 参照🔗 P.78	密着 ▶ 狭い ふつう 広い ※通常テキスト時とは初期設定値が異なります。	プロポーショナル オン オフ
終わり？ ▶ 終わり？ 指定後のみ表示され、文字モードの範囲を指定します。 参照🔗 P.68	範囲は？ 文章全体 この字から この行	

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
スタイル 文字サイズ ▶ 均等 各行を同じ文字サイズにします。 らく² 入力文字数に応じて文字サイズを自動調整します。 おまかせフォーマット 各行の文字サイズを、ピクトグラフで表示される組み合わせのように指定します。 自由のび² 行ごとに文字の大きさを指定します。 参照 P.155、157	自動 1 行 ▶ 2 行 ▶ 3 行 ▶ 4 行 ▶ 5 行 ▶ 6 行 ▶ 7-10 行 ▶	均等 らく ² (おまかせフォーマット) 特大 1a 小 1d 大 1b 細 1e 中 1c 自由のび ² 大大 2a 大小 2c 中中 2b 小大 2d 自由のび ² 均等 3a 2大 3c 1大 3b 3大 3d 自由のび ² 均等 4a 3大 4d 1大 4b 4大 4e 2大 4c 自由のび ² 均等 5a 3大 5d 1大 5b 4大 5e 2大 5c 5大 5f 自由のび ² 均等 6a 下大 6c 上大 6b 自由のび ² 均等

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
------	--------	-------

スタイル

外枠（表組み） ▶

外枠（表組み）

選択したカットラベルにより、外枠・表組みが切り換わります。

外枠

形状に合わせてピクトグラフのような飾り枠がつけられます。

表組み

ピクトグラフのような表組みのラベルを作ります。
角丸（横）、角丸（縦）で表組み「あり」を選択した場合に指定可能です。ピクトグラフのような飾り枠がつけられます。

参照  P.157

外枠 ▶

なし	00		01		02
	03		04		05
	06		07		08
	09		10		

なし	00		01		02
	03		04		05
	06		07		08
	09		10		

なし	00		01		02
	03		04		05
	06		07		08
	09		10		11
	12		13		14
	15		16		

表組み ▶

なし	00		01		02
	03		04		

反転 ▶

反転

背景色と文字色を反転させたラベルを作ります。

参照  P.158

終わり？

終わり？

指定後のみ表示され、入力画面に戻ります。

する

しない

!! 注意 !!

- 上記の項目以外をカットラベル印刷時に指定することはできません。
- 通常テキストの編集機能の指定内容はカットラベルには反映されません。

機能の説明（スタイル）

モードは通常テキストの「文字モード」と同じように指定することができます。
参照  P.76「機能の説明（文字モード）」

●文字サイズ

通常テキストの「文字サイズ」と同様に、文字サイズの指定ができます。 参照  P.80「●文字サイズ」
ただし、ラベルの形状によって印刷できる文字数に制限があります。

均等 （ご購入時の 初期設定値）	文字数が多くなると自動的にサイズを小さくします。複数行ある場合は、最も文字数の多い行の文字サイズに合わせます。 ラベル 綺麗なラベル 綺麗なラベル 「テプラ」
らく ²	入力文字数に応じて、文字サイズを自動調整します（フルオート）。 1 行のとき：文字数が多くなると自動的に文字サイズを小さくします。 ラベル 綺麗なラベル 2 行以上のとき：ラベルの形状の範囲内でバランスよくるように、各行の文字サイズを自動調整します。 堀之内 □0X0-20XX-20XX HORINOUCHI □0X0-20XX-20XX
おまかせ フォーマット	各行の文字サイズ（行の大小）を、あらかじめ用意された組み合わせの中から選びます（セミオート）。 参照  P.156「おまかせフォーマット（1 行～ 10 行）」
自由のび ²	行ごとの文字サイズを自由に選びます（マニュアル）。 参照  P.157「自由のび ² 」

MEMO

- ご購入時の初期設定値では、文字間は「狭い」、文字サイズは「均等」に指定されています。
- カットラベルフォームの文字サイズは、文字サイズでは指定できません。

おまかせフォーマット（1行～10行）

選択肢から文字サイズ（行の大小）を選びます。表示されるピクトグラフで各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。

また、「自由のび²」を選ぶと、行ごとの文字の大きさ（行の大小）を自由に指定できます。

おまかせフォーマット 1 行

 特大 1a・ 大 1b・ 中 1c・ 小 1d・ 細 1e と選んだ場合、次のような文字の大きさと印刷されます。

印字 サンプル	美	美	美	美	美
文字サイズ (pt)	38	32	26	19	16
カットラベル 丸型 楕円（横） 楕円（縦） 角丸（横） 角丸（縦）	特大	大	中	小	細

!! 注意 !!

カットラベルに印刷できる文字の大きさに制限があるため、ラベルの形状・向きや印刷する行数によっては、おまかせフォーマットの一部が機能しない場合があります。各行の文字サイズは、文字サイズインジケータで確認してください。

MEMO

指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。

自由のび²

各行ごとに文字の大きさ（行の大小）を「細」「小」「中」「大」「特大」の5段階で、自由に指定できます。ただし、行数や文字数によっては異なるサイズを指定しても、印刷結果は同じになることがあります。



MEMO

- これらの例は、自由のび²の組み合わせのごく一部です。
- 各行の文字サイズは文字サイズインジケータで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。

●外枠（表組み）

カットラベル専用の外枠を、文章のまわりにつけます。

表示されるピクトグラフで外枠の種類を確認できます。

角丸で表組み - ありを選んだ場合は、表組みのデザインを変更します。

外枠あり



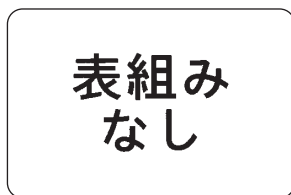
外枠なし



表組みあり



表組みなし



!! 注意 !!

入力した文字のサイズによって、文字と外枠が重なることがあります。

必要に応じて文字サイズを小さくするなど、重ならないように調整をしてください。

●反転

「する」を選ぶと、背景色と文字色を反転させたラベルを作成することができます。

しない



する



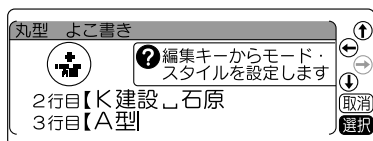
!! 注意 !!

「反転」を「する」に指定すると印刷結果にムラが生じることがあります。

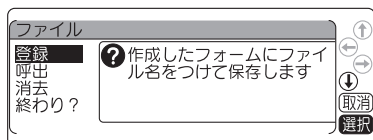
よく作るカットラベルフォームをファイル登録する

よく作るカットラベルフォームの入力内容をファイル登録することができます。ファイルはファイル番号 00 ～ 99 (100 件) の中から番号を選んで登録します。

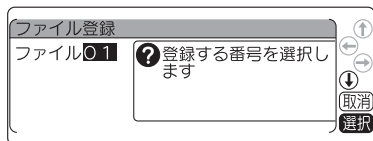
- 1 登録したいカットラベルフォームの入力画面で内容を入力し、**ファイル**を押す



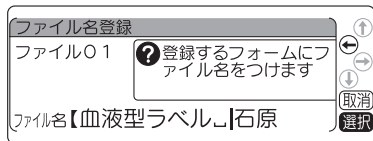
- 2 「ファイル」メニューから、「登録」を選択する。



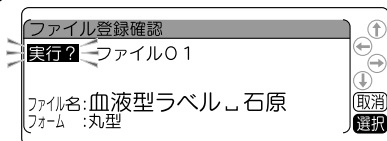
- 3 **↑** **↓** または **0** **1** ～ **9** で登録するファイル番号を選び、**選択 改行**を押す



- 4 ファイル名を入力し、**選択 改行**を押す



- 5 内容を確認し、**選択 改行**を押す



「実行中」と表示され、登録後に「終わり?」にカーソルが移ります。続けてファイルの呼出や消去ができます。

「終わり?」を選ぶとカットラベルフォーム入力画面に戻ります。

!! 注意 !!

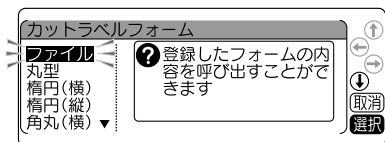
「実行中」に AC アダプタや電池を抜かないでください。ファイル内容がこわれる可能性があります。

MEMO

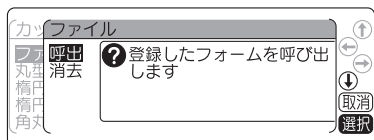
- 操作の途中で **削除 取消** または **ファイル** を押すと、1 つ前の状態に戻ります。**←** を押すと、「カットラベルフォーム」メニュー画面に戻ります。
- 仮確定文字、点滅文字があると「ファイル」メニューを表示できません。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると、「メモリーがいっぱいです」が表示されます。
不要なカットラベルフォームをファイルから削除してください。
- 本機には、カットラベルフォームを約 4,000 文字分を登録することができます。登録できる個数は、入力時の文字数・行数などによります。

登録したカットラベルフォームを呼び出す

- ① カットラベルフォームのメニュー一覧から、「ファイル」を選び、**選択 改行**を押す



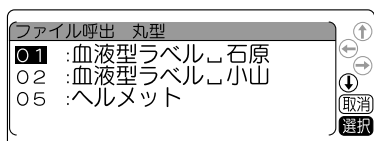
- ② 「呼出」を選び、**選択 改行**を押す



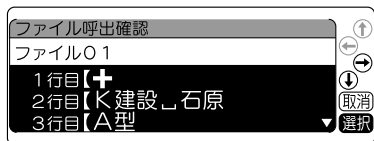
- ③ 呼び出したいカットラベルフォームの種類を選び、**選択 改行**を押す



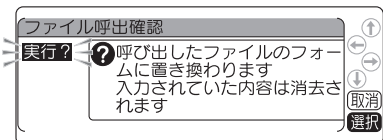
- ④ **▲ ▼** または **0' ~ 9'** で呼び出したいファイルを選び、**選択 改行**を押す



- ⑤ 内容を確認し、**選択 改行**を押す
◀ ▶ で文章を確認することができます。



- ⑥ 内容を確認し、問題なければ **選択 改行**を押す



選択したカットラベルフォームが呼び出されます。

!! 注意 !!

ファイル登録したカットラベルフォームを呼び出すと、前回入力して自動保存されていたカットラベルフォームは消え、**復活**を押しても復活させることはできません。「実行?」を選ぶ前に、もう一度確認し、必要な文章はファイルに登録するなどの対処をおこなってください。

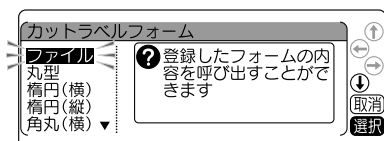
MEMO

- 操作の途中で**削除**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**☺**を押すと、「カットラベルフォーム」メニュー画面に戻ります。
- カットラベルフォームの入力画面で、**ファイル**を押して表示される「ファイル」メニューからも、カットラベルフォームのファイルを呼び出すことができます。

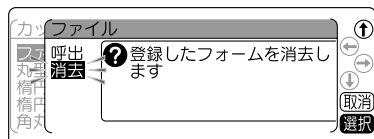
登録したカットラベルフォームを消去する

カットラベルフォームのファイルは、1 件ごとに消去できます。

- 1 カットラベルフォームのメニュー一覧から、「ファイル」を選び、**選択 改行**を押す



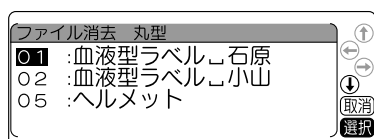
- 2 「消去」を選び、**選択 改行**を押す



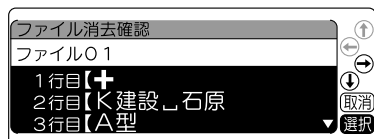
- 3 消去したいカットラベルフォームの種類を選び、**選択 改行**を押す



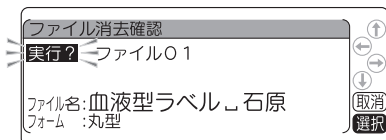
- 4 **↑** **↓** または **0** **1** ~ **9** で呼び出したいファイルを選び、**選択 改行**を押す



- 5 内容を確認し、**選択 改行**を押す
← **→** **↑** **↓** で文章を確認することができます。



- 6 内容を確認し、問題なければ **選択 改行**を押す



選択したカットラベルフォームが消去されます。続けてファイルの呼出や消去ができます。

「終わり?」を選べばカットラベルフォーム入力画面に戻ります。

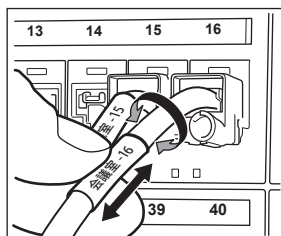
MEMO

- 消去したファイルは、**復活**を押しても復活させることはできません。
- 操作の途中で**削除取消**または**ファイル**を押すと、1 つ前の状態に戻ります。**←**を押すと、「カットラベルフォーム」メニュー画面に戻ります。
- カットラベルフォームのファイルは全件まとめての消去や、形状ごとにまとめて消去することはできません。
- カットラベルフォームの入力画面で、**ファイル**を押して表示される「ファイル」メニューからも、カットラベルフォームのファイルを消去できます。

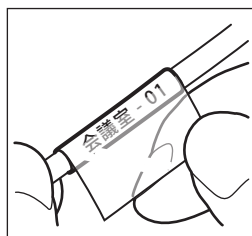
●カッタベル・バンドウイットに印刷する

カッタベル・バンドウイットシリーズは、インダストリー・ネットワーク配線機器メーカーの Panduit Corporation と共同開発したケーブル表示に特化したラベルです。セットされたテープカートリッジの種類に合った専用フォームを使用して印刷します。

PANDUIT™



回転ラベル



セルフラミネートラベル

ラベルを印刷する

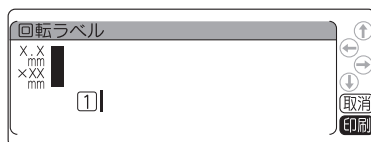
カッタベル・バンドウイットに印刷するには以下の流れでおこないます。

1 カッタベル・バンドウイットをセットして、電源を入れる

テープ種類に合ったフォームまたはテキスト編集画面が表示されます。

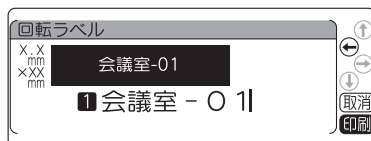
入力項目の選択画面が表示された場合、項目を選び

選択 改行 を押します。



2 文字を入力する

通常のテキスト画面と同じように文字を入力します。



3 内容を確認し、**印刷**を押す

カッタベルが印刷されます。

MEMO

- テープ種類によって、入力できる文字数や行数に制限があります。
- 操作の途中で **削除 改行** または **フォーム** を押すと、1 つ前の状態に戻ります。 **戻る** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- シフト** を押しながら **削除 改行** (=全消去) を押すと、入力した内容の全文消去ができます。
- 入力画面で **編集** を押すと、ラベルの装飾をすることができます。指定できる機能はセットされたテープにより異なります。
- カッタベル・バンドウイットは自動でハーフカットが無効になります。
- カッタベル・バンドウイットにはバーコードを印刷することはできません。
- 特殊印刷** を押すと、連続印刷、鏡文字印刷をおこなうことができます。拡大印刷、ピットコード印刷をおこなうことはできません。

参照 P.179 「同じラベルを連続して印刷する (連続印刷)」

!! 注意 !!

- きれいに印刷されない場合は、印刷濃度を調整してください。
参照  P.201 「印刷濃度を調整する」
- 印刷位置が合わない場合は、カットラベル位置を調整してください。
参照  P.200 「カットラベル位置を調整する」
- ヘッド接触部のインクがテープに転写しないよう、印刷時以外はカートリッジを本体から取り外してください。

よく作るカットラベル・バンドウittフォームをファイル登録する

よく作るカットラベル・バンドウittフォームの入力内容をファイル登録することができます。ファイルはファイル番号 00 ～ 99（100 件）の中から番号を選んで登録します。

- 1 登録したいカットラベル・バンドウittフォームの入力画面で内容を入力し、**ファイル**を押す

- 2 「ファイル」メニューから、「登録」を選択する

- 3 **▲ ▼** または **0 ~ 9** で登録するファイル番号を選び、**選択 改行**を押す

- 4 ファイル名を入力し、**選択 改行**を押す

- 5 内容を確認し、**選択 改行**を押す

「実行中」と表示され、登録後に「終わり？」にカーソルが移ります。続けてファイルの呼出や消去ができます。「終わり？」を選ぶとテキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

「実行中」に AC アダプタや電池を抜かないでください。ファイル内容がこわれる可能性があります。

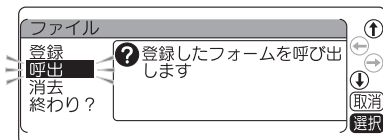
MEMO

- 操作の途中で**戻る**または**ファイル**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**←**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 仮確定文字、点滅文字があると「ファイル」メニューを表示できません。
- データがいっぱいではこれ以上登録できなくなると、「メモリーがいっぱいです」が表示されます。不要なカットラベル・バンドウittフォームをファイルから消去してください。
- 本機には、カットラベル・バンドウittフォームを約 4,000 文字分登録することができます。登録できる個数は、入力時の文字数・行数などによります。

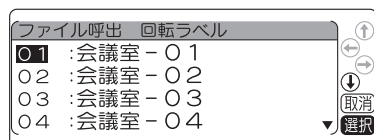
登録したカットラベル・バンドウィットフォームを呼び出す

1 **ファイル** を押す

2 「ファイル」メニューから、「呼出」を選択する



3 **↑** **↓** または **0** **1** ~ **9** で呼び出したいファイル番号を選び、**選択 改行** を押す

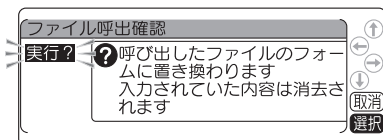


4 内容を確認し、**選択 改行** を押す

← **↑** **↓** **→** で文章を確認することができます。



5 内容を確認し、問題なければ **選択 改行** を押す



選択したカットラベル・バンドウィットフォームが呼び出されます。

!! 注意 !!

ファイル登録したカットラベル・バンドウィットフォームを呼び出すと、前回入力して自動保存されていたフォームは消え、**復活** を押しても復活させることはできません。「実行?」を選ぶ前に、もう一度確認し、必要な文章はファイルに登録するなどの対処をおこなってください。

MEMO

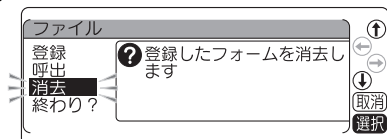
操作の途中で**削除 改行** または **ファイル** を押すと、1つ前の状態に戻ります。**←** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

登録したカットラベル・バンドウイトフォームを消去する

カットラベル・バンドウイトフォームのファイルは、1 件ごとに消去できます。

1 **ファイル** を押す

2 「消去」を選び、**選択 改行** を押す



3 **▲ ▼** または **01 ~ 91** で消去するファイル番号を選び、**選択 改行** を押す

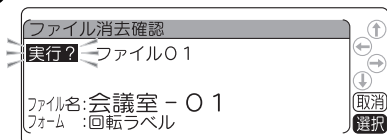


4 内容を確認し、**選択 改行** を押す

◀ ▶ ▲ ▼ で文章を確認することができます。



5 内容を確認し、問題なければ **選択 改行** を押す



選択したカットラベル・バンドウイトフォームが消去されます。

続けてファイルの呼出や消去ができます。

「終わり?」を選ぶと入力画面に戻ります。

MEMO

- 消去したファイルは、**復活** を押しても復活させることはできません。
- 操作の途中で **削除 改行** または **ファイル** を押すと、1 つ前の状態に戻ります。**◀** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- カットラベル・バンドウイトフォームのファイルは全件まとめての消去や、形状ごとにまとめて消去することはできません。

● 転写テープを印刷する

転写テープをセットしているときは、印刷時に鏡文字印刷を指定できます。

鏡文字印刷を指定する

① 転写テープのカートリッジを本機にセットする

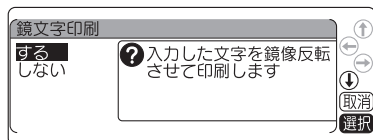
テープカートリッジをセットした直後は、**シフト**を押したまま**印刷**を押し、「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

② 文字を入力する

③ **印刷**を押す

「鏡文字印刷」メニューが表示されます。

④ 「する」を選び、**選択 改行**を押す



上下逆さまになった「鏡像」で印刷されます。印刷終了後、テープは自動的にカットされます。

!! 注意 !!

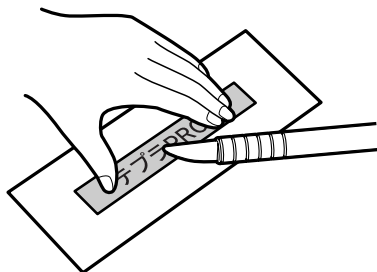
- ・ 転写テープで鏡文字印刷を「しない」で印刷すると、印刷結果が正像になります。このラベルを転写すると、転写結果が「鏡像」になりますのでご注意ください。
- ・ 転写テープは自動でハーフカット無効、低速で印刷します。
- ・ 転写しやすいように、余白は自動的に多めに印刷されます。
- ・ 鏡文字印刷は印刷履歴の対象になりません。

転写テープの文字を転写する

① 机などの平面に転写する紙面を置き、紙面の上に転写テープを文字が正しく読める面を上にして置く

② テープの余白をしっかりと押さえ、固い棒などでテープの上から1文字ずつ、ていねいにこする

③ 上から見て、文字が白っぽく変わったら、転写完了

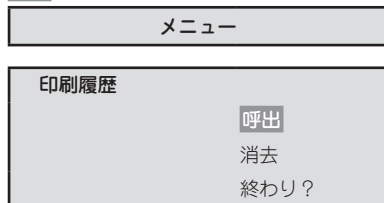


● 最近印刷した文章を呼び出す

本機は、最近印刷した文章を最大 10 件まで記憶しており、簡単な操作で呼び出すことができます。
ファイル登録をし忘れた場合などに便利です。

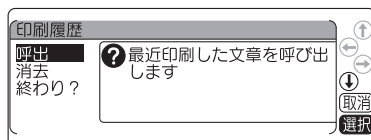
印刷履歴メニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。



印刷履歴を呼び出す

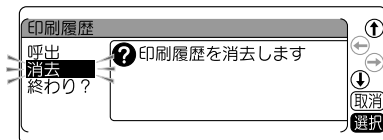
- 1 **シフト** を押しながら **フォーム** (= 印刷履歴) を押す
「印刷履歴」メニューが表示されます。
- 2 「呼出」を選び、**選択 改行** を押す
最近印刷した文章（第 1 段落の 1 行目のみ）が
10 件表示されます。
- 3 呼び出したい文章を選び、**選択 改行** を押す
呼び出す内容の確認画面になります。
- 4 内容を確認し、**選択 改行** を押す
「実行中」と表示されたあと、文章が呼び出され、
テキスト画面に表示されます。



印刷履歴を消去する

1 **シフト** を押しながら **フォーム** (= 印刷履歴) を押す

2 「消去」を選び、**選択 実行** を押す
最近印刷した文章が 10 件表示されます。



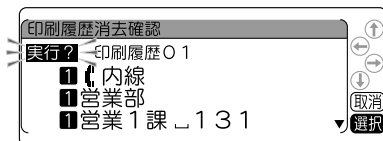
3 消去する文章を選び、**選択 実行** を押す
消去する内容の確認画面になります。



4 内容を確認し、**選択 実行** を押す



5 内容を確認し、**選択 実行** を押す
「実行中」と表示されたあと、文章が印刷履歴から消去されます。
続けて印刷履歴の呼出や消去ができます。
「終わり?」を選べるとテキスト画面に戻ります。



!! 注意 !!

- 印刷履歴を呼び出すと、テキスト画面で作成していた文章は消え、**復活** を押しても復活させることはできません。呼び出す前に、もう一度確認し、必要な文章はファイルに登録するなどの対処をおこなってください。
- 最近印刷した 10 件の文章を保存するため、古いものから自動的に書き換えられていきます。
- 印刷履歴の対象となるのは、通常印刷のみで、特殊印刷やビジネスフォーム、ケーブルフォーム、カットラベルフォームからの印刷などは保存されません。
- 文字数の多い文章の場合、記憶している文章の件数が 10 件にならないことがあります。
- QR コードを使った場合など、印刷したラベルの情報量によっては印刷履歴に記録されないことがあります。

MEMO

操作の途中で **削除 取消** または **フォーム** を押すと、1 つ前の状態に戻ります。**戻る** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

●連番やバーコードを印刷する

シフトを押しながら**ファイル**(=連番・バーコード)を押すと、連続番号やバーコードが入力できます。

連番・バーコードメニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

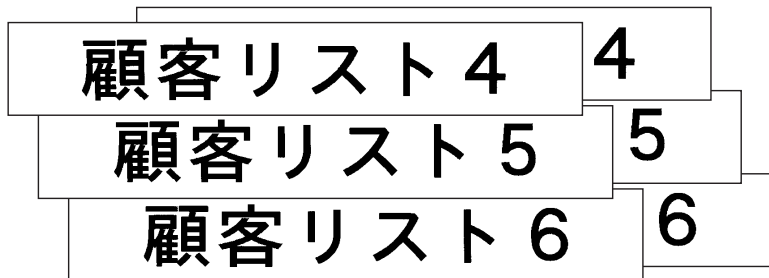
メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
連続番号				
1桁 ▶	初期値入力 ▶	繰返し回数		
2桁		1回		
3桁		2回		
1桁丸付		3回		
2桁丸付		4回		
連続番号 連番の入ったラベルを作ります。 参照 P.171		5回		
		10回		
バーコード				
QRコード ▶	用途	誤り訂正レベル		
	一般 ▶	7%		
	URL ▶	15%		
		25%		
		30%		
JAN-13 ▶	全体の幅 ▶			数値入力
NW-7 ▶	小さめ			
JAN-8 ▶	ふつう	(NW-7、ITF、CODE39のみ)	(NW-7、ITF、CODE39のみ)	
ITF ▶	大きめ	細・太の比率 ▶	チェックデジット ▶	
UPC-A ▶				
CODE39 ▶		2.0	あり	
UPC-E ▶		2.5	なし	
バーコード バーコードの入ったラベルを作ります。 参照 P.174		3.0		

連番を印刷する

数字または英字の部分だけが異なる複数のラベルを作る場合、連続番号を指定すると、1枚印刷するたびに、自動的に加算して印刷します。

連続番号には「1桁」「2桁」「3桁」「1桁丸付」「2桁丸付」があります。連続番号を印刷するときは、初期値と繰り返し回数（1、2、3、4、5、10回）を指定します。繰り返し回数では同じ文字を何回繰り返すかを指定します。

例：2桁連番で、4、5、6…の入ったラベルを2枚ずつ作る



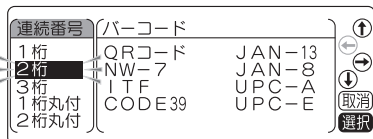
1 連番を入れる位置にカーソルを合わせる

①顧客リスト

2 シフトを押しながらファイル（＝連番・バーコード）を押す

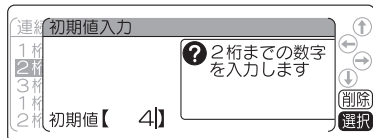
「連続番号」メニューが表示されます。

3 「2桁」を選び、選択改行を押す



「初期値入力」画面が表示されます。

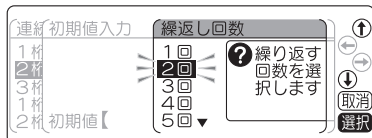
4 初期値に「4」を入力し、選択改行を押す



MEMO

初期値には、「1桁」「1桁丸付」の場合は英数字1桁、「2桁」「2桁丸付」の場合は数字2桁、「3桁」の場合は数字3桁まで入力できます。

5 繰り返し回数「2回」を選び、選択改行を押す



テキスト画面に戻り、カーソル位置に連番（連番マーク²N+ 数値エリア「4」）が表示されます。

①顧客リスト²N4

MEMO

テキスト画面での連番マークは、「1桁」が¹N、「2桁」が²N、「3桁」が³N、「1桁丸付」が¹N、「2桁丸付」が²Nになります。

6 を押す

「4」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト 4

7 を押す

繰り返し回数「2回」を指定しているので、2枚目の「4」のラベルが印刷されます。

顧客リスト 4

印刷後、数値入力エリアの番号が加算され「5」になります。

8 を押す

「5」の1枚目のラベルが印刷されます。

顧客リスト 5

以降、同様に繰り返します。

MEMO

- 連番の初期値に指定できるのは、「1桁」「1桁丸付」の場合は、数字の「0～9」とアルファベットです。「2桁」「2桁丸付」の場合は、数字の「0～9」「00～99」です。「3桁」の場合は、数字の「0～999」「00～999」「000～999」です。小数点やマイナスは指定できません。
- 「1桁」「1桁丸付」の場合、1、2、3、4…と9まで数字が1つずつ繰りあがります。英字の場合、A (a)、B (b)、C (c)、D (d) とアルファベット順に1つずつ繰りあがります。

「1桁」で数字の場合

1、2、3、… 9、0 …

「1桁」で英字の場合

A、B、C、… Z、A …

「1桁丸付」で数字の場合

①、②、③、… ⑨、⑩ …

「1桁丸付」で英字の場合

Ⓐ、Ⓑ、Ⓒ、… Ⓔ、Ⓐ …

- 「2桁」「2桁丸付」の場合、1、2、3、4…と99まで数字が1つずつ繰りあがります。

「2桁」で初期値が1桁の場合

1、2、3、… 99、0 …

「2桁」で初期値が2桁の場合

01、02、03、… 99、00 …

「2桁丸付」で初期値が1桁の場合

①、②、③、… ⑨⑨、⑩ …

「2桁丸付」で初期値が2桁の場合

⓪①、⓪②、⓪③、… ⓪⑨⑨、⓪⑩ …

- 「3桁」の場合、1、2、3、4…と999までの数字が1つずつ繰りあがります。

「3桁」で初期値が1桁の場合

1、2、…10、…999、0、1、…

「3桁」で初期値が2桁の場合

01、02、…10、…999、00、01、…

「3桁」で初期値が3桁の場合

001、002、…010、…999、000、001、…

- 1つの文章に入力できる連番は、バーコードと合わせて6個までです。
- 連番の初期値や繰り返し回数を変更する場合は、連番の直後（右側）にカーソルを合わせ、シフト + ファイル（＝連番・バーコード）を押してください。「連番」メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
連番を削除するときは、連番の直後（右側）にカーソルを合わせ、削除を押してください。
連番（連番マーク¹①²②³③⁴④⁵⑤⁶⑥＋数値エリア）にも、通常の文字と同様に、文字モード、段落スタイルの編集機能を指定できます。
- 連番は合成記号と組み合わせることはできません。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連続番号の入ったラベルを枚数分印刷することができます。
参照 📖 P.179 「同じラベルを連続して印刷する（連続印刷）」

バーコードを印刷する

各種規格に準じたバーコードを印刷することができます。

印刷できるバーコードの規格と指定できる項目

規格	全体の幅 小さめ / ふつう / 大きめ	細・太の比率 2.0 / 2.5 / 3.0	チェックデジット あり / なし
JAN-13・JAN-8 UPC-A・UPC-E	○	—	—
NW-7・ITF・CODE39	○	○	○

太字 は購入時の初期設定値です。

○：指定可能

—：指定不要

全体幅：バーコード全体の幅

細・太の比率：細いバーと太いバーの太さの比率

!! 注意 !!

バーコードを作成する際は、そのバーコードの規則にしたがって入力してください。

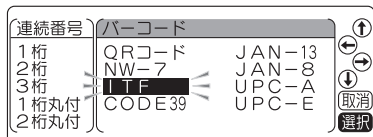
例：「ITF」のバーコード（全体幅大きめ、細・太の比率 3.0、チェックデジットあり）を印刷する



1 **シフト**を押しながら**ファイル**（＝連番・バーコード）を押す

「バーコード」メニューが表示されます。

2 **ITF**を選び、**選択 改行**を押す



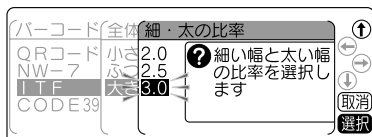
「全体の幅」メニューが表示されます。

3 **大きめ**を選び、**選択 改行**を押す



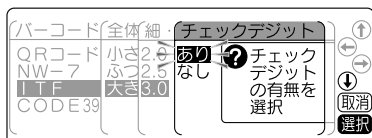
「細・太の比率」メニューが表示されます。

4 **3.0**を選び、**選択 改行**を押す



「チェックデジット」メニューが表示されます。

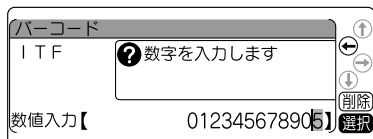
5 **あり**を選び、**選択 改行**を押す



バーコードの数値入力画面になります。

次へ進みます

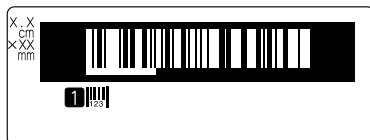
6 数値ボタンでバーコードの数値を入力する



数値が表示されます。右側の網かけ部にはチェックデジットが自動的に発生します。なお、入力できる桁数は規格によって異なります。

7 [選択 改行] を押す

テキスト画面に戻ります。カーソル位置にバーコードマーク (■) が表示されます。



8 [印刷] を押す

バーコードのラベルが印刷されます。

MEMO

- 1 つの文章に入力できるバーコードは、連番と合わせて 6 個までです。
- バーコードはデータ量が多いため、ファイルに保存するとたくさんのメモリーを使用します。
- バーコードの数値を変更したり、規格などを変更する場合は、バーコードマーク (■) の直後 (右側) にカーソルを合わせ、[シフト] + [ファイル] (=連番・バーコード) を押してください。「[バーコード] メニューが表示されます。以降の指定方法は、入力手順と同じです。
- バーコードの数値を修正するときは、数値入力画面に入り、前の数字を削除してから新しい数字を入力してください。
- バーコードを削除するときは、バーコードマーク (■) の直後 (右側) にカーソルを合わせ、[削除] を押してください。
- バーコードマークにも、通常の文字と同様に、文字モード、段落スタイルの編集機能を指定できますが、反映されるものは以下のとおりです。

バーコードマークに反映される機能

段落スタイル	外枠・表組、割付け
文字モード	囲み・網

- 印刷したバーコードは、ご使用になっているお手持ちのバーコードリーダーで読み取りの確認をしてからご使用ください。
- お手持ちのバーコードリーダーで読み取れない場合は、「全体の幅」や「細・太の比率」を調整し、再度確認してください。
- バーコードの印刷は、バーコードリーダーで読み取りやすい白地に黒文字のテープカートリッジをお奨めします。
- 規格によって入力できる桁数が異なります。ITF と NW-7 は 1 ～ 29 桁、CODE39 は 1 ～ 27 桁です。
- ITF は偶数桁数のみの規格です。チェックデジットを「あり」に指定して偶数桁を入力した場合、または「なし」に指定して奇数桁を入力した場合は、1 桁目にスベアコード (0) が自動的に発生します。
- UPC-E のチェックデジットは数値入力画面やバーコードの数字には表示されません。
- NW-7 は始めと終わりに「A、B、C、D」のいずれかを入力しなければ、作成したラベルをバーコードリーダーで読み取ることができません。
- バーコードのバーの長さ (線の部分) と数字の長さが一致しないことがありますが、ご使用上問題はありません。
- NW-7 と Code39 は [記号] で記号を入力することができます。入力できる記号は規格によって異なります。
- バーコードは合成記号と組み合わせることはできません。
- カットラベルにはバーコードを印刷することはできません。

QR コードを印刷する

QR コードは 2 次元コードの一種で、通常のバーコードよりも多くの情報量を表現できます。また、内容にひらがなや漢字などの日本語情報を入力できます。

例：携帯電話用の電話帳データ（名前、読み、電話番号など）

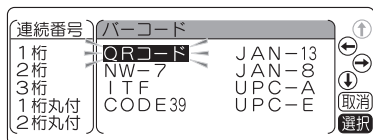


入力例「MECARD:N:山岸,正樹;SOUND:ヤマガシ,マサキ;TEL:0301234567;」
（英数、記号は半角文字です。入力に必要な情報はお使いの携帯電話によって異なります。）

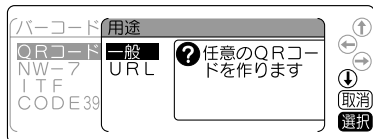
1 **[シフト]** を押しながら **[ファイル]**（＝連番・バーコード）を押す

「バーコード」メニューが表示されます。

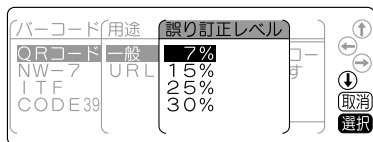
2 「QR コード」を選び、**[選択 改行]**を押す



3 用途を選び、**[選択 改行]**を押す



4 誤り訂正レベルを選び、**[選択 改行]**を押す

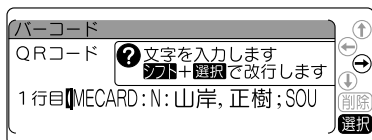


MEMO

誤り訂正レベルとは、QR コードのよごれ、破損などから読み取れなくなったデータを復元する能力です。誤り訂正レベルを上げると、復元能力は向上しますが、QR コードのサイズが大きくなることがあります。

5 内容を入力する

一般：複数行の入力ができます。**[シフト]**を押しながら **[選択 改行]** で改行できます。



URL：ABC（半角）入力で 1 行のみ入力できます。あらかじめ「http://www.」が入力されています。



MEMO

- QR コードでは、半角英数字が入力できます。**[入力切替]**を押して入力状態を「ABC（半角）入力」にしてください。用途が「URL」の場合は「ABC（半角）入力」のみとなります。
- 入力中、文字サイズインジケータに QR コードのサイズが表示されます。

6 **[選択 改行]**を押す

テキスト画面に戻ります。カーソルの位置に QR コードマーク（)が表示されます。



MEMO

- QRコードの場合、テープ幅や指定項目により入力可能文字数が異なります。

QRコードの最大入力可能文字数：

誤り訂正レベル＝7%

文字種 \ 基準文字サイズ (pt)	26	32	38	51	64	80
全角文字	10	32	65	141	262	346
半角文字 (abcdefghijklmnopqrstuvwxyz…と入力した場合)	17	53	106	230	425	692
半角数字 (1234567890123…と入力した場合)	41	127	255	552	692	—

誤り訂正レベル＝15%

文字種 \ 基準文字サイズ (pt)	26	32	38	51	64	80
全角文字	8	26	52	111	204	345
半角文字 (abcdefghijklmnopqrstuvwxyz…と入力した場合)	14	42	84	180	331	560
半角数字 (1234567890123…と入力した場合)	34	101	202	432	692	—

誤り訂正レベル＝25%

文字種 \ 基準文字サイズ (pt)	26	32	38	51	64	80
全角文字	7	20	37	80	149	243
半角文字 (abcdefghijklmnopqrstuvwxyz…と入力した場合)	11	32	60	130	241	394
半角数字 (1234567890123…と入力した場合)	27	77	144	312	580	692

誤り訂正レベル＝30%

文字種 \ 基準文字サイズ (pt)	26	32	38	51	64	80
全角文字	4	15	27	60	109	191
半角文字 (abcdefghijklmnopqrstuvwxyz…と入力した場合)	7	24	44	98	177	310
半角数字 (1234567890123…と入力した場合)	17	58	106	235	427	692

- 印刷できる文字サイズは各テープ幅によって異なります。4mm、6mm、9mm 幅テープには QR コードを印刷することができません。参照 P.80 「●文字サイズ」
- 1つの文章に入力できる QR コードは2個までです。また、1つの文章に入力できるバーコード (QR コードを含む) は、連番と合わせて6個までです。
- QR コードには一部の記号も入力できます。入力画面で  を押すことで呼び出せます。
- コードの内容や誤り訂正レベルを変更する場合は、QR コードマーク  の直後 (右側) にカーソルを合わせ、 を押しながら  (=連番・バーコード) を押してください。「連番・バーコード」メニューが表示されます。以降の指定方法は作成操作と同じですが、「用途」やバーコードの規格を変更すると、入力されていたコードの内容は失われます。
- 文字サイズインジケータの26pt～80pt部分が点滅している場合、「QRコードが大きすぎます！」が表示され、印刷できません。以下の操作をおこなってください。
 - QRコードの誤り訂正レベルを低くする。
 - QRコードの文字数を減らす。
- QRコードが大きい場合、「QRコードが大きすぎます！」が表示され、印刷できません。QRコード入力中の文字サイズインジケータを参考にして以下の操作をおこなってください。
 - 幅の広いテープに交換する。
 - 通常テキストの行数を減らす。
 - QRコードの誤り訂正レベルを低くする。
 - QRコードの文字数を減らす。
- QRコードの情報量によっては、印刷したラベルが印刷履歴に記録されないことがあります。
- カットラベルには QR コードを印刷することはできません。

● 特殊な印刷

を押すと、連続印刷、拡大印刷、鏡文字印刷、ピットとコード印刷を指定できます。

特殊印刷メニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
特殊印刷		
連続印刷 同じラベルを連続して印刷します。 参照  P.179	連続印刷 ▶	
	枚数指定 ▶	枚数入力
	止めるまで	
拡大印刷 ラベルを拡大して印刷します。 参照  P.181	拡大印刷 ▶	
	しない	
	2 倍印刷 ▶	 2/2  1/2  1/2
	3 倍印刷 ▶	 3/3  1/3  1/3  1/3
	4 倍印刷 ▶	 4/4  1/4  1/4  1/4  1/4
鏡文字印刷 鏡像反転して印刷します。 参照  P.183	鏡文字印刷 ▶	
	する	
	しない	
ピットとコード 入力した文字や記号と一緒に二次元コード「ピットとコード」を印刷します。 参照  P.184	ピットとコード ▶	
	する	
	しない	
		挿入位置 前 後
印刷実行？		

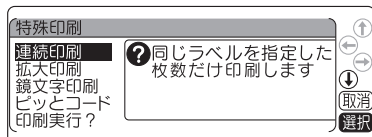
同じラベルを連続して印刷する（連続印刷）

同じラベルを指定した枚数分だけ続けて印刷します。

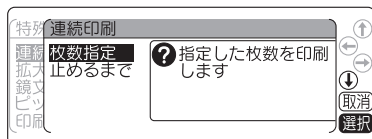
例：同じラベルを 3 枚連続して印刷する

1 文章を入力し、**特殊印刷**を押す
「特殊印刷」メニューが表示されます。

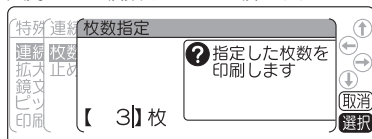
2 「連続印刷」を選び、**選択 改行**を押す



3 「枚数指定」を選び、**選択 改行**を押す

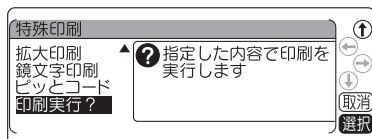


4 印刷枚数を入力し、**選択 改行**を押す
入力できる枚数は 1 ～ 99 枚です。



「特殊印刷」メニューに戻ります。

5 「印刷実行？」を選び、**選択 改行**を押す



印刷が開始されます。1 枚目の印刷が終了するとテープがカット、またはハーフカットされ、同様に 2 枚目、3 枚目が印刷されます。

MEMO

- ビック&プリント機能が有効の場合、ラベルを取り外すと次のラベルが印刷されます。
参照 [P.199](#) 「ビック&プリントを設定する」

MEMO

- 操作の途中で **特殊取消** または **特殊印刷** を押すと、1 つ前の状態に戻ります。**戻る** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは **印刷取消** を押してください。
- 「連続印刷」メニューの「止めるまで」を選択した場合、最大 100 枚まで印刷が続けます。印刷を停止したいときは、いずれかのボタンを押してください。
- 指定した枚数のラベルの全長が 16m を超える場合は印刷できません。枚数を減らすか、文字数を減らすなどしてラベルの長さを短くしてください。
- ビジネスフォームの備品管理票で連続印刷できるのは 20 枚までです。
- 連番指定された文章を連続印刷すると、連番番号の入ったラベルが枚数分印刷されます。
例えば、初期値「1」繰り返し回数 1 回の連番を 3 枚連続して印刷すると、「1」「2」「3」というラベルが連続して印刷されます。
参照 [P.171](#) 「連番を印刷する」

!! 注意 !!

- 特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。**印刷** では通常の印刷がおこなわれます。
- 連続印刷をするときは、テープ取出し口付近にラベルがたまらないように注意し、こまめにラベルを取り除いてください。テープ取出し口付近にラベルをためておくと、同じラベルを再びカットするおそれがあります。
- 連続印刷中にテープが終了した場合は、正しく印刷されなかったラベルから再度印刷することができます。
参照 [P.180](#) 「印刷中にテープが終了したら（印刷再開機能）」

印刷中にテープが終了したら（印刷再開機能）

テープが終了するなど印刷が中断されたときは、テープ終了エラーメッセージが表示されます。

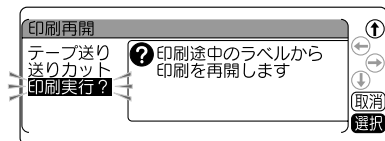


① 新品のテープカートリッジをセットし、上カバーを閉じる

「印刷再開」メニューが表示されます。

② 印刷実行？を選ぶ

正しく印刷されなかったラベルから再度印刷が始まります。
連続印刷の場合は、指定した枚数まで続けて印刷されます。



MEMO

- テープカートリッジをセットした直後は、テープのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。
- ②で **印刷実行** を押すと、印刷を再開せずにテキスト画面に戻ります。カットラベルをセットしている場合は「カットラベルフォーム」メニュー画面に戻ります。

!! 注意 !!

印刷していたテープ幅と、新しくセットしたテープ幅が異なる場合は、印刷を再開することができません。エラーメッセージが表示されますので、正しい幅のテープをセットしてください。
参照 P.228 「こんな表示が出たときは」

テープ幅より大きなラベルを作る（拡大印刷）

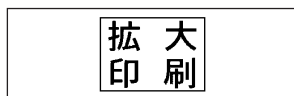
印刷内容を2倍、3倍、4倍に拡大し、部分ごとに分けて印刷することでテープ幅より大きなラベルが作れます。できあがったラベルは貼り合わせて使用してください。

「2倍印刷」なら上下2枚で1組、「3倍印刷」なら上中下3枚で1組のラベルになります。

大きさを指定したあとに、「1/2」「1/3」などを選ぶと、1組のうちの該当する部分の1枚だけを印刷できます。

●拡大印刷の種類

印刷による
通常の印刷



2倍印刷 2倍拡大

2/2

1/2

1/2



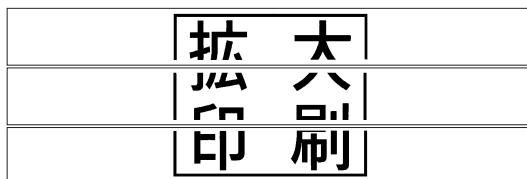
3倍印刷 3倍拡大

3/3

1/3

1/3

1/3



4倍印刷 4倍拡大

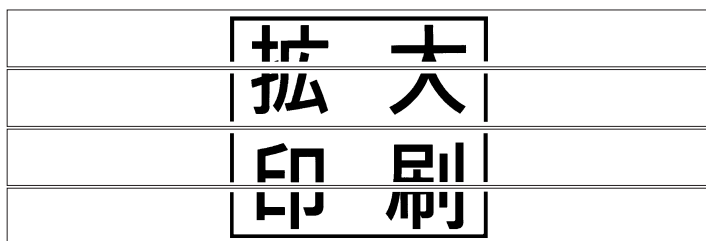
4/4

1/4

1/4

1/4

1/4

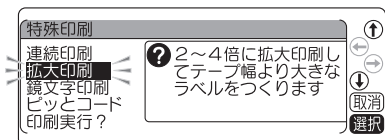


機能編

例：3 倍に拡大して印刷をする

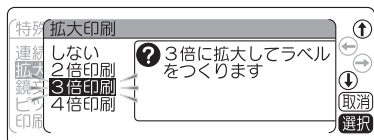
- 1 文章を入力したあと **特殊印刷** を押す
「特殊印刷」メニューが表示されます。

- 2 「拡大印刷」を選び、**選択 改行** を押す



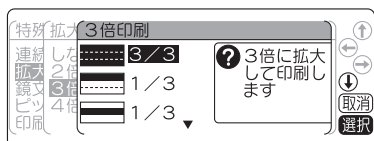
「拡大印刷」メニューが表示されます。

- 3 「3 倍印刷」を選び、**選択 改行** を押す

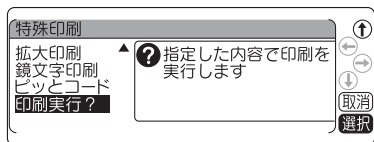


「3 倍印刷」メニューが表示されます。

- 4 「3/3」を選び、**選択 改行** を押す
「3/3」が指定され、「特殊印刷」メニューに戻ります。



- 5 「印刷実行?」を選び、**選択 改行** を押す



印刷が開始されます。3 枚 1 組のラベルが 1 枚ずつ印刷されます。

- 6 テープを貼り合わせる



上下の余白をカッターなどで切り、貼り合わせてください。

MEMO

- 操作の途中で **印刷取消** または **特殊印刷** を押すと、1 つ前の状態に戻ります。**戻る** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは **印刷取消** を押してください。
- 「拡大印刷」で作ったラベルを貼り合わせたとき、多少のズレが生じることがあります。
- 長い文章を「拡大印刷」で印刷しようとすると全長が 16m を超えて印刷できないことがあります。ラベルの文字数を減らすか、文章の内容を 2 組に分けるなど指定をしておいてください。
- 「拡大印刷」は通常の印刷内容を 2 倍、3 倍、4 倍にする機能です。そのため、定長印刷を指定した場合に「拡大印刷」をおこなうと、指定した長さの 2 倍、3 倍、4 倍のラベルが印刷されます。
- 画面に表示されるテープの長さは、通常の印刷時の長さです。「拡大印刷」で印刷すると、表示される長さの 2 倍、3 倍、4 倍の長さのラベルが印刷されます。

拡大印刷	テープ幅	テープ長さ	使用するテープ量
2 倍印刷	約 2 倍	約 2 倍	約 4 倍
3 倍印刷	約 3 倍	約 3 倍	約 9 倍
4 倍印刷	約 4 倍	約 4 倍	約 16 倍

例えば「3 倍印刷」で印刷をおこなうと、**印刷** による通常の印刷に比べて、幅が約 3 倍、長さが約 3 倍のラベルになるので、使用するテープ量は約 9 倍になります。

!! 注意 !!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行?」を選択したときのみ実行されます。**印刷** では通常の印刷がおこなわれます。

参考

カラフルな 3 倍印刷

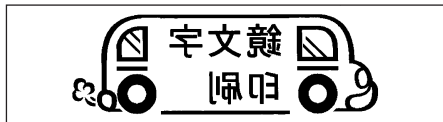
「3 倍印刷」の上中下をそれぞれ違う色の同じ幅のテープに印刷してカラフルなラベルを作ってみましょう。ただし違う色のテープで印刷をおこなうと、長さが若干異なる場合があります。また、テープカートリッジを入れ換える際にはテープをセットしたあとに、必ずテープ送りをおこなってください。

鏡文字を印刷する

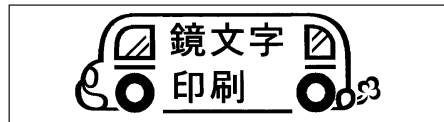
入力した文字を鏡像反転させて印刷します。

●鏡文字印刷

する（鏡像）



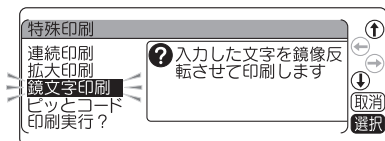
しない（正像）



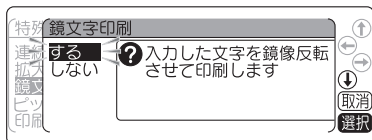
例：鏡文字を印刷をする

- 1 文章を入力し、**特殊印刷**を押す
「特殊印刷」メニューが表示されます。

- 2 「鏡文字印刷」を選び、**選択 改行**を押す

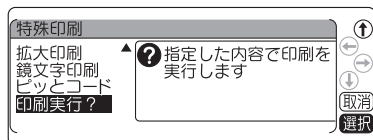


- 3 「する」を選び、**選択 改行**を押す



「特殊印刷」メニューに戻ります。

- 4 「印刷実行？」を選び、**選択 改行**を押す



ラベルが鏡像で印刷されます。

MEMO

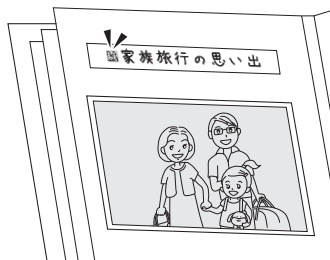
- 操作の途中で**特殊印刷**または**印刷**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**戻る**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは**印刷取消**を押してください。

!! 注意 !!

- 特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。**印刷**では通常の印刷がおこなわれます。
- アイロン転写テープ・転写テープは、**印刷**を押したときに、鏡文字印刷のメニューを表示します。
参照 P.167 「転写テープを印刷する」

家族旅行の思い出

入力した文字や記号と一緒に、二次元コード「ピットとコード」を印刷します。「ピットとコード」を専用のiOSアプリで読み取ると、端末内でひも付けた写真や動画、メモなどを呼び出すことができます。



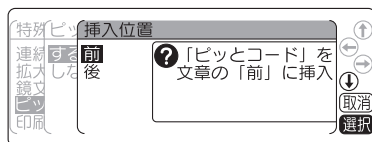
① テキスト入力画面に文字や記号を入力し、**特殊印刷**を押す

② 「ピットとコード」を選び、**選択 改行**を押す

③ 「する」を選び、**選択 改行**を押す

④ 「ピットとコード」の挿入位置を決める

▲ ▼ で、文字の前に入れるか、後ろに入れるかを選び、**選択 改行**を押します。



⑤ **選択 改行**を押す

ラベルが印刷されます。

印刷するたびに異なる「ピットとコード」が印刷されます。

※それぞれの「ピットとコード」に、異なる写真や動画、テキストなどをひも付けることができます。

以降の手順は、専用のiOSアプリ「ピットとコード」の取扱説明書をご覧ください。

■ 専用iOSアプリについて

専用iOSアプリ「ピットとコード」

「ピットとコード」の読み取りやデータ呼び出しには、専用のiOSアプリ（無料）が必要となります。

※対応しているiOS端末など詳しくは当社ホームページ（<https://www.kingjim.co.jp/>）をご覧ください。



<https://kingjim.jp/pitcode/>

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、**特殊取消**または**特殊印刷**を押し、操作を戻します。
- 4mm、6mm 幅テープには印刷できません。
- 印刷される「ピットとコード」のサイズは、文字サイズやセットしているテープ幅にかかわらず同じです。
- 入力テキストがない場合は、「ピットとコード」の挿入位置は前後どちらを選んでもテープ中央に配置されます。
- ピットとコード印刷は毎回異なるコードを印刷します。印刷を途中でやめた場合も、次に印刷される「ピットとコード」は異なるコードとなります。
- 一部テープでは「ピットとコード」をうまく読み取れない場合があります。
- 編集メニューの設定は、入力テキスト部分にのみ反映されます。ただし定長、余白、地紋の設定はラベル全体に反映されます。

●りぼん印刷をする

シフトを押しながら**特長印刷**（＝りぼん印刷）を押すと、りぼん連続印刷、お名前タグ印刷を指定できます。

りぼん印刷メニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
りぼん印刷 りぼん連続 指定したりぼんの長さと同じ文章を繰り返し印刷します。 参照 P.186	りぼん連続 ▶	文章の繰り返し ▶ 両端のみ 少ない ふつう 多い	りぼんの長さ ▶ 5.0mm : 99cm ※指定できる長さは、「文章の長さ」や設定した「文章の繰り返し」により変わります。
お名前タグ 入力した文字や記号を、お名前タグ専用フォームで印刷します。 参照 P.188	お名前タグ ▶	印刷実行？	印刷実行？

指定したラベルの長さに、同じ文章を繰り返し印刷する (りぼん連続印刷)

指定したりぼんの長さに、同じ文章を繰り返し印刷します。

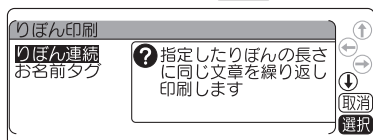
For *.You

For *.You

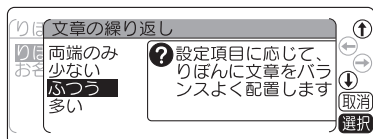
For *.You

- 1** 繰り返したい文章を入力し、**[シフト]**を押しながら**[印刷]**（＝りぼん印刷）を押す
「りぼん印刷」メニューが表示されます。

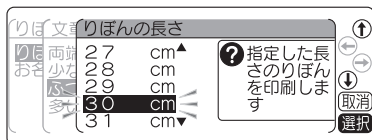
- 2** 「りぼん連続」を選び、**[選択 改行]**を押す



- 3** 「文章の繰り返し」を指定し、**[選択 改行]**を押す

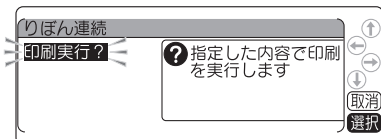


- 4** 「りぼんの長さ」を指定し、**[選択 改行]**を押す
指定できる長さは、「文章の長さ」や設定した「文章の繰り返し」により変わります。
長さは数字ボタンでも指定できます。



特殊印刷メニューに戻ります。

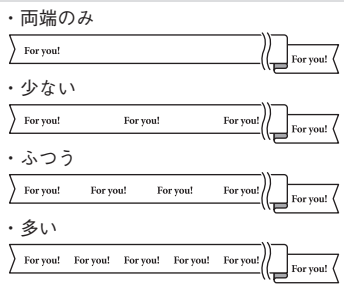
- 5** 「印刷実行？」を選び、**[選択 改行]**を押す



ラベルが印刷されます。

MEMO

りぼんに文章をバランスよく配置するため、文章の間隔を自動調整します。



MEMO

- 操作の途中で**[特殊印刷]**または**[印刷]**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**[戻る]**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 印刷を途中でやめるときは**[印刷 取消]**を押してください。
- 指定するりぼんの長さは一応の目安です。実際のできあがり長さとは完全には一致しません。
- 「りぼん連続」は、りぼん以外のテープでも使用できます。
- 「カット設定」の設定に関わらず、「りぼん連続」では自動カットはおこなわれません。

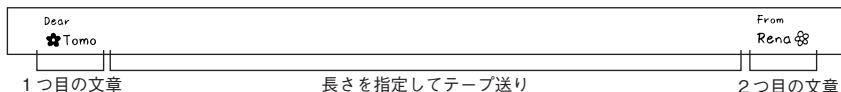
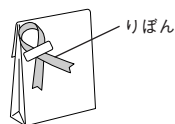
!! 注意 !!

特殊印刷は「特殊印刷」メニューの「印刷実行？」を選択したときのみ実行されます。
[印刷]では通常の印刷がおこなわれます。

指定した長さでテープ送りをする（送り長指定）

長さを指定してテープを空送りします。ラベルの前や後ろに余白が必要なときや複数文章の印刷で途中に空白を入りたいときに利用してください。

例：リボンを使ったラッピングなどに



- 1 1つ目の文章を入力して、**印刷**を押す

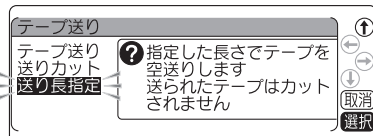
!! 注意 !!

文章の後ろに「送り長指定」で余白を入れる場合は、あらかじめ「カット設定」で自動カットしないに設定してください。

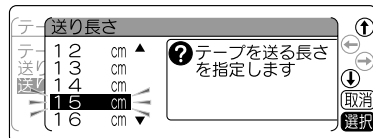
参照 P.196 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」

- 2 **シフト**を押しながら**印刷**（＝テープ送り）を押す
「テープ送り」メニューが表示されます。

- 3 **▲** **▼**で「送り長指定」を選び、**選択 実行**を押す



- 4 **▲** **▼**で送る長さを指定する
2.0cm ～ 99cmの範囲で指定できます。
長さは数字ボタンでも指定できます。



- 5 **選択 実行**を押す
指定した長さでテープ送りします。
続けて2つ目の文章を入力して、印刷します。

MEMO

- 「送り長さ」は一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。
- 操作を途中でやめるときは、**解除 取消**を押します。
- 「カット設定」の設定にかかわらず、「送り長指定」では自動カットはおこなわれません。

お名前タグ印刷をする

入力した文字や記号を、お名前タグ専用のフォームで印刷します。お名前タグ印刷を使うと、別売の「お名前タグメーカー」と「スナップボタン」を使って、オリジナルのお名前タグを作成することができます。



!! 注意 !!

- ・ お名前タグ印刷は、「テブラ」PRO テープカートリッジ リボン専用の印刷機能です。
- ・ 「お名前タグ」の作成には、別売の「お名前タグメーカー」と「スナップボタン」が必要です。

1 「テブラ」PRO テープカートリッジ リボンを本機にセットする

2 テキスト入力画面に名前や絵文字を入力し、**シフト**を押しながら**特殊印刷**（＝リボン印刷）を押す 参照 P.36「文字を入力する」 参照 P.42「記号（絵文字）を入力する」

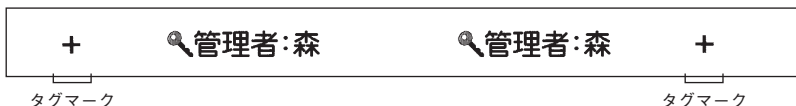
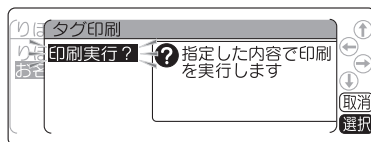
3 「お名前タグ」を選び、**選択 改行**を押す

4 「印刷実行？」と表示されたら、**選択 改行**を押す

ラベルが印刷されます。

印刷結果には、リボンの前と後ろにタグマーク「+」が印刷され、中央にテキストが2回繰り返し返されて印刷されます。「お名前タグ」に適した余白が自動でつきます。

タグマーク「+」はスナップボタンを取り付ける位置の目安となります。



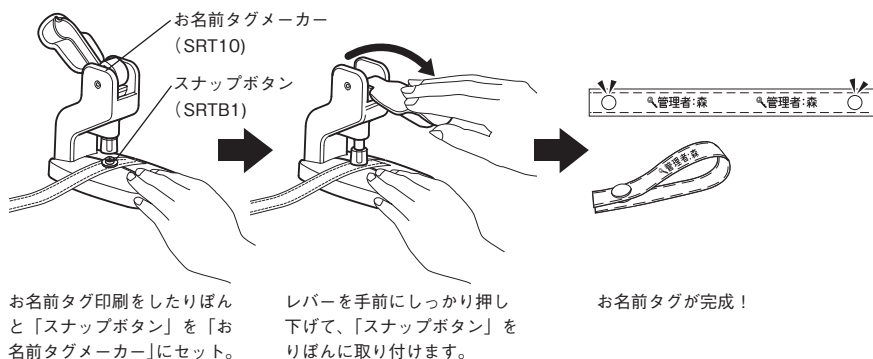
5 テープカートリッジを取り出し、カートリッジ側にテープを10mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする

以降の手順は、別売の「お名前タグメーカー」（SRT10）の取扱説明書をご覧ください。

■ 別売品「お名前タグメーカー（SRT10）」と「スナップボタン（SRTB1）」について

別売の「お名前タグメーカー」と「スナップボタン」を使って、お名前タグを作成します。

参照 P.12「別売品のご案内」



MEMO

- 4mm、6mm 幅テープにはお名前タグ印刷はできません。
- 「カット設定」の設定にかかわらず、「お名前タグ印刷」では自動カットはおこなわれません。
- 操作を途中でやめるときは、**削除** または **特約印刷** を押し、操作を戻します。
- 編集メニューの設定は、入力テキスト部分にのみ反映されます。
- スナップボタンの取り付け方法など詳細につきましては、「お名前タグメーカー」（SRT10）の取扱説明書をご覧ください。

●読みのわからない漢字を入力する

「読み」のわからない漢字は、漢字検索機能でコードでの入力や部首の読み・画数による検索ができます。

MEMO

本書には区点コード表を掲載しております。部首、JIS コード、シフト JIS コードをお使いになるときは、市販の辞書もしくはコード表をご参照ください。

参照  P.240 「漢字変換表」

漢字検索メニュー一覧

 を押しながら  (=漢字検索) を押すと以下のメニューが表示されます ( は購入時の初期設定値です)。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
コード入力 ▶ コードを入力して漢字を呼び出します。 参照  P.191	コード入力 ▶ コード	コード	
部首読み ▶ 部首の読みで漢字を検索します。 参照  P.192	部首読み ▶ 読み	部首 ▶	漢字
部首画数 ▶ 部首の画数で漢字を検索します。 参照  P.192	部首画数 ▶ 画数	部首 ▶	漢字

コードで入力する

「読み」のわからない漢字を、コードで入力できます。

入力できるコードの種類は区点コード、JIS コード、シフト JIS コードです。

MEMO

本書には区点コード表を掲載しております。JIS コード、シフト JIS コードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照  P.240 「漢字変換表」

例：「お休み處」と入力する

1 仮確定文字、点滅文字がないことを確認する



2 入力したい漢字「處」のコードを調べる

コードの種類は区点コード、JIS コード、シフト JIS コードのいずれでもかまいません。

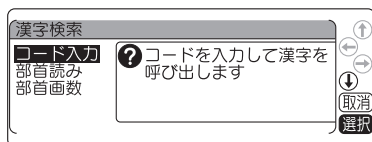
處…4961（区点コード）

参照  P.240 「漢字変換表」

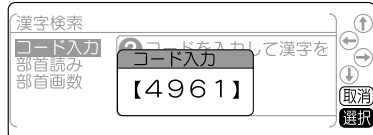
3 を押しながら （＝漢字検索）を押す

「漢字検索」メニューが表示されます。

4 「コード入力」を選び、 を押す

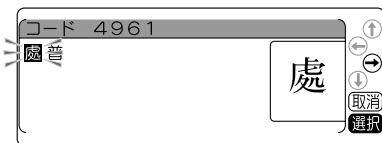


5 コードを入力する



    を押します。

最後の数字を押すと、コードに対応した漢字の候補が表示されます。



コードを入力すると、目的の文字以外の文字も表示されることがあります。例えば 4961 は区点コードでは「處」ですが、JIS コードでは「普」です。このように異なるコードにも対応した漢字があるときは、候補が複数表示されます。

6 「處」を選び、 を押す



カーソル位置に「處」が入力されます。

MEMO

- 仮確定文字、点滅文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、 または  を押し、操作を戻します。
- コードの入力を間違えたときは  を押して入力しなおしてください。

部首による漢字検索

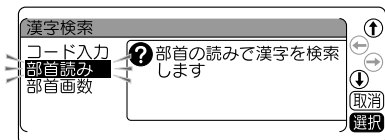
漢字を部首の読みや画数で検索し、入力できます。

例：「榎（えのき）」（部首：木）を入力する

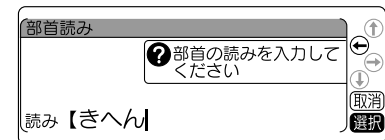
部首の読みで検索する

- 1 **シフト**を押しながら**あ・ア・A**（＝漢字検索）を押す
「漢字検索」メニューが表示されます。

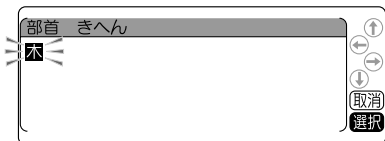
- 2 「部首読み」を選び、**選択 改行**を押す



- 3 検索する部首の読みをひらがなで入力し、**選択 改行**を2回押す
「きへん」を入力します。

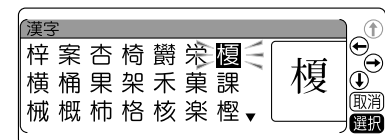


- 4 **←** **↑** **↓** **→** で部首を選び、**選択 改行**を押す
「木」を選択します。



選択した部首の漢字が表示されます。

- 5 目的の漢字を選び、**選択 改行**を押す

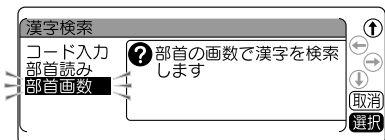


「榎」が入力されます。これで入力完了です。

部首の画数で検索する

- 1 **シフト**を押しながら**あ・ア・A**（＝漢字検索）を押す
「漢字検索」メニューが表示されます。

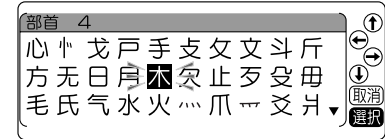
- 2 「部首画数」を選び、**選択 改行**を押す



- 3 検索する部首の画数を入力し、**選択 改行**を押す
画数は「4」を押します。



- 4 **←** **↑** **↓** **→** で部首を選び、**選択 改行**を押す
「木」を選択します。



選択した部首の漢字が表示されます。

- 5 目的の漢字を選び、**選択 改行**を押す



「榎」が入力されます。これで入力完了です。

MEMO

- ・ 仮確定文字、点滅文字があるときは操作できません。
- ・ 操作を途中でやめるときは、**削除 改行**または**あ・ア・A**を押す、操作を戻します。
- ・ 部首読みで入力できる読みは16文字までです。
- ・ 部首画数で入力できる数字は1～23です。0もしくは24以上は入力できません。

●印刷設定/編集設定/環境設定

シフトを押しながら**復活**（＝設定）を押すと、印刷や表示などの保存値を変更できます。

設定メニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
印刷設定			
カット設定 ▶ カット設定 印刷時の自動カットの有無を設定します。 参照📖 P.196	カット設定 ▶ おまかせ	ハーフカット おまかせ しない	
	ユーザー設定 ▶	自動カット ▶	ハーフカット
		しない する	しない する
ハーフカット連続 ▶	つなげる 切り離す		
ハーフカット連続 「ハーフカット」機能有効時に、ラベルをつなげるか、1枚ずつ切り離すかを設定します。 参照📖 P.198			
ピック&プリント ▶	おまかせ しない		
ピック&プリント 連続印刷時に、ラベルを引き抜くと次のラベルが印刷される機能です。 参照📖 P.199			
カットラベル位置 ▶	テープ幅方向 ▶	-5～±0～+5	
カットラベル位置 カットラベルの印刷位置を調整します。 参照📖 P.200	テープ長さ方向 ▶		
印刷濃度 ▶	おまかせ		
印刷濃度 印刷の濃さを設定します。 参照📖 P.201	ユーザー設定 ▶	-3～±0～+3	

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
編集設定 ▶ 編集設定 編集機能の保存値を設定します。 参照  P.202	リセット ▶ 定長印刷 ▶ 地紋印刷 ▶ 余白 ▶ 文字サイズ ▶ 縦・横 ▶ 外枠・表組 ▶ 割付け ▶ 書体 ▶ 飾り字 ▶ 斜体・強調 ▶ 伸・縮 ▶ 囲み・網 ▶ 文字間 ▶ 終わり? ▶	実行? 詳細な項目を設定できます。設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。

環境設定 おすすめ印刷 ▶ おすすめ印刷 テーブ種類に合った印刷メニューの表示を設定します。 参照  P.204	表示する 表示しない
おすすめフォーム ▶ おすすめフォーム テーブ種類に合ったフォームの表示を設定します。 参照  P.204	表示する 表示しない
表示濃度 ▶ 表示濃度 画面表示の濃さを設定します。 参照  P.205	-5 ~ ±0 ~ +5
バックライト ▶ バックライト 液晶ディスプレイのバックライトを ON/OFF します。 参照  P.205	ON OFF

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
学習初期化 ▶ 学習初期化 文字入力 of 学習内容を初期化します。 参照  P.206	実行？	
電池種類 ▶ 電池種類 使用する電池の種類を設定します。 参照  P.207	アルカリ乾電池 ニッケル水素電池	
バージョン バージョン 本体ソフトウェアのバージョンを確認します。 参照  P.208		

!! 注意 !!

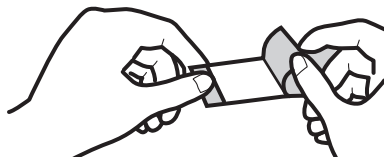
カットラベルフォームの入力画面では、「書体」「飾り字」「斜体・強調」「伸・縮」「囲み・網」「文字間」以外の編集設定の保存値は反映されません。

●印刷設定を変更する

印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する

本機には、印刷時に、ラベルを自動的にカットする「自動カット」と、ラベル部分にスリットを入れ、はがしやすくする「ハーフカット」機能があります。

ハーフカットを有効にして印刷すると、ラベル部分にスリットが入るので、はがしやすくなります。



また本機では、カット設定の初期設定値が「おまかせ」に設定されており、本機のカッターでカットをすることで品質を保証できないテープについては、自動カットまたはハーフカットをおこないません。自動カットまたはハーフカットがおこなわれるかどうかを確認したい場合は、テープカートリッジをセットしてインジケータを確認してください。

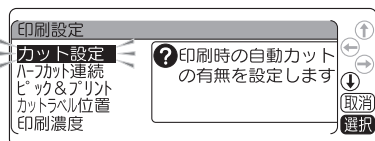
参照 P.20 「ディスプレイの見かたとはたらき」

自動カットの設定を変更したい場合は、以下の方法で切り換えられます。

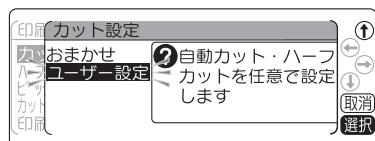
1 を押しながら (=設定) を押す
「設定」メニューが表示されます。

2 「印刷設定」を選び、 を押す

3 「カット設定」を選び、 を押す



4 「ユーザー設定」を選び、 を押す



「自動カット」または「ハーフカット」が設定され、テキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

- 自動カットが「おまかせ」に設定されている場合は、本機のカッターでカットできない耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・りぼんなどは印刷後に自動カットをおこないません。
- ハーフカットが「おまかせ」に設定されている場合は、ハーフカットのできない耐熱ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・熱収縮チューブ・ロングテープ・上質紙ラベル・転写テープ・りぼんなどはハーフカットをおこないません。
参照  P.217 「テープカートリッジを使いわせる」
- カットラベルは自動でハーフカットが無効になります。
- りぼん連続印刷、お名前タグ印刷、送り長指定では設定にかかわらず、自動カットはおこなわれません。
- 電源を入れた直後のカット設定は「おまかせ」の設定になります。

MEMO

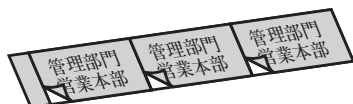
- 操作の途中で  または  を押すと、1 つ前の状態に戻ります。  を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照  P.276 「アフターサービスについて」

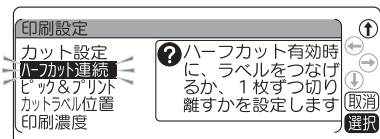
ハーフカット連続を設定する

「ハーフカット」機能有効時に連続印刷をおこなうときに、ラベルをつなげるか、1枚ずつ切り離すかを設定します。

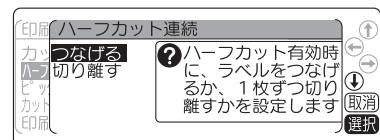
ハーフカット連続でつながったラベルを作る



- 1 **シフト**を押しながら **復活 (=設定)**を押す
「設定」メニューが表示されます。
- 2 **「印刷設定」**を選び、**選択 改行**を押す
「印刷設定」メニューが表示されます。
- 3 **「ハーフカット連続」**を選び、**選択 改行**を押す

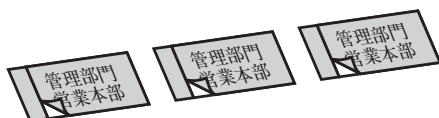


- 4 **「つなげる」**を選び、**選択 改行**を押す

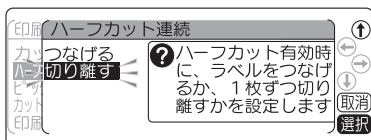


ハーフカット連続で「つなげる」に設定され、テキスト画面に戻ります。

ハーフカット連続で切り離したラベルを作る



左の手順④で「切り離す」を選ぶと、ハーフカット連続で「切り離す」に設定され、テキスト画面に戻ります。



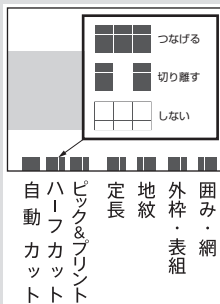
MEMO

- ハーフカット連続「つなげる」「切り離す」のどちらが設定されているかを確認したい場合は、ハーフカットインジケータを確認してください。

参照 P.20 「ディスプレイの見かたとはたらき」

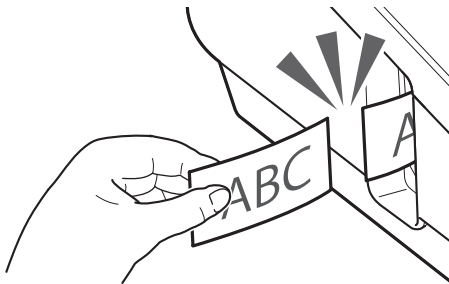
- カット設定で「自動カットしない」または「ハーフカットしない」に設定している場合は、ハーフカット連続の設定にかかわらず、ハーフカットをおこないません。
- カット設定で「おまかせ」に設定されている場合、ハーフカットのできない耐熱ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・熱収縮チューブ・ロングテープ・上質紙ラベル・転写テープ・りぼんなどは、ハーフカット連続の設定にかかわらず、ハーフカットをおこないません。

参照 P.196 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」

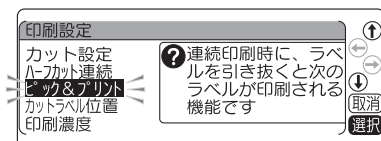


ピック&プリントを設定する

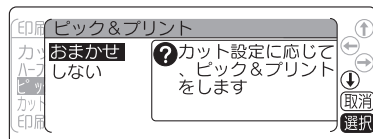
ピック&プリント機能とは、連続印刷時に、ラベルを引き抜くと次のラベルが印刷される機能です。宛名印刷など、貼り間違いが無いように、1枚ずつ順番にラベルを貼りたいシーンで活用できます。



- 1 **シフト**を押しながら**復活**（＝設定）を押す
「設定」メニューが表示されます。
- 2 「印刷設定」を選び、**選択 改行**を押す
「印刷設定」メニューが表示されます。
- 3 「ピック&プリント」を選び、**選択 改行**を押す



- 4 「おまかせ」を選び、**選択 改行**を押す
テキスト画面に戻ります。



- 5 2枚以上のラベルを連続印刷する
ピック&プリントがおこなわれます。

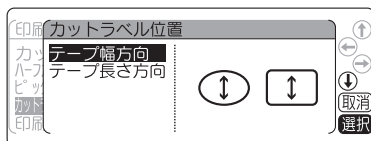
MEMO

- カット設定が以下のいずれかの場合、ピック&プリントはおこなわれません。
 - 自動カット：しない
 - ハーフカット連続：つなげる
- 長さ 28mm 未満のラベルは、ピック&プリントはおこなわれません。

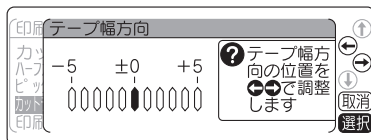
カットラベル位置を調整する

カットラベルは設計上、印刷位置がわずかにズレて印刷される場合があります。
印刷位置が合わない場合は、カットラベル位置を調整してください。
テープ幅方向と長さ方向にそれぞれ 11 段階で設定できます。

- 1 **シフト** を押しながら **設定** (=設定) を押す
「設定」メニューが表示されます。
- 2 「印刷設定」を選び、**選択 改行** を押す
「印刷設定」メニューが表示されます。
- 3 「カットラベル位置」を選び、**選択 改行** を押す
「カットラベル位置」メニューが表示されます。
- 4 「テープ幅方向」「テープ長さ方向」の設定したい方を選び、**選択 改行** を押す
「テープ幅方向」または「テープ長さ方向」の調整画面が表示されます。



- 5 位置を調整し、**選択 改行** を押す
カットラベルの印刷位置が設定されます。



MEMO

- 「テープ幅方向」ではラベルの上方向を“+”として、1 目盛りあたり 0.25mm 印刷位置を動かします。
- 「テープ長さ方向」ではラベルの右方向を“+”として、1 目盛りあたり 0.25mm 印刷位置を動かします。

印刷濃度を調整する

印刷濃度は7段階で設定できます。印刷が薄いときや濃いときに調整してください。本機では、印刷濃度の初期設定値が「おまかせ」に設定されており、通常の印刷濃度で品質を保証できないテープについては、自動的に印刷濃度「+3」で印刷をおこないます。

- 1 **シフト**を押しながら**復活**（＝設定）を押す

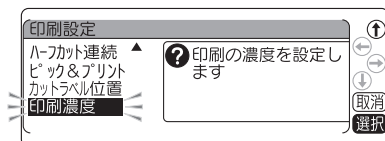
「設定」メニューが表示されます。

- 2 「印刷設定」を選び、**選択 改行**を押す

「印刷設定」メニューが表示されます。

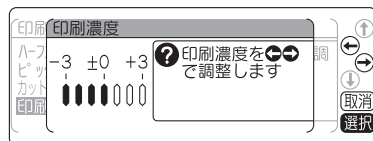
- 3 「印刷濃度」を選び、**選択 改行**を押す

「印刷濃度」が表示されます。



- 4 「ユーザー設定」を選び、**選択 改行**を押す

印刷濃度が設定されます。



!! 注意 !!

- 印刷濃度が「おまかせ」に設定されている場合は、耐熱ラベル・ギフトシールなどは、自動的に印刷濃度「+3」で印刷をおこないます。
- 上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベルで印字がカスレた場合は印刷濃度「+3」に設定してください。
参照 P.217 「テープカートリッジを使いわける」
- 電源を入れた直後は「印刷濃度」は「おまかせ」の設定になります。

MEMO

- 操作の途中で**前退**または**復活**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**戻る**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度にあわせて印刷濃度が一定になるように自動調整されます。
- 印刷濃度を「おまかせ」以外に設定すると、電池の消耗が激しくなったり、印字がツブレたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなる場合がありますのでご注意ください。

●編集設定を変更する

編集機能の保存値を設定する

「書体」や「余白」などの保存値を変更することができます。

本機では「編集」を使って、次のような機能を指定することができます。

編集ボタンの機能

機能の分類	指定できる機能
文章書式	定長印刷、地紋印刷、余白
段落スタイル	文字サイズ、縦・横、外枠・表組、割付け
文字モード	書体、飾り字、斜体・強調、伸・縮、囲み・網、文字間

各機能を選ぶと、選択肢が表示されます。表示されたときに選ばれている選択肢が保存値です。よく使う「書体」や「余白」などが、ご購入時の保存値（「初期設定値」と呼びます）とは異なる場合、「編集設定」で保存値を変更しておく、文章を作るたびに「編集」で変更する必要がなくなります。

ラベルには保存値の内容が自動的に反映されるので、例えば、「縦・横」の保存値を「たて書き」に指定しておく、通常は「たて書き」のラベルになります。

なお、変更した保存値は、編集設定のリセットによって、いつでも初期設定値に戻すことができます。

MEMO

- 各機能の初期設定値については P.70「編集メニュー一覧」を参照してください。
 - 「編集」での指定内容は、全文消去をおこなうと保存値に戻りますが、地紋印刷の文字地紋 / 創作地紋データのみは本機内部に保存され、ほかの文章でも使用することができます。
 - ファイルに登録された内容は、ファイル登録時の指定が反映されます。「印刷履歴」で呼び出した内容は、印刷時の指定が反映されます。
 - カットラベルフォームでは、文章書式、段落スタイルで設定した保存値および「文字間」の保存値は反映されません。
- 参照 P.151「カットラベル編集メニュー一覧」

!! 注意 !!

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照 P.54「すべての文章を消去する」

保存値を変更する

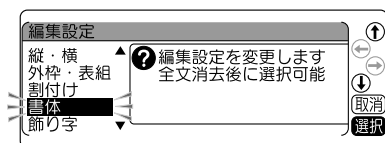
- 1 **シフト**を押しながら**削除**(=全消去)を押し、全文消去をおこなう

!! 注意 !!

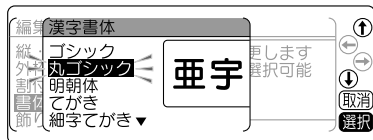
保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照 P.54 「すべての文章を消去する」

- 2 **シフト**を押しながら**設定**(=設定)を押す
- 3 「編集設定」を選び、**選択 改行**を押す
「編集設定」メニューが表示されます。
- 4 「編集設定」メニューの変更したい項目を選び、**選択 改行**を押す



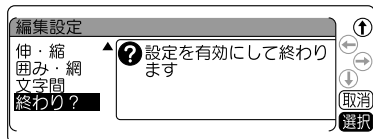
- 5 保存値に設定したい選択肢を選び、**選択 改行**を押す



各項目の設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。

参照 P.67 「ラベルの見栄えをよくする (編集)」

- 6 変更したいすべての項目の設定が終わったら、「編集設定」メニューから「終わり?」を選び、**選択 改行**を押す



保存値が変更され、テキスト画面に戻ります。

保存値を初期設定値に戻す

変更した保存値の設定を、ご購入時の保存値 (初期設定値) に戻します。

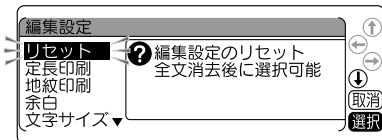
- 1 **シフト**を押しながら**削除**(=全消去)を押し、全文消去をおこなう

!! 注意 !!

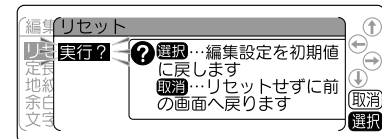
保存値の設定を初期設定値に戻すときには、全文消去をする必要があります。

参照 P.54 「すべての文章を消去する」

- 2 **シフト**を押しながら**復活**(=設定)を押す
- 3 「編集設定」を選び、**選択 改行**を押す
「編集設定」メニューが表示されます。
- 4 「編集設定」メニューの「リセット」を選び、**選択 改行**を押す



- 5 「実行?」を選び、**選択 改行**を押す



編集の保存値が初期設定値に戻ります。

MEMO

操作の途中で**削除**または**復活**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**戻る**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。

●環境設定を変更する

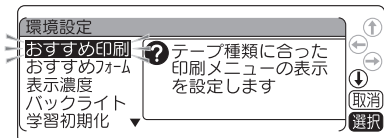
おすすめ印刷を設定する

本機では、**(印刷)**を押したときにテープ種類を自動的に識別します。テープに合った専用の印刷メニューを表示するか、通常の印刷をおこなうかを選択することができます。

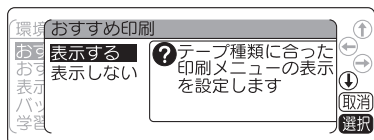
① **[シフト]**を押しながら**[復活]**(=設定)を押す
「設定」メニューが表示されます。

② 「環境設定」を選び、**[選択 改行]**を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

③ 「おすすめ印刷」を選び、**[選択 改行]**を押す



④ 「表示する」を選び、**[選択 改行]**を押す



テープに合った専用の印刷メニューを「表示する」に設定されます。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、**[削除 取消]**または**[復活]**を押し、操作を戻します。
- おすすめ印刷の設定値は、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。

参照 P.209 「本機を初期化する」

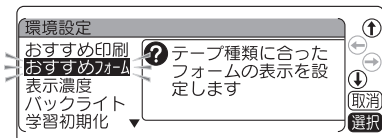
おすすめフォームを設定する

本機では、電源を入れたときやテープカートリッジを入れ換えたときにテープ種類を自動的に識別します。テープに合ったフォームを表示するか、テキスト画面を表示するかを選択することができます。

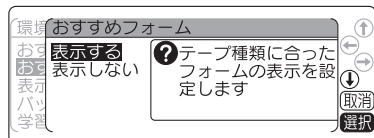
① **[シフト]**を押しながら**[復活]**(=設定)を押す
「設定」メニューが表示されます。

② 「環境設定」を選び、**[選択 改行]**を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

③ 「おすすめフォーム」を選び、**[選択 改行]**を押す



④ 「表示する」を選び、**[選択 改行]**を押す



テープに合ったフォームを「表示する」に設定されます。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、**[削除 取消]**または**[復活]**を押し、操作を戻します。
- おすすめフォームの設定値は、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。

参照 P.209 「本機を初期化する」

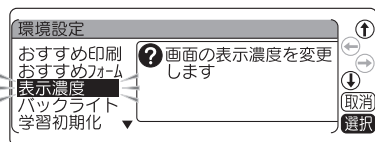
ディスプレイの濃度を調整する

ディスプレイの表示濃度は 11 段階で設定できます。ディスプレイの表示が見にくい場合は、次の手順で調整します。

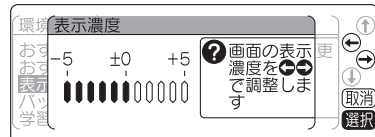
- 1 **シフト** を押ししながら **復活** (=設定) を押す
「設定」メニューが表示されます。

- 2 「環境設定」を選び、**選択 改行** を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

- 3 「表示濃度」を選び、**選択 改行** を押す



- 4 **←** **→** で濃度を調整し、**選択 改行** を押す
初期設定値は「±0」に設定されています。



表示濃度が設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 操作の途中で **削除 取消** または **復活** を押すと、1 つ前の状態に戻ります。**←** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 表示濃度は、全文消去や電源 OFF では初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機の初期化をおこなってください。

参照 P.209 「本機を初期化する」

バックライトの切換

ディスプレイのバックライトは ON/OFF できます。バックライトを ON にすると表示が見やすくなりますが、単 3 形アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池で使用するときは、OFF にすると電池を節約できます。

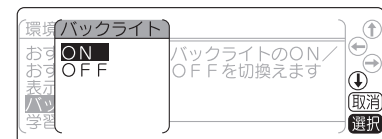
- 1 **シフト** を押ししながら **復活** (=設定) を押す
「設定」メニューが表示されます。

- 2 「環境設定」を選び、**選択 改行** を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

- 3 「バックライト」を選び、**選択 改行** を押す



- 4 ON/OFF を選び、**選択 改行** を押す



初期設定値は「ON」に設定されています。バックライトが設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 操作の途中で **削除 取消** または **復活** を押すと、1 つ前の状態に戻ります。**←** を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- バックライトは、全文消去や電源 OFF では初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。

参照 P.209 「本機を初期化する」

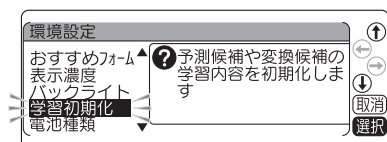
学習内容を初期化する

文字入力の際の予測候補や変換候補の学習内容を初期化します。

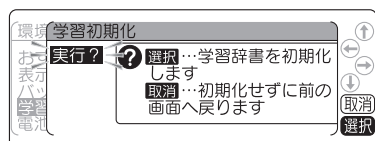
① **シフト**を押しながら**復活**（＝設定）を押す
「設定」メニューが表示されます。

② 「環境設定」を選び、**選択 改行**を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

③ 「学習初期化」を選び、**選択 改行**を押す



④ **選択 改行**を押す



学習内容が初期化されます。

MEMO

- 操作の途中で**戻る**または**復活**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**戻る**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
 - ファイル・あて名・名前・外字データ・印刷履歴は初期化されません。
- 参照 P.209 「本機を初期化する」

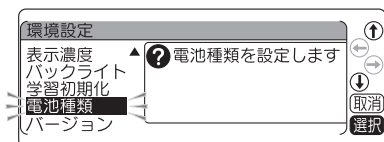
電池種類を設定する

本機では単 3 形アルカリ乾電池の他に、充電式ニッケル水素電池（単 3 形）もご使用頂けます。
充電式ニッケル水素電池（単 3 形）をご使用になる際には電池設定を「ニッケル水素電池」に変更してください。

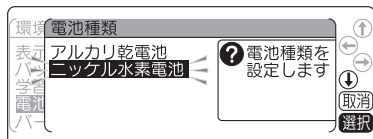
① **シフト** を押しながら **復活**（＝設定）を押す
「設定」メニューが表示されます。

② 「環境設定」を選び、**選択 改行** を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

③ 「電池種類」を選び、**選択 改行** を押す



④ 「ニッケル水素電池」を選び、**選択 改行** を押す



初期設定値は「アルカリ乾電池」に設定されています。

電池種類が設定されます。

MEMO

- 操作の途中で**削除取消**または**復活**を押すと、1つ前の状態に戻ります。**戻る**を押すと、どの階層からでもテキスト画面に戻ります。
- 再び「アルカリ乾電池」を使用する際には、同じ手順で「アルカリ乾電池」を設定してください。
- 電池種類は、全文消去や電源 OFF では初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。
参照 P.209 「本機を初期化する」

!! 注意 !!

電池種類で設定した電池を使用していないときには、電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことなどがあります。

参照 P.23 「2. 電池（別売）を入れて使用するときは」

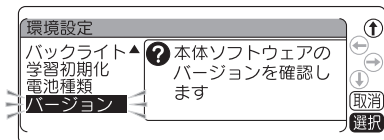
本体ソフトウェアのバージョンを確認する

本体ソフトウェアのバージョンを確認することができます。

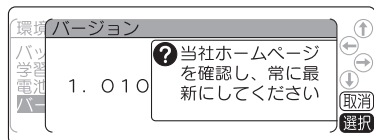
① **シフト**を押しながら**復活**（＝設定）を押す
「設定」メニューが表示されます。

② **「環境設定」**を選び、**選択 改行**を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

③ **「バージョン」**を選び、**選択 改行**を押す



④ **バージョンを確認する**



!! 注意 !!

本機ではテーブルの種類を正しく認識するために、本体ソフトウェアのバージョンは常に最新にしてください。

<https://kingjim.jp/tepra-update/>

●本機を初期化する

!! 注意 !!

- 本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
- 不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなった場合は、下記の手順で「本機の初期化」をおこなってください。
- 初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、初期化をおこなっても正常に動作しない場合には、お買い上げ販売店、または「テブラ」取扱店に修理を依頼してください。
なお、初期化や、修理・検査をおこなうと、ファイルのデータや外字のデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。

初期化とは

初期化の操作により、本機の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。

初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

機能 内容		初期化	学習 初期化 (P.206)	編集設定 のリセット (P.203)	全文消去 (P.54)	各種フォームでの 全文消去 (P.134、141、 149、162)	電源 OFF (P.49)
入力	テキスト画面の文章	●	—	— ^{*1}	●	—	—
	コピーした内容	●	—	—	—	—	●
	地紋データ	●	—	—	—	—	—
	各種フォームの文章	●	—	—	—	●	—
	入力状態と小文字ロック	●	—	—	—	—	—
	「みえ ² 」の設定	●	—	—	—	—	—
データ	ファイルデータ	●	—	—	—	—	—
	あて名データ	●	—	—	—	—	—
	名前データ	●	—	—	—	—	—
	辞書データ	●	—	—	—	—	—
	学習データ	●	●	—	—	—	—
	外字データ	●	—	—	—	—	—
	印刷履歴	●	—	—	—	—	—
設定	ハーフカット連続の設定値	●	—	—	—	—	—
	おすすめフォームの設定値	●	—	—	—	—	—
	おすすめ印刷の設定値	●	—	—	—	—	—
	ピックアップ&プリントの設定値	●	—	—	—	—	—
	カットラベル位置の設定値	●	—	—	—	—	—
	表示濃度の設定値	●	—	—	—	—	—
	編集設定の保存値	●	—	●	—	—	—

●：ご購入時の状態に戻ります。

—：保持されます。

*1：編集設定のリセットをおこなうときには、全文消去をする必要があります。

MEMO

- 「ピットとコード」で印刷されるコードは、初期化をおこなっても、初期設定値に戻すことはできません。
 - 印刷濃度の設定値、自動カットの設定値は、電源を入れるたびに初期設定値の「おまかせ」に戻ります。
- 参照  P.196 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」

初期化する

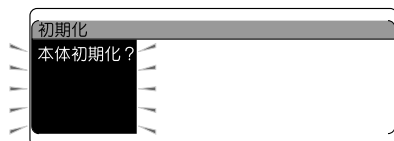
1 を押して電源を切る

!! 注意 !!

 を押しても電源が切れないときには、AC アダプタを抜いて電池も抜きます。次にもう一度 AC アダプタを接続、または電池をセットし、再度  を押して電源を入れます。
以降は手順 1 から操作で初期化してください。

2 と を押しながら を押す

タイトル画面が表示されたあと、「本体初期化？」が点滅します。



!! 注意 !!

- 初期化をやめるときは  以外のボタンを押してください。
- 本当に初期化しても大丈夫ですか？
今まで登録したファイル・外字・辞書など、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

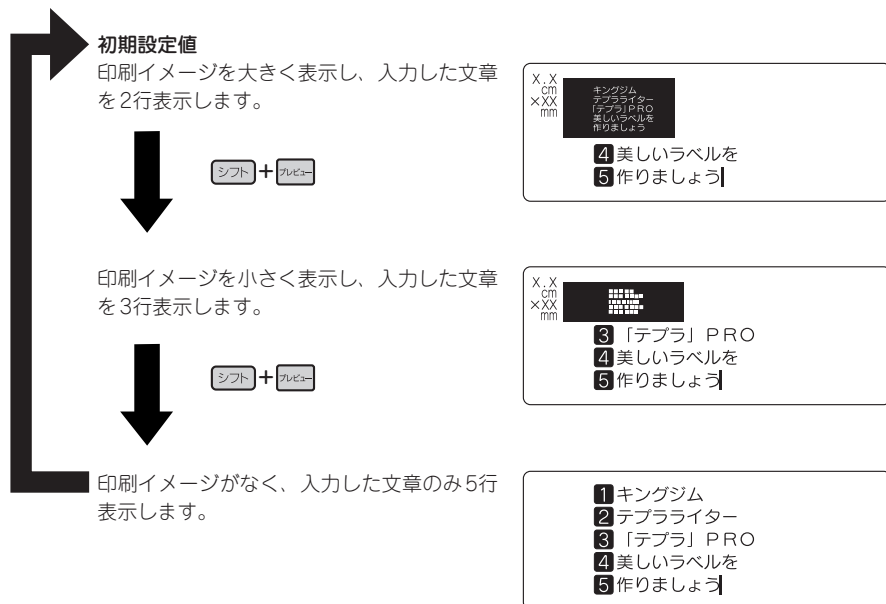
3 を押す

「初期化中」と表示され、本機の初期化がおこなわれたあと、「ローマ字入力」モードが表示され、テキスト画面になります。

●表示の切り換え（みえ²）

本機では、入力した文章や印刷イメージ、できあがるラベルの長さや幅を確認しながら入力することができます。

シフトを押しながら**プレビュー**（＝みえ²）を押すと、ディスプレイの表示が交互に切り換わります。



!! 注意 !!

- ・ **シフト**を押しながら**プレビュー**（＝みえ²）で表示が切り換わるのは、テキスト画面のときだけです。メニュー画面や漢字変換候補の表示中は切り換わりません。
参照 P.20 「ディスプレイの見かたとはたらき」
- ・ 広い幅のテーブルセット時やテキストによっては、「みえ²」表示の反応が遅くなることがあります。

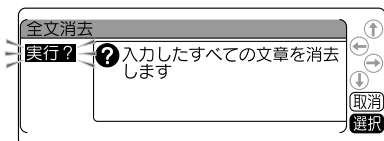
MEMO

- ・ **プレビュー**を押すと、ディスプレイ全体に印刷イメージを流れるように表示します。
参照 P.45 「印刷イメージを確認する（プレビュー）」
- ・ ディスプレイが見えにくいときは、表示濃度を調整することができます。
参照 P.205 「ディスプレイの濃度を調整する」

● デモ印刷をする

本機が正しく動くかどうか、デモ印刷をして確認することができます。また、書体など本機の機能を参照することができます。

- 1 **シフト** を押しながら **印刷** (=全消去) を押し、
全文消去をおこなう



!! 注意 !!

デモ印刷をおこなう前には、全文消去をする必要があります。

参照 P.54 「すべての文章を消去する」

- 2 「demo」と入力する
参照 P.40 「英字を入力する」

1 demo

- 3 **シフト** を押しながら **変換スペース** を押す
デモ印刷がおこなわれます。

!! 注意 !!

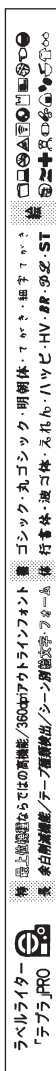
- 4mm 幅テープとカットラベルではデモ印刷できません。
- ご使用中に「故障かな?」と思ったときは、このデモ印刷をおこなってください。デモ印刷が見本どおりに印刷されないときは、お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照 P.276 「アフターサービスについて」

MEMO

- 印刷を途中でやめるときは **印刷** を押してください。
- デモ印刷の内容はテープ幅により異なります。

見本 (80%縮小)

9mm幅テープ



18mm幅テープ



付録

●メニュー一覧

各ボタンで表示される機能は、該当ページを参照してください。

	機能名	参照ページ
 + 	テーブル送り	P.216
	特殊印刷	P.178
	フォーム	P.124、128、139、145
 + 	印刷履歴	P.168
	編集	P.70
	ファイル	P.94
 + 	連番・バーコード	P.170
 + 	設定	P.193
	記号・絵	P.215
テーブル終了エラー メッセージ表示後、 新品のテーブルカー トリッジをセット し、上カバーを閉 じる	印刷再開	P.180

記号メニュー一覧

記号を押すと、記号を入力できます（**太字** は購入時の初期設定値です）。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
記号・絵 外字呼出 登録した外字を入力 します。 参照 P.121 2桁数字 2桁の数字を1文字 として入力します。 参照 P.65 編集 全角スペースや縦罫 線を入力します。 参照 P.41、84 合成 合成文字を作成します。 参照 P.44 イラスト 絵文字 3文字分の大き な絵文字を入力します。 参照 P.43 外字呼出 ▶ 記述 ▶ 省略 ▶ カッコ ▶ 矢印 ▶ 単位 ▶ 算数 ▶ 数字 ▶ 2桁数字 ▶ ギリシャ ▶ ロシア ▶ 欧州 ▶ 図形 ▶ 仕事 ▶ 表示 ▶ 案内用 ▶ お店 ▶ 建設 ▶ 工場 ▶ 病院 ▶ 生き物 ▶ 乗り物 ▶ 食べ物 ▶ 暮らし ▶ 顔 ▶ 趣味 ▶ 編集 ▶ 合成 ▶ イラスト ▶	外字選択 ▶	平滑化 する しない
	記号選択 参照 P.249「記号・外枠一 覧表」	
	数値入力	
	記号選択 参照 P.249「記号・外枠一 覧表」	

フォームメニュー一覧

メニュー	参照ページ
フォーム	
デザインフォーム	P.124
ビジネスフォーム	P.128
ケーブルフォーム	P.139
カットラベル	P.146

テープ送りメニュー一覧

シフトを押しながら **⏮** (=テープ送り) を押すと、テープ送りや送りカットを実行できます (**太字** は購入時の初期設定値です)。

メニュー
テープ送り
テープ送り テープ送りを実行します。 参照 ⏮ P.29
テープ送り 送りカット 送り長指定

印刷再開メニュー一覧

メニュー
印刷再開
印刷再開 印刷中にテープが終了した場合、正しく印刷されなかったラベルから再度印刷します。 参照 ⏮ P.180
テープ送り 送りカット 印刷実行?

●テープカートリッジを使いわける

使用するテープ種類に合わせて、下記の通り対応してください。

	テープ種類	設定方法
オートカッター 使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラ ベル・マグネットテープ・ りぼん	本機では、カット設定で自動カットが「おま かせ」に設定されている場合、印刷後に自動 カットがおこなわれません。印刷が終わった 後、テープカートリッジを本機から取り出し て、カートリッジ側にテープを3mm(りぼん の場合は10mm)程度残し、市販のはさみで まっすぐにカットしてください。 参照 P.196「印刷時の自動カット / ハーフ カットを設定する」
ハーフカット 禁止	耐熱ラベル・アイロンラ ベル・アイロン転写テー プ・マグネットテープ・ 熱収縮チューブ・ロング テープ・上質紙ラベル・ 転写テープ・りぼん	本機では、カット設定でハーフカットが「お まかせ」に設定されている場合、ハーフカッ トがおこなわれません。 参照 P.196「印刷時の自動カット / ハーフ カットを設定する」
オートトリマー 使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラ ベル・マグネットテープ・ 熱収縮チューブ・上質紙 ラベル・マスキングテー プ「mt」ラベル・りぼん	トリマーにラベルを差し込まないでください。
印刷濃度の調整 が必要	耐熱ラベル・ギフトシー ル	本機では、印刷設定で印刷濃度が「おまかせ」 に設定されている場合、自動的に印刷濃度を 「+3」で印刷をおこないます。 参照 P.201「印刷濃度を調整する」
	上質紙ラベル・アイロン 転写テープ・グレー文字 ラベル	印刷がカスレた場合、印刷濃度を「+3」に設 定して印刷します。 参照 P.201「印刷濃度を調整する」
鏡文字の設定 が必要	アイロン転写テープ・転 写テープ	鏡文字を「する」に設定して印刷します。 参照 P.183「鏡文字を印刷する」

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

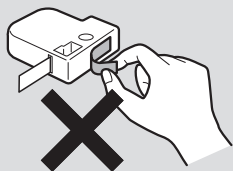
!! 注意 !!

- テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみを取ってください。

参照  P.29 「5. テープ送りをする」

- 本機では、テープの種類を認識するため、識別シールを読み取ります。識別シールをはがしたり、識別シールの上に余分なラベルを貼ると、間違って識別されることがあります（一部テープでは識別シールを貼っていません）。
- 本体ソフトウェアは常に最新にしてください。
「テブラ」本体のソフトウェア情報は当社ホームページでご確認ください。

<https://kingjim.jp/tepra-update/>



MEMO

- インデックスラベル・ケーブル表示ラベル・備品管理ラベルは、電源を入れたときやテープカートリッジを入れ換えたときに、テープに合ったフォームを表示します。

参照  P.204 「おすすめフォームを設定する」

- アイロン転写テープ・転写テープ・りぼんは、 を押したときに、テープに合った専用の印刷メニューを表示します。

参照  P.204 「おすすめ印刷を設定する」

- 上質紙ラベル・マスキングテープ「mt」ラベル・転写テープ・りぼん・ギフトシールなどは、低速で印刷します。
- アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブをご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。
- マスキングテープ「mt」ラベルは素材の性質上、一般的な「テブラ」テープに比べ、印刷がカスレやすくなっています。本機の印刷濃度を変えることによりカスレ具合の調整は可能ですが、細かな文字や白抜き文字、網掛け、地紋の印刷などには不向きです。
- マスキングテープ「mt」ラベルはヘッド接触部のインクがテープに転写しないよう、印刷時以外は、カートリッジを本機から取りはずしてください。

●パソコンに接続して使う

本機は、USB ケーブルでパソコンと接続して、パソコンからラベルのレイアウト編集をおこなうことができます。

※パソコンとの接続には市販の USB ケーブルが必要です（USB2.0/1.1 ケーブル A-B タイプ）。

専用のラベルソフトは Windows 向け「TEPRA Label Editor SPC10」と macOS 向け「TEPRA LINK 2」に対応しています。

ラベルソフトは本製品に同梱しておりません。当社ホームページ（<https://www.kingjim.co.jp/>）からダウンロードいただけます。なお、ダウンロードの際はインターネット環境が必要となります。

本書では、テキストや画像を自由にレイアウトしたり、「流し込み印刷」などの便利な機能をもった「TEPRA Label Editor SPC10」のセットアップ手順を説明しています。

「TEPRA Label Editor SPC10」の使用方法についての詳細は、当社ホームページ（<https://www.kingjim.co.jp/>）をご覧ください。

アプリケーション、プリンタドライバをインストールする

以下のソフトをインストールします。

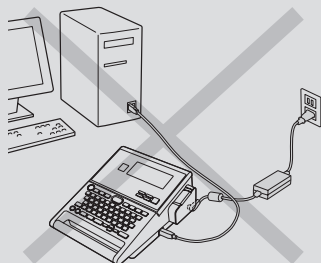
「TEPRA Label Editor SPC10」	パソコンを利用して画像やイラストを挿入したり「流し込み印刷」などができる、ラベル編集ソフトです。
プリンタドライバ	パソコンから「テブラ」本体で印刷するために必要なソフトです。

インストールできるパソコンの条件（動作環境）は、当社ホームページ（<https://www.kingjim.co.jp/>）でご確認ください。

!! 注意 !!

画面で指示されるまで「テプラ」本体をパソコンに接続しないでください。

USB ケーブルで接続する場合、画面による指示があるまで「テプラ」本体をパソコンに接続して電源を入れないでください。



「テプラ」本体の接続を指示する画面



- ラベルソフトは本製品に同梱しておりません。当社ホームページ (<https://www.kingjim.co.jp/>) からダウンロードいただけます。なお、ダウンロードの際はインターネット環境が必要となります。
- 本機には USB ケーブルは同梱されていません。市販の USB ケーブルをご使用ください (USB 2.0/1.1 ケーブル A-B タイプ)。
- プリンタドライバをインストールしていない状態で「テプラ」本体をパソコンに接続して電源を入れると、[新しいハードウェアの追加] 画面が表示される場合があります。すぐに [キャンセル] をクリックし、パソコンから「テプラ」本体をはずしてください。
- 本項目は、「TEPPRA Label Editor SPC10」とプリンタドライバのインストールについて説明する内容になっており、Windows やパソコンの操作については詳しく説明しておりません。また、Windows やパソコンについて、最低限の操作 (マウス操作やファイルの扱いなど) を習得されていることを前提しておりますので、必要な場合は Windows やパソコンの説明書をお読みください。
- 本プログラムをご使用になったうえでの故障や不具合、データ損失などにつきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
- 1 台のパソコンに同じ機種 of 「テプラ」本体を複数接続する場合、接続する台数分のプリンタドライバが必要になります。2 台目以降のプリンタドライバは、別の「テプラ」本体を接続すると自動的にプリンタドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリンタドライバの名前には「コピー」がつきます。
- 複数ユーザーで使用する場合はインストール後、一度ログオフしてから「別ユーザー」としてご使用ください。
- インストールの際は、ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムを終了してからおこなってください。ラベルソフトが正常にインストールされない場合があります。

- ① パソコンの電源を入れ、Windows を起動する
起動しているソフトウェアがあれば終了してください。ウィルス対策ユーティリティなどのプログラムも終了してください。
- ② 当社ホームページ (<https://www.kingjim.co.jp/>) から「TEPRA Label Editor SPC10」ソフトウェアをダウンロードする
- ③ ダウンロードしたファイルをデスクトップなどに保存し、ファイルを解凍したあと、表示されたフォルダ中の SetUp.exe ファイルを実行する
インストールプログラムが起動します。

〔ユーザーアカウント制御〕の画面が表示された場合は、〔続行〕または〔はい〕をクリックし継続してください。



MEMO

右の画面が表示されるときは、既にアプリケーションまたはプリンタドライバがインストールされています。インストール項目を追加する場合は、〔機能の追加 / 変更〕で変更できます。

古いバージョンのアプリケーションがインストールされているときは、表示に従いアンインストールしてから本ソフトをインストールしてください。



- ④ 〔アプリケーションとドライバのインストール〕をクリックする

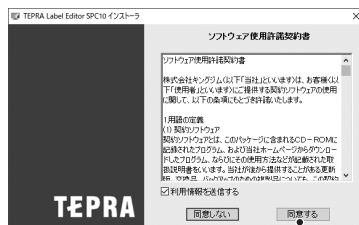
プリンタドライバのみをインストールすることもできますが、ここでは、アプリケーション、プリンタドライバの両方をインストールします。

MEMO

〔ドライバのみのインストール〕をクリックした場合は、手順⑤のあと、手順⑨に進みます。



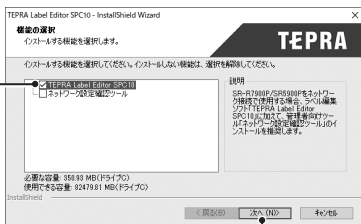
- ⑤ ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認して同意する場合は〔同意する〕をクリックする
同意しない場合は〔同意しない〕をクリックしてください。インストールは中止されます。



- 6 「TEPRA Label Editor SPC10」をチェックし「次へ」をクリックする**
インストールが開始されます。

MEMO

「ネットワーク設定確認ツール」のインストールは、本機では不要です。



- ① チェックして ② クリック

- 7 インストール先を確認し、「次へ」をクリックする**
インストール先を変更する場合は「参照」をクリックすると変更できます。



- ① 確認して ② クリック

- 8 必要な項目をチェックし「完了」をクリックする**
アプリケーションのインストールが終了すると、インストールされたフォント一覧とショートカットの作成を確認する画面が表示されます。
続いてプリンタドライバのインストールに進みます。

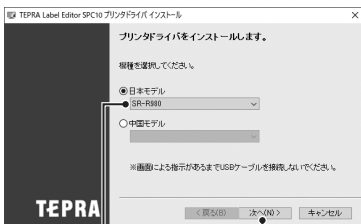


- ① クリック

!! 注意 !!

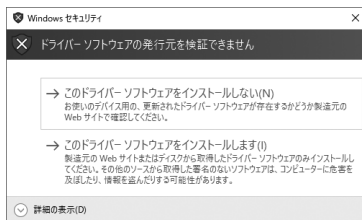
お使いのパソコンの環境によって、プリンタドライバのインストール画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。表示されるまで、しばらくお待ちください。

- 9 機種を選択し、「次へ」をクリックする**
右側の「▼」をクリックして表示されるリストから SR-R980 を選択します。



- ① 選択して ② クリック

「Windows セキュリティ」の画面が表示された場合は、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックし継続してください。



10 画面に表示される指示に従って本機をパソコンに接続する

「新しいハードウェア」のインストールが実行されます。しばらくするとインストールが完了し、完了画面が表示されます。



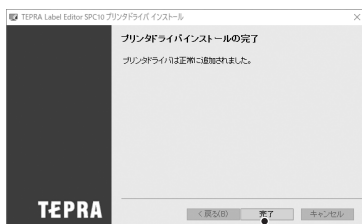
MEMO

「新しいハードウェア」のインストールが実行されない場合

手順10の画面が表示されるより前に、USB ケーブルを「テブラ」本体とパソコンに接続していると、インストールが正しくおこなわれません。

画面右下の「キャンセル」をクリックしてインストールプログラムを一旦終了したあと、USB ケーブルをはずし、再びインストールプログラムを起動させてください。

11 「完了」をクリックする インストールが終了します



1 クリック

!! 注意 !!

プリンタの削除は「プログラムのアンインストール」（または「プログラムの追加と削除」）かインストールプログラムで削除してください。

参照 P.225 「アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする」

パソコンと「テプラ」本体を接続する

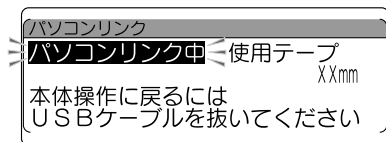
本機をパソコンと接続して使用する場合は、以下の手順で、パソコンリンク状態に切り換えて使用してください。

※パソコンとの接続には市販のUSBケーブルが必要です（USB2.0/1.1 ケーブル A-B タイプ）。

- 1 本機に AC アダプタを接続する
- 2 本機に USB ケーブルを接続する
- 3 本機にテープカートリッジをセットする

4 本機の を押し、電源を入れる

USB ケーブルを本機に接続した状態で、 を押すと、パソコンリンク状態に切り換わります。パソコンリンク状態を解除したい場合は、USB ケーブルを本機からはずしてください。



以降、「TEPRA Label Editor SPC10」の使用方法についての詳細は、当社ホームページ（<https://www.kingjim.co.jp/>）をご覧ください。

!! 注意 !!

- パソコンにプリンタドライバをインストールしていない状態で本機をパソコンに接続して電源を入れると、[新しいハードウェアの追加] 画面が表示される場合があります。すぐに [キャンセル] をクリックしパソコンから本機をはずして、必ずプリンタドライバをインストールしてからご使用ください。
参照  P.219 「アプリケーション、プリンタドライバをインストールする」
- 1 台のパソコンに同じ機種種の「テプラ」本体を USB ケーブルで複数接続する場合、接続する台数分のプリンタドライバが必要になります。2 台目以降のプリンタドライバは、別の「テプラ」本体を接続すると自動的にプリンタドライバのコピーが作成されます。このとき新たにインストールされたプリンタドライバの名前には「コピー」がつきます。
- USB ハブを使用した場合の動作については、保証できません。

MEMO

パソコンリンク状態でも、本体を操作してテープ送りすることができます。それ以外の動作は、パソコンリンク状態ではおこなうことができません。

アプリケーション、プリンタドライバをアンインストールする

!! 注意 !!

- アプリケーション、プリンタドライバのアンインストールは、必ず下記に記載の手順でおこなってください。
- プリンタドライバをアンインストールするときは、パソコンと「テブラ」本体を接続しているUSB ケーブルをはずしてからおこなってください。

1 当社ホームページ (<https://www.kingjim.co.jp/>) から「TEPRA Label Editor SPC10」ソフトウェアをダウンロードする

2 ダウンロードしたファイルをデスクトップなどに保存し、ファイルを解凍したあと、表示されたフォルダ中の SetUp.exe ファイルを実行する

3 「削除」をクリックする
アンインストールの準備が整うと、確認の画面が表示されます。



4 「はい」をクリックする
アンインストールが開始されます。



MEMO

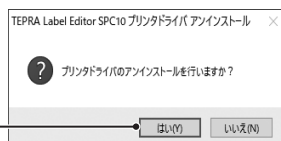
ここで 「いいえ」 をクリックすると、アプリケーションのアンインストールを中止します。

5 「完了」をクリックする
TEPRA Label Editor SPC10 に関連してアンインストールされたフォント一覧が表示されます。
続いて、プリンタドライバのアンインストールに進みます。



- 6** **「はい」をクリックする**
プリンタの選択画面に進みます。

1 クリック



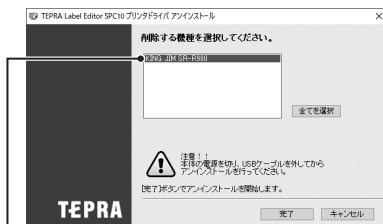
MEMO

ここで **「いいえ」** をクリックすると、プリンタドライバのアンインストールを中止します。

- 7** **SR-R980 を選択し、[完了] をクリックする**
プリンタドライバのアンインストールが開始されます。

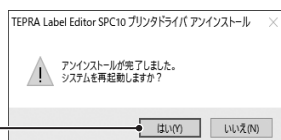
1 選択して

2 クリック



- 8** **「はい」をクリックする**
パソコンが再起動されます。

1 クリック



!! 注意 !!

- プリンタドライバをアンインストールした場合は、必ずパソコンを再起動してください。
- プリンタドライバの削除は「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」（または「プログラムの追加と削除」）もしくはインストールプログラムで削除してください。

MEMO

アプリケーション TEPRA Label Editor SPC10 とプリンタドライバのアンインストールは、[コントロールパネル] — [プログラムのアンインストール] からでも操作できます。ただし、インストールプログラムからのアンインストールとは異なり、アプリケーション用（TEPRA Label Editor SPC10）とプリンタドライバ用（TEPRA Label Editor SPC10 プリンタドライバ）と分かれていますので、ご注意ください。



アプリケーションを
アンインストールする場合

プリンタドライバを
アンインストールする場合

●こんな表示が出たときは

エラーメッセージが表示されたときは

MEMO

同じエラーでも、画面の表示状態によってメッセージの表示が変わります。

エラーメッセージ	原因・対処
電圧が低下しています 電池を交換してください	電池が消耗しました。電源を切り、すべての電池を新しい単 3 アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池に交換してください。または、電池の⊕⊖の向きが間違っている場合や、電池種類の設定が正しくない場合があります。また、できるだけ付属の AC アダプタを使用してください。 参照 P.23 「1. AC アダプタを接続する」 参照 P.23 「2. 電池（別売）を入れて使用するときは」 参照 P.207 「電池種類を設定する」
上カバーを閉じてください！	電源が入っている状態で上カバーを開くと表示されます。上カバーを閉じてください。
テープがありません！	テープカートリッジがセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを正しくセットしてください。 参照 P.26 「3. テープカートリッジをセットする」
印刷ヘッドが過熱！電源を切り、テープを抜いてしばらく放置してください	印刷を連続しておこなったために印刷ヘッドが過熱しています。電源を切り、テープカートリッジを抜いて、印刷ヘッドを冷やすためにしばらく放置してください。
行数オーバーです！	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷やプレビューの表示ができません。幅の広いテープカートリッジをセットするか、行数を減らしてください。 参照 P.55 「テープ幅と印刷できる行数」
テープ幅が不足しています！	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷や印刷イメージの表示ができません。または、あて名印刷を 24mm・36mm 幅以外のテープで印刷しようとした。幅の広いテープカートリッジをセットするか、行数を減らしてください。
入力した文章が長すぎます！	入力した文章が長すぎて、一度に印刷できるテープの長さ（16m）におさまりません。ビジネスフォームの定ピッチを使用している場合は、指定したピッチに対して入力した文章が長すぎます。カットラベルフォームの場合は、選択したラベルの形状に対して入力した文章が長すぎます。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らすか、文字の大きさを小さくしてください。
連番・バーコードは 6 個までしか入力できません	連番とバーコードは、合わせて 6 個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照 P.171 「連番を印刷する」 参照 P.174 「バーコードを印刷する」

エラーメッセージ	原因・対処
QR コードは 2 個までしか入力できません	QR コードは 2 個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照 P.176 「QR コードを印刷する」
QR コードが大きすぎます！	QR コードが大きすぎます。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、QR コード入力中の文字サイズインジケータを参考にして以下の操作をおこなってください。 ・ 幅の広いテープに交換する。 ・ 通常テキストの行数を減らす。 ・ QR コードの誤り訂正レベルを低くする。 ・ QR コードの文字数を減らす。 参照 P.176 「QR コードを印刷する」
指定した特殊印刷はできません 拡大印刷や連続印刷の指定内容を変更してください	指定した拡大印刷や連続印刷の内容では、長すぎて一度に印刷できるテープの長さ（16m）におさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、拡大印刷や連続印刷の指定内容を変更してください。 参照 P.179 「同じラベルを連続して印刷する（連続印刷）」 参照 P.181 「テープ幅より大きなラベルを作る（拡大印刷）」
入力した文章が長すぎます 定長を解除して 実行しますか？	定長で指定した長さに文章がおさまりません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らす、文字の大きさを小さくする、余白を少なくするなどの対処をおこなってください。このまま 選択 改行 を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。 参照 P.87 「●定長印刷」
定長の指定が短すぎます 定長を解除して 実行しますか？	ハーフカット OFF で約 19mm 未満のラベルをプレビューまたは印刷をしようとしてしました。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、テープの長さを変更してください。このまま 選択 改行 を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。 参照 P.196 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」
メモリーがいっぱいで これ以上登録できません	ファイル・あて名・名前を登録するメモリーがいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押して「ファイル」メニューに戻り、不要なファイル・あて名・名前を消去してください。 参照 P.99 「ファイルを消去する」 参照 P.106 「あて名を消去する」 参照 P.112 「名前を消去する」 参照 P.138 「登録したビジネスフォームを消去する」 参照 P.144 「登録したケーブルフォームを消去する」 参照 P.161 「登録したカットラベルフォームを消去する」 参照 P.166 「登録したカットラベル・バンドウイットフォームを消去する」

エラーメッセージ	原因・対処
ファイルが登録されていません	ファイルが登録されていない状態で、ファイルの呼び出し、消去、複写、印刷の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すと「ファイル」メニューに戻ります。 参照 P.96「ファイルに登録する」 参照 P.138「登録したビジネスフォームを消去する」 参照 P.161「登録したカットラベルフォームを消去する」
ファイル印刷の長さが長すぎます 印刷候補を減らしてください	ファイル印刷候補（最大 5 件）すべてを印刷すると、一度に印刷できるテープの長さ（16m）におさまりません。いずれかのボタンを押してファイル印刷候補の選択メニューに戻り、ファイル印刷の候補数を減らしてください。
あて名が登録されていません	あて名が登録されていない状態で、あて名の修正、消去、複写、印刷の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すと「あて名」メニューに戻ります。 参照 P.104「あて名に登録する」
辞書の登録数がいっぱいです これ以上登録できません	辞書がいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押して「辞書」メニューに戻り、不要な辞書を消去してください。 参照 P.116「登録した辞書を消去する」
辞書に登録済みの語句です	辞書登録ですでに登録してある「語句・読み」をふたたび登録しようとした。この場合は、その登録はおこなわれません。いずれかのボタンを押すと「辞書」メニューに戻ります。
辞書が登録されていません	辞書が登録されていない状態で、辞書の修正、消去の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すと「辞書」メニューに戻ります。 参照 P.114「変換できない語句を登録する（辞書の登録）」
未入力項目があるため 辞書に登録できませんでした	未入力項目がある状態で、辞書を登録しようとした。この場合は、その登録はおこなわれません。いずれかのボタンを押すと「辞書」メニューに戻ります。
名前が登録されていません	名前が登録されていない状態で、名前の修正、消去、印刷の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すと「名前」メニューに戻ります。 参照 P.111「名前に登録する」
外字が登録されていません	外字が登録されていない状態で、外字の修正、呼び出し、消去、複写の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すと「外字」メニューに戻ります。 参照 P.119「外字を作成し、登録する」 参照 P.123「外字を参照作成し、登録する」
外字の登録数がいっぱいです これ以上登録できません	外字の登録数がいっぱい、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押して「外字」メニューに戻り、不要な外字を消去してください。 参照 P.122「外字を消去する」
印刷履歴がありません	印刷履歴がない状態で、印刷履歴の呼び出し、消去の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すと「印刷履歴」メニューに戻ります。

エラーメッセージ	原因・対処
テープが終了しました！ テープを交換してください	テープが終了しました。新品のテープカートリッジをセットしてください。または、テープカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。テープカートリッジが正しくセットされているか確認してください。 参照  P.26 「3. テープカートリッジをセットする」 参照  P.180 「印刷中にテープが終了したら（印刷再開機能）」 また、ヘッド・クリーニングテープを使用すると、こちらのメッセージが表示されます。上カバーを開けて再度上カバーを閉じると、テキスト入力に戻ります。 参照  P.236 「ヘッド・クリーニングテープ（別売）を使う」
カットラベルをセットしてください	カットラベルの印刷中にテープが終了したあと、カットラベル以外のテープをセットしようとしてしまいました。カットラベルフォームからは、カットラベル以外のテープは印刷できません。カットラベルをセットしてください。 参照  P.145 「カットラベルに印刷する」
テープがテープ取出し口に残っています！ テープを取り除いてください	印刷したテープがテープ取出し口に残っています。残っているテープを取り除いてください。
ラベルが検出できません！ カットラベルをセットし直してください	カットラベルのテープカートリッジが正しくセットされていないため、ラベルの位置を読み取ることができません。テープカートリッジを正しくセットし直してください。
テープ幅が変わりました 同じ幅のテープをセットしてください	印刷中にテープが終了したあと、異なる幅のテープをセットしました。印刷時と同じテープ幅のテープカートリッジをセットしてください。
テープの種類が変わりました 同じ種類のテープをセットしてください	印刷中にテープが終了したあと、異なる種類のテープをセットしました。印刷時の同じテープ種類のテープカートリッジをセットしてください。
自動カットに適さないテープです！	自動カットをすることで品質を保証できないテープカートリッジがセットされています。 参照  P.196 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」
ハーフカットに適さないテープです！	ハーフカットをすることで品質を保証できないテープカートリッジがセットされています。 参照  P.196 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」
自動カットしないに設定中！ 送りカットはできません	「カット設定」が「自動カットしない」に設定されています。 参照  P.196 「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」
ヘッド・クリーニングテープのため印刷できません	ヘッド・クリーニングテープがセットされた状態で印刷しようとしていました。印刷が可能なテープをセットしてください。

MEMO

表記以外のエラーメッセージが表示されたときは、当社お客様相談室までご相談ください。

参照  P.276 「アフターサービスについて」

●故障かな？と思ったら

MEMO

パソコンと接続しているときの問題は、ラベルソフトの取扱説明書も参照してください。

正常な動作をしない

本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の原因で不具合を起こすことがあります。

不具合によって、表示が乱れたり電源の ON/OFF ができないなど、正常に動作しなくなったときは、本機の初期化をおこなってください。

参照  P.209「本機を初期化する」

● (ON/OFF) を押してもディスプレイに何も表示されない

- AC アダプタはしっかりと接続されていますか？

本機の AC アダプタ差込み口とコンセントにしっかりと接続してください。

- 電池は正しくセットされていますか？

電池の向きが   逆にセットされていると電源は ON になりません。電池ケースの中に刻印されている向きに、正しくセットされているか確認してください。

- 専用 AC アダプタ以外の AC アダプタを使用していますか？

同梱の AC アダプタ (AS1527J) 以外の AC アダプタをご使用になると、本機の回路を損傷したり、過熱するなど大変に危険です。

- 電池が消耗していませんか？

消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しい電池と交換してください。

- ディスプレイの表示濃度は適切ですか？

ディスプレイの表示濃度によっては表示が見えないときがあります。ディスプレイが見にくいときは、表示濃度を調整することができます。

参照  P.205「ディスプレイの濃度を調整する」

キーボードが動作しない

- ディスプレイに「パソコンリンク中」と表示されていませんか？

「パソコンリンク中」のときは、パソコンからの操作が優先されます。「テブラ」本体でラベルを作るときは、USB ケーブルを本体からはずしてパソコンリンク状態を解除してください。

ディスプレイが消える

- オート・パワーオフ機能ではありませんか？

本機では、5 分以上操作をしないと、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します。(オート・パワーオフ)

- 操作を間違えませんでしたか？

本機では、ボタン操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。

● を押しても何も印刷されない

- 文章が入力されていますか？

テキスト画面やビジネスフォーム、ケーブルフォーム、カットラベルフォームに何も入力されていないと印刷はされません。

- ディスプレイにメッセージが表示されていませんか？

エラーメッセージが表示されていると印刷されません。

参照  P.228「こんな表示が出たときは」

準備中と表示されているときは、しばらくお待ちください。

- オートトリマーが動作中ではありませんか？

オートトリマー使用中は、印刷できません。

- 消耗していないテープカートリッジが正しくセットされていますか？

テープカートリッジのテープがなくなっていたり、上カバーが正しく閉じていないと印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、上カバーをしっかりと閉じてください。

文字がきちんと印刷されない

- テープカートリッジは正しくセットされていますか？

テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。

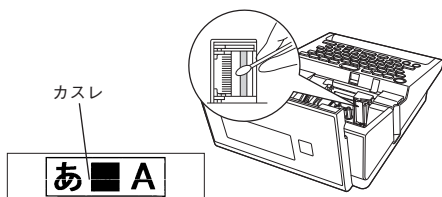
テープカートリッジを取り出し、もう一度手順にしたがってセットしてください。

参照 P.26「3. テープカートリッジをセットする」

- 印刷ヘッドが汚れていませんか？

印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることがあります。同梱のヘッド・クリーニングテープ（SR36C）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。

参照 P.236「お手入れについて」



- 電池が消耗していませんか？

電池が消耗すると「電圧が低下しています。電池を交換してください」が表示されます。速やかにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）と交換するか、同梱のACアダプタ（AS1527J）を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。また電池種類を正しく設定してください。

参照 P.207「電池種類を設定する」

ラベルを印刷後、オートカットされない

- 自動カットの設定が「おまかせ」になっていませんか？

本機では、自動カットの初期設定値が「おまかせ」に設定されており、カットをすることで品質を保証できないテープについては、自動カットをおこないません。自動カットがおこなわれるかどうかを確認したい場合は、テープカートリッジをセットしてインジケーターを確認してください。

参照 P.196「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」

- 「自動カットしない」に設定していませんか？

印刷設定で、「カット設定」を「自動カットしない」に設定すると、印刷後の自動カットはおこなわれません。

参照 P.196「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」

- カッターの刃が磨耗していませんか？

カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照 P.276「アフターサービスについて」

- りぼん連続、送り長指定を使用していませんか？

りぼん連続、送り長指定を使用すると、ラベルは自動カットされません。

文章の途中までしか印刷されない

- テープカートリッジにテープの残りがありますか？

テープカートリッジのテープが終了している場合は、新品のテープカートリッジをセットしてください。

参照 P.180「印刷中にテープが終了したら（印刷再開機能）」

● 電池が消耗していませんか？

電池が消耗すると「電圧が低下しています 電池を交換してください」が表示されます。速やかにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）と交換するか、同梱のACアダプタ（AS1527J）を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。また電池種類を正しく設定してください。

参照  P.207「電池種類を設定する」

連続印刷でラベルが1枚しか印刷されない

● ピック&プリント機能を「おまかせ」にしていませんか？

ピック&プリント機能とは、連続印刷時に、ラベルを引き抜くと次のラベルが印刷される機能です。宛名印刷など貼り間違いの防止に役立ちます。

参照  P.199「ピック&プリントを設定する」

ハーフカットがうまくできない

● ハーフカットの設定が「おまかせ」になっていませんか？

本機では、ハーフカットの初期設定値が「おまかせ」に設定されており、カットすることで品質を保証できないテープについては、ハーフカットをおこないません。ハーフカットがおこなわれるかどうかを確認したい場合は、テープカートリッジをセットしてインジケーターを確認してください。

参照  P.196「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」

● 「ハーフカットしない」に設定していませんか？

印刷設定で「カット設定」を「ハーフカットしない」に設定すると、ハーフカットはおこなわれません。

参照  P.196「印刷時の自動カット / ハーフカットを設定する」

● ハーフカットの刃が磨耗していませんか？

カッターは刃物ですので、長期間使い続けると、磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照  P.276「アフターサービスについて」

オートトリマーでうまくカットできない

● 印刷中ではありませんか？

テープ印刷中はオートトリマーが作動しません。

● ラベルをトリマー差込み口にきちんと差し込んでいますか？

ラベルをガイドに合わせず差し込むときれいにカットできません。ガイドに沿ってラベルを差し込んでください。

参照  P.59「カドを丸く仕上げる」

● 切りクズがつまっていますか？

トリマーカバーをはずし、トリマーの切りクズを取り除いてください。

参照  P.60「オートトリマーのお手入れ」

● 4mm、6mm 幅テープをカットしようとしていませんか？

4mm、6mm 幅テープはオートトリマーでカットすることはできません。トリマー（RT36W）を使ってカットしてください。

参照  P.12「別売品のご案内」

● オートトリマーでカットのできないラベルを使用していませんか？

本機のオートトリマーでカットできないラベルはオートトリマーに差し込まないでください。

参照  P.59「カドを丸く仕上げる」

● オートトリマーの刃が磨耗していませんか？

オートトリマーの刃は、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。オートトリマーの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照  P.276「アフターサービスについて」

ファイルの内容が消えてしまった

● 本機の初期化をしましたか？

本機の初期化をおこなうと、ファイル・あて名・外字・辞書登録などのデータがすべて失われます。

参照  P.209「本機を初期化する」

● 電源が入った状態で電池を交換していませんか？

電池交換は、必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。また電池種類を正しく設定してください。

参照  P.207「電池種類を設定する」

● 動作中に AC アダプタや電池を抜きませんでしたか？

ファイル登録時の「実行中」や印刷の「準備中」および「印刷中」、電源を切るときの「電源を切る準備をしています」が表示されているときに AC アダプタや電池を抜くと登録したファイル・あて名・名前・外字・辞書などのデータがすべて失われることがあります。

前回入力した内容が消えてしまった

● 本機の初期化をしましたか？

本機の初期化をおこなうと、前回入力した内容はすべて失われます。

● 電源を切らずに終了しましたか？

AC アダプタ使用時に電源を切らずに操作を終了すると、前回入力した内容がすべて失われます。使い終わったあとは必ず電源を切って終了してください。

印刷履歴に記録されない

QR コードを使った場合など、印刷したラベルの情報量によっては印刷履歴に記録されないこともあります。

参照  P.176「QR コードを印刷する」

ラベルを貼り付けることができない

● 裏紙をはがしていますか？

粘着タイプのラベルは、裏紙をはがして貼ってください。

参照  P.48「ラベルを貼る」

● 貼る場所が汚れていたり、凹凸がありませんか？

表面がザラザラしている場所や、ホコリ・油のついている場所には貼り付けられません。また、特殊な加工がしてある面や、特殊な材質の面には貼り付けられない場合があります。

MEMO

上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照  P.276「アフターサービスについて」

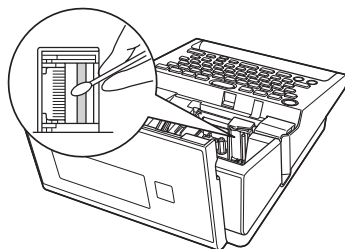
●お手入れについて

■ 本機外側の汚れ・ホコリは

乾いたやわらかな布で拭き取ってください。とくに、汚れがひどい場合は、固く絞ったぬれ布巾で拭き取ってください。ペンシン・シンナー・アルコールなどの溶剤・薬剤や化学ぞうきんの使用は絶対におやめください。

■ 印刷が欠けたりカスレたりする場合

印刷ヘッドにゴミがついていることがあります。同梱のヘッド・クリーニングテープ（SR36C）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。



ヘッド・クリーニングテープ（別売）を使う

ヘッドクリーニングをおこなう

- 1 ヘッド・クリーニングテープを本機にセットして、電源を入れる
自動で「テープ送り」メニューが表示されます。

- 2 「テープ送り」を選び、**選択 実行**を押す

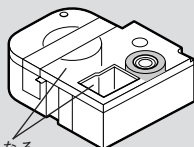
「テープ送り」の操作によりヘッド・クリーニングテープが送られ、印刷ヘッドがクリーニングされます。

「テープ送り」をおこなったあと、再度「テープ送り」メニューが表示されます。「テープ送り」をもう一度おこなう場合は、「テープ送り」を選び、**選択 実行**を押します。終了する場合は**戻る**を押すと、テキスト画面に戻ります。

参照 P.29 「5. テープ送りをする」

!! 注意 !!

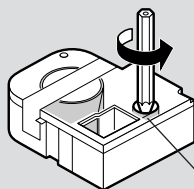
- 使用後は元の箱に入れて清潔な場所に保管してください。ホコリ・砂などの多い場所に放置すると、クリーニング性が低下するばかりか、印刷ヘッドを傷める原因になります。
- 図の部分の白いテープがなくなるとテープがすべて巻き取られたことになり、そのヘッド・クリーニングテープは終了です。
テープ終了後に使用するとヘッドをいためるおそれがありますので、ご使用にならないでください。



白いテープがなくなる

MEMO

- 本機でご使用になるヘッド・クリーニングテープは SR36C をお使いください。
- テープは巻き取り式になっていますので、「テープカット」は不要です。
- テープがたるんでいる場合、図のように「巻き取りコア」を矢印方向に回してたるみをとってください。



巻き取りコア

- ヘッドクリーニングをおこなっても印刷が欠けたりカスレたりする場合、本機の故障が考えられます。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室にご相談ください。
- ヘッド・クリーニングテープは薄い材料で作られています。新品でも少なめにみえますが、約 120 回のクリーニングが可能です。

●入力文字一覧表

文字ボタン配列

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	
A	S	D	F	G	H	J	K	L		
Z	X	C	V	B	N	M	,	。		

入力文字表

「大」は[シフト]を押していない状態、「小」は[シフト]を押した状態を表します。

ボタン	ローマ字		かなめくり		ABC		ABC(半角)	
	大	小	大	小	大	小	大	小
1	1	!	1	!	1	!	1	!
2	2	@	2	@	2	@	2	@
3	3	?	3	?	3	?	3	?
4	4	¥	4	¥	4	¥	4	¥
5	5	:	5	:	5	:	5	:
6	6	,	6	,	6	,	6	,
7	7	/	7	/	7	/	7	/
8	8	.	8	.	8	.	8	.
9	9	(	9	(	9	(	9	(
0	0	)	0	)	0	)	0	)
-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q	Q	q	次表 P.239		Q	q	Q	q
W	W	w			W	w	W	w
E	E	e			E	e	E	e
R	R	r			R	r	R	r
T	T	t			T	t	T	t
Y	Y	y			Y	y	Y	y
U	U	u			U	u	U	u
I	I	i			I	i	I	i
O	O	o			O	o	O	o
P	P	p			P	p	P	p
A	A	a	次表 P.239		A	a	A	a
S	S	s			S	s	S	s
D	D	d			D	d	D	d
F	F	f			F	f	F	f
G	G	g			G	g	G	g
H	H	h			H	h	H	h
J	J	j			J	j	J	j
K	K	k			K	k	K	k
L	L	l			L	l	L	l
Z	Z	z			Z	z	Z	z
X	X	x	次表 P.239		X	x	X	x
C	C	c			C	c	C	c
V	V	v			V	v	V	v
B	B	b			B	b	B	b
N	N	n			N	n	N	n
M	M	m			M	m	M	m
,	,	,			,	,	,	,
。	。	。			。	。	。	。

注1 : ボタン[L]の「」[「]は単独では入力、印刷できません。

注2 : ボタン[-]で入力できる文字は次のとおりです。

ローマ字 (大)、かな (大):「-」(長音)

ローマ字 (小)、かな (小)、ABC (小)、ABC (半角):「-」(マイナス)

ABC (大):「-」(ハイフン)

注3 : ボタン[.]の「.」はピリオドです。

注4 : 「ABC (半角)」はQRコード入力時のみ有効です。

入力文字表（かなめくり入力）

ボタン	押す回数									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Q (あ)	あ	い	う	え	お	あ	い	う	え	お
W (か)	か	き	く	け	こ	か	け			
E (さ)	さ	し	す	せ	そ					
R (た)	た	ち	つ	て	と	つ				
T (な)	な	に	ぬ	ね	の					
Y (は)	は	ひ	ふ	へ	ほ					
U (ま)	ま	み	む	め	も					
I (や)	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	よ				
O (ら)	ら	り	る	れ	ろ					
P (わ)	わ	を	ん	ゐ	ゑ	わ				
L (゛゜)	゛	゜								

目的の文字を通り過ぎたときは **シフト** を押しながら文字ボタンを押すことで前の文字に戻すことができます（リバース機能）。

注： ボタン **□** は、直前がか行、さ行、た行、は行の仮確定文字、点滅文字の場合に、濁点、半濁点が入力できます。

● 漢字変換表

ここでは、区点コードを掲載しています。JIS コード・シフト JIS コードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照 P.190 「読みのわからない漢字を入力する」

!! 注意 !!

- 漢字変換表は JIS に基づき「音読み」で記載しています。本機の内蔵辞書は「音読み」もしくは「訓読み」だけを掲載している文字があり、「音読み」では変換できないことがあります。

参照 P.190 「読みのわからない漢字を入力する」

- 表にあげた文字と印刷される文字の字形が異なるものがあります。

JIS 第 1 水準

* の欄の数字は区点コードの下 1 桁を表します。

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア 1601 ~ 1609	亜	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	
1610 ~ 1619	葵	茜	槐	惡	握	渥	旭	葦	芦	鯨
1620 ~ 1629	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
1630 ~ 1639	鮎	或	栗	恰	安	庵	按	暗	案	闇
1640 ~ 1641	鞍	杏								
イ 1642 ~ 1649		以	伊	位	依	偉	圉	夷	委	
1650 ~ 1659	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
1660 ~ 1669	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遣	医
1670 ~ 1679	井	亥	域	育	郁	磯	一	壹	溢	逸
1680 ~ 1689	稻	茨	芋	鱗	允	印	咽	員	因	姻
1690 ~ 1694	引	飲	淫	胤	蔭					
1701 ~ 1705	院	陰	隱	韻	吋					
ウ 1706 ~ 1709						右	宇	烏	羽	
1710 ~ 1719	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	確	白	渦	嘘
1720 ~ 1729	唄	薺	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	聞	噂
1730 ~ 1732	云	運	雲							
エ 1733 ~ 1739		荏	餌	叡	營	嬰	影	映		
1740 ~ 1749	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英
1750 ~ 1759	衛	詠	銳	液	疫	益	駅	悅	謁	越
1760 ~ 1769	閥	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
1770 ~ 1779	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	綠
1780 ~ 1786	艶	苑	菌	遠	鉛	鴛	塩			
オ 1787 ~ 1789							於	汚	甥	
1790 ~ 1794	凹	央	奥	往	応					
1801 ~ 1809	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鶯	
1810 ~ 1819	鴟	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
1820 ~ 1827	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音		
カ 1828 ~ 1829								下	化	
1830 ~ 1839	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
1840 ~ 1849	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
1850 ~ 1859	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
1860 ~ 1869	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蛟	俄	峨
1870 ~ 1879	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
力 1880 ~ 1889	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔
1890 ~ 1894	恢	懷	戒	拐	改					
1901 ~ 1909	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	
1910 ~ 1919	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害	崖
1920 ~ 1929	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	湮
1930 ~ 1939	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
1940 ~ 1949	拈	攪	格	核	穀	獲	穫	覺	角	
1950 ~ 1959	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	樂	額
1960 ~ 1969	頸	掛	笠	櫻	櫻	梶	鯁	割	喝	
1970 ~ 1979	恰	括	活	渴	滑	葛	轄	轄	且	鯉
1980 ~ 1989	叶	枕	樺	鞆	株	兜	竈	蒲	釜	鎌
1990 ~ 1994	嘈	鴨	栢	茅	萱					
2001 ~ 2009	粥	刈	苟	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	
2010 ~ 2019	勘	勸	卷	喚	堪	姦	完	官	寬	干
2020 ~ 2029	幹	患	感	憾	憾	換	敢	柑	桓	棺
2030 ~ 2039	款	歛	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看
2040 ~ 2049	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	觀
2050 ~ 2059	諫	貫	還	鑑	間	閑	閑	陷	韓	館
2060 ~ 2069	館	丸	含	岸	巖	玩	癌	眼	岩	翫
2070 ~ 2074	贗	雁	頑	顏	願					
キ 2075 ~ 2079						企	伎	危	喜	器
2080 ~ 2089	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
2090 ~ 2094	旗	既	期	棋	棄					
2101 ~ 2109	機	婦	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	
2110 ~ 2119	紀	微	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
2120 ~ 2129	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺
2130 ~ 2139	犧	疑	祇	義	蟻	誼	譏	詢	菊	鞠
2140 ~ 2149	吉	吃	喫	桔	橘	詰	詰	杵	黍	却
2150 ~ 2159	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
2160 ~ 2169	宮	弓	急救	朽	求	汲	泣	灸	球	
2170 ~ 2179	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
2180 ~ 2189	巨	拒	挹	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁
2190 ~ 2194	禦	魚	亨	亨	京					
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
キ	2201～2209	供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	
	2210～2219	卿	叫	喬	峽	強	疆	怯	恐	興	
	2220～2229	挾	教	鏡	響	驚	矯	凝	堯	曉	
	2230～2239	蕎	郷	鏡	響	驚	矯	凝	堯	曉	
	2240～2249	業	局	曲	極	玉	桐	秆	僅	勤	均
	2250～2259	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	2260～2268	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
ク	2269										九
	2270～2279	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	駮	
	2280～2289	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	遇	隅	
	2290～2294	串	櫛	釧	屑	屈					
	2301～2309		掘	窟	杏	靴	轡	窪	熊	隈	糸
	2310～2319	栗	繰	桑	歛	勲	君	薫	訓	群	軍
	2320	郡									
ケ	2321～2329	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	
	2330～2339	珪	契	形	徑	惠	慶	慧	懇	揭	
	2340～2349	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	經	繼
	2350～2359	繫	野	荃	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸
	2360～2369	鷄	芸	迎	鯨	劇	戟	擊	激	隙	桁
	2370～2379	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380～2389	俟	倦	健	兼	券	劍	喧	堅	圉	嫌
コ	2390～2394	建	憲	懸	拳	捲					
	2401～2409		檢	槐	牽	犬	獻	研	硯	絹	県
	2410～2419	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	險	顕	験
	2420～2429		餘	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄
	2430～2434	絃	鉉	言	諺	限					
	2435～2439					乎	個	古	呼	固	
	2440～2449	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	孤
サ	2450～2459	糊	袴	股	胡	弧	虎	誇	鈎	鋤	雇
	2460～2469	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娛	後
	2470～2479	御	悟	梧	檣	瑚	基	語	誤	護	醐
	2480～2489	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	2490～2494	効	勾	厚	口	向					
	2501～2509		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	2510～2519	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
シ	2520～2529	拘	控	昂	晃	更	甲	杭	校	梗	構
	2530～2539	江	洪	浩	港	漑	更	皇	硬	稿	糠
	2540～2549	紅	絃	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	2550～2559	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉦
	2560～2569	砧	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	2570～2579	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克	刻
	2580～2589	告	国	穀	酷	鵠	黑	獄	漣	鰐	
タ	2590～2594	忽	惚	骨	伯	困					
	2601～2609		惚	頃	今	因	坤	壘	婚	恨	懇
	2610～2618	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	2619										些
	2620～2629	佐	又	峻	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	2630～2639	詐	鎖	娑	坐	挫	債	催	再	最	
	2640～2649	哉	塞	宰	彩	採	裁	裁	裁	済	

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
サ	2660～2669	載	際	劑	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	2670～2679	堺	紳	肴	咲	崎	崎	綺	鷺	作	削
	2680～2689	昨	搾	柵	朔	窄	策	索	錯	桜	
	2690～2694	鮭	笹	匙	冊	刷					
	2701～2709		察	拶	撮	擦	殺	殺	薩	雉	阜
	2710～2719	鯖	捌	鏑	鮫	皿	晒	傘	參	山	
	2720～2729	慘	撒	散	棧	燦	珊	算	算	纂	蚤
シ	2730～2736	讀	贊	酸	餐	斬	暫	残			
	2737～2739								仕	仔	伺
	2740～2749	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	2750～2759	子	屍	市	師	志	思	指	支	攷	斯
	2760～2769	施	旨	枝	止	死	氏	獅	社	私	糸
	2770～2779	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2780～2789	證	資	賜	離	飼	鹵	事	似	侍	兒
ス	2790～2794	字	寺	慈	持	時					
	2801～2809		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	2810～2819	耳	自	時	辞	汐	鹿	式	識	鳴	竺
	2820～2829	軸	六	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	2830～2839	濕	漆	疾	質	実	蓀	柴	柴	芝	
	2840～2849	屢	蕊	綺	舍	写	捨	捨	斜	煮	
	2850～2859	社	紗	者	謝	車	蛇	蛟	邪	借	勺
セ	2860～2869	尺	杓	灼	爵	酌	錫	夕	寂	弱	
	2870～2879		惹	主	取	守	朱	狩	狩	種	
	2880～2889	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	2890～2894	綬	需	囚	収	周					
	2901～2909		宗	就	州	修	愁	洲	秀	秋	
	2910～2919	終	繡	習	臭	舟	蒐	衆	豐	蹴	
	2920～2929	輯	週	會	酬	集	醜	什	充	十	
ソ	2930～2939	從	戎	柔	祝	猷	猷	熟	熟	術	
	2940～2949	夙	宿	淑	祝	縮	肅	熟	熟	術	
	2950～2959	述	俊	峻	春	瞬	竣	駿	准	循	
	2960～2969	旬	楯	殉	淳	準	潤	純	巡	遵	
	2970～2979	醇	順	処	初	所	暑	曙	庶	緒	
	2980～2989	署	書	署	諸	諸	助	叙	女	序	徐
	2990～2994	恕	鋤	除	傷	償					
タ	3001～3009		勝	宵	召	哨	唱	唱	嘗	獎	
	3010～3019	姿	娼	宵	將	少	尚	庄	床	廠	
	3020～3029	彰	承	抄	招	捷	昇	昌	昭	晶	
	3030～3039	松	梢	樟	樵	沼	消	涉	湘	焦	
	3040～3049	照	症	省	硝	礁	祥	章	笑	粧	
	3050～3059	紹	肖	昌	蔣	蕉	衡	裳	訟	詔	
	3060～3069	詳	象	賞	營	鉦	鍾	鐘	障	鞆	
チ	3070～3079		丞	乘	冗	刺	城	場	娘	常	
	3080～3089	情	擾	条	杖	淨	狀	量	穰	蒸	讓
	3090～3094	釧	錠	囁	埴	飾					
	3101～3109		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	3110～3119	蝕	辱	尻	伸	侵	侵	侵	娠	寝	審
	3120～3129	心	慎	振	新	晋	森	森	浸	深	申
	3130～3139	珍	真	神	秦	神	臣	芯	薪	親	診
ツ	3140～3149	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	覓	壬
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
シ	3150～3157	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	韌		
	3158～3159									筭	誦
	3160～3169	須	酢	囟	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	3170～3179	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	錘	随
	3180～3189	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	3190～3194	相	菅	頗	雀	裾					
	3201～3203		澄	摺	寸						
セ	3204～3209					世	瀬	畝	是	凄	制
	3210～3219	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	3220～3229	栖	正	清	性	生	盛	精	聖	声	製
	3230～3239	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	3240～3249	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	3250～3259	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	3260～3269	接	撰	折	設	窃	節	說	雪	絶	舌
	3270～3279	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰
	3280～3289	扇	撰	栓	梅	泉	浅	洗	染	潜	煎
	3290～3294	煽	旋	穿	箭	線					
	3301～3309		織	羨	腺	外	船	薦	詮	賤	踐
	3310～3319	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
3320～3324	全	禪	繕	膳	糧						
ソ	3325～3329					噲	塑	岨	措	曾	
	3330～3339	曾	楚	狙	疏	週	礎	祖	租	粗	素
	3340～3349	組	蘇	訴	阻	週	鼠	僧	創	又	叢
	3350～3359	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	3360～3369	搜	掃	挿	搔	操	早	曹	巢	槍	槽
	3370～3379	漕	燥	争	瘦	相	窓	槽	総	綜	聡
	3380～3389	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	3390～3394	霜	騷	像	増	憎					
	3401～3409		臟	藏	贈	造	促	側	則	即	息
	3410～3419	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	統
	3420～3429	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	3430～3439	他	多	太	汰	訛	唾	墮	妥	情	打
タ	3440～3449	陀	陀	梢	陀	駄	驢	体	堆	対	耐
	3450～3459	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎
	3460～3469	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	3470～3479	台	宅	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	3480～3489	宅	托	挾	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	3490～3494	諾	茸	夙	蛸	只					
	3501～3509	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	豎	迪	
	3510～3519	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	单	嘆	坦
	3520～3529	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	簞
	3530～3539	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	团	壇	彈	断
	3540～3544	暖	檀	段	男	談					
	チ	3545～3549					値	知	地	弛	恥
3550～3559		智	池	痴	稚	置	致	蚰	遲	馳	築
3560～3569		畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
3570～3579		中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
3580～3589		註	酎	鑄	駐	梲	溺	猪	苧	著	貯
3590～3594		訂	兆	凋	喋	龍					
3601～3609		帖	帳	庁	弔	張	彰	徵	懲	挑	
		区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
チ	3610～3619	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	腸	腸	蝶
	3620～3629	調	譟	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	抄
	3630～3636	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
ツ	3637～3639								津	墜	椎
	3640～3649	槌	追	鎚	痛	通	塚	拇	掴	槻	佃
	3650～3659	漬	柘	辻	蔦	綴	鐔	椿	潰	坪	壺
	3660～3665	嬌	紬	爪	吊	釣	鶴				
	3666～3669							亭	低	停	偵
	3670～3679	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	3680～3689	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	3690～3694	艇	訂	諦	蹄	通					
	3701～3709		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擲	敵	滴
	3710～3719	的	笛	適	鎬	溺	哲	徹	徹	徹	迭
	3720～3729	鉄	典	填	天	展	店	添	緋	甜	貼
	3730～3737	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
ト	3738～3739									兎	吐
	3740～3749	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	3750～3759	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	3760～3769	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塔	套
	3770～3779	宕	島	嶋	悼	投	搭	桃	杓	棟	棟
	3780～3789	盜	洵	湯	涛	灯	燈	当	痘	拷	等
	3790～3794	答	箇	糖	統	到					
	3801～3809		董	蕩	藤	討	膳	豆	踏	逃	透
	3810～3819	鎧	陶	頭	騰	闕	働	動	同	堂	導
	3820～3829	憧	撞	洞	瞳	童	胴	苟	道	銅	峠
	3830～3839	鴛	匿	得	德	洸	特	督	肴	篤	毒
	3840～3849	独	読	栃	椽	凸	突	楸	屆	蒿	苦
	3850～3859	寅	酉	潯	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	3860～3863	頓	吞	曇	鈍						
	3864～3869					奈	那	内	乍	風	難
ナ	3870～3879	謎	灘	捺	鍋	檣	馴	縄	暇	南	楠
	3880～3882	軟	難	汝							
	3883～3889					二	尼	弍	迺	勾	販
ニ	3890～3894	虹	廿	日	乳	入					
	3901～3907		如	尿	菲	任	妊	忍	認		
	3908									濡	
ヌ	3909										襦
	3910～3919	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	燃	燃
	3920	粘									
ノ	3921～3929		乃	迺	之	埜	囊	惱	濃	納	能
	3930～3934	腦	膿	農	硯	蚤					
	3935～3939					巴	把	播	播	杷	
ハ	3940～3949	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	靡
	3950～3959	拝	排	敗	杯	盃	背	肺	輩	配	
	3960～3969	倍	培	媒	梅	煤	煤	狽	買	賈	賂
	3970～3979	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剥	搏	拍
	3980～3989	柏	泊	白	箔	柏	柏	薄	迫	曝	漠
	3990～3994	爆	縛	莫	駁	麦					
	4001～4009		函	箱	砒	箸	肇	筈	櫛	幡	肌
	4010～4019	畑	晶	八	鉢	澆	堯	醜	髮	伐	罰
		区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ハ	4020～4029	抜	筏	閥	鳩	嘶	塙	蛤	隼	伴	判
	4030～4039	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汎	汎	煩
	4040～4049	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	采	煩
	4050～4059	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	審	蚕	
ヒ	4059										匪
	4060～4069	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070～4079	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080～4089	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	4090～4094	枇	毘	毘	眉	美					
	4101～4109		鼻	柁	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	4110～4119	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	4120～4129	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	4130～4139	評	豹	廟	描	病	秒	苗	鏑	鉦	蒜
	4140～4149	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀬	貧	資	頻
	4150～4151	敏	瓶								
フ	4152～4159			不	付	埠	夫	婦	富	富	布
	4160～4169	府	飾	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	4170～4179	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180～4189	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葦	落
	4190～4194	伏	副	復	幅	服					
	4201～4209		福	腹	複	覆	淵	弗	弘	沸	仏
	4210～4219	物	鮓	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	4220～4225	粉	糞	紛	雰	文	聞				
ヘ	4226～4229							丙	併	兵	堀
	4230～4239	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陸	米	頁
	4240～4249	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	篋	偏	變
	4250～4259	片	篇	編	辺	返	遍	便	婉	勉	弁
	4260	鞭									
ホ	4261～4269		保	鋪	鋪	圃	捕	步	甫	補	輔
	4270～4279	穗	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280～4289	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290～4294	抱	捧	放	方	朋					
	4301～4309		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	4310～4319	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320～4329	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	4330～4339	望	某	棒	冒	紡	紡	謬	貌	貿	
	4340～4349	鉦	防	吠	頻	北	僕	卜	墨	撲	朴
	4350～4359	牧	睦	穆	鉅	勃	沒	殆	堀	幌	奔
	4360～4363	本	翻	凡	盆						
マ	4364～4369					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	4370～4379	味	枚	毎	哩	棋	幕	膜	枕	鋪	枉
	4380～4389	鱒	榭	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侶
	4390～4394	爾	磨	万	慢	滿					
	4401～4402		漫	蔓							
ミ	4403～4409					味	未	魅	巳	箕	岬
	4410～4418	蜜	湊	糞	稔	脈	妙	耗	民	眠	
ム	4419										務
	4420～4428	夢	無	牟	矛	霧	鵠	掠	婿	娘	
メ	4429										冥
	4430～4439	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
×	4440～4445	免	棉	綿	緬	面	麵				
モ	4446～4449										
	4450～4459	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	茂	妄
	4460～4469	目	柰	勿	餅	尤	戾	糞	賁	問	悶
	4470～4472	紋	門	匆							
ヤ	4473～4479				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4480～4489	矢	厄	役	約	葉	躍	詠	靖	柳	藪
	4490	鐘									
ユ	4491～4494		愉	愈	油	癒					
	4501～4509		論	輪	唯	佑	優	勇	友	有	幽
	4510～4519	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4520～4528	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
ヨ	4529										予
	4530～4539	余	与	譽	輿	預	備	幼	妖	容	庸
	4540～4549	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	熔	用
	4550～4559	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遙	陽
	4560～4568	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ラ	4569										羅
	4570～4579	螺	裸	来	萊	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4580～4587	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽		
リ	4588～4589										利
	4590～4594	履	李	梨	理	璃					吏
	4601～4609		痢	裏	裡	里	離	陸	率	立	
	4610～4619	律	掠	略	劉	流	溜	溜	留	硫	粒
	4620～4629	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	僚	僚
	4630～4639	両	凌	寮	寮	涼	梁	涼	療	瞭	稜
	4640～4649	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	4650～4659	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	鱗
ル	4660～4664	瑠	呈	涙	累	類					
レ	4665～4669						令	伶	例	冷	肋
	4670～4679	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	隸	零	靈	麗
	4680～4689	齡	曆	歴	列	劣	烈	裂	康	恋	憐
	4690～4694	漣	煉	簾	練	聯					
	4701～4703		連	連	鍊						
ロ	4704～4709						呂	魯	櫓	炉	路
	4710～4719	露	勞	婁	廊	弄	朗	樓	榔	浪	漏
	4720～4729	牢	狼	竜	老	聲	蠟	郎	六	麓	禄
	4730～4732	肋	録	論							
ワ	4733～4739				倭	和	話	詔	賄	脇	惑
	4740～4749	杵	鷺	互	亙	鰐	詫	詫	蕨	婉	湾
	4750～4751	碗	腕								
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

JIS 第 2 水準

*の欄の数字は区点コードの下1桁を表します。
従って「井」の区点コードは「4807」となります。

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4801～4809	弋	丐	丕	个	卩	井	ノ	父		
4810～4819	乖	乘	亂	亅	豫	事	舒	式	于	亞
4820～4829	亟	一	亢	収	仟	价	伉	佚	估	仆
4830～4839	仿	仗	仞	伋	侏	佻	佻	佻	佩	佰
4840～4849	侑	佻	佻	佻	侏	佻	佻	佻	佩	佰
4850～4859	侑	佻	佻	佻	侏	佻	佻	佻	佩	佰
4860～4869	侑	佻	佻	佻	侏	佻	佻	佻	佩	佰
4870～4879	侑	佻	佻	佻	侏	佻	佻	佻	佩	佰
4880～4889	侑	佻	佻	佻	侏	佻	佻	佻	佩	佰
4890～4899	侑	佻	佻	佻	侏	佻	佻	佻	佩	佰
4901～4909	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
4910～4919	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
4920～4929	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
4930～4939	競	競	兩	兪	兮	冀	門	回	冊	冉
4940～4949	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏
4950～4959	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏
4960～4969	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏
4970～4979	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
4980～4989	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
4990～4999	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
5001～5009	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦
5010～5019	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑	勑
5020～5029	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚
5030～5039	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚
5040～5049	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄	厄
5050～5059	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠
5060～5069	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭
5070～5079	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩
5080～5089	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒
5090～5099	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍
5101～5109	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫
5110～5119	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍
5120～5129	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍
5130～5139	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍
5140～5149	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍
5150～5159	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍
5160～5169	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍
5170～5179	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍
5180～5189	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍
5190～5199	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍	咍
5201～5209	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀
5210～5219	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀
5220～5229	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀
5235～5239	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5240～5249	堡	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢
5250～5259	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢
5260～5269	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢
5270～5279	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢
5280～5289	天	本	夸	夾	奇	奕	奕	奕	奕	奕
5290～5299	奢	樊	奧	獎	奩	奩	奩	奩	奩	奩
5301～5309	奸	妁	妝	倭	倭	倭	倭	倭	倭	倭
5310～5319	姜	姘	姘	娥	娥	娥	娥	娥	娥	娥
5320～5329	姘	姘	姘	娥	娥	娥	娥	娥	娥	娥
5330～5339	姘	姘	姘	娥	娥	娥	娥	娥	娥	娥
5340～5349	嬌	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵
5350～5359	嬌	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵
5360～5369	學	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖	孖
5370～5379	寢	寢	寢	寢	寢	寢	寢	寢	寢	寢
5380～5389	寢	寢	寢	寢	寢	寢	寢	寢	寢	寢
5390～5399	尹	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈
5401～5409	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐
5410～5419	岑	岑	岑	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫
5420～5429	岑	岑	岑	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫
5430～5439	崗	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑
5440～5449	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑
5450～5459	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠
5460～5469	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠
5470～5479	帑	帑	帑	帷	帷	帷	帷	帷	帷	帷
5480～5489	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟
5490～5499	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁	廁
5501～5509	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖
5510～5519	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬
5520～5529	彝	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋
5530～5539	彝	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋
5540～5549	徕	徕	徕	徕	徕	徕	徕	徕	徕	徕
5550～5559	徕	徕	徕	徕	徕	徕	徕	徕	徕	徕
5560～5569	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠
5570～5579	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕
5580～5589	協	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆
5590～5599	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓
5601～5609	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓
5610～5619	惠	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓	惓
5620～5629	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5630～5639	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5640～5649	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5650～5659	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5660～5669	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5670～5679	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5680～5689	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
5690～5699	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊
5701～5709	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛
5710～5719	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
5720～5729	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
5730～5739	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

[illegible]

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6240～6249	浙	淺	淙	淤	塗	淪	淮	渭	湮	滯
6250～6259	渙	淺	渥	渾	渣	湫	渌	渌	湍	渟
6260～6269	泮	渺	涵	滿	滿	淪	游	渾	溪	湓
6270～6279	混	涵	渚	渚	湖	滄	洩	滔	膝	滄
6280～6289	溥	滂	溟	潁	溉	灌	漚	澍	滾	漿
6290～6299	滲	滲	滯	漲	滄	漚	漚	澍	滾	
6301～6309	激	湫	湫	湫	渇	渇	渇	渇	渇	渇
6310～6319	潛	潛	渾	激	渇	潘	潘	潘	潘	潘
6320～6329	澳	渚	渚	渚	渚	渚	渚	渚	渚	渚
6330～6339	瀾	渚	渚	渚	渚	渚	渚	渚	渚	渚
6340～6349	瀾	渚	渚	渚	渚	渚	渚	渚	渚	渚
6350～6359	瀾	渚	渚	渚	渚	渚	渚	渚	渚	渚
6360～6369	激	渚	渚	渚	渚	渚	渚	渚	渚	渚
6370～6379	炮	炮	炮	炮	炮	炮	炮	炮	炮	炮
6380～6389	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩	煩
6390～9399	煥	煥	煥	煥	煥	煥	煥	煥	煥	煥
6401～6409	爇	爇	爇	爇	爇	爇	爇	爇	爇	爇
6410～6419	爲	爇	爇	爇	爇	爇	爇	爇	爇	爇
6420～6429	犂	犂	犂	犂	犂	犂	犂	犂	犂	犂
6430～6439	狝	狝	狝	狝	狝	狝	狝	狝	狝	狝
6440～6449	狝	狝	狝	狝	狝	狝	狝	狝	狝	狝
6450～6459	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎
6460～6469	玕	玕	玕	玕	玕	玕	玕	玕	玕	玕
6470～6479	琅	琅	琅	琅	琅	琅	琅	琅	琅	琅
6480～6489	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥	珥
6490～6499	璧	瓊	瓊	瓊	瓊	瓊	瓊	瓊	瓊	瓊
6501～6509	瓠	瓣	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠
6510～6519	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
6520～6529	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
6530～6539	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎
6540～6549	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔
6550～6559	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔
6560～6569	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋	瘋
6570～6579	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
6580～6589	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
6590～6599	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
6601～6609	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
6610～6619	皖	皓	哲	皓	皓	皁	皁	皁	皁	皁
6620～6629	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍
6630～6639	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍
6640～6649	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍
6650～6659	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍
6660～6669	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍
6670～6679	仰	仰	仰	仰	仰	仰	仰	仰	仰	仰
6680～6689	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚
6690～6699	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧
6701～6709	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧
6710～6719	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
6720～6729	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
6730～6739	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6740～6749	稟	稟	稱	稻	稟	稷	裕	穗	稗	穄
6750～6759	穢	穢	穢	穢	穹	穢	窈	窈	窈	窈
6760～6769	窖	窖	窖	窖	窈	窈	窈	窈	窈	窈
6770～6779	竊	竊	竊	竊	窈	窈	窈	窈	窈	窈
6780～6789	竊	竊	竊	竊	窈	窈	窈	窈	窈	窈
6790～6799	竊	竊	竊	竊	窈	窈	窈	窈	窈	窈
6801～6809										
6810～6819	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈
6820～6829	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈
6830～6839	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈
6840～6849	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈
6850～6859	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈
6860～6869	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈
6870～6879	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈
6880～6889	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈
6890～6899	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈
6901～6909	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆
6910～6919	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆
6920～6929	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆
6930～6939	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆
6940～6949	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆
6950～6959	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆
6960～6969	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆
6970～6979	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆
6980～6989	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆
6990～6999	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆	紆
7001～7009	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍
7010～7019	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍
7020～7029	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍
7030～7039	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍
7040～7049	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍
7050～7059	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍
7060～7069	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍
7070～7079	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍
7080～7089	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍
7090～7099	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍	罍
7101～7109	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴
7110～7119	腦	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴
7120～7129	腦	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴
7130～7139	臂	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴
7140～7149	臂	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍
7150～7159	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍
7160～7169	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍
7170～7179	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍
7180～7189	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍	臍
7190～7199	苞	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐
7201～7209		苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐
7210～7219	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐
7220～7229	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐
7230～7239	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐	苐
区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

[illegible]

区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7740～7749	軾	軹	軺	軻	輶	輗	輘	輙	輚	輛
7750～7759	輜	輞	輟	輠	輡	輢	輣	輤	輥	輦
7760～7769	輧	輨	輩	輪	輫	輬	輭	輮	輯	輰
7770～7779	輱	輲	輳	輴	輵	輶	輷	輸	輹	輺
7780～7789	輻	輗	輘	輙	輚	輛	輜	輞	輟	輠
7790～7799	輡	輢	輣	輤	輥	輦	輧	輨	輩	輪
7801～7809	輫	輬	輭	輮	輯	輥	輦	輧	輨	輩
7810～7819	輪	輫	輬	輭	輮	輯	輥	輦	輧	輨
7820～7829	輩	輪	輫	輬	輭	輮	輯	輥	輦	輧
7830～7839	輪	輫	輬	輭	輮	輯	輥	輦	輧	輨
7840～7849	輫	輬	輭	輮	輯	輥	輦	輧	輨	輩
7850～7859	輬	輭	輮	輯	輥	輦	輧	輨	輩	輪
7860～7869	輭	輮	輯	輥	輦	輧	輨	輩	輪	輫
7870～7879	輮	輯	輥	輦	輧	輨	輩	輪	輫	輬
7880～7889	輯	輥	輦	輧	輨	輩	輪	輫	輬	輭
7890～7899	輥	輦	輧	輨	輩	輪	輫	輬	輭	輮
7901～7909	輦	輧	輨	輩	輪	輫	輬	輭	輮	輯
7910～7919	輧	輨	輩	輪	輫	輬	輭	輮	輯	輥
7920～7929	輨	輩	輪	輫	輬	輭	輮	輯	輥	輦
7930～7939	輩	輪	輫	輬	輭	輮	輯	輥	輦	輧
7940～7949	輪	輫	輬	輭	輮	輯	輥	輦	輧	輨
7950～7959	輫	輬	輭	輮	輯	輥	輦	輧	輨	輩
7960～7969	輬	輭	輮	輯	輥	輦	輧	輨	輩	輪
7970～7979	輭	輮	輯	輥	輦	輧	輨	輩	輪	輫
7980～7989	輮	輯	輥	輦	輧	輨	輩	輪	輫	輬
7990～7999	輯	輥	輦	輧	輨	輩	輪	輫	輬	輭
8001～8009	輥	輦	輧	輨	輩	輪	輫	輬	輭	輮
8010～8019	輦	輧	輨	輩	輪	輫	輬	輭	輮	輯
8020～8029	輧	輨	輩	輪	輫	輬	輭	輮	輯	輥
8030～8039	輨	輩	輪	輫	輬	輭	輮	輯	輥	輦
8040～8049	輩	輪	輫	輬	輭	輮	輯	輥	輦	輧
8050～8059	輪	輫	輬	輭	輮	輯	輥	輦	輧	輨
8060～8069	輫	輬	輭	輮	輯	輥	輦	輧	輨	輩
8070～8079	輬	輭	輮	輯	輥	輦	輧	輨	輩	輪
8080～8089	輭	輮	輯	輥	輦	輧	輨	輩	輪	輫
8090～8099	輮	輯	輥	輦	輧	輨	輩	輪	輫	輬
8101～8109	輯	輥	輦	輧	輨	輩	輪	輫	輬	輭
8110～8119	輥	輦	輧	輨	輩	輪	輫	輬	輭	輮
8120～8129	輦	輧	輨	輩	輪	輫	輬	輭	輮	輯
8130～8139	輧	輨	輩	輪	輫	輬	輭	輮	輯	輥
8140～8149	輨	輩	輪	輫	輬	輭	輮	輯	輥	輦
8150～8159	輩	輪	輫	輬	輭	輮	輯	輥	輦	輧
8160～8169	輪	輫	輬	輭	輮	輯	輥	輦	輧	輨
8170～8179	輫	輬	輭	輮	輯	輥	輦	輧	輨	輩
8180～8189	輬	輭	輮	輯	輥	輦	輧	輨	輩	輪

その他

文字上の数字はコードの下2桁を表します。

	コード														
85	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
	鵬	葛	祇	麴	鯖	鯖	驪	琢	啄	樽	塚	摑	境	潑	
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	酸	嶸	菜	濱	高	吉	楸	昇	柳	柳	癩	拂	醬	麵	逸
	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	謁	緣	橫	溫	禍	悔	海	渴	寬	漢	祈	器	虛	響	勤
	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
	謹	薰	揭	黃	黑	穀	社	視	者	煮	臭	祝	署	署	
	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75
	緒	諸	祚	涉	狀	神	瀨	節	巢	僧	層	增	僧	贈	
86	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
	即	嘆	著	徵	懲	都	德	突	難	梅	繁	晚	阜	碑	賓
	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00					
	敏	侮	福	勉											
	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
	步	壘	母	賴	虜	緣	淚	眉	歷	練	鍊	郎	朗		
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	廊	錄	猪	祐	禎	渚	才	迂	憎	倦	堵	撰	屏	漬	鹼
	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	曹	喆	琦	珉	曙	昆	蟬	清							
87	システム領域														
88															
89	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
	逢	芦	飴	溢	茨	鯛	淫	罍	餌	襖	迦	牙	廻	恢	
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	晦	蟹	鮑	釜	翰	骹	徹	汲	灸	笈	卿	饗	喰	櫛	
	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	眉	糸	祁	隙	捲	牽	鍵	諺	巷	梗	膏	鵠	舛	薩	
	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
	鮫	餐	杓	灼	酉	楯	薯	藟	哨	轄	杖	蝕	逗	摺	
	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75
	煎	煽	穿	箭	詮	邇	揃	遜	蜷	蛸	迪	歎	註	瀦	槌
90	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
	鎚	辻	挺	鄭	擢	溺	兎	屠	賭	滯	遁	謎	灘	栖	襦
	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00					
	牌	這	秤	駁											
	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
	箸	叛	挽	誹	樋	稗	逼	謬	豹	廟	瀨	斧	蔽	瞥	蔑
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	篇	婉	鞭	庖	蓬	逢	迄	儲	餅	舂	爺	鎚	愈	猷	連
	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
	煉	簾	廊	屢	寬	叟	咬	嘲	囁	俳	扁	棘	攸	攷	
	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
	甦	疼	崇	竈	筵	筵	健	艘	亡	虔	蜃	蠅	訃	靚	靚
	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75
	騙	鴉													

●記号・外枠一覧表

記号一覧表

!! 注意 !!

記号一覧表の記号と印刷される記号の結果が異なるものがあります。

記述

、 。 , . . : ;
? ! - - / \ ~
@ ~ _ \$ † ‡ 、
ゝ 丶 彡 // 全々 𐄌
..... ※ *

省略

No. & 〒 ㊞ © ®
™ (秘) (印) (済) (注) (控) (検)
(問) (答) (祝) (休) (祭) (代) (内)
(直) (呼) (株) KK (有) (財) (社)
(特) (学) TEL FAX ♂ ♀

カッコ

‘ ’ “ ” () [
] [] { } < >
《 》 「 」 『 』 【
】

矢印

→ ← ↑ ↓ ↘ ↙ ↗ ↖
↙ → ← ↑ ↓ ↔ ↕

単位

% ‰ μ m mm cm m km
ft mile cm ² m ² a ha km ²
cm ³ m ³ mg g kg t cc
ml dl l kl mol ¥ (円)
\$ € £ Fr ¢ A V
Ω W kW Hz dB HP Å
@ ° ' " °C °F Pt
ct

算数

+ - ± × ÷ = ≠
< > ≤ ≥ ∞ ∴ ≡
÷ √ ∞ ∧ §

数字

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭
⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ○
一 二 三 四 五 六 七
八 九 Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ
Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ X i ii
iii iv v vi vii viii ix
X 1 2 3 4 5 6
7 8 9 0 1 2 3
4 5 6 7 8 9 0
+ - ½ ⅓ ⅔ ¼ ¾

2桁数字

00 ~ 99

ギリシャ

Α Β Γ Δ Ε Ζ Η
Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ
Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ
Χ Ψ Ω α β γ δ
ε ζ η θ ι κ λ
μ ν ξ ο π ρ σ
τ υ φ χ ψ ω

ロシア

А Б В Г Д Е Ё
Ж З И Й К Л М
Н О П Р С Т У
Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ
Ы Ь Э Ю Я а б
в г д е ё ж з
и й к л м н о
п р с т у ф х
ц ч ш щ ъ ы ь
э ю я

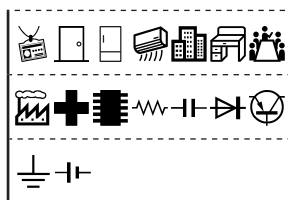
欧州

ä	ë	ï	ö	ü	Ä	Ë
Ï	Ö	Ü	á	é	í	ó
ú	Á	É	Í	Ó	Ú	à
è	ì	ò	ù	À	È	Ì
Ò	Ù	â	ê	î	ô	û
Â	Ê	Î	Ô	Û	ñ	Ñ
ß	Ç	ç	Œ	œ	¿	¡

图形

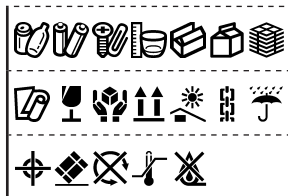
A collection of 30 different symbols arranged in five rows of six. The symbols include: Row 1: an empty circle, a solid black circle, a circle with a dot in the center, an empty triangle, a solid black triangle, and an inverted solid black triangle. Row 2: an empty diamond, a solid black diamond, an empty square, a solid black square, a five-pointed star with a dot in the center, and a six-petaled flower. Row 3: a four-petaled flower, a heart, a hand with fingers spread, a musical note, a treble clef, and a sharp symbol. Row 4: a bow, a four-pointed star, a five-pointed star, a crescent moon, a six-pointed star, and a seven-pointed star. Row 5: a swirl, a diamond, a solid black diamond, a spade, a solid black spade, a heart, and a solid black heart. Row 6: a club and a solid black club.

仕事

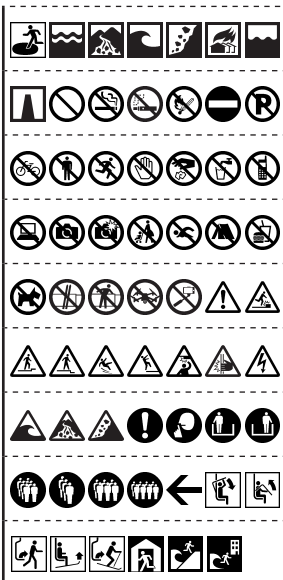
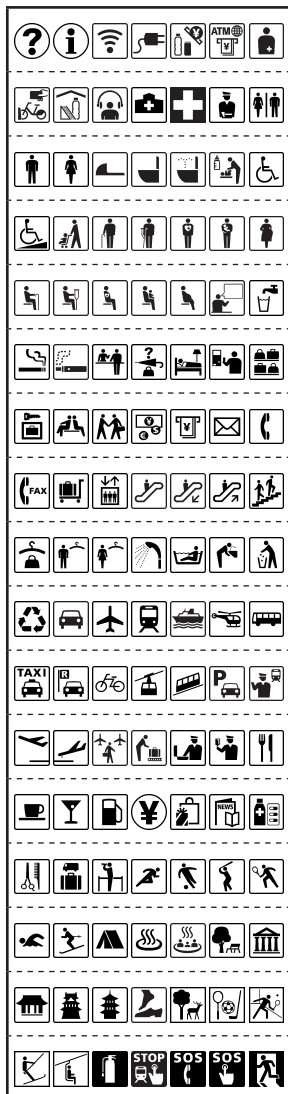


表示





案内用



お店



建設



工場



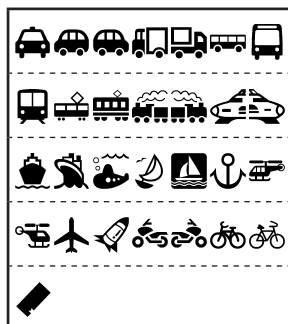
病院



生き物



乗り物



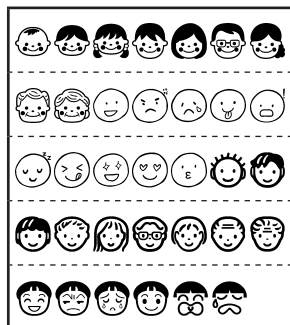
食べ物



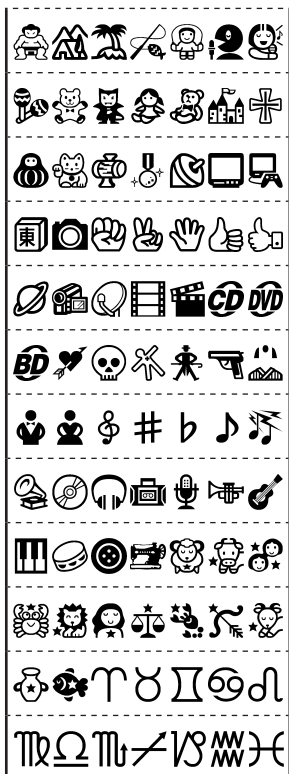
暮らし



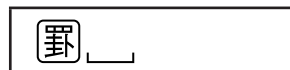
顔



趣味



編集



合成



イラスト

01		02		03		04		05	
06		07		08		09		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	

外枠・表組み一覧表

外枠

01		02		03		04		05	
06		07		08		09		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	
26		27		28		29		30	
31		32		33		34		35	
36		37		38		39		40	
41		42		43		44		45	
46		47		48		49		50	
51		52		53		54		55	
56		57		58		59		60	
61		62		63		64		65	
66		67		68		69		70	
71		72		73		74		75	
76		77		78		79		80	
81		82		83		84		85	
86		87		88		89		90	
91		92		93		94		95	
96		97		98		99			

表組み

01		02		03		04		05	
06		07		08		09		10	

カットラベルフォーム 外枠・表組み一覧表

丸型外枠	01		02		03		04	
	05		06		07		08	
	09		10					
楕円外枠	01		02		03		04	
	05		06		07		08	
	09		10					
角丸外枠	01		02		03		04	
	05		06		07		08	
	09		10		11		12	
	13		14		15		16	
	17		18		19		20	
表組み	01		02		03		04	

●デザインフォーム見本

!! 注意 !!

- ・使用するテープ幅によってレイアウトは多少変わることがあります。ラベルサンプルは一部を除き 12mm 幅テープで印刷したものを縮小したものです。
- ・推奨テープ以外のテープ幅では、「行数オーバー」と表示され印刷できないことがあります。

●オフィス ※ () 内は推奨テープ幅

■ 紙補充 (6 ~ 36mm)



紙がなくなったら、
補充しましょう

■ PC 電源 (6 ~ 36mm)



電源は
こまめに消しましょう

■ 紙節約 (6 ~ 36mm)



紙の節約を

■ 節電 (9 ~ 36mm)



節 電
ご協力ください

■ 職場きれいに (6 ~ 36mm)

◆職場はいつもきれいに◆

■ 印刷面を上 (6 ~ 36mm)



印刷面を上にしてセットしてください

■ 開放厳禁 (6 ~ 36mm)



開放厳禁

■ 本日休暇中 (6 ~ 36mm)



本日休暇中

■ 不燃ごみ (9 ~ 36mm)



不燃ごみ
分別しましょう

■ 天地無用 (6 ~ 36mm)



天地無用

■ 交換時期 (6 ~ 36mm)



カートリッジ交換時期
年 月

■ リサイクル (6 ~ 36mm)



リサイクルに
ご協力を!

■ 節水 (9 ~ 36mm)



節 水
ご協力ください

■ エアコン (6 ~ 36mm)



エアコンの消し忘れに注意

■ 可燃ごみ (9 ~ 36mm)



可燃ごみ
分別しましょう

■ 精密機器 (6 ~ 36mm)



精密機器

■ ワレモノ注意 (6 ~ 36mm)



ワレモノ注意

■ お疲れ様です (12～36mm)

 お疲れ様です

■ ほんの気持ち (12～36mm)

 ほんの気持ち

■ 社外秘 (6～36mm)

社 外 秘

■ フォルダー山 (12mm) ※長さ 11cm

TITLE
出張ホテルデータ

■ 背見出し (縦) (6～36mm)

××出張ホテル

■ 背見出し (横) (6～36mm)

会議資料

■ 回覧の確認 (12～36mm) ※推奨テープ：上質紙ラベル、マットラベル

回覧

■ 備品管理票 (18～36mm)

備品名	デジタルPBX
管理番号	0512-S
購入年月	20XX年10月
管理部署	営業部

■ QR 備品管理票 (36mm)

備品名	607d	
管理番号	KG00206	
購入年月日	20XX年5月12日	
管理部署	開発技術部	

●施設 ※ () 内は推奨テープ幅

■ 案内所 (9～36mm)

 案内所
Question & answer

■ 情報コーナー (9～36mm)

 情報コーナー
Information

■ 病院 (9～36mm)

 病院
Hospital

■ 救護所 (9～36mm)

 救護所
First aid

■ 警察 (9～36mm)

 警察
Police

■ お手洗 (9～36mm)

 お手洗
Toilets

■ 男子 (9～36mm)

 男子
Men

■ 女子 (9～36mm)

 女子
Women

■ 身障者用設備 (9～36mm)

 身障者用設備
Accessible facility

■ 車椅子スロープ (9～36mm)

 車椅子スロープ
Accessible slope

■ ベビールーム (9～36mm)

 ベビーケアルーム
Baby care room

■ 飲料水 (9～36mm)

 飲料水
Drinking water

■ 喫煙所 (9～36mm)

 喫煙所
Smoking area

■ 消火器 (9～36mm)

 消火器
Fire extinguisher

■ AED (9～36mm)



自動体外式除細動器
Automated External Defibrillator

■ 非常ボタン (9～36mm)



非常ボタン
Emergency call button

■ 広域避難場所 (9～36mm)



広域避難場所
Evacuation area

■ 禁煙 (9～36mm)



禁煙
No smoking

■ 火気厳禁 (9～36mm)



火気厳禁
No open flame

■ 進入禁止 (9～36mm)



進入禁止
No entry

■ 自転車禁止 (9～36mm)



自転車乗入れ禁止
No bicycles

■ かけ込み禁止 (9～36mm)



かけ込み禁止
Do not rush

■ 捨てるな (9～36mm)



捨てるな
No littering

■ 携帯禁止 (9～36mm)



携帯電話使用禁止
Do not use mobile phones

■ 撮影禁止 (9～36mm)



撮影禁止
Do not take photographs

■ ドローン禁止 (9～36mm)



ドローン使用禁止
No drone zone

■ 注意 (9～36mm)



注意
Caution

■ 非常電話 (9～36mm)



非常電話
Emergency telephone

■ 非常口 (9～36mm)



非常ボタン
Emergency call button

■ 禁止 (9～36mm)



禁止
Prohibited

■ 加熱式たばこ (9～36mm)



加熱式たばこ禁止
No vaping

■ 開放厳禁 (9～36mm)



開放厳禁
Keep closed

■ 駐車禁止 (9～36mm)



駐車禁止
No parking

■ 立入禁止 (9～36mm)



立入禁止
No admittance

■ さわるな (9～36mm)



さわるな
Do not touch

■ 飲めない (9～36mm)



飲めない
Not for drinking

■ 電子機器禁止 (9～36mm)



電子機器使用禁止
Do not use electronic devices

■ フラッシュ (9～36mm)



フラッシュ撮影禁止
Do not take flash photographs

■ 自撮り棒禁止 (9～36mm)



自撮り棒使用禁止
No selfie sticks

■ 障害物注意 (9～36mm)



障害物注意
Watch for obstacles

■ 上り段差注意 (9 ~ 36mm)



■ 滑面注意 (9 ~ 36mm)



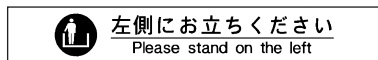
■ 天井に注意 (9 ~ 36mm)



■ 指示 (9 ~ 36mm)



■ 立つく (左側) (9 ~ 36mm)

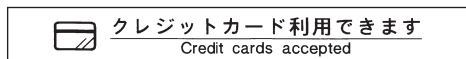


● お店 ※ () 内は推奨テープ幅

■ お会計 (6 ~ 36mm)



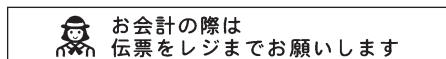
■ カード支払い (6 ~ 36mm)



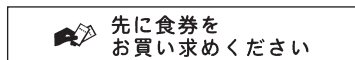
■ 現金払い (6 ~ 36mm)



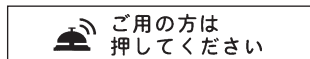
■ 伝票をレジに (9 ~ 36mm)



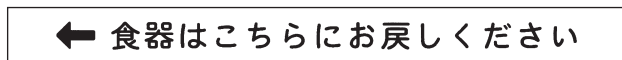
■ 先に食券を (9 ~ 36mm)



■ 呼び鈴 (9 ~ 36mm)



■ 食器返却口 (9 ~ 36mm)



■ 店内禁煙 (9 ~ 36mm)



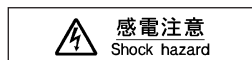
■ 下り段差注意 (9 ~ 36mm)



■ 転落注意 (9 ~ 36mm)



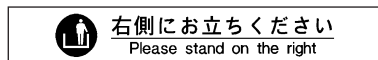
■ 感電注意 (9 ~ 36mm)



■ 静かに (9 ~ 36mm)



■ 立つく (右側) (9 ~ 36mm)



■ おつり忘れず (9 ~ 36mm)



■ 禁煙席 (9 ~ 36mm)



■ 喫煙席 (9 ~ 36mm)



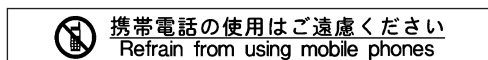
■ 包装無料 (9 ~ 36mm)



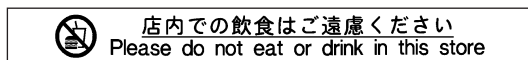
■ 充電コーナー (9 ~ 36mm)



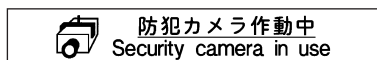
■ 携帯電話禁止 (9 ~ 36mm)



■ 飲食禁止 (9 ~ 36mm)



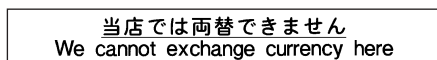
■ 防犯カメラ (9 ~ 36mm)



■ ご覧ください (9 ~ 36mm)



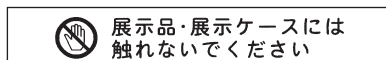
■ 両替 (9 ~ 36mm)



■ レシート不要 (9 ~ 36mm)



■ 触れないで (9 ~ 36mm)



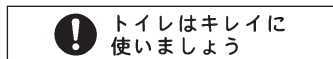
■ ペット禁止 (9 ~ 36mm)



■ 自動照明 (9 ~ 36mm)



■ トイレ清潔に (9 ~ 36mm)



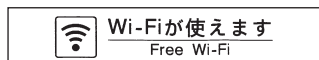
■ 離席中 (9 ~ 36mm)



■ 配送無料 (9 ~ 36mm)



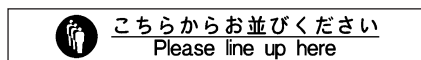
■ Wi-Fi (9 ~ 36mm)



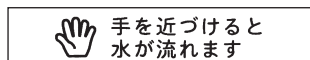
■ 並ぶ (9 ~ 36mm)



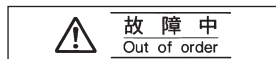
■ 並ぶ (9 ~ 36mm)



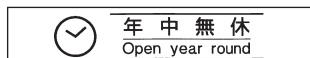
■ トイレ洗浄 (9 ~ 36mm)



■ 故障中 (9 ~ 36mm)



■ 年中無休 (9 ~ 36mm)



■ 新商品 (9 ~ 36mm)



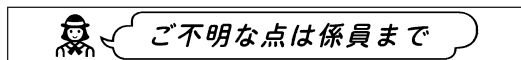
■ 店長おすすめ (9 ~ 36mm)



■ 入荷待ち (6 ~ 36mm)



■ 係員 (6 ~ 36mm)



■ 警備員巡回中 (6 ~ 36mm)



■ パンフレット (9 ~ 36mm)



● 建設 ※ () 内は推奨テープ幅

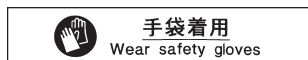
■ 保護帽着用 (9 ~ 36mm)



■ 安全帯使用 (9 ~ 36mm)



■ 手袋着用 (9 ~ 36mm)



■ 安全靴着用 (9 ~ 36mm)



■ 保護メガネ着用 (9 ~ 36mm)



■ マスク着用 (9 ~ 36mm)



■ 開口部注意 (18 ~ 36mm)



■ 滑面注意 (18 ~ 36mm)



■ 段差注意 (18 ~ 36mm)



■ 頭上注意 (18 ~ 36mm)



■ 落下物注意 (18 ~ 36mm)



■ 感電注意 (18 ~ 36mm)



■ ドア注意 (18 ~ 36mm)



■ 立ち入り禁止 (18 ～ 36mm)



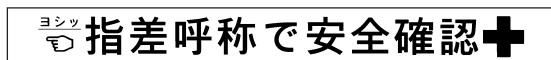
■ 5 S運動 (9 ～ 36mm)



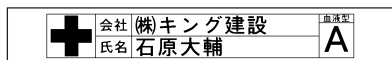
■ 安全規則 (9 ～ 36mm)



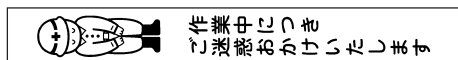
■ 指差呼称 (9 ～ 36mm)



■ 血液型ラベル (18 ～ 36mm)



■ 作業中 (9 ～ 36mm)



● 工場 ※ () 内は推奨テープ幅

■ 安全第一 (9 ～ 36mm)



■ 救急箱 (9 ～ 36mm)



■ 巻き込み注意 (6 ～ 36mm)



■ 指挟まれ注意 (6 ～ 36mm)



■ 回転部注意 (6 ～ 36mm)



■ 噴射注意 (6 ～ 36mm)



■ 接触禁止 (6 ～ 36mm)



■ 整理整頓 (9 ～ 36mm)



■ 高温部注意 (6 ～ 36mm)



■ 切断注意 (6 ～ 36mm)



■ 感電注意 (6 ～ 36mm)



■ 有毒ガス注意 (6 ～ 36mm)



■ 濡れ手禁止 (6 ～ 36mm)



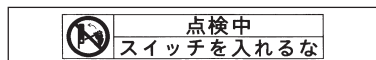
■ 火気厳禁 (6 ～ 36mm)



■ アース線接地（6～36mm）



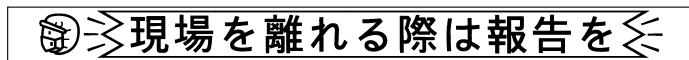
■ スイッチ禁止（6～36mm）



■ 物を置かない（12～36mm）



■ 現場を離れる（9～36mm）



■ 安全確認（9～36mm）



■ ミス防止（9～36mm）



■ 手順確認（9～36mm）



■ 土足厳禁（9～36mm）



■ 責任者ラベル（9～36mm）



■ 使用禁止（12～36mm）



■ 点検中（12～36mm）

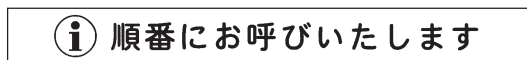


● 病院 ※（）内は推奨テープ幅

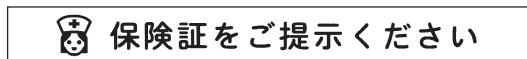
■ 診察中（9～36mm）



■ 待合室（9～36mm）



■ 保険証提示（9～36mm）



■ 診察券入れ（9～36mm）



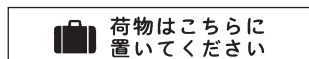
■ 必要事項記入（9～36mm）



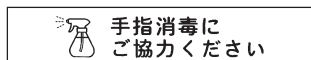
■ 会計窓口提出（9～36mm）



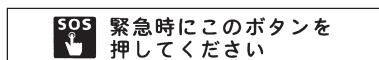
■ 荷物はこちら（9～36mm）



■ 手指消毒（9～36mm）



■ 緊急ボタン（9～36mm）

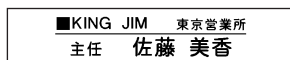


■ 医療廃棄物（12～36mm）

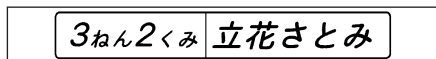


● お名前 ※（）内は推奨テープ幅

■ オフィス名札（9～36mm）



■ 学校持ち物（9～36mm）



■ マスク着用（9～36mm）



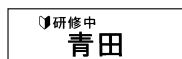
■ 電子機器禁止（9～36mm）



■ 住所・氏名（9～36mm）



■ 店舗名札（9～36mm）



ローマ字変換表

あ	あ A	い I YI	う U WU	え E	お O
か	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ	さ SA	し SI SHI	す SU	せ SE	そ SO
た	た TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
な	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は	は HA	ひ HI	ふ HU FU	へ HE	ほ HO
ま	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や	や YA	い YI I	ゆ YU	いえ YE	よ YO
ら	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ	わ WA		う WU U		を WO
ん	ん N+(Y以外の子音) (例) N+N→ん N+P→んP				
が	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ	ざ ZA	じ ZI JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
きゃ	きゃ KYA	きい KYI	きゅ KYU	きえ KYE	きよ KYO
しゃ	しゃ SYA SHA	しい SYI SHI	しゅ SYU SHU	しえ SYE SHE	しよ SYO SHO
ちゃ	ちゃ TYA CHA CYA	ちい TYI CYI	ちゅ TYU CHU CYU	ちえ TYE CHE CYE	ちよ TYO CHO CYO
てや	てや THA	てい THI	てゅ THU	てえ THE	てよ THO
にや	にや NYA	にい NYI	にゅ NYU	にえ NYE	によ NYO
ひや	ひや HYA	ひい HYI	ひゅ HYU	ひえ HYE	ひよ HYO
みや	みや MYA	みい MYI	みゅ MYU	みえ MYE	みよ MYO

りや	りや RYA	りい RYI	りゅ RYU	りえ RYE	りよ RYO
ぎゃ	ぎゃ GYA	ぎい GYI	ぎゅ GYU	ぎえ GYE	ぎよ GYO
じゃ	じゃ ZYA JA JYA	じい ZYI JYI	じゅ ZJU JYU	じえ ZYE JE JYE	じよ ZYO JO JYO
ぢゃ	ぢゃ DYA	ぢい DYI	ぢゅ DYU	ぢえ DYE	ぢよ DYO
びゃ	びゃ BYA	びい BYI	びゅ BYU	びえ BYE	びよ BYO
ぴゃ	ぴゃ PYA	ぴい PYI	ぴゅ PYU	ぴえ PYE	ぴよ PYO
つあ	つあ TSA	つい TSI		つえ TSE	つお TSO
でや	でや DHA	でい DHI	でゅ DHU	でえ DHE	でよ DHO
ふあ	ふあ FA	ふい FI FYI		ふえ FE FYE	ふお FO
ふゃ	ふゃ FYA	ふい FYI FI	ふゅ FYU	ふえ FYE FE	ふよ FYO
うあ	うあ VA	うい VI	うゅ VU	うえ VE	うお VO
小 書 き 文 字	あ	あ LA XA	い LI XI LYI XYI	う LU XU	え LE XE LYE XYE
	か	か LKA XKA			け LKE XKE
	つ		つ LTU XTU		
	き	同一の子音+子音=っ+子音 (N以外有効)			
や	や	や LYA XYA		ゅ LYU XYU	よ LYO XYO
	わ	わ LWA XWA			

●おもな仕様

■入力

入力装置	JIS 配列準拠キーボード式 (64 鍵) 文字ボタン 39、機能ボタン 25
入力状態	ローマ字入力、かなめくり入力、ABC 入力 小文字入力、小文字ロック (ABC 入力時のみ)、記号入力、外字入力、 コピー機能 (30 文字まで)、コード変換入力 (区点コード・JIS コード・ シフト JIS コード)、部首読み入力、部首画数入力、ABC 半角入力 (QR コード時のみ)
漢字変換方式	ATOK for テブラ (予測入力、学習機能付き連文節変換) 搭載語句数 約 148,000 語 (追加可能)

■表示

表示装置	ドットマトリクス FSTN 液晶パネル (バックライト付き)
文字表示	256dot × 80dot (15chr × 5line)
表示濃度	-5 ~ ± 0 ~ +5 (11 段階)
インジケーター	29 個
LED	1 個

■記憶

文章メモリー	約 500 文字
内蔵ファイル	可変長データ式 (あて名・名前と共用) 約 30,000 文字 ※以下を含む ビジネスフォームファイル 約 6,000 文字 ケーブルフォームファイル 約 6,000 文字 カットラベルフォームファイル 約 4,000 文字 カットラベル・バンドウイットフォームファイル 約 4,000 文字
辞書登録	最大 50 件
外字登録	ビットマップフルライン自動拡大登録 フルライン (16・24・32・40・48 ドット) × 10 文字
地紋データ登録	文字地紋 1 件 創作地紋 4 件
あて名登録	最大 100 件
名前登録	最大 40 件
印刷履歴	最大 10 件

■ フォント（QRコード入力時の半角文字を除く）

内蔵文字数

全 8,327 文字
漢字 JIS 第 1 水準 2,965 文字
漢字 JIS 第 2 水準 3,390 文字
漢字 その他 288 文字
ひらがな・カタカナ・英数字・記号・その他

内蔵フォント

アウトラインフォント

ゴシック体	： 漢字書体・かな書体・英数書体
太型ゴシック体	： 漢字書体・かな書体・英数書体
丸ゴシック体	： 漢字書体・かな書体・英数書体
太型丸ゴシック体	： 漢字書体・かな書体・英数書体
明朝体	： 漢字書体・かな書体・英数書体
太型明朝体	： 漢字書体・かな書体・英数書体
てがき体	： 漢字書体・かな書体・英数書体
細字てがき体	： 漢字書体・かな書体・英数書体
行書体	： 漢字書体・かな書体・英数書体
太型行書体	： 漢字書体・かな書体・英数書体
波ゴ体	： 漢字書体・かな書体・英数書体
えれん体	： かな書体
太型えれん体	： かな書体
ハッピー体	： かな書体
太型ハッピー体	： かな書体
サンセリフ HV 体	： 英数書体
太型サンセリフ HV 体	： 英数書体
スクリプト BR 体	： 英数書体
太型スクリプト BR 体	： 英数書体
サンセリフ ST 体	： 英数書体
太型サンセリフ ST 体	： 英数書体
スクリプト PL 体	： 英数書体
太型スクリプト PL 体	： 英数書体

■ 印刷

印刷方式

熱転写 PRO 印刷方式

印刷濃度

-3 ～ ± 0 ～ +3（7 段階）

ヘッド構成

サーマルヘッド（432dot、360dpi）

テープカートリッジ

「デブラ」PRO テープカートリッジ 4・6・9・12・18・24・36mm 幅、
カットラベル

カッター

ハーフカット機能付きオートカッター

トリマー

センサーつき自動カド丸仕上げ（半径 3mm）

転写テープ検出

対応

カットラベル検出

対応

■印刷機能

文字構成

13 段階（拡大印刷を含むと 30 段階）

24 × 24dot	（ 5 ポイント相当）
32 × 32dot	（ 6 ポイント相当）
40 × 40dot	（ 8 ポイント相当）
48 × 48dot	（ 10 ポイント相当）
64 × 64dot	（ 13 ポイント相当）
80 × 80dot	（ 16 ポイント相当）
96 × 96dot	（ 19 ポイント相当）
128 × 128dot	（ 26 ポイント相当）
160 × 160dot	（ 32 ポイント相当）
192 × 192dot	（ 38 ポイント相当）
256 × 256dot	（ 51 ポイント相当）
320 × 320dot	（ 64 ポイント相当）
400 × 400dot	（ 80 ポイント相当）

※テープ幅によって印刷できない文字サイズがあります。

デザインフォーム

172 種（テンプレート式）

ビジネスフォーム

11 種

ケーブルフォーム

5 種

あて名印刷

約 10,000 文字（最大 100 件） カスタマバーコード印刷機能付

名前印刷

約 1,120 文字（最大 40 件）

特殊印刷

連続、拡大、鏡文字、ピツとコード

りぼん印刷

りぼん連続、お名前タグ

連番機能

加算一方向（繰り返し回数指定可）、1 桁連番、2 桁連番、3 桁連番、1 桁丸付連番、2 桁丸付連番

バーコード

QR コード、JAN-13、JAN-8、UPC-A、UPC-E、NW-7、ITF、CODE39（8 種）

■電源、その他

主電源

AC100V（同梱 AC アダプタ AS1527J 使用のこと）

補助バッテリー

アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単 3 形 × 6 本）

電源スイッチ

ボタン式

パワーオフ

操作終了後、約 5 分で電源を自動的にオフする
（外字作成・修正中、創作地紋作成・修正中、テープが終了して印刷再開可能な状態、AC アダプタ使用時のパソコンリンク中を除く）

PC 接続

USB ケーブルにて接続

寸法・質量

約 195W × 252D × 101H（mm）
約 1,260g（電池、テープカートリッジを除く）

同梱品

試用 PRO テープカートリッジ
ヘッド・クリーニングテープ（SR36C）
AC アダプタ（AS1527J）
取扱説明書 保証書付

別売品

PRO テープカートリッジ
ヘッド・クリーニングテープ (SR36C)
トリマー (RT36W)
お名前タグメーカー (SRT10)
スナップボタン (SRTB1)
システムトランク (SR10BT)
テープカートリッジケース (SR4TH)

■使用条件

動作環境

温度： 5 ～ 35℃ 湿度：30 ～ 80%（非結露）

保存環境

温度：-10 ～ 55℃ 湿度： 5 ～ 80%（非結露）

記号

QR (QR コードマーク)	176
☒☒ (印刷不可行頭マーク)	20、55
← → (カーソルボタン)	19
?_? (記号外枠)	85
1 2 (空白行頭マーク)	20、55
01 02 (空白ポートマーク)	141
罫 (罫入力記号)	84
合 (合成マーク)	44
1 2 (実質行頭マーク)	20、55
01 02 (実質ポートマーク)	141
┐ (全角スペース)	41
(バーコードマーク)	175
┌ (半角スペース)	41
◀ (フルメモリーマーク)	20
▶ (文字モード指定マーク)	20、69
1 2 3 4 5 (連番マーク)	171、173

英数字

1 桁九付 (連続番号)	170、171
1 桁 (連続番号)	170、171
2 桁数字 (記号)	65、215
2 桁九付 (連続番号)	170、171
2 桁 (連続番号)	170、171
2 倍印刷	178、181
3 桁 (連続番号)	170、171
3 倍印刷	178、181
4 倍印刷	178、181
ABC 入力	40
ABC (半角) 入力	176
AC アダプタ	11、23
AC アダプタ差込み口	16
ATOK 変換画面	22、33
ATOK 予測入力画面	22、32
CODE39 (バーコード)	170、174
ITF (バーコード)	170、174
JAN-8 (バーコード)	170、174
JAN-13 (バーコード)	170、174
NW-7 (バーコード)	170、174
◎	19
QR コード (バーコード)	170、176
QR コードマーク (罫)	176
RT36W (トリマー)	12
SR4TH (テープカートリッジケース)	12
SR10BT (システムトランク)	12
SR36C (ヘッド・クリーニングテープ)	12

SRT10 (お名前タグメーカー)	12、189
SRTB1 (スナップボタン)	12、189
TEPRA Label Editor SPC10	219、224
TEPRA LINK 2	219
UPC-A (バーコード)	170、174
UPC-E (バーコード)	170、174
USB ケーブル (パソコン接続)	219、224
USB コネクタ (パソコン接続)	16

あ

あ	19
アイロン転写テープ	217
アイロンラベル	217
あて名	94、103
印刷	107
グループ名修正	108
修正	105
消去	106
登録	104
複写	105
後揃え (割付け)	74、83
網かけ (囲み・網)	71、152
網濃度 (囲み・網)	71、152
網濃度 (地紋印刷)	75、89
誤り訂正レベル (QR コード)	170、176
アルカリ乾電池	23、195、207
淡文字 (飾り字)	70、76、151
アンインストール	225
アプリケーション	225
プリンタドライバ	225
イメージ表示	21
イラスト	43、215、253
印刷	18
印刷	46
印刷イメージ	20、45
印刷再開	180
～メニュー一覧	216
印刷情報	20
印刷設定	193、196
印刷濃度	193、201
印刷履歴	18、168、169
印刷履歴メニュー一覧	168
消去	169
呼出	168
インジケータ	20

インストール	219	拡大印刷	178、181
アプリケーション	219	確定文字	20
プリンタドライバ	219	影文字 (飾り字)	70、76、151
インデックス (ビジネスフォーム)	128	囲み・網 (文字モード)	67、71、77、194
たて書き	128、131	飾り字 (文字モード)	67、70、76、194
よこ書き	128、131	カスタマバーコード (あて名)	109
上カバー	16	下線 (囲み・網)	71、152
上カバーボタン	16	カタカナ	36
上書き呼出 (ファイル)	98	カッター	196
英字	40	カット設定	193、196、198
英数書体 (書体)	70	カットラベル	145
エラーメッセージ	228	カットラベル位置	193、200
大柄 (創作地紋)	75、91	カットラベル・バンドウイット	162
オートトリマー	16、59、60	カットラベルフォーム	145
～のお手入れ	60	～編集メニュー一覧	151
オート・パワーオフ	29	～メニュー一覧	146
多め (余白)	75、92	角囲み網 (囲み・網)	71、152
送りカット (テープ送り)	29、216	角囲み (囲み・網)	71、152
送り長指定 (テープ送り)	187、216	カド丸	59
おすすめ印刷	194	角丸 (カットラベル)	150
おすすめ印刷 (環境設定)	204	角丸 (縦) (カットラベルフォーム)	148
おすすめフォーム	194	角丸 (横) (カットラベルフォーム)	147
おすすめフォーム (環境設定)	204	かな書体 (書体)	70
おすすめ (余白)	75、92	かなめくり入力	35
お名前タグ	185、188	画面設定	204
お名前タグメーカー (SRT10)	12、189	仮確定文字	20
お名前 (デザインフォーム)	126、264	仮確定文字 (ATOK 変換画面)	33
オフィス (デザインフォーム)	124、256	環境設定	193、194、204
おまかせフォーマット (文字サイズ)	72、81、156	漢字	32、39
お店 (デザインフォーム)	125、259	漢字検索	190、191、192
終わり? (編集)	68、71、74、75	漢字検索メニュー一覧	190
		漢字書体 (書体)	70
		漢字変換表	240
			19
		記号	42、215、249
		～一覧表	249
		～メニュー一覧	215
		記号外枠 (外枠・表組)	85
		行	55
		鏡像	183
		強調 (斜体・強調)	70、76、151
		行頭マーク (1 2 … ☒、1 2 … ☒)	20、55
		極少 (余白)	75、92
		均等 (文字サイズ)	63、72、80
		均等割 (割付け)	74、83
		空白	41
		空白行頭マーク (1 2)	20、55
		空白ポートマーク (01 02)	141
		区点コード	191、240
		クリーニングテープ	12、236

か

カーソル	20、52、67
～の位置 (編集)	67
カーソルボタン 	19
改行	55
外字	94、117
参照作成	123
修正	120
消去	122
新規作成	119
複写	121
呼出	121、215
外字呼出 (記号)	215
改段落	19、57
ガイド表示	21
ガイドピン	5、16
鏡文字印刷	178、183
学習初期化	195、206

繰り返し回数 (連続番号)	170、171
グループ	95
グループ名修正	101
黒塗り (外字)	118
罫入力記号 (罫)	84
ケーブル表示ラベル専用フォーム (ケーブルフォーム)	139
ケーブルフォーム	139
～見本	139
ケーブルラップ (ケーブルフォーム)	139
建設 (デザインフォーム)	125、261
工場 (デザインフォーム)	125、262
合成 (記号)	44、215
合成記号	44
合成マーク (合)	44
コード入力 (漢字検索)	190、191
小柄 (創作地紋)	75、89
固定フック	16
コピー	18
コピー	54
細かく (伸・縮)	71、77、152
小文字ロック	19、40

さ

サイズ (文字サイズ)	63、72、80、194
削除	19
削除	53
辞書	94、114
修正	115
消去	116
登録	114
システムトランク (SR10BT)	12
施設 (デザインフォーム)	124、257
下並び (伸・縮)	71、77、152
実質行頭マーク (12)	20、55
実質ポートマーク (01 02)	141
指定範囲 (編集)	69
自動 (英数書体)	70
自動多め (余白)	75、92
自動カット	193、196
自動 (かな書体)	70
自動少なめ (余白)	75、92
自動 (文字サイズ)	72
シフト	19
地紋印刷 (文章書式)	67、75、89、194
斜強調 (斜体・強調)	70、76、151
斜体・強調 (文字モード)	67、70、76、194
斜体 (斜体・強調)	70、76、151
充電式ニッケル水素電池	23、195、207
自由のび ² (文字サイズ)	72、82

仕様	266
上質紙ラベル	217
正体 (斜体・強調)	70、76、151
初期化	209
初期設定値	202
初期値 (連続番号)	170、171
書体	19
書体	62
書体 (文字モード)	67、70、79、194
白抜き (飾り字)	70、76、151
白塗り (外字)	118
白文字 (飾り字)	70、76、151
伸・縮 (文字モード)	67、71、77、194
少なめ (余白)	75、92
スナップボタン (SRTB1)	12、189
スペース	41
設定	19
～メニュー一覧	193
狭い (文字間)	71、78、152
背見出し A4/B5 (ビジネスフォーム)	128、131
全角スペース ()	41
全消去	19、54
全体の幅 (バーコード)	170、174
全文消去 (全消去)	19、54
創作地紋 (地紋印刷)	75、89、91
操作パネル	18
促音	37
外枠	19
外枠 (カットラベルフォーム)	154、157、255
外枠 (外枠・表組)	73、84
外枠・表組 (段落スタイル)	67、73、84、194

た

耐熱ラベル	217
ダイレクトキー	62、63、64、66
ダウンロード	219
楕円 (カットラベル)	149
楕円 (縦) (カットラベルフォーム)	146
楕円 (横) (カットラベルフォーム)	146
濁音	37
たて書き (縦・横)	64、73、86
縦型よこ書 (縦・横)	73、86
縦型よこ書 (ビジネスフォーム)	130、133
縦・横	19
縦・横 (斜体・強調)	64
縦・横 (段落スタイル)	67、73、86、194
段落	57
段落スタイル	67、72
～メニュー一覧	72

小さく (伸・縮).....	71、77、152
チェックデジット (バーコード).....	170、174
縮める (伸・縮).....	71、77、152
つめ?.....	88
ディスプレイ.....	16、20
ディスプレイ濃度.....	205
訂正線 (囲み・網).....	71、152
定長印刷 (文章書式).....	67、75、87、194
定ピッチ (ビジネスフォーム).....	129、132
テープ送り.....	18、29、216
～メニュー一覧.....	216
テープカートリッジ	
～をセットする.....	26
～を使いわせる.....	217
テープカートリッジケース (SR4TH).....	12
テープカートリッジセット部.....	16
テープ確認窓.....	16
テープ通路.....	16
テープ取出し口.....	16
テープ幅.....	55、81
テキスト画面.....	20
デザインフォーム.....	124
～見本.....	256
～メニュー一覧.....	124
デモ印刷.....	212
電源	
～を入れる.....	28
～を切る.....	49
転写テープ.....	167、217
電池.....	23
電池カバー.....	17
電池ケース.....	17
電池種類.....	23、195、207
点描画 (外字).....	118
点滅文字.....	20
同梱品.....	11
	18
特殊印刷.....	18、178
～メニュー一覧.....	178
トリマー (RT36W).....	12、59
トリマーガイド.....	16
トリマーカバー.....	17、60
トリマー差込み口.....	16
トリマーテーブル.....	16

な

中揃え (割付け).....	74、83
中並び (伸・縮).....	71、77、152
なし (囲み・網).....	71、152

名前.....	94、111
印刷.....	112
グループ名修正.....	112
修正.....	112
消去.....	112
登録.....	111
ニッケル水素電池.....	23、195、207
	19
入力文字一覧表.....	238
熱収縮チューブ.....	217
値札 (込) (ビジネスフォーム).....	129、132
値札 (抜/込) (ビジネスフォーム).....	129、132
伸ばす (伸・縮).....	71、77、152

は

バーコード.....	18、170、174
バーコードマーク ().....	175
バージョン.....	195、208
ハーフカット.....	20、193、196
ハーフカット連続.....	193、198
パソコンリンク状態.....	224
バックライト.....	194、205
パッチパネル (ケーブルフォーム).....	140
貼付け.....	18、54
範囲は? (編集).....	71、74、152
半角.....	176
半角スペース (□).....	41
半濁音.....	37
反転 (カットラベルフォーム).....	154、158
ビジネスフォーム.....	128、131
～見本.....	131
～メニュー一覧.....	128
ビック&プリント.....	21、193、199
ビットコード.....	178、184
備品管理票 (ビジネスフォーム).....	129、132
病院 (デザインフォーム).....	126、263
描画エリア (外字).....	118
表組み (カットラベルフォーム).....	154、157、255
表組み (外枠・表組).....	73、84
表示濃度.....	194、205
表示の切り換え.....	211
ひらがな.....	36
広い (文字間).....	71、78、152
	18

ファイル	18、94、95
～メニュー一覧	94
印刷	102
グループ名修正	101
消去	99
登録	96
複写	100
呼出	98
ファイル (カットラベル・バンドウイット)	164
ファイル (カットラベルフォーム)	146、159
ファイル (ケーブルフォーム)	142
ファイル (ビジネスフォーム)	128、136
フェイスプレート (ケーブルフォーム)	140
	18
フォーム	
デザインフォームメニュー一覧	124
ビジネスフォームメニュー一覧	128
フォーム見本	
ケーブルフォーム	139
デザインフォーム	256
ビジネスフォーム	131
複数ラベル (ビジネスフォーム)	129、132
部首画数 (漢字検索)	190、192
部首読み (漢字検索)	190、192
ふつう (飾り字)	70、76、151
ふつう (伸・縮)	71、77、152
ふつう (文字間)	71、78、152
ふつう (余白)	75、92
	19
復活	53
フラッグラベル (ケーブルフォーム)	140
ふりがな (名前)	113
プリンタドライバ	
アンインストール	225
インストール	219
フルメモリーマーク (◀)	20
	18
レビュー	45
プロポーショナル (文字間)	71、78
文章	
～を消去する	54
～をファイルする	96
文章書式	67
メニュー一覧	75
文節切り換え	19
文節変更	19
平滑化 (外字)	121、215
ヘッド・クリーニングテープ (SR36C)	11、12、236
別売品	12
	19

変換	39
変換候補一覧 (ATOK 変換画面)	33
変換候補数 (ATOK 変換画面)	33
変換候補番号 (ATOK 変換画面)	33
変換対象 (ATOK 変換画面)	33
	19
編集	67
編集 (記号)	42、84、215
編集設定	193、194、202
編集続行? (編集)	69、71、74、75
◎	19
補助辞書	34
細・太の比率 (バーコード)	170、174
保存値	202
ボタンナビ	21

ま

枚数指定 (連続印刷)	178
前揃え (割付け)	74、83
マグネットテープ	217
マスキングテープ [mt] ラベル	217
丸囲み網 (囲み・網)	71、152
丸囲み (囲み・網)	71、152
丸型 (カットラベル)	149
丸型 (カットラベルフォーム)	146
みえ ²	18、211
密着 (文字間)	71、78、152
見本	
ケーブルフォーム	139
デザインフォーム	256
ビジネスフォーム	131
無変換	19、36
メニュー	21
メニュー一覧	214
記号	215
設定	193
段落スタイル	72
テープ送り	216
デザインフォーム	124
特殊印刷	178
ビジネスフォーム	128
ファイル	94
文章書式	75
編集	70
文字モード	70
りぼん印刷	185
連番・バーコード	170
メニュー階層	21
メニュー画面	21

文字

～をコピーする	54
～を削除する	53
～を消去する	54
～を挿入する	53
～を入力する	52
～を貼り付ける	54
～をもとに戻す（復活）	53
文字間（文字モード）	67、71、78、194
文字サイズ	19
文字サイズ	63
文字サイズ（カットラベルフォーム）	155
文字サイズ（段落スタイル）	67、72、80、194、202
文字地紋（地紋印刷）	75、89、90
文字変換 / 漢字検索	19
文字ボタン	19
文字モード	67
～メニュー一覧	70
文字モード指定マーク（▶）	20、69

や

拗音	37
用途（QRコード）	170、176
よこ書き（縦・横）	64、73、86
横型たて書（ビジネスフォーム）	130、133
予測候補数	32
予測候補番号	32
予測入力	38
予測入力候補一覧	32
余白	67
余白（文章書式）	67、75、92、194

ら

らく ² （文字サイズ）	72、80
リセット（編集設定）	194、203
りぼん	217
りぼん印刷	18、185
～メニュー一覧	185
りぼん連続	185、186
連結呼出（ファイル）	98
連続印刷	178、179
連続番号	170、171
連番	18、170、171
連番・バーコード	18、170
～メニュー一覧	170
連番マーク（ ¹ N ² N ³ N ¹ N ² N）	171、173
ローマ字入力	35、36
ローマ字変換表	265
ロングテープ	217

わ

割付け（段落スタイル）	67、74、83、202
-------------------	--------------

●アフターサービスについて

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機およびご使用中の AC アダプタ・ケーブル・トリックなど一式と保証書をお買い上げ販売店、または「テブラ」取扱店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店、または「テブラ」取扱店までお持ちください。

なお、修理・検査をおこなうと、登録されているファイル・外字・入力した文章のデータや学習内容などは消去されます。また、修理のとき一部代替部品を使わせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、**お買い上げ販売店**または**当社お客様相談室**にお問い合わせください。

お客様相談室 ☎0120-79-8107

携帯電話からの場合 **0570-06-4759** (通話料お客様負担)

株式会社キングジム

東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031

<https://www.kingjim.co.jp/>

■最新情報については

「テブラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.kingjim.co.jp/>

■お客様登録のお願い

このたびはキングジム製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。お客様登録をしていただきますと、製品・サービスに関する情報提供やお問い合わせの受付など、キングジムがご提供するサポート・サービスを受けることができます。

お客様の個人情報の取り扱いについて

お客様からいただいた個人情報は、以下の目的で使用し、厳正な管理をいたします。

サービスやサポートのご提供・商品のご案内・統計情報としての利用・製品の改善等

なお、当社の個人情報の取り扱いの詳細につきましては、下記の当社ホームページをご覧ください。

お客様登録はこちらから ▶ <https://kingjim.jp/user/>

「テブラ」PRO SR-R980 取扱説明書

2023 年 12 月 第 3 版

株式会社キングジム

〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目10番18号



414190301

お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

携帯電話からの場合 0570-06-4759 (通話料お客様負担)

株式会社キングジム

東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031
<https://www.kingjim.co.jp/>

2020-31-③